Syllabus

保健医療福祉学部
看護学科

2022 年度入学生

授業科目名	きびこく学 看護	担当者	高尾　茂子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-001

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置付けられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるかを考え、チャレンジする態度を涵養できる。
授業概要	順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み（歴史）を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創成に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。
アクティブラーニングの内容	PBL／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	毎回授業時提出のレポート評価（70%）、第8回に行う学修成果確認レポート作成の評価（30%）により、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたパーソナルポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う
履修条件・注意事項	地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	1)　事前にユニバを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回事前学修を行い授業に参加すること。 2)　授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回事後学修を行うこと。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
		大西正泰（経営社会学科）

第１回	オリエンテーション　地域創成とは何か　意義と授業計画	高尾茂子
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史	順正学園専務理事 高尾茂子
第３回	高梁市の歴史、文化、政策課題、今後の方向性	外部講師　高尾茂子
第４回	高梁基督教会堂をめぐる歴史と人物	外部講師　高尾茂子
第５回	「未来につなぐ図書館」としての活動	外部講師　高尾茂子
第６回	宇治地域住民総動のまちづくり	外部講師　高尾茂子
第７回	日本遺産「備中吹屋」	外部講師　高尾茂子
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学習成果振り返りレポート作成	高尾茂子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	SDGs概論 看護	担当者	中嶋　貴子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-002

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学びます。 到達目標は下記の通りです。 ・地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる ・SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる ・SDGsの各目標を自分事として捉えることができる ・SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる
授業概要	2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。 授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	グループでの活動及び発表を評価する（50%）。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する（50%）。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	振り返りレポートを評価して次回授業で返却する。
履修条件・注意事項	１）初回の授業には、必ず出席すること ２）合同授業日と各学科授業日があるので注意すること ３）学科別授業では、理学療法学科と作業療法学科との合同でグループワークを行うことから授業を欠席しないこと
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ユニバーサルパスポートで配付する資料を基に事前学習をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目（教授会がある日を除く）をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	SDGsとは何か－なぜ学ぶのか（オリエンテーションを含む）	井勝久喜、中嶋貴子

第２回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜、中嶋貴子
第３回	SDGsが目指している世界	井勝久喜、中嶋貴子
第４回	SDGsの17の目標	井勝久喜、中嶋貴子
第５回	当事者体験発表、 グループワーク（課題発掘）	外部講師、中嶋貴子
第６回	グループワーク（生活課題の検討）	外部講師、中嶋貴子
第７回	グループワーク（社会システム構築の検討）	中嶋貴子
第８回	レポート試験	中嶋貴子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝、山本
第２回	国境とは何か？	畝、山本
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝、山本
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝、山本
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝、山本
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝、山本
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝、山本
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝、山本
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝、山本
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝、山本
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝、山本
第１２回	高齢化社会の課題	畝、山本
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝、山本
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝、山本
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝、山本
第１６回	最終試験（レポート）	畝、山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	課題解決演習 看護	担当者	高尾　茂子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-004

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：多様な社会課題に関する知識を習得するための情報収集を行い、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標 ①現代社会が抱える多様な課題を医学、看護学、社会学等々の視点から分析できるようになる。 ②課題解決に必要な理論、手法を修得する。 ③地域課題やSDGｓ目標との接点から、社会が抱える多様な課題を「我がこと」として捉えることができるようになる。 ④グループ演習活動を通して、多様な考え方やそれぞれの考え方の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身につく。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGｓ概論、グローバルスタディーズ入門）で学んだ各地域の現状、課題、SDGｓに関する目標・課題について、それぞれ解決策を模索することで、社会に積極的に貢献しようとしようとする心や姿勢を養うことを到達目標とする。 具体的には、グループごとに課題とするテーマを設定し、テーマに沿った情報を調べ、どのような方法であれば課題に対する解決が可能か検討を行う。 以上の能動的学習経験を通じて、課題解決のために必要な一連のプロセスを修得する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）、ポートフォリオ（40%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う。 ポートフォリオは各自保管し、復習のために活用すること。
履修条件・注意事項	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心を持ち、授業と関連付けて考えること。 配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会が多くある。その準備のために一定の予習・復習時間を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション　研究倫理に基づく活動	高尾茂子
第２回	演習グループ　チームビルディング	高尾茂子
第３回	課題解決フレームワーク（なぜなぜ分析）	高尾茂子
第４回	データで知る社会　課題1	高尾茂子
第５回	データで知る社会　課題２	高尾茂子
第６回	データで知る社会　課題解決ワーク	高尾茂子

第７回	データで知る社会　成果発表	高尾茂子
第８回	保健医療福祉分野１　課題１	高尾茂子
第９回	保健医療福祉分野１　課題２	高尾茂子
第１０回	保健医療福祉分野１　課題解決ワーク	高尾茂子
第１１回	保健医療福祉分野１　成果発表	高尾茂子
第１２回	保健医療福祉分野２　課題１	高尾茂子
第１３回	保健医療福祉分野２　課題２	高尾茂子
第１４回	保健医療福祉分野２　課題解決ワーク	高尾茂子
第１５回	保健医療福祉分野２　成果発表	高尾茂子
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリアデザインⅠ 看護	担当者	澤田　和子、高尾　茂子、森信　繁、福岡　美和、一ノ瀬　公美、門倉　康恵、赤在　あゆみ、赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CE-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけであり、人生そのものといえる。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考え行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要である。そのために、社会が求める人間像について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが重要である。 【到達目標】 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成される。合同授業では、キャラとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康や、一般的学力(自己理解)について講義や演習を行う。 授業全体を通して「自分を知る」「社会を知る」「生き方を考える(大学生活を含む)」「働き方を考える」というテーマで構成される。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動と発言(30%)、課題及びレポート(40%)、基礎学習(kiuiドリル)実施状況(30%)で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやレポートの記入内容にについては、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するのでファイリングし整理する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師による、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を実施する。 また、学科別授業において看護師・保健師の経験からの講義を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	配布される資料を読み、自身のキャリアについて考える。専門用語は事前に調べておき、授業後に振り返ることで身についていく。
オフィスアワー	平日昼休憩(12:40～13:30)に、研究室にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、キャリアとは何か	藤原
第２回	自分を知る・社会を知る：適性検査	外部講師（マイナビ）
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原・一ノ瀬

第５回	自分を知る：基礎学力確認(1回目)、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	専門職になるとは(国家試験の意味)	外部講師（吉川）・澤田
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター））
第８回	専門性の理解(看護師)	一ノ瀬
第９回	専門性の理解(保健師)	高尾
第１０回	専門性の理解（助産師）	福岡
第１１回	専門職の理解（認定看護師）	門倉
第１２回	専門職の理解（養護教諭・高校教諭）	赤澤
第１３回	多職種連携	赤在
第１４回	自分を知る：基礎学力確認(2回目)、将来に向けて	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	澤田
第１６回	レポート課題(キャリアデザインノートの提出)	澤田

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報活用 看護				担当者	安福　真弓、中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年				ナンバリング	GE-AI-1-009		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	授業と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30％の重みづけで評価する。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。なお、評価のため実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のため実施した課題などについては、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書・個人所有のパソコンを必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」を実施する。このシート未受験者の履修は認めない。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。

オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目をオフィスアワー（教授会のある日を除く）とする。		
授業計画			担当者
第１回	第1回 オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認）		中嶋・安福
第２回	第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器		中嶋
第３回	第3回 デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）		中嶋
第４回	第4回 OSとアプリケーション		中嶋
第５回	第5回 ファイルシステム操作		中嶋
第６回	第6回 社外文書の形式の理解とワープロソフトによる作成		安福
第７回	第7回 ワープロソフトによる社外文書の完成		安福
第８回	第8回 表計算ソフト操作		安福
第９回	第9回 表計算ソフトの課題の完成		安福
第１０回	第10回 プレゼンテーションソフト操作		安福
第１１回	第11回 プレゼンテーションソフトによる発表スライドの作成		安福
第１２回	第12回 課題の発表		安福
第１３回	第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ		安福
第１４回	第14回 コンピュータによる問題解決		安福
第１５回	第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑		安福
第１６回	第16回 単位認定試験		安福・中嶋
教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー　入門編　＜改訂版＞　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室） 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。 これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。

ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ｉ 看護A	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-012

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	赤羽美鳥
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	赤羽美鳥
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	赤羽美鳥
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	赤羽美鳥
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	赤羽美鳥
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	赤羽美鳥
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	赤羽美鳥

第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		赤羽美鳥
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		赤羽美鳥
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		赤羽美鳥
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		赤羽美鳥
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		赤羽美鳥
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		赤羽美鳥
第１５回	春学期の試験		赤羽美鳥
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		赤羽美鳥
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ⅰ 看護B・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-012

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	平見勇雄

第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続		平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		平見勇雄
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ⅱ 看護	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-013

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	赤羽美鳥
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	赤羽美鳥
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	赤羽美鳥
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	赤羽美鳥
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	赤羽美鳥
第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	赤羽美鳥
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	赤羽美鳥

第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	赤羽美鳥
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	赤羽美鳥
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	赤羽美鳥
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	赤羽美鳥
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	赤羽美鳥
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	赤羽美鳥
第１５回	秋学期の試験	赤羽美鳥
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	赤羽美鳥

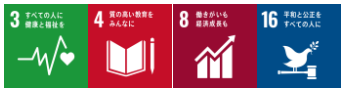
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅰ 看護A	担当者	ジョン・フォーセット
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2020～2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-014

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	この授業を受ければ、簡単な日常会話の（いくつかの）基本的なパターンをマスターすることができます。 At the end of this course, you will be familiar with numerous conversational expressions in English. You will have some confidence in speaking English.
授業概要	Most classes will have a lot of conversation, discussion, and pair and group work. Hopefully each student will spend the most of the class practicing speaking and listening, with and to, other students. We will practice, learn, and refresh our vocabularies. Some time will be spent on learning English useful in the students' profession.
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	Students will be monitored as to their level of engagement and participation in the class
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	As the class consists of students using language students will receive verbal comments from the teacher.
履修条件・注意事項	Student engagement with their partners and group members is highly evaluated. The teacher will speak 100% native English!
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	Vocabulary is vital and will be practiced in each class. Students are encouraged to use the system they like to study vocabulary outside of class.
オフィスアワー	Monday to Thursday I am available from about 11 to 1800 on the Okayama Campus in room 134. Please consult my class schedule and contact me by Email for an appointment. In Takahashi on Fridays please see me after class.

	授業計画	担当者
第１回	introduction, greetings, asking for repetition meeting people	Fawsitt
第２回	basic questions leisure activities	Fawsitt
第３回	more basic questions asking for and giving directions asking the way	Fawsitt
第４回	past simple tense asking for permission	Fawsitt

	recent activities	
第５回	present perfect tense apologising experiences sports	Fawsitt
第６回	future tense offers and invitations shopping	Fawsitt
第７回	thanking in a post office books and television	Fawsitt
第８回	comparison of adjectives houses	Fawsitt
第９回	verb+infinitive asking for things ordering a meal food	Fawsitt
第１０回	verb+gerund complimenting and praising	Fawsitt
第１１回	would like,would rather suggestions transport	Fawsitt
第１２回	can, should, must suggestions at the hospital	Fawsitt
第１３回	my job	Fawsitt
第１４回	basic health questions	Fawsitt
第１５回	talking with patients	Fawsitt
第１６回	Exam	Fawsitt

教科書			
教・書籍名１	Printed model dialogues and texts will be distributed in class.	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅰ 看護B・アニメ	担当者	グレン　サムナー
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2020～2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-014

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	インタラクティブ演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	英会話の様々な場面で自信を持って話せるようになることを目的としています。 学生は、フレーズ、文法、語彙を使用して、各ユニットで学習したトピックについて話すことができます。 学生は、英語での日常会話において、学習した語彙やフレーズを使って自分の経験について話すことができる。
授業概要	初級者向けのやさしい英会話のフレーズでペア・ワークやグループ・ワークやロールプレイで会話力を養成します。 各ユニットでは、基本フレーズと語彙を学習し、そのフレーズと語彙を使ってペアワークを中心に会話を練習、英会話の場面に沿った実践的なリーディングとリスニングの問題に挑戦。 学生全員参加の活気溢れる授業を提供します。 見やすく書きやすいレイアウトと楽しく学べる工夫が一杯です。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義に取り組む姿勢を重要視し、宿題提出、小テスト、期末テストで評価を行う。 評価は授業態度 (予習を含む)(20 %) (到達目標1・2)、宿題 (10 %) (到達目標1)、小テスト/研究課題 (20 %) (到達目標2)、定期試験 (50 %) (到達目標1)で判定する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題の後、答えと理由の解説をして、理解の定着を図る。
履修条件・注意事項	授業には英和・和英辞書または電子辞書を持参すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レッスン前予習2時間程度　巻末の文法、語彙、Notes レッスン後復習2時間程度　前の授業にしたユニットについての巻末の文法、語彙、Notes
オフィスアワー	金曜日09：30～12：40

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、コースのガイダンス、発音	
第２回	Unit 1: Pleased to meet you | Unit 2: I'm from Nagoya	
第３回	Unit 3: I'm retired now | Unit 4: This is my family	
第４回	Unit 5: How are you? | Unit 6: Could you say that again, please?	
第５回	Unit 7: I live in an apartment | Unit 8: Do you have a garden?	
第６回	Unit 9: Do you have any hobbies? | Unit 10: I have rice and miso soup for breakfast	
第７回	Units 1–-10のまとめ	
第８回	Open topic | Interview test	
第９回	Unit 11: Let's go to an Italian restaurant | Unit 12: Thank you for the chocolates	

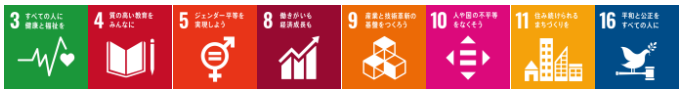
第１０回	Unit 13: I like to watch variety shows｜Unit 14: How was your weekend?	
第１１回	Unit 15: These pancakes are delicious!｜Unit 16: How do you celebrate?	
第１２回	Unit 17: How do you keep in shape?｜Unit 18: How much is this sweater?	
第１３回	Unit 19: I'm looking for some souvenirs｜Unit 20: See you soon!	
第１４回	Units 11-–20のまとめ	
第１５回	Units 1-–20 Full review	
第１６回	Final Test	

教科書			
教・書籍名１	Making friends 1	教・出版社名１	Macmillan Languagehouse
教・著者名１	ウィリアムソン デービッド/ウィリアムソン マデレン	教・ＩＳＢＮ１	ISBN: 978–4–7773–6125–0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅱ 心理・看護・経社	担当者	イアン・ウォーナー
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-015

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	この授業を受ければ、アクティブ英語Iで学んだ基本的なパターンに加え、簡単な日常会話のより多くの基本的なパターンをマスターすることができます。 By the end of this course, students will be more familiar Engish language conversational expressions, as compared to the at end of the Active English I course. Students will therefore have more confidence vis-a-vis speaking in English.
授業概要	Throughout each weekly lesson, students will do activities and receive instruction, training and advice intended to assist and guide them in their efforts to expand and enhance their English language speaking skills and articulateness. Students will have opportunity to i) practice and thereby improve existing key skills; ii) learn various new key and / or important skills; and iii) expand vocabulary knowledge in order to raise their overall ability to understand, enter into and maintain authentic, real-life, everyday English language conversation. Students will necessarily study numerous topics including pronunciation, intonation and diction etc and be encouraged and advised at every stage about how best to express themselves clearly, efficiently and confidently. Whenever necessary therefore, major emphasis will be placed on overcoming shyness, reticence and any other presently constraining deficiencies / shortcomings that presently impede or prevent oral communication competency.
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	60% = Coursework (Including homework and mini-tests) 40% = Final 'Term' Test Exam. (Interview) [Students will be continuously appraised regarding coursework.] Coursework = Direct verbal instruction combined with use of worksheets, audio and video files, texts and photos, etc, often delivered and collected via CALL system and / or e-mail.
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	I communicate with - and provide feedback to - all students in the following ways. Firstly, I return marked, commented on and corrected (printed and / or digital) course-work and homework worksheets and question papers to students. Secondly, I provide students with Correct / Model Answer (printed and / or digital) handout documents. Thirdly, I brief students accordingly, in writing, as and when necessary, via KIU e-mail. Fourthly, I brief students, verbally, as and when necessary / whenever I deem it to be necessary or preferable before

	during and after lessons. Fifthly, I additionally regularly encourage all students to liaise with me verbally, as much as possible, primarily, though not exclusively during lesson time, above all if / when they think that they do not fully or well enough understand a particular topic or technical point that has just been taught, is being taught currently, or seems to be directly or indirectly related / associated to what has been taught / is being taught. Finally, I also regularly encourage and urge all students to contact me via e-mail, Microsoft TEAMS, Microsoft Skype, LINE and / or Apple FaceTime.
履修条件・注意事項	This course will be conducted solely in English. Students should prepare BEFORE each lesson but not worry if they don't immediately understand things and / or make mistakes. Not understanding and making mistakes are natural and central to learning. Learning how to do things well and / or correctly requires us to discover and remember what to do and what not to do. If students are able to understand and master lesson materials and activities immediately with little or no effort, those lesson materials and activities are simply too easy and less than optimally educational. Student learning goals and thus learning materials and activities must not be too easy or too difficult. They must be appropriate. Students should be mature, adequately / sufficiently interested and engaged, and 'PROACTIVE' at all times, and therefore: 01) be - and remain - alert, focussed and highly motivated throughout each and every lesson; 02) come to each lesson ready and eager to speak / communicate with their teacher and classmates in English; 03) come to each lesson ready and eager to listen to their teacher(s) and classmates in English; 04) try to fully understand - and successfully master - all the main topics and activities mentioned in lesson time, especially those that the teacher tells them are important and / or likely to be tested in (end-of-term) examinations; 05) study (relevant) textbook pages and all teacher-distributed materials, before during and after each lesson, thoroughly and as much and frequently as possible; 06) be ready and eager to speak English in front of their classmates at least once during each lesson, ideally and / or often at some length; 07) be ready and eager to make more formal oral presentations in front of their teacher and classmates, in English; 08) come to each lesson ready and eager to write / type as required, in English; 09) try hard to communicate in English clearly, logically and expansively; 10) bring all required textbooks, log-in codes and dictionaries etc to each lesson; 11) study (relevant) textbook pages - and all teacher-distributed materials - as much as possible before, during and after each lesson; 12) strive to finish / complete and submit all required classroom and homework assignments properly, thoroughly, correctly and sufficiently well and 'on time', before specified deadlines; 13) finish / submit all required classroom and homework assignments 'on time', before specified deadlines; 14) aim to fully understand - and 'master' - everything that their teacher tells them, especially those things that they are told they will likely to be tested on during (end-of-term) examinations, etc; 15) REGULARLY discuss text-book and lesson content with their teacher face-to-face and / or by e-mail; 16) communicate with - and request help from - their teacher frequently, especially when they don't understand a lesson-related topic and require assistance; 17) try to maximize the amount of time that they practice English language Listening, Speaking and Oral Communication (OC) with their teacher and one another; 18) tell the teacher immediately if they think that any textbook or lesson-related activity is / was too easy or difficult; 19) communicate with their teacher frequently, especially if they feel confused about a lesson-related topic; 20) request help from their teacher whenever they think that they would benefit from such; 21) generally try to maximize the amount of time that they practice English language oral communication with their teacher and one another; 22) use the internet only for valid, course-work related purposes during each lesson and NOT use smartphones during lesson times

	during lesson times. 23) do an adequate / sufficient amount of revision prior to all tests and - above all - the final, end-of-term exam.		
実務経験のある教員	該当する	内容	I am a native (British) English speaker with a London accent that is close to Received Pronunciation (RP). I have travelled widely in western Europe and Japan. I was a full-time Assistant Language Teacher / Instructor (ALT) at numerous elementary, junior and especially senior high schools (throughout Chiba Prefecture) from 07/2003 until 03/2014.
事前学習・事後学習とその時間	1) Students should self-study all LESSON-TIME and HOMEWORK related Listening, Reading, Writing and / or Speaking materials that are given to them by the instructor. 2) Students are expected to do and complete all LESSON-TIME self-study assignments within the (lengths of) time specified / allocated by the instructor. Students who finish such assignments early or decide that they require additional time in which to complete them should inform the instructor immediately or as soon as possible, in person / face-to-face. 3) Students should spend a minimum of 30 minutes on any and all HOMEWORK assignments. In addition to completing all LESSON-TIME and HOMEWORK assignments, students should: a) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials regularly and frequently; b) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials 'as much as possible'; c) Try to expand vocabulary knowledge very regularly and as much as possible; d) LISTEN to appropriate English listening materials very regularly and as much as possible; e) READ appropriate English reading materials very regularly and as much as possible; f) SPEAK English very regularly and as much as possible with teachers, classmates and other people, no matter what their first language is; g) Practice WRITING English sentences with pen, pencil or PC very regularly and as much as possible; The more time students spend studying the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials, the better. Students SHOULD aim to fully understand - and 'master' - all topics that their teacher tells them are important / and or likely to be tested on during (end-of-term) examinations. Students can and should ask the teacher to recommend additional textbooks and materials at any time.		

オフィスアワー	Students can e-mail Ian WARNER at any time: warner@kiui.ac.jp

授業計画		担当者
第１回	Talk about your summer holiday / what did you do?	Warner
第２回	Talk about seasons / expressions which describe seasons and tempreture changes	Warner
第３回	Talk about Internet / media report	Warner
第４回	Talk about daily routine / club activities	Warner
第５回	Talk about your family members	Warner
第６回	Talk about your home town	Warner
第７回	Talk about your friends / pets	Warner
第８回	Talk about your favorite cultural spots (music venues, museums, movie theaters, etc)	Warner
第９回	Various topics (decided by students)	Warner
第１０回	Various topics (decided by students)	Warner
第１１回	Various topics (decided by students)	Warner
第１２回	How can you express your feelings?	Warner
第１３回	Talk about Takahashi City (your favorite spot, city planning, etc.)	Warner
第１４回	Talk about the nature	Warner
第１５回	Talk about the future	Warner
第１６回	Final EXAM. TEST	Warner

教科書			
教・書籍名１	English Listening and Speaking Patterns 1 (2017)	教・出版社名１	Nan'un-do
教・著者名１	Andrew E. Bennett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN: 9784523178422
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-018

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習 4、鼻音の発声練習	孫基然
	1、発音の復習	

第４回	2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-019

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文	孫基然
第２回	1、助動詞「想」 2、反復疑問文	孫基然
第３回	1、経験表現 2、連動文	孫基然
第４回	1、時量補語	孫基然

	2、存在表現	
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-020

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次
第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次

第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-021

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次
第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次

第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-022

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二
第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二

第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-023

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二
第５回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文	清水光二
第６回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞	清水光二

第７回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター! はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮

第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂

第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-040

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居

第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二

第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	課題レポートの返却時に講評する。 予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二

第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）		末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）		末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題		末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）		末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）		末吉秀二
第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-043

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40％）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-044

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞
第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞

第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞	
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞	
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞	
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞	
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞	
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞	
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞	
第１５回	まとめ	國佐　栞	
第１６回	試験	國佐　栞	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-045

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞
第１５回	バレーボール	國佐　栞
第１６回		

教科書

教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

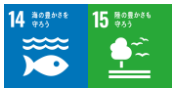
授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学					担当者	香田　康年	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年					ナンバリング	GE-NS-1-048	
必修・選択	選択	単位数	2単位			時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期			曜日・時限	木曜3限	

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

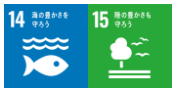
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-048

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学Ⅰ			担当者	吉川　久美子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-101		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	人体の構造を学ぶ「解剖学」は授業科目での専門基礎科目の一つというとらえ方ではなくエビデンスに基づいた看護実践において重要なものである。 「解剖学」をより正しく理解することは臨床での実践能力に大きく影響を与える。「解剖学」は人体を構成する各器官のかたち、構造を学ぶ。 「解剖学」の学びから「生理学「病態生理学」、そして「看護」に繋げる能力を身につける。
授業概要	「疾患」「治療」「看護」「指導」の基礎となる人体の構造を機能と関連付けをしながら授業を行う。 人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」にわけ、その中でそれぞれの位置関係、形状、構造について説明し、 また、神経や血管の走行を各部位に繋げながら関連性を理解する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「解剖学」の理解到達度と応用する能力をはかるための定期試験（記述）の点数と授業中の参加態度により総合評価する。 （定期試験９０％、授業中参加態度１０％）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	定期試験の振り返りを講義内容に盛り込みフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている内容について教科書を読み、また「ワークブック」に解くこと。 また、受講後は板書された内容についてノートにまとめ、理解すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	「解剖学」学習法オリエンテーション 「解剖学」の学習に必要な基礎知識	吉川久美子
第２回	細胞（核、細胞質、細胞膜）の構造 組織の構造	吉川久美子
第３回	消化器Ⅰ（口、咽頭、食道、胃）の構造	吉川久美子
第４回	消化器Ⅱ（小腸、大腸）の構造	吉川久美子
第５回	消化器Ⅲ（膵臓、肝臓、胆嚢）の構造	吉川久美子
第６回	呼吸器Ⅰ（上気道、下気道）の構造	吉川久美子
第７回	呼吸器Ⅱ（肺、胸膜）の構造	吉川久美子
第８回	血液（赤血球、血小板、白血球）の組成	吉川久美子
第９回	リンパ管の構造	吉川久美子
第１０回	心臓の構造（心臓の位置、心臓の血管系、心臓の神経）	吉川久美子
第１１回	血管の構造Ⅰ（動脈）の構造と走行	吉川久美子
第１２回	血管の構造Ⅱ（静脈、毛細血管）の構造と走行	吉川久美子
第１３回	腎臓Ⅰ（糸球体、ボーマン嚢）の構造	吉川久美子
第１４回	腎臓Ⅱ（尿細管）の構造	吉川久美子
第１５回	排尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造	吉川久美子

第１６回	単位試験		吉川久美子
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　準拠　解剖生理学ワークブック	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学Ⅱ			担当者	吉川　久美子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-102		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	人体の構造を学ぶ「解剖学」は授業科目での専門基礎科目の一つというとらえ方ではなくエビデンスに基づいた看護実践において重要なものである。 「解剖学」をより正しく理解することは臨床での実践能力に大きく影響を与える。「解剖学」は人体を構成する各器官のかたち、構造を学ぶ。 「解剖学」の学びから「生理学「病態生理学」、そして「看護」に繋げる能力を身につける。
授業概要	「疾患」「治療」「看護」「指導」の基礎となる人体の構造を機能と関連付けをしながら授業を行う。 人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」にわけ、その中でそれぞれの位置関係、形状、構造について説明し、 また、神経や血管の走行を各部位に繋げながら関連性を理解する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	解剖学」の理解到達度と応用する能力をはかるための定期試験（記述）の点数と授業中の参加態度により総合評価する。 （定期試験９０％、授業中参加態度１０％）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	定期試験の振り返りを講義内容に盛り込みフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている内容について教科書を読み、また「ワークブック」に解くこと。 また、授業後は板書された内容についてノートにまとめ、理解すること。
オフィスアワー	授業後、教室内でおこなう。

授業計画		担当者
第１回	内分泌Ⅰ（ホルモンの化学構造、ホルモンの特徴）	吉川久美子
第２回	内分泌Ⅱ各内分泌腺の構造（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、）	吉川久美子
第３回	内分泌Ⅲ各内分泌腺の構造（膵臓、副腎、消化管）	吉川久美子
第４回	骨格系Ⅰ（骨の形態と構造の基礎）	吉川久美子
第５回	骨格系Ⅱ各部位の骨格の構造	吉川久美子
第６回	骨格系Ⅲ各筋肉の構造	吉川久美子
第７回	骨格系Ⅳ各関節の構造	吉川久美子
第８回	神経系の構造Ⅰ中枢神経①	吉川久美子
第９回	神経の構造Ⅱ中枢神経②	吉川久美子
第１０回	神経の構造Ⅲ末梢神経①	吉川久美子
第１１回	神経の構造Ⅳ末梢神経②	吉川久美子
第１２回	感覚器の構造Ⅰ眼の構造、耳の構造、舌の構造	吉川久美子
第１３回	感覚器の構造Ⅱ皮膚の構造、鼻の構造	吉川久美子
第１４回	男性生殖器の構造	吉川久美子
第１５回	女性生殖器の構造	吉川久美子
第１６回	定期試験	吉川久美子

教科書

教・書籍名１	系統看護学講座　専門基礎講座　解剖生理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座準拠　解剖生理学　ワークブック	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生理学Ⅰ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-103		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医学の基礎的知識と科学的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学習する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療・看護は、病気 の人に対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解すること はできない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目及び看護系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるも のであり、治療現場でも看護師に求められるものである。 「生理学Ⅰ」では、主に、生命を維持する機能である消化吸収・呼吸と血液・心臓について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（３０％）、最終試験（７０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回授業の復習を兼ねてフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聴く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	生理学を学ぶにあたって	水谷
第２回	人体とはどのようなものか	水谷
第３回	ホメオスタシス、栄養の消化吸収（口腔・咽頭・食道）	水谷
第４回	栄養の消化吸収（胃・小腸）	水谷
第５回	栄養の消化吸収（小腸）	水谷
第６回	栄養の消化吸収（大腸、膵・肝・胆）	水谷
第７回	呼吸（呼吸器・換気）	水谷
第８回	呼吸（呼吸運動・呼吸気量）	水谷
第９回	呼吸と血液（ガスの交換と運搬）	水谷

第１０回	呼吸と血液（呼吸運動の調節・病態生理）		水谷
第１１回	血液（赤血球）		水谷
第１２回	血液（白血球・血小板・血漿・血液凝固・血液型）		水谷
第１３回	循環（心臓の興奮とその伝播）		水谷
第１４回	循環（心電図）		水谷
第１５回	循環（心臓の収縮機能）		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能［１］	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	坂井建雄・岡田隆夫	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03171-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる生理学の基本としくみ	参・出版社名１	秀和システム
参・著者名１	當瀬規嗣	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7980-1222-X
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学Ⅱ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-104		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医学の基礎的知識と科学的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療・看護は、病気 の人に対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解すること はできない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目及び看護系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるも のであり、治療現場でも看護師に求められるものである。 「生理学ＩＩ」では、主に、環境に適応する機能である血液循環・体液の調節・内臓機能の調節・筋収縮・情報の受容と処理・生体防御について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（３０％）、最終試験（７０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回授業の復習でフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	血液循環（血圧・血流）	水谷
第２回	血液循環（システムとしての循環）	水谷
第３回	血液循環（血圧・血流量の調節）	水谷
第４回	血液循環（微小循環、病態生理、リンパ）	水谷
第５回	体液の調節（腎臓の濾過機能）	水谷
第６回	体液の調節（腎臓の再吸収と分泌機能）	水谷
第７回	排尿路	水谷
第８回	体液の調節	水谷

第９回	内臓機能の調節（自律神経）		水谷
第１０回	内臓機能の調節（内分泌系による調節）		水谷
第１１回	内臓機能の調節（内分泌腺と内分泌細胞）		水谷
第１２回	内臓機能の調節（ホルモン分泌の調節）		水谷
第１３回	からだの支持と運動（筋の収縮）		水谷
第１４回	情報の受容と処理（神経系）		水谷
第１５回	情報の受容と処理（感覚器）		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能［１］	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	坂井建雄・岡田隆夫	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260--03171-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる生理学の基本としくみ	参・出版社名１	秀和システム
参・著者名１	當瀬規嗣	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7980-1222-X
参・書籍名２	シンプル生理学	参・出版社名2	南江堂
参・著者名2	貴邑冨久子・根来英雄	参・ＩＳＢＮ2	978-4-524-24733-2

授業科目名	生化学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-105		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について学ぶことができる。また、学生は生命の根源についてＤＮＡ の複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解し、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み等に関して習得することができる。
授業概要	生命現象の基本やその病態を分子レベルで理解するために必要なことがら、つまり生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について講義する。 　さらに、生命の根源についてＤＮＡ の複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解させる。すなわち、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み、生体構成成分であるタンパク質の再生、個体間・世代間の情報伝達としての遺伝などがその内容である。 　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。　なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝総論・細胞	長町
第２回	糖質	長町
第３回	脂質	長町
第４回	アミノ酸とタンパク質	長町
第５回	核酸とヌクレオチド	長町
第６回	ビタミン	長町
第７回	酵素	長町
第８回	糖質代謝とは	長町
第９回	糖質代謝	長町
第１０回	脂質代謝	長町
第１１回	タンパク質とアミノ酸の代謝	長町
第１２回	核酸・ヌクレオチドの代謝	長町
第１３回	エネルギー代謝の統合と制御	長町
第１４回	遺伝情報とは	長町
第１５回	遺伝情報	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書

教・書籍名１	ナーシング・グラフィカ(2)臨床生化学	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１	宮澤恵二、根元清次他著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-2176-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	栄養学			担当者	産本　敦子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-106		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生が健康と栄養との関わりについて理解し、望ましい食生活のあり方について考えることをテーマとし、自らの食生活を見直し、問題点を探り、改善できる能力を身につけることができる。 到達目標として ①学生が栄養素の体内での働きについて理解できる。 ②学生が健康保持・増進のために、何を、どれだけ、どのように食べればよいのかを理解できる。 ③学生が疾病と栄養の関係について学び、疾病予防・治療・増悪化防止のための栄養食事療法について理解できる。
授業概要	栄養素の機能や食品の特性を理解するとともに、体内での消化・吸収・代謝について基礎的な知識を習得し、食生活に関心を持ち、食生活と健康について考える。 さらに、さまざまなライフステージにある人の健康の保持・増進と疾病予防や治療のための食生活のあり方について考える。また、各種病態別の栄養食事療法についても学習することにより、看護師として患者の栄養指導への理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	健康と栄養の関わりを理解し、望ましい食生活のあり方を考え、実践する能力を身につけることを目的とし、知識の習得の程度を確認するための毎回の小テスト（30%）、定期試験（50%）、自らの食生活の問題点を探り、改善方法を考えるためのレポート（20%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回実施する小テストは、採点して次回の授業で返却し、解説する。レポートは授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業時に講義内容、資料等のプリントを配布するので、ファイルまたはノートを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回、前回の授業内容について小テストを行うので、復習しておくこと。予習には1時間程度、復習には２時間程度を要すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	健康と栄養	産本
第２回	栄養素の種類と機能① 糖質、脂質	産本
第３回	栄養素の種類と機能② タンパク質、ビタミン	産本
第４回	栄養素の種類と機能③ ミネラル、食物繊維、水	産本
第５回	食品と栄養	産本
第６回	栄養素の消化・吸収	産本
第７回	栄養素の体内代謝	産本
第８回	エネルギー代謝	産本
第９回	日本人の食事摂取基準	産本
第１０回	ライフステージと栄養①	産本

	乳児期～成人期	
第１１回	ライフステージと栄養② 妊娠期、更年期～高齢期	産本
第１２回	臨床栄養① 循環器疾患患者の食事療法	産本
第１３回	臨床栄養② 消化器疾患患者の食事療法	産本
第１４回	臨床栄養③ 栄養・代謝疾患患者の食事療法	産本
第１５回	臨床栄養④ その他の疾患患者の食事療法	産本
第１６回	定期試験	産本

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　栄養学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	小野貴史ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-01993-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	臨床微生物学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-108		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識について学ぶことができる。学生は広範なる微生物の知識を理解し、さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査、新興感染症、感染症法の分類と疾患等の専門的知識を習得することができる。
授業概要	看護専門職に必要な専門的知識を習得させるために、広範なる微生物の知識を充分に納得させる。さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査等の知識を教授し、専門的知識を体得させる。また、現代医療に不可欠な免疫に関する知識を、基礎から応用まで幅広く講義する。すなわち、病原微生物の生態、感染の概念と生体反応（免疫反応）を理解し、細菌、ウイルス、リケッチア、真菌等の病原性、感染経路、感染症の治療等について学ぶ。 医療現場において重要である消毒、滅菌法に関する知識、新興感染症（重症急性呼吸器症候群、鳥型インフルエンザのヒト感染等）、感染症法の分類と疾患等についても教授する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日３限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

授業計画		担当者
第１回	序論，細菌の分類と命名法，細菌の形態、細菌の増殖，細菌の変異と遺伝	長町
第２回	感染と発症，感染症の診断、消毒と滅菌	長町
第３回	化学療法、院内感染とその対策	長町
第４回	グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌、グラム陰性通性嫌気性桿菌	長町
第５回	らせん菌群、グラム陰性好気性桿菌・球菌	長町
第６回	グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌、偏性嫌気性菌	長町
第７回	マイコバクテリウム他、リケッチア、クラミジア、口腔細菌	長町
第８回	ウイルス学総論、ポックスウイルス科，ヘルペスウイルス科	長町
第９回	アデノウイルス科，パピローマウイルス科、パルボウイルス科，オルソミクソウイルス科他	長町
第１０回	ラブドウイルス科，フィロウイルス科他、レオウイルス科，ピコルナウイルス科他	長町
第１１回	コロナウイルス科、レトロウイルス科	長町
第１２回	肝炎ウイルス	長町
第１３回	遅発性ウイルス感染症とプリオン病、真菌学総論	長町
第１４回	深在性真菌症、深在性・表在性皮膚真菌症	長町
第１５回	.原虫学総論・各論	長町
第１６回	試験	長町

教科書			
教・書籍名１	コンパクト微生物学	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	小熊惠二、堀田　博他著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22636-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学Ⅰ（基礎）			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-114		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標：個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体）を構成する人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程に関わる主要な要因について学び、健康課題を評価する基本的な能力を養う。
授業概要	人を取り巻く社会・文化的、物理・化学・生物学的環境が人のライフスタイル・行動や健康に与える影響と仕組み、それをコントロールするため設けられている公衆衛生を担う機関やその働きの基礎を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（５０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（５０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、個別の評価にも反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は体系的で簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、授業内容の背景理解にはテキスト、参考資料などで補うことを勧める。
オフィスアワー	6号館4 6424研究室にて 毎週水曜2限 教授会がある日を除く または木曜 限を オフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	社会と健康	中瀬克己
第２回	食のイメージマッピング	中瀬克己
第３回	公衆衛生を担う機関	中瀬克己
第４回	行動経済学	中瀬克己
第５回	ソーシャルキャピタルとヘルスプロモーション	中瀬克己
第６回	環境保健	中瀬克己
第７回	医療政策	中瀬克己
第８回	レポート発表、グループワーク	中瀬克己
第９回	定期試験	中瀬克己
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		

第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	公衆衛生―健康支援と社会保 制度〈2〉14版 （ただし、新たな版が出版されたら新しいものとする）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	神馬征峰ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03574-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所(編)	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学Ⅱ（応用）			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-115		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生のより深い理解である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標：この科目で学生はコミュニティ（共同体）を構成する人々の心身の健康に関わる主要な要因についての理解を元に、顕在・潜在している地域の健康課題を明確にし、解決・改善策を企画・立案実施・評価する能力を養うことを目標とする。 保健師助産師看護師法第1条には 「この法律は 保健師 助産師及び看護師の　を向上し もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり 公衆衛生学は看護師における必 分 であることから国家試 にも必出分 である。
授業概要	様々なコミュニティー（地域、職場など）での多様な健康課題とそれへの解決・改善策の例を通して、課題のアセスメントと対策の立案評価能力を養う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（７０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（３０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、個別の評価にも反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は体系的で簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、授業内容の背景理解にはテキスト、参考資料などで補うことを勧める。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	産業保健	中瀬克己
第２回	メンタルヘルス	中瀬克己
第３回	口腔保健	中瀬克己
第４回	災害保健・健康危機管理	中瀬克己
第５回	感染症対策	中瀬克己
第６回	食品保健	中瀬克己
第７回	疫学	中瀬克己
第８回	公衆衛生とは（演習）	中瀬克己
第９回	定期試験	中瀬克己
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	公衆衛生―健康支援と社会保 制度〈2〉14版 （ただし、新たな版が出版されたら新しいものとする）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	神馬征峰ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03574-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所(編)	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護学概論			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-201		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間、健康、環境について基本的捉えかたを学び、看護の対象や看護の役割について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	看護とは何かが考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心をもち、視野を広げておく。 授業終了後は課題レポートを期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読しておくこと。 復習：授業終了後に授業内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護の本質	掛谷
第２回	看護の役割と機能	掛谷
第３回	看護の対象の理解	澤田
第４回	ライフサイクルと健康	澤田
第５回	看護の歴史的変遷	掛谷
第６回	看護提供のしくみ	掛谷
第７回	看護の活動領域	澤田
第８回	看護活動の展望　　試験	掛谷・澤田
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		

第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　　基礎看護学①　看護学概論　医学書院	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護倫理			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-202		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護の対象となる人間の権利を尊重するための基本的考え方を修得するために、医療・看護実践において直面する倫理的課題と倫理にかかわる概念を学習する。 〈到達目標〉 1. 生命倫理の原則を理解できる。 2. 看護実践において必要な倫理的概念を理解できる。 3. 専門職としての倫理的行動の基準が理解でき、看護職としての責任感を持つことができる。
授業概要	看護の対象となる人間の権利について学習し、対象者の権利を尊重するためにはどのような考え方が必要であるかを学ぶ。事例検討・ディスカッションを通して、自身の考えを明確にするとともに、メンバーの考えをきく姿勢を持つことができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読し、自身の考えを整理しておく。授業終了後は、授業内容を再確認し、他者の意見を聞いて自身の考え方がどのように変化したか振り返る。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	人間の権利と生命倫理	掛谷
第２回	看護専門職としての倫理	掛谷
第３回	守秘義務、アドボカシー、インフォームドコンセント	掛谷
第４回	看護実践における倫理的課題	掛谷
第５回	事例検討(問題・葛藤の本質)	掛谷・澤田
第６回	事例検討(解決方法の模索)	掛谷・澤田
第７回	事例検討(発表・まとめ)	掛谷・澤田
第８回	意思決定における倫理的視点　　試験	掛谷
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	看護倫理　看護倫理21の理解と実践への応用	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	筒井　真優美	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-24948-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	看護倫理	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護理論			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-203		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	看護理論は臨床で起こる現象を説明することで、よりよい援助を実施するために活用される。様々な看護理論を学ぶことにより、患者の理解が深まり、看護の質の向上につなげることができる。 〈到達目標〉 1. 看護理論とは何か説明できる。 2. ナイチンゲール、ヘンダーソン、オレムなどの看護理論の概略を説明できる。 3. 看護理論を実践に活かすために、活用方法を理解できる。
授業概要	看護の事象について描いている看護理論を理解することで、臨床で看護を実践する場合に看護理論が活用可能となる。それぞれの理論で用いられている言葉が何を説明しているのか、背景には何があるのか、広く考えることで看護の奥深さについて体感できる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。 復習：授業終了後に、授業内容を再確認しておく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護の主要概念	掛谷
第２回	看護の歴史　ナイチンゲール	掛谷
第３回	ヘンダーソン・14の基本的欲求	澤田
第４回	オレム・セルフケア理論　　ロイ・適応看護モデル	澤田
第５回	ウィーデンバック　ペプロウ　ロジャース　ベナー	掛谷
第６回	中範囲理論	掛谷
第７回	看理論論を実践に活かす	澤田
第８回	試験　／　看護理論と臨床	掛谷・澤田
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	看護理論　看護理論20の理解と実践への応用	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	筒井真優美編集	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-24948-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護過程論			担当者	掛谷　益子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-204		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護実践の基本的能力として求められるヒューマンケアの基盤的能力として、幅広い視野から人間と人間生活を理解し、確実な倫理観を持って行動できる態度と看護の計画的な展開能力を習得することが必要である。看護の計画的な展開である看護過程においては、問題解決型思考のもとに、看護の対象に有効だと考えられる援助を具体的に考え理解を深めていく。 〈到達目標〉 1. 看護過程の意義・目的を理解できる。 2. 看護過程に必要な問題解決型思考について理解できる。 3. 情報収集・分析、看護診断・計画の立案、評価について理解できる。
授業概要	看護過程を展開する技術である情報収集・分析、看護診断・計画の立案、評価について学ぶ。看護の日常的で実際的な実践の形態は、問題解決型思考にもとづく看護過程というとらえ方によって理解することが有用である。そして、そしてその基本的な原理は、病院や各種施設で実施される看護から、在宅看護や地域看護まで、全ての看護実践の場で活用可能である。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	グループで検討し、看護過程について学んでいくため、積極的にグループワークに参加し、理解を深めることができるようにする。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	日常的に、日々の生活の中でなぜその様な行動になったか、自己分析することで、問題解決思考がみにつく。 また、予習復習において授業での事例について再度検討することにより看護過程が理解できる。
オフィスアワー	平日昼休憩（12:45～13:30）に研究室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	看護過程とは	掛谷
第２回	看護過程と看護理論	掛谷
第３回	成長発達段階・健康レベルのアセスメント	掛谷・澤田
第４回	情報収集と分析	掛谷・澤田
第５回	情報の統合と看護上の問題	掛谷・澤田
第６回	看護診断	掛谷・澤田
第７回	看護計画と実施・評価	掛谷・澤田
第８回	看護過程のまとめ/試験	掛谷・澤田
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	茂野香おる　他	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１	志自岐康子　ほか編	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎ゼミナールⅠ（スタディスキル）	担当者	澤田　和子、高尾　茂子、竹﨑　和子、一ノ瀬　公美、赤在　あゆみ
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-205

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 大学で看護学を学ぶ基本的知識・スキルを理解する。
授業概要	・大学生として主体的学習活動に不可欠な基本的スタディ・スキルを習得し、さらに看護学を履修する学修内容を理解する。 ・グループワークを通じて、コミュニケーション・チームワーク能力、論理的思考を培う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	授業態度30%　課題レポート30%　試験40%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートはコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することに心がける。 グループワーク時は、積極的に参加する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師・看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かした講義を行い学生の理解を深める授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている内容について自己学習する。（120分） 復習：出された課題は必ず次回の授業まで準備して提出する。授業内容の振り返りを行い、ノートに纏めておく（120分）
オフィスアワー	金曜日　12：30～13：30　6号館6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	ノートのとり方・情報リテラシー	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第３回	文章の読み方・まとめ方	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第４回	プレゼンテーション・スキル	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第５回	レポートの書き方	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第６回	ディスカッション・スキル	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第７回	プレゼンテーション（発表）	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第８回	まとめ・試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		

第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	看護学生のためのよくわかる大学での学び方	教・出版社名１	金芳堂
教・著者名１	前原澄子・遠藤俊子	教・ＩＳＢＮ１	978－4－7653－1768－9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎ゼミナールⅡ（コミュニケーションスキル）	担当者	澤田　和子、高尾　茂子、竹﨑　和子、一ノ瀬　公美、赤在　あゆみ
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-206

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 大学で看護学を学ぶ基本的知識・スキルを理解する。
授業概要	・大学生として主体的学習活動に不可欠な基本的スタディ・スキルを習得し、さらに看護学を履修する学修内容を理解する。 ・グループワークを通じて、コミュニケーション・チームワーク能力、論理的思考能力を培う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	授業態度30%　課題レポート30%　試験40%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートはコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することに心がける。 グループワーク時は、積極的に参加する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師・看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かした講義を行い学生の理解を深める授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている内容について自己学習する。（120分） 復習：出された課題は必ず次回の授業までに準備して提出する。授業内容の振り返りを行い、ノートに纏めておく。（120分）
オフィスアワー	金曜日　12：30～13：30　6号館6404研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護学の学び方	竹﨑
第２回	対人関係スキル	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第３回	ストレス対処スキル	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第４回	効果的な学び方	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第５回	看護と倫理的感受性	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第６回	看護キャリア・デザイン	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第７回	プレゼンテーション（発表）	竹﨑・赤在・高尾・澤田・一ノ瀬
第８回	まとめ・試験	竹﨑
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	看護学生のためのよくわかる大学での学び方	教・出版社名１	金芳堂
教・著者名１	前原澄子・遠藤俊子	教・ＩＳＢＮ１	978－4－7653－1768－9
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護技術概論			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-207		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉 看護技術とは何か、看護技術を提供することを踏まえ基盤となる要素を学習する。 看護技術を習得する意義を理解することで看護技術習得のための動機づけとする。 〈到達目標〉 1. 看護技術の構成要素を理解する 2. 看護実践に必要な基本技術を理解する。 3. コミュニケーションの具体的方法を説明できる。 4. 感染予防の基本である手指衛生が実践できる。
授業概要	看護技術を実施するにあたり、基盤となる要素を理解しなければならない。それらの要素について講義する。 また、看護技術を実施する上で必要となる基本的な看護技術の一つである「コミュニケーション」や「安全・安楽」について学習し、看護技術習得のための動機づけとする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（80%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業において教科書の該当ページを熟読しておく 復習：授業終了後に、授業内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	看護技術の基盤：看護技術を修得する意義	掛谷・澤田
第２回	看護技術における「安全」「安楽」	澤田・掛谷
第３回	看護におけるコミュニケーションの意義・方法	掛谷・澤田
第４回	スタンダードプリコーション	掛谷・澤田
第５回	感染予防（標準予防策・手指衛生）	澤田・掛谷
第６回	感染予防（滅菌物の取り扱い・ガウンテクニック）	掛谷・澤田
第７回	看護判断と適切な看護の提供	澤田・掛谷
第８回	単位認定試験　・　まとめ	澤田・掛谷
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		

第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学[2]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	茂野　香おる	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04211-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅰ（環境・活動・休息の援助）（Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1．環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 （自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメーキング） 2．ボディメカニクスの基本原理を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 （安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解） 3．対象に応じた方法の選択と実施ができる。 （体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移動・移送）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書いて提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	療養生活の環境	澤田・掛谷
第２回	病室の環境のアセスメント	澤田・掛谷
第３回	ベッド周囲の環境整備、病床を整える	澤田・掛谷
第４回	ベッドメイキング	澤田・掛谷

第５回	ベッドメイキング（総合演習）		澤田・掛谷
第６回	ベッドメイキング実技試験		澤田・掛谷
第７回	基本的活動の基礎知識		澤田・掛谷
第８回	よい姿勢・体位・ボディメカニクス		澤田・掛谷
第９回	体位変換		澤田・掛谷
第１０回	移動①ベッド上における移動		澤田・掛谷
第１１回	移動②車椅子		澤田・掛谷
第１２回	移動③ストレッチャー・杖他		澤田・掛谷
第１３回	車椅子実技試験		澤田・掛谷
第１４回	苦痛の緩和・安楽確保の技術		澤田・掛谷
第１５回	罨法		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学[３]　基礎看護技術Ⅱ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅰ（環境・活動・休息の援助）（Ｂクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1．環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 （自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメーキング） 2．ボディメカニクスの基本原理を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 （安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解） 3．対象に応じた方法の選択と実施ができる。 （体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移動・移送）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書いて提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	療養生活の環境	澤田・掛谷
第２回	病室の環境のアセスメント	澤田・掛谷
第３回	ベッド周囲の環境整備、病床を整える	澤田・掛谷
第４回	ベッドメイキング	澤田・掛谷

第５回	ベッドメイキング（総合演習）		澤田・掛谷
第６回	ベッドメイキング実技試験		澤田・掛谷
第７回	基本的活動の基礎知識		澤田・掛谷
第８回	よい姿勢・体位・ボディメカニクス		澤田・掛谷
第９回	体位変換		澤田・掛谷
第１０回	移動①ベッド上における移動		澤田・掛谷
第１１回	移動②車椅子		澤田・掛谷
第１２回	移動③ストレッチャー・杖他		澤田・掛谷
第１３回	車椅子実技試験		澤田・掛谷
第１４回	苦痛の緩和・安楽確保の技術		澤田・掛谷
第１５回	罨法		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学[３]　基礎看護技術Ⅱ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅱ(清潔・衣生活の援助)　(Aクラス)	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人が生きていくための基本となるものが「衣・食・住」である。衣生活を整えることは皮膚を清潔に保ち、外界との防御機能を果たしている。人は本来自分の力で自分なりに清潔を保ち、衣生活調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 衣生活を整える必要性を理解できる。 2. 清潔援助の効果と全身への影響を考え患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。（清拭、足浴、部分浴、洗髪、口腔ケア）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する清潔・衣生活についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 教科書内のわからない言葉などを調べておく。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	澤田・掛谷
第２回	感染予防	澤田・掛谷
第３回	衣生活：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第４回	寝衣交換	澤田・掛谷
第５回	身体の清潔：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第６回	洗髪（洗髪車）	澤田・掛谷
第７回	洗髪（ケリーパッド）	澤田・掛谷
第８回	入浴の意義・目的	澤田・掛谷

第９回	清拭		澤田・掛谷
第１０回	部分浴		澤田・掛谷
第１１回	足浴		澤田・掛谷
第１２回	口腔ケア		澤田・掛谷
第１３回	陰部ケア		澤田・掛谷
第１４回	実技試験（足浴）		澤田・掛谷
第１５回	援助技術のまとめ		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田・掛谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅱ(清潔・衣生活の援助)　(Bクラス)	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-209

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人が生きていくための基本となるものが「衣・食・住」である。衣生活を整えることは皮膚を清潔に保ち、外界との防御機能を果たしている。人は本来自分の力で自分なりに清潔を保ち、衣生活調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 衣生活を整える必要性を理解できる。 2. 清潔援助の効果と全身への影響を考え患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。（清拭、足浴、部分浴、洗髪、口腔ケア）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する清潔・衣生活についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 教科書内のわからない言葉などを調べておく。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	澤田・掛谷
第２回	感染予防	澤田・掛谷
第３回	衣生活：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第４回	寝衣交換	澤田・掛谷
第５回	身体の清潔：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第６回	洗髪（洗髪車）	澤田・掛谷
第７回	洗髪（ケリーパッド）	澤田・掛谷
第８回	入浴の意義・目的	澤田・掛谷

第９回	清拭		澤田・掛谷
第１０回	部分浴		澤田・掛谷
第１１回	足浴		澤田・掛谷
第１２回	口腔ケア		澤田・掛谷
第１３回	陰部ケア		澤田・掛谷
第１４回	実技試験（足浴）		澤田・掛谷
第１５回	援助技術のまとめ		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田・掛谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅲ(食事・排泄の援助)　(Aクラス)	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-210

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習

年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 ＜到達目標＞ 1．個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 2．対象者に適切な援助を提供できる基礎看護技術（食事の援助・排泄の援助・創傷の管理）を習得できる。
授業概要	人の健康問題を解決に導くために、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。また、各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が必要となることを理解し、食事の援助、排泄の援助について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	食事援助技術	澤田・掛谷
第２回	食事摂取の介助	澤田・掛谷
第３回	摂食・嚥下訓練	澤田・掛谷
第４回	非経口的栄養摂取の援助の基礎知識	澤田・掛谷
第５回	経管栄養法	澤田・掛谷
第６回	排泄援助技術	澤田・掛谷
第７回	自然排尿・排便の介助	澤田・掛谷
第８回	導尿	澤田・掛谷
第９回	排便を促す援助	澤田・掛谷
第１０回	創傷管理技術	澤田・掛谷
第１１回	創傷管理技術（包帯法）	澤田・掛谷

第１２回	施設見学：病院見学	澤田・掛谷	
第１３回	終末期患者の理解	澤田・掛谷	
第１４回	死の看取りの援助	澤田・掛谷	
第１５回	まとめ	澤田・掛谷	
第１６回	単位認定試験	澤田・掛谷	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助技術Ⅲ(食事・排泄の援助)　(Bクラス)	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-210

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習

年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 ＜到達目標＞ 1．個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 2．対象者に適切な援助を提供できる基礎看護技術（食事の援助・排泄の援助・創傷の管理）を習得できる。
授業概要	人の健康問題を解決に導くために、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。また、各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が必要となることを理解し、食事の援助、排泄の援助について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	食事援助技術	澤田・掛谷
第２回	食事摂取の介助	澤田・掛谷
第３回	摂食・嚥下訓練	澤田・掛谷
第４回	非経口的栄養摂取の援助の基礎知識	澤田・掛谷
第５回	経管栄養法	澤田・掛谷
第６回	排泄援助技術	澤田・掛谷
第７回	自然排尿・排便の介助	澤田・掛谷
第８回	導尿	澤田・掛谷
第９回	排便を促す援助	澤田・掛谷
第１０回	創傷管理技術	澤田・掛谷
第１１回	創傷管理技術（包帯法）	澤田・掛谷

第１２回	施設見学：病院見学	澤田・掛谷	
第１３回	終末期患者の理解	澤田・掛谷	
第１４回	死の看取りの援助	澤田・掛谷	
第１５回	まとめ	澤田・掛谷	
第１６回	単位認定試験	澤田・掛谷	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ヘルスアセスメント （Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、竹﨑　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-211

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	バイタルサインの観察およびフジカルアセスメント技術を中心に学ぶ。看護の対象のかかえる身体問題はさまざまである。生命の危機に直面して苦しんでいる場合もあれば、慢性疾患がうまく管理できない場合や回復後に後遺症で苦しむ場合、治療の副作用で悩む場合もある。どのような場合であっても、看護師として患者の状態を観察し、必要な援助を提供しなければならない。そのために、バイタルサインの観察とフィジカルアセスメント技術は不可欠なものである。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。演習は身なりを整え、手洗いを済ませてから臨むこと。 学内演習前は実施する援助技術のポイントを学習し、演習後は実施した援助技術の内容の振り返りを行う。それにより看護技術の習得につながる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと 復習・授業・演習終了後に、授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ヘルスアセスメントとは	掛谷・澤田
第２回	バイタルサインとは	掛谷・澤田
第３回	バイタルサインの観察(体温)	掛谷・澤田
第４回	バイタルサインの観察(脈拍)	掛谷・澤田
第５回	バイタルサインの観察(呼吸)	掛谷・澤田
第６回	バイタルサインの観察(血圧)	掛谷・澤田
第７回	バイタルサインの観察(意識)	掛谷・澤田
第８回	臥床患者に対するバイタルサインの観察	掛谷・澤田
第９回	個別技術確認（血圧測定）	掛谷・澤田・竹﨑
第１０回	フィジカルアセスメントの基本技術	掛谷・澤田
第１１回	呼吸器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田
第１２回	循環器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田

第１３回	腹部のフィジカルアセスメント		掛谷・澤田
第１４回	身体計測		掛谷・澤田
第１５回	心理・社会的側面のアセスメント		掛谷・澤田
第１６回	単位認定試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ヘルスアセスメント （Bクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、竹﨑　和子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年	ナンバリング	HS-NU-1-211

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	バイタルサインの観察およびフジカルアセスメント技術を中心に学ぶ。看護の対象のかかえる身体問題はさまざまである。生命の危機に直面して苦しんでいる場合もあれば、慢性疾患がうまく管理できない場合や回復後に後遺症で苦しむ場合、治療の副作用で悩む場合もある。どのような場合であっても、看護師として患者の状態を観察し、必要な援助を提供しなければならない。そのために、バイタルサインの観察とフィジカルアセスメント技術は不可欠なものである。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。演習は身なりを整え、手洗いを済ませてから臨むこと。 学内演習前は実施する援助技術のポイントを学習し、演習後は実施した援助技術の内容の振り返りを行う。それにより看護技術の習得につながる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと 復習・授業・演習終了後に、授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ヘルスアセスメントとは	掛谷・澤田
第２回	バイタルサインとは	掛谷・澤田
第３回	バイタルサインの観察(体温)	掛谷・澤田
第４回	バイタルサインの観察(脈拍)	掛谷・澤田
第５回	バイタルサインの観察(呼吸)	掛谷・澤田
第６回	バイタルサインの観察(血圧)	掛谷・澤田
第７回	バイタルサインの観察(意識)	掛谷・澤田
第８回	臥床患者に対するバイタルサインの観察	掛谷・澤田
第９回	個別技術確認（血圧測定）	掛谷・澤田・竹﨑
第１０回	フィジカルアセスメントの基本技術	掛谷・澤田
第１１回	呼吸器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田
第１２回	循環器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田

第１３回	腹部のフィジカルアセスメント		掛谷・澤田
第１４回	身体計測		掛谷・澤田
第１５回	心理・社会的側面のアセスメント		掛谷・澤田
第１６回	単位認定試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域看護学概論			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	HS-NU-1-214		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：地域看護の理念・目的、対象、活動方法の特性について基本的な理解を得る。 到達目標：学生が、地域看護学の理念や目的を知り、地域看護活動の場(行政・産業・学校・在宅)において、身体・心・生活・環境の4つをマネジメントすることにより人間の治癒力・健康力を高める看護活動の特性が理解できる。さらに、健康問題について、個人・家族・集団・組織・地域を対象に展開する看護活動の根拠や特性が理解できる。
授業概要	地域看護学は看護職に必要不可欠な学問である。地域看護学概論では、地域で生活する住民の健康づくりの基本的内容を理解する。 具体的には、地域看護学の理念・歴史・特性　地域の健康問題について理解する。 また、地域で暮らす住民を対象とした健康問題へ関わる公衆衛生看護・産業保健・在宅看護・学校保健の役割や活動特性を理解する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ講義を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	評価方法 　最終試験80点、レポート20点、で評価を行う。 自分自身や家族の健康に関心を持ち，健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については講義内で全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	これまでに学んだ専門基礎科目の復習を行い、保健福祉医療に関するニュースに関心を持ち講義に参加すること。 また、自らの健康に関心をもち、健康レベルの向上に向けた取り組みが実践できること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	講義：地域看護学の理念	横溝
第２回	講義：公衆衛生看護の歴史	横溝
第３回	講義：産業保健・学校保健	横溝
第４回	講義：在宅医療の必要性と役割	横溝・高尾
第５回	GW・フィールドワーク：公衆衛生看護活動	横溝
第６回	GW・フィールドワーク：公衆衛生看護活動	横溝
第７回	講義・プレゼンテーション：保健福祉対策と事業計画	横溝・高尾
第８回	講義・プレゼンテーション：ヘルスケアチーム、最終試験	横溝
第９回		

第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座　公衆衛生看護学概論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる	参・出版社名１	medic media
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育原論			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる ２．代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する ３．近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する ４．家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する ５．上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の意見を持つ
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画	担当者

第１回	教育の基礎概念	倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同 体による教育	倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想	倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想	倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育	倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育	倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育	倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立	倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開	倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相	倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育	倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育	倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育	倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育	倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教育原論			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．学生は教育の基本概念を理解し、適切に用いることができる ２．学生は代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解し、説明できる ３．学生は近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解し、説明できる ４．学生は家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解し、説明できる ５．学生は上記の学習を通じて教育の本質について考察し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の考えを表現できる
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画	担当者

第１回	教育の基礎概念		倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同体による教育		倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想		倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想		倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育		倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育		倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育		倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立		倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開		倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相		倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育		倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育		倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育		倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育		倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて		倉知典弘
第１６回	筆記試験		倉知典弘
教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教職論			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-904		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上
第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上

第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職論			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-904		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上
第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上

第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	担当者	小林　朝雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-911

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	教育の方法と技術について、諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術を学ぶとともに、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や児童生徒に情報活用能力を育成する基礎的な知識や技能を身に付ける。具体的には次のとおりである。 １　教育の方法と技術について、諸概念や理論を学び基礎的な指導法を身に付けるとともに、学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ２　個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性を理解している。 ３　情報通信技術を活用した指導法を身に付けている。 ４　特別な支援を必要とする児童生徒への、情報通信技術活用の必要性と留意点を理解している。 ５　学校における情報セキュリティの重要性について理解している。
授業概要	本講義では、教育の方法と技術にかかわる諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術について学ぶとともに、情報通信技術の効果的な活用法を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。また、各教科におけるＩＣＴ活用や情報モラルに関する授業について、受講者が具体的な授業を構想（指導案作成）し分担して模擬授業を行うとともに、タブレット端末等を活用した模擬授業を体験する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	模擬授業、指導案（30%）、授業への参加態度（20%）、単位認定試験（50%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中のフィードバックや指導案等は個別にも行う。
履修条件・注意事項	「中学校学習指導要領」または「高等学校学習指導要領」のどちらか（免許状取得を目指す方）と、「教育の方法と技術」を使用するので毎回持参する。その他については、必要に応じて関係資料を配付する。ノートは必ず作成し、配付資料も整理しておくこと。毎回の講義の予習、復習を行ってほしい。なお、模擬授業の際は作成した指導案を印刷し、全員分、配付すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この教科は、中学校教員、岡山県総合教育センター情報教育部指導主事としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	情報機器を活用した学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう教材研究に取り組んでいただきたい。予習・復習が２時間程度必要。
オフィスアワー	毎授業終了時に教室にて実施

	授業計画	担当者
第１回	教育の方法と技術とは	小林
第２回	教育方法の理論と歴史（GIGAスクール構想を含む）	小林
第３回	カリキュラムの位置付け（教科等の目標、指導内容、授業時数、年間指導計画の概要）	小林
第４回	授業における教師の役割と指導技術①（教材研究と授業での教師の役割）	小林
第５回	授業における教師の役割と指導技術②（児童生徒の主体性を引き出す指導）	小林
第６回	情報通信技術を効果的に活用したオンライン教育や校務推進の在り方	小林
第７回	情報通信技術を活用した学習指導（デジタル教材の作成・利用、特別支援）	小林
第８回	各教科におけるICTを活用した模擬授業の構想（指導案作成、実物投影機、PCの活用）	小林
第９回	各教科におけるICTを活用した模擬授業の発表と評価（発表：前半グループ）	小林

第１０回	各教科におけるICTを活用した模擬授業の発表と評価（発表：後半グループ）	小林
第１１回	各教科におけるタブレット端末を活用した模擬授業の実施	小林
第１２回	情報モラルに関する授業構成（情報モラルの目標、指導法、教材等）	小林
第１３回	教育における評価（授業評価と学習評価）	小林
第１４回	学校における情報セキュリティの重要性について	小林
第１５回	授業の振り返りとまとめ	小林
第１６回	単位認定試験	小林

教科書			
教・書籍名１	中学校学習指導要領	教・出版社名１	東洋館出版
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	104827815402
教・書籍名２	高等学校学習指導要領	教・出版社名2	東山書房
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8278-1567-2

参考書			
参・書籍名１	教育の情報化に関する手引き	参・出版社名１	製本版はなし。下記ページで公開。https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育相談の基礎			担当者	津川　秀夫		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-913		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する
授業概要	学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意（私語、居眠り、スマートフォンの使用等）が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点（80%）、授業への参加態度（20%）にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストや課題レポートについて授業においてフィードバックする。
履修条件・注意事項	教職科目を履修することを自覚し「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。
実務経験のある教員	該当する　内容：精神科クリニックでの心理臨床活動、小・中・高でのスクールカウンセリング、教育センターでの教育相談などの経験を踏まえて当該授業について講義する。
事前学習・事後学習とその時間	できるだけ早い時期に指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。
オフィスアワー	月曜日4時限、個人研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	津川秀夫
第２回	児童生徒の発達の多様性	津川秀夫
第３回	児童生徒の発達の多様性：知的能力障害	津川秀夫
第４回	児童生徒の発達の多様性：自閉スペクトラム症	津川秀夫
第５回	児童生徒の発達の多様性：限局性学習症	津川秀夫
第６回	児童生徒の発達の多様性：注意欠如多動症	津川秀夫
第７回	問題行動の見立てと介入：行動随伴性	津川秀夫
第８回	問題行動の見立てと介入：強化、弱化、消去	津川秀夫
第９回	問題行動の見立てと介入：行動の機能	津川秀夫
第１０回	問題行動の見立てと介入：不登校	津川秀夫
第１１回	知能検査：種類と活用法	津川秀夫
第１２回	知能検査：検査の実際	津川秀夫
第１３回	ポジティブ行動の促進：事例	津川秀夫
第１４回	ポジティブ行動の促進：肯定的感情の拡張―形成理論	津川秀夫

第１５回	ポジティブ行動の促進：PBIS		津川秀夫
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	メリットの法則	教・出版社名１	集英社
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生徒指導提要	参・出版社名１	教育図書
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	よくわかる教育相談	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育相談の基礎			担当者	津川　秀夫		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年			ナンバリング	TC-NU-1-913		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する
授業概要	学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意（私語、居眠り、スマートフォンの使用等）が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点（80%）、授業への参加態度（20%）にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストや課題レポートについて授業においてフィードバックする。
履修条件・注意事項	教職科目を履修することを自覚し「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。
実務経験のある教員	該当する　内容　精神科クリニックでの心理臨床活動、小・中・高でのスクールカウンセリング、教育センターでの教育相談などの経験を踏まえて当該授業について講義する。
事前学習・事後学習とその時間	できるだけ早い時期に指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。
オフィスアワー	月曜日4時限、個人研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	津川秀夫
第２回	児童生徒の発達の多様性	津川秀夫
第３回	児童生徒の発達の多様性：知的能力障害	津川秀夫
第４回	児童生徒の発達の多様性：自閉スペクトラム症	津川秀夫
第５回	児童生徒の発達の多様性：限局性学習症	津川秀夫
第６回	児童生徒の発達の多様性：注意欠如多動症	津川秀夫
第７回	問題行動の見立てと介入：行動随伴性	津川秀夫
第８回	問題行動の見立てと介入：強化、弱化、消去	津川秀夫
第９回	問題行動の見立てと介入：行動の機能	津川秀夫
第１０回	問題行動の見立てと介入：不登校	津川秀夫
第１１回	知能検査：種類と活用法	津川秀夫
第１２回	知能検査：検査の実際	津川秀夫
第１３回	ポジティブ行動の促進：事例	津川秀夫
第１４回	ポジティブ行動の促進：肯定的感情の拡張―形成理論	津川秀夫

第１５回	ポジティブ行動の促進：PBIS		津川秀夫
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	メリットの法則	教・出版社名１	集英社
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生徒指導提要	参・出版社名１	教育図書
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	よくわかる教育相談	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

保健医療福祉学部
看護学科

2019～2021 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	地域学概論 看護				担当者	中嶋　貴子、高尾　茂子		
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年				ナンバリング	GE-KE-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	15時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜4限		
ディプロマポリシー対応項目								
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目		
ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 							
到達目標	＜前半＞ 本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置付けられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるかを考え、チャレンジする態度を涵養できる。 ＜後半＞ 「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学びます。 到達目標は下記の通りです。 ・地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる ・SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる ・SDGsの各目標を自分事として捉えることができる ・SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる							
授業概要	＜前半＞ 順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み（歴史）を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創成に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。 ＜後半＞ 2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。<br　授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグ							

	ループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	＜前半＞毎回授業時提出のレポート評価（70%）、第8回に行う学修成果確認レポート作成の評価（30%）により、総合的に評価する。 ＜後半＞グループでの活動及び発表を評価する（50%）。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する（50%）。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたパーソナルポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う
履修条件・注意事項	＜前半＞ 地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。 ＜後半＞ １）初回の授業には、必ず出席すること ２）合同授業日と各学科授業日があるので注意すること ３）学科別授業では、理学療法学科と作業療法学科との合同でグループワークを行うことから授業を欠席しないこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：＜前半＞行政保健師30年 ＜後半＞該当しない
事前学習・事後学習とその時間	＜前半＞ 1)　事前にユニバを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回事前学修を行い授業に参加すること。 2)　授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回事後学修を行うこと。 ＜後半＞ ユニバーサルパスポートで配付する資料を基に事前学習をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	＜前半＞６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。 ＜後半＞6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目（教授会がある日を除く）をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　地域創成とは何か　意義と授業計画	大西正泰（経営社会学科） 高尾茂子
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史	順正学園専務理事 高尾茂子
第３回	高梁市の歴史、文化、政策課題、今後の方向性	外部講師　高尾茂子
第４回	高梁基督教会堂をめぐる歴史と人物	外部講師　高尾茂子
第５回	「未来につなぐ図書館」としての活動	外部講師　高尾茂子
第６回	宇治地域住民総動のまちづくり	外部講師　高尾茂子
第７回	日本遺産「備中吹屋」	外部講師　高尾茂子
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学習成果振り返りレポート作成	高尾茂子
第９回	SDGsとは何か－なぜ学ぶのか（オリエンテーションを含む）	井勝久喜、中嶋貴子
第１０回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜、中嶋貴子
第１１回	SDGsが目指している世界	井勝久喜、中嶋貴子
第１２回	SDGsの17の目標	井勝久喜、中嶋貴子
第１３回	当事者体験発表、 グループワーク（課題発掘）	外部講師、中嶋貴子
第１４回	グループワーク（生活課題の検討）	外部講師、中嶋貴子
第１５回	グループワーク（社会システム構築の検討）	中嶋貴子
第１６回	レポート試験	中嶋貴子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域貢献ボランティア 看護	担当者	高尾　茂子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：多様な社会課題に関する知識を習得するための情報収集を行い、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標 ①現代社会が抱える多様な課題を医学、看護学、社会学等々の視点から分析できるようになる。 ②課題解決に必要な理論、手法を修得する。 ③地域課題やSDGｓ目標との接点から、社会が抱える多様な課題を「我がこと」として捉えることができるようになる。 ④グループ演習活動を通して、多様な考え方やそれぞれの考え方の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身につく。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGｓ概論、グローバルスタディーズ入門）で学んだ各地域の現状、課題、SDGｓに関する目標・課題について、それぞれ解決策を模索することで、社会に積極的に貢献しようとしようとする心や姿勢を養うことを到達目標とする。 具体的には、グループごとに課題とするテーマを設定し、テーマに沿った情報を調べ、どのような方法であれば課題に対する解決が可能か検討を行う。 以上の能動的学習経験を通じて、課題解決のために必要な一連のプロセスを修得する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）、ポートフォリオ（40%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う。 ポートフォリオは各自保管し、復習のために活用すること。
履修条件・注意事項	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心を持ち、授業と関連付けて考えること。 配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること。
実務経験のある教員	該当する　　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会が多くある。その準備のために一定の予習・復習時間を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション　研究倫理に基づく活動	高尾茂子
第２回	演習グループ　チームビルディング	高尾茂子
第３回	課題解決フレームワーク（なぜなぜ分析）	高尾茂子
第４回	データで知る社会　課題1	高尾茂子

第５回	データで知る社会　課題２		高尾茂子
第６回	データで知る社会　課題解決ワーク		高尾茂子
第７回	データで知る社会　成果発表		高尾茂子
第８回	保健医療福祉分野１　課題１		高尾茂子
第９回	保健医療福祉分野１　課題２		高尾茂子
第１０回	保健医療福祉分野１　課題解決ワーク		高尾茂子
第１１回	保健医療福祉分野１　成果発表		高尾茂子
第１２回	保健医療福祉分野２　課題１		高尾茂子
第１３回	保健医療福祉分野２　課題２		高尾茂子
第１４回	保健医療福祉分野２　課題解決ワーク		高尾茂子
第１５回	保健医療福祉分野２　成果発表		高尾茂子
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ		高尾茂子
教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 看護	担当者	澤田　和子、高尾　茂子、森信　繁、福岡　美和、一ノ瀬　公美、門倉　康恵、赤在　あゆみ、赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけであり、人生そのものといえる。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考え行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要である。そのために、社会が求める人間像について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが重要である。 【到達目標】 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成される。合同授業では、キャラとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康や、一般的学力(自己理解)について講義や演習を行う。 授業全体を通して「自分を知る」「社会を知る」「生き方を考える(大学生活を含む)」「働き方を考える」というテーマで構成される。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動と発言(30%)、課題及びレポート(40%)、基礎学習(kiuiドリル)実施状況(30%)で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやレポートの記入内容にについては、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するのでファイリングし整理する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師による、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を実施する。 また、学科別授業において看護師・保健師の経験からの講義を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	配布される資料を読み、自身のキャリアについて考える。専門用語は事前に調べておき、授業後に振り返ることで身についていく。
オフィスアワー	平日昼休憩(12:40～13:30)に、研究室にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、キャリアとは何か	藤原

第２回	自分を知る・社会を知る：適性検査	外部講師（マイナビ）
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原・一ノ瀬
第５回	自分を知る：基礎学力確認(1回目)、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	専門職になるとは(国家試験の意味)	外部講師（吉川）・澤田
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター））
第８回	専門性の理解(看護師)	一ノ瀬
第９回	専門性の理解(保健師)	高尾
第１０回	専門性の理解（助産師）	福岡
第１１回	専門職の理解（認定看護師）	門倉
第１２回	専門職の理解（養護教諭・高校教諭）	赤澤
第１３回	多職種連携	赤在
第１４回	自分を知る：基礎学力確認(2回目)、将来に向けて	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	澤田
第１６回	レポート課題(キャリアデザインノートの提出)	澤田

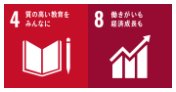
教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ 看護	担当者	安福　真弓、高尾　茂子、福岡　美和、飯田　尚美、赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会3年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も 
到達目標	テーマ：社会人として必要なマナーを理解し、就職活動に勝つための必要なスキルを身につけ、「なりたい姿」を実現する。 目標：①就職活動の流れを理解し、必要な技術を身につける。 ②社会や就職活動で必要な会話術を学び、日常から使えるようになる。 ③面接、グループディスカッションの場面でも自己表現が実践できる。
授業概要	初日と最終日以外は合同授業であり、社会人として、就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	毎回提出レポート(30%)、最終レポート(50%)、授業態度(20%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたパーソナルポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②合同授業と各学科授業日で教室が異なる。 ③授業態度及び毎回提出するレポートが評価の基準となる。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	配布資料、提示する参考書等をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	就職活動準備情報収集タイムマネジメント	マイナビ医　高尾茂子　3年チューター
第２回	病院減見学・インターンシップの必要性	マイナビ医　福岡美和
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ　安福真弓
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ　飯田尚美
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	3マイナビ・ベネッセ　赤澤真旗子
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ　高尾茂子
第７回	職種を学ぶ職業教育	京極真　福岡美和

第８回	社会人に必要なマナー	リクナビ　安福真弓
第９回	SPI（筆記試験）	リクナビ　飯田尚美
第１０回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ医　赤澤真旗子
第１１回	面接対策・GD/集団/個人	ビザビ　飯田尚美
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ　福岡美和
第１３回	３学科共通	京極真　安福真弓
第１４回	３学科共通	京極真　高尾茂子
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退お詫び	マイナビ医　赤澤真旗子
第１６回	試験	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅰ 看護				担当者	安福　真弓、中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年				ナンバリング	GE-IT-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	授業と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30％の重みづけで評価する。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。なお、評価のため実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のため実施した課題などについては、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書・個人所有のパソコンを必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」を実施する。このシート未受験者の履修は認めない。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参

	加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目をオフィスアワー（教授会のある日を除く）とする。

授業計画		担当者
第１回	第1回 オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認）	中嶋・安福
第２回	第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	中嶋
第３回	第3回 デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	中嶋
第４回	第4回 OSとアプリケーション	中嶋
第５回	第5回 ファイルシステム操作	中嶋
第６回	第6回 社外文書の形式の理解とワープロソフトによる作成	安福
第７回	第7回 ワープロソフトによる社外文書の完成	安福
第８回	第8回 表計算ソフト操作	安福
第９回	第9回 表計算ソフトの課題の完成	安福
第１０回	第10回 プレゼンテーションソフト操作	安福
第１１回	第11回 プレゼンテーションソフトによる発表スライドの作成	安福
第１２回	第12回 課題の発表	安福
第１３回	第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	安福
第１４回	第14回 コンピュータによる問題解決	安福
第１５回	第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	安福
第１６回	第16回 単位認定試験	安福・中嶋

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー　入門編　＜改訂版＞　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。

	これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社

教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護A	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	赤羽美鳥
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	赤羽美鳥
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	赤羽美鳥
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	赤羽美鳥
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	赤羽美鳥

第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	赤羽美鳥
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	赤羽美鳥
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	赤羽美鳥
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形	赤羽美鳥
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現	赤羽美鳥
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY	赤羽美鳥
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問	赤羽美鳥
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞	赤羽美鳥
第１５回	春学期の試験	赤羽美鳥
第１６回	春学期の総復習、フィードバック	赤羽美鳥

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護・子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄

第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文		平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形		平見勇雄
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続		平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		平見勇雄
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 看護	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	赤羽美鳥
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	赤羽美鳥
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	赤羽美鳥
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	赤羽美鳥
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	赤羽美鳥

第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	赤羽美鳥
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	赤羽美鳥
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	赤羽美鳥
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	赤羽美鳥
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	赤羽美鳥
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	赤羽美鳥
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	赤羽美鳥
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	赤羽美鳥
第１５回	秋学期の試験	赤羽美鳥
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	赤羽美鳥

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

授業計画	担当者

第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄
第５回	メンバー交代　リンゴスター	平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション	平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー	平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア	平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出	平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況	平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ	平見勇雄
第１３回	世界制覇	平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール	平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画	担当者

第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄
第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」	平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死	平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー	平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行	平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム	平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト	平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー	平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン	平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー	平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次

第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次

第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次

第７回	否定形		加藤健次
第８回	命令形		加藤健次
第９回	疑問形		加藤健次
第１０回	副詞		加藤健次
第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次

第７回	関係代名詞		加藤健次
第８回	過去分詞		加藤健次
第９回	直説法複合過去		加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順		加藤健次
第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二

第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二

第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文		清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞		清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター！ はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Iとドイツ語IIを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 0　自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0　挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二

第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語	清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形	清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学	清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞	清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇	清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化	清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情	清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現	清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二

第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二
第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ	清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順	清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情	清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞	清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ	清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法	清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ	清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式	清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習	孫基然

	4、鼻音の発声練習	
第４回	1、発音の復習 2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、助動詞「会」と「能」 ２、選択疑問文	孫基然
第２回	１、助動詞「想」 ２、反復疑問文	孫基然
第３回	１、経験表現	孫基然

	2、連動文	
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「対」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「毎……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然

第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然
第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然

第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然
第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子

第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子
第８回	日本文学史（５）-近代文学	雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学	雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）	雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）	雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）	雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品	雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）	雲津 英子
第１５回	まとめ	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とそ	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館など

の時間	に鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	2 号館 6 階の前嶋研究室において、毎週月曜日 5 時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞

第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞
第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞
第１５回	まとめ	國佐　栞
第１６回	試験	國佐　栞

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

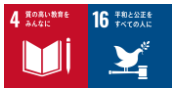
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞

第１５回	バレーボール	國佐　栞	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本

第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本

第１３回	暇と退屈の倫理学	山本	
第１４回	スピノザ	山本	
第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

	授業計画	担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居

第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

授業計画		担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文

第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文
第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分	生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売	生駒正文
第１６回	（１６）定期試験	生駒正文

教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

授業計画	担当者

第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂

第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。5.国家による管理	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚の経済的原因。4.非婚の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力をうしなったか	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わり。5.日本経済の没落	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に役30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子

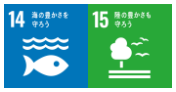
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子
第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

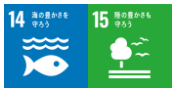
授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二

第１５回	地球環境問題と人類		末吉秀二
第１６回	試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会スポーツ概論	担当者	高藤　順
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社4年	ナンバリング	SS-SM-4-105

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	学生が、「社会スポーツの概念」及び「社会制度としての社会スポーツの実態」をテーマとし、それらについて地域のスポーツ指導者になるために必要な知識を習得するとともに、指導者としての能力をスポーツ指導現場において発揮できる。
授業概要	現在スポーツは、特に先進諸国においては人々の社会生活の一部となり、きわめて高度に整備され機能している。しかしながら、学校体育や企業スポーツを中心にスポーツが普及・発展してきたわが国の社会スポーツは、1993年日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）開幕以降、文部科学省や日本体育協会、スポーツ競技団体を中心にようやく発展しつつある現状である。また、バブル経済の崩壊、リーマンショック以降、企業クラブが休・廃部が増加する一方、地域・市民を中心とした総合型地域スポーツクラブも増加傾向にある。本講義では、スポーツと社会に関わる様々なしくみや課題及び今後の展望を解説する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	単位認定試験（40%）中間レポート（30%）毎回授業終了後のプレゼンテーション（20%）受講姿勢（10%）評価の詳細については、第1回目の授業において説明する。なお、評価のために実施した小レポートは、授業でフィードバックするので単位認定試験までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義終了後の小レポートを通して、次回の講義導入時にポイントをフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後の小レポート内容とともに自分なりの考察を毎回授業後、ノートにまとめておくこと。授業に対する取り組みについては、厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業終了後、毎回2時間程度授業内容を必ず復習し、次回のテーマについて予習すること。
オフィスアワー	個人研究室（9405）にて、火曜日4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	社会スポーツの概念	高藤
第２回	学校体育との相違点	高藤
第３回	日本における社会スポーツ発展の歴史	高藤
第４回	アメリカにおける社会スポーツ発展の歴史	高藤
第５回	ヨーロッパにおける社会スポーツ発展の歴史	高藤
第６回	日本における社会スポーツの現状	高藤
第７回	社会スポーツ発展のための行政支援	高藤
第８回	社会スポーツ発展のための企業支援	高藤
第９回	FC吉備国際大学シャルムの実践を通した地域貢献活動	高藤
第１０回	地域スポーツクラブ活動の現状と課題	高藤
第１１回	社会スポーツ発展のための地域住民とのタイアップ	高藤
第１２回	民間スポーツクラブの現状と課題	高藤
第１３回	プロスポーツの社会スポーツへの貢献と課題	高藤

第１４回	スポーツを通したまちづくり（地域スポーツクラブ）	高藤	
第１５回	スポーツを通したまちづくり（トップリーグクラブ）	高藤	
第１６回	単位認定試験	高藤	
教科書			
教・書籍名１	スポーツのリスクマネジメント	教・出版社名１	ぎょうせい
教・著者名１	小笠原正・諏訪伸夫　編著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-08838-8
教・書籍名２	スポーツ政策の現代的課題	教・出版社名2	日本評論社
教・著者名2	諏訪伸夫・井上洋一・齋藤健司・出雲輝彦　編	教・ＩＳＢＮ2	978-4-535-59514-0
参考書			
参・書籍名１	使用しない。（プリントを配布する）	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経絡鍼灸学	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年	ナンバリング	SS-SM-2-324

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ： １：経絡とは何かを理解できるようになる。 ２：正しい鍼灸治療を身につけることができる。 到達目標： １：経絡の意義を説明できるようになる。 ２：経絡の走行ルートを理解できるようになる。 ３：鍼の刺し方を身につけることができる。 ４：艾柱の作り方をできるようになる。
授業概要	「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「経絡の意義、走行ルート、鍼の刺し方及び艾柱の作り方をできるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、講義ノート（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において問題提起と討論が可能なようにテキストの指定されたページを熟読してくること。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	２）６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	肺経・大腸経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第２回	胃経・脾経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第３回	心経・小腸経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第４回	腎経・膀胱経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第５回	心包経・三焦経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第６回	胆経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然
第７回	肝経の循行ルート及び取穴基準の設定	孫基然

第８回	鍼灸概説	孫基然
第９回	片手挿管	孫基然
第１０回	鍼に関する一般知識	孫基然
第１１回	鍼治療の適応症	孫基然
第１２回	刺鍼手技法	孫基然
第１３回	灸療法概説	孫基然
第１４回	灸療法の実際	孫基然
第１５回	鍼灸理論	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	適宜プリント資料を配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2019～ 2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮
第１１回	青年期前期	宇都宮
第１２回	青年期後期	宇都宮
第１３回	青年期の病理	宇都宮
第１４回	成人期	宇都宮
第１５回	まとめ	宇都宮
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮

教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年	ナンバリング	PS-CE-2-212

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井
第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井

第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉		森井
第１１回	言語を使った世界の広がり		森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論		森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性		森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育		森井
第１５回	まとめ		森井
第１６回	定期試験		森井
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝
第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝

第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルメディアと社会	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	AN-AN-1-108

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって

バック方法	（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。 復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	解剖学Ⅰ			担当者	吉川　久美子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-101		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	人体の構造を学ぶ「解剖学」は授業科目での専門基礎科目の一つというとらえ方ではなくエビデンスに基づいた看護実践において重要なものである。 「解剖学」をより正しく理解することは臨床での実践能力に大きく影響を与える。「解剖学」は人体を構成する各器官のかたち、構造を学ぶ。 「解剖学」の学びから「生理学「病態生理学」、そして「看護」に繋げる能力を身につける。
授業概要	「疾患」「治療」「看護」「指導」の基礎となる人体の構造を機能と関連付けをしながら授業を行う。 人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」にわけ、その中でそれぞれの位置関係、形状、構造について説明し、 また、神経や血管の走行を各部位に繋げながら関連性を理解する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「解剖学」の理解到達度と応用する能力をはかるための定期試験（記述）の点数と授業中の参加態度により総合評価する。 （定期試験９０％、授業中参加態度１０％）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	定期試験の振り返りを講義内容に盛り込みフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている内容について教科書を読み、また「ワークブック」に解くこと。 また、受講後は板書された内容についてノートにまとめ、理解すること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	「解剖学」学習法オリエンテーション 「解剖学」の学習に必要な基礎知識	吉川久美子
第２回	細胞（核、細胞質、細胞膜）の構造 組織の構造	吉川久美子
第３回	消化器Ⅰ（口、咽頭、食道、胃）の構造	吉川久美子
第４回	消化器Ⅱ（小腸、大腸）の構造	吉川久美子
第５回	消化器Ⅲ（膵臓、肝臓、胆嚢）の構造	吉川久美子
第６回	呼吸器Ⅰ（上気道、下気道）の構造	吉川久美子
第７回	呼吸器Ⅱ（肺、胸膜）の構造	吉川久美子
第８回	血液（赤血球、血小板、白血球）の組成	吉川久美子
第９回	リンパ管の構造	吉川久美子
第１０回	心臓の構造（心臓の位置、心臓の血管系、心臓の神経）	吉川久美子
第１１回	血管の構造Ⅰ（動脈）の構造と走行	吉川久美子
第１２回	血管の構造Ⅱ（静脈、毛細血管）の構造と走行	吉川久美子
第１３回	腎臓Ⅰ（糸球体、ボーマン嚢）の構造	吉川久美子
第１４回	腎臓Ⅱ（尿細管）の構造	吉川久美子

第１５回	排尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造		吉川久美子
第１６回	単位試験		吉川久美子
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　準拠　解剖生理学ワークブック	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	解剖学Ⅱ			担当者	吉川　久美子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-102		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	土曜1限 土曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	人体の構造を学ぶ「解剖学」は授業科目での専門基礎科目の一つというとらえ方ではなくエビデンスに基づいた看護実践において重要なものである。 「解剖学」をより正しく理解することは臨床での実践能力に大きく影響を与える。「解剖学」は人体を構成する各器官のかたち、構造を学ぶ。 「解剖学」の学びから「生理学「病態生理学」、そして「看護」に繋げる能力を身につける。
授業概要	「疾患」「治療」「看護」「指導」の基礎となる人体の構造を機能と関連付けをしながら授業を行う。 人体を各部位別に「頭部」「胸部」「腹部」「上肢・下肢」にわけ、その中でそれぞれの位置関係、形状、構造について説明し、 また、神経や血管の走行を各部位に繋げながら関連性を理解する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	解剖学」の理解到達度と応用する能力をはかるための定期試験（記述）の点数と授業中の参加態度により総合評価する。 （定期試験９０％、授業中参加態度１０％）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	定期試験の振り返りを講義内容に盛り込みフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている内容について教科書を読み、また「ワークブック」に解くこと。 また、授業後は板書された内容についてノートにまとめ、理解すること。
オフィスアワー	授業後、教室内でおこなう。

授業計画		担当者
第１回	内分泌Ⅰ（ホルモンの化学構造、ホルモンの特徴）	吉川久美子
第２回	内分泌Ⅱ各内分泌腺の構造（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、）	吉川久美子
第３回	内分泌Ⅲ各内分泌腺の構造（膵臓、副腎、消化管）	吉川久美子
第４回	骨格系Ⅰ（骨の形態と構造の基礎）	吉川久美子
第５回	骨格系Ⅱ各部位の骨格の構造	吉川久美子
第６回	骨格系Ⅲ各筋肉の構造	吉川久美子
第７回	骨格系Ⅳ各関節の構造	吉川久美子
第８回	神経系の構造Ⅰ中枢神経①	吉川久美子
第９回	神経の構造Ⅱ中枢神経②	吉川久美子
第１０回	神経の構造Ⅲ末梢神経①	吉川久美子
第１１回	神経の構造Ⅳ末梢神経②	吉川久美子
第１２回	感覚器の構造Ⅰ眼の構造、耳の構造、舌の構造	吉川久美子
第１３回	感覚器の構造Ⅱ皮膚の構造、鼻の構造	吉川久美子
第１４回	男性生殖器の構造	吉川久美子
第１５回	女性生殖器の構造	吉川久美子
第１６回	定期試験	吉川久美子

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門基礎講座　解剖生理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座準拠　解剖生理学　ワークブック	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生理学Ⅰ			担当者	水谷　雅年		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-103		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医学の基礎的知識と科学的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学習する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療・看護は、病気 の人に対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解すること はできない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目及び看護系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるも のであり、治療現場でも看護師に求められるものである。 「生理学Ⅰ」では、主に、生命を維持する機能である消化吸収・呼吸と血液・心臓について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（３０％）、最終試験（７０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回授業の復習を兼ねてフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聴く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	生理学を学ぶにあたって	水谷
第２回	人体とはどのようなものか	水谷
第３回	ホメオスタシス、栄養の消化吸収（口腔・咽頭・食道）	水谷
第４回	栄養の消化吸収（胃・小腸）	水谷
第５回	栄養の消化吸収（小腸）	水谷
第６回	栄養の消化吸収（大腸、膵・肝・胆）	水谷
第７回	呼吸（呼吸器・換気）	水谷
第８回	呼吸（呼吸運動・呼吸気量）	水谷

第９回	呼吸と血液（ガスの交換と運搬）		水谷
第１０回	呼吸と血液（呼吸運動の調節・病態生理）		水谷
第１１回	血液（赤血球）		水谷
第１２回	血液（白血球・血小板・血漿・血液凝固・血液型）		水谷
第１３回	循環（心臓の興奮とその伝播）		水谷
第１４回	循環（心電図）		水谷
第１５回	循環（心臓の収縮機能）		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能［１］	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	坂井建雄・岡田隆夫	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03171-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる生理学の基本としくみ	参・出版社名１	秀和システム
参・著者名１	當瀬規嗣	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7980-1222-X
参・書籍名２	解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理	参・出版社名2	羊土社
参・著者名2	岡田隆夫	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7581-2073-9

授業科目名	生理学Ⅱ	担当者	水谷　雅年
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	HS-NU-1-104

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：　からだの働きとしくみを学び、医学の基礎的知識と科学的思考力を習得する。 到達目標：　医学を学ぶ上でのもっとも基礎となる「正常なからだの働きとしくみ」を理解し、生体の生理機能についての知識を身につけることができる。今後4年間で学ぶ医学を理解する上での基礎知識の習得と必要な思考パターンを形成できる。
授業概要	医学の学習は人体の形態と構造を学び、その機能と役割を理解することから始まる。形態と構造は、主に解剖学の領域であるが、生理学では、機能と役割の部分 を学修する。人体は、分化した細胞集団からなる複数の器官により構成されており、それらは系統的な働きをしている。いくつかの系に分かれている働きと、 その調節機構、各系間の相互依存性と協同性を理解する。具体的には、体液・循環・呼吸・消化・代謝・排泄・内分泌などの植物性機能と、筋・神経・感覚な どの動物性機能の基本的な働きと、その神経性・体液性調節のメカニズムを学ぶ。生理学で扱うのは、正常な人体における機能である。医療・看護は、病気 の人に対して行われるものだから、正常な機能など重要ではないと考えるかもしれないが、正常な構造と機能を理解しなければ、病気の成り立ちを理解すること はできない。生理学の講義で得られる知識と、培われる思考パターンは、病理系科目、臨床系科目及び看護系科目を学習するに当たり、必要不可欠な礎となるも のであり、治療現場でも看護師に求められるものである。 「生理学ＩＩ」では、主に、環境に適応する機能である血液循環・体液の調節・内臓機能の調節・筋収縮・情報の受容と処理・生体防御について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業開始前に行う小テストと学期末に行う筆記試験の成績で評価する。授業態度と小テスト（３０％）、最終試験（７０％）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回評価のために実施した小テストの内容は前回授業の復習でフィードバックするのでしっかり理解しておくこと。
履修条件・注意事項	講義中は講義内容を暗記しようと思わず、理解することを心がける。疑問があれば積極的に質問すること。 原則として授業中にノートをとらない。ノートは家で作成すること。毎回プリントを配布するので、第1回目授業からプリントを綴じるファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	その日のうちに、習ったことを復習すること。復習は講義を思い起こしながらプリントと教科書を参考にノートを作成する。その時生理学で学んだ内容を自分の体の中で起こっている現象として理解をすることに努める。後日ノート提出あり。初めて聞く用語などは辞書を引き理解するとともに、基本的な 分類、医学用語などはその都度覚えること。予習は前日に教科書を一読しておくことと、また前回のノートを見て、内容を思い起こし、ミニテストに備えること。なお予習及び復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	血液循環（血圧・血流）	水谷
第２回	血液循環（システムとしての循環）	水谷
第３回	血液循環（血圧・血流量の調節）	水谷
第４回	血液循環（微小循環、病態生理、リンパ）	水谷
第５回	体液の調節（腎臓の濾過機能）	水谷
第６回	体液の調節（腎臓の再吸収と分泌機能）	水谷
第７回	排尿路	水谷

第８回	体液の調節		水谷
第９回	内臓機能の調節（自律神経）		水谷
第１０回	内臓機能の調節（内分泌系による調節）		水谷
第１１回	内臓機能の調節（内分泌腺と内分泌細胞）		水谷
第１２回	内臓機能の調節（ホルモン分泌の調節）		水谷
第１３回	からだの支持と運動（筋の収縮）		水谷
第１４回	情報の受容と処理（神経系）		水谷
第１５回	情報の受容と処理（感覚器）		水谷
第１６回	筆記試験		水谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能［１］	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	坂井建雄・岡田隆夫	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260--03171-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	よくわかる生理学の基本としくみ	参・出版社名１	秀和システム
参・著者名１	當瀬規嗣	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7980-1222-X
参・書籍名２	シンプル生理学	参・出版社名2	南江堂
参・著者名2	貴邑冨久子・根来英雄	参・ＩＳＢＮ2	978-4-524-24733-2

授業科目名	生化学				担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年				ナンバリング	HS-NU-1-105		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について学ぶことができる。また、学生は生命の根源についてＤＮＡ の複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解し、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み等に関して習得することができる。
授業概要	生命現象の基本やその病態を分子レベルで理解するために必要なことがら、つまり生体物質の基本的構造と機能及び物質の変化とそれに起因する諸現象について講義する。 　さらに、生命の根源についてＤＮＡ の複製・転写・翻訳などの分子生物レベルで理解させる。すなわち、人体を構成する成分、生命活動の成り立ち、仕組み、生体構成成分であるタンパク質の再生、個体間・世代間の情報伝達としての遺伝などがその内容である。 　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。　なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝総論・細胞	長町
第２回	糖質	長町
第３回	脂質	長町
第４回	アミノ酸とタンパク質	長町
第５回	核酸とヌクレオチド	長町
第６回	ビタミン	長町
第７回	酵素	長町
第８回	糖質代謝とは	長町
第９回	糖質代謝	長町
第１０回	脂質代謝	長町
第１１回	タンパク質とアミノ酸の代謝	長町
第１２回	核酸・ヌクレオチドの代謝	長町
第１３回	エネルギー代謝の統合と制御	長町
第１４回	遺伝情報とは	長町
第１５回	遺伝情報	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	ナーシング・グラフィカ(2)臨床生化学	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１	宮澤恵二、根元清次他著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-2176-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	薬理学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-107		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、薬物の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について学ぶことができる。学生は、薬物に対する生体の反応についての基礎的知識を習得することができる。すなわち、学生は薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗菌剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬等の作用機序、有害作用、臨床応用等について習得することができる。
授業概要	医薬品の薬理作用についての知識は医療に携わる者にとっては、必須なものである。従って、薬物の最新の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について教授する。さらに、「薬物に対する生体の反応」についての基礎的知識を身につけさせる。薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗生剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、消化性潰瘍治療薬の作用機序と臨床応用、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬、糖尿病治療薬等の長期間投与薬物の作用機序、有害作用、臨床応用について学ぶ。この科目は、医療現場において実務経験のある薬剤師である教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	薬理学の概念・薬理作用	長町
第２回	薬効に影響を及ぼす要因・薬の有害作用	長町
第３回	3.薬の適用・各種製剤と処方箋・処方の実際	長町
第４回	抗生物質各論・合成化学療法薬	長町
第５回	がんの化学療法・免疫抑制薬・消毒薬その他	長町
第６回	交感神経作用薬・副交感神経作用薬その他	長町
第７回	全身麻酔薬・催眠薬・抗精神病薬その他	長町
第８回	抗うつ薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬その他	長町
第９回	アレルギーと抗ヒスタミン薬・炎症と抗炎症薬	長町
第１０回	強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬	長町
第１１回	抗高血圧薬	長町
第１２回	血管拡張薬・利尿薬その他	長町
第１３回	呼吸器系薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳薬他）	長町
第１４回	消化器系薬物（胃・十二指腸潰瘍薬他）	長町
第１５回	物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬他）	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　薬理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	大鹿英世、吉岡充弘、井関　健著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-26-004716-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	今日の治療薬	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一編集	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22657-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病理学	担当者	高橋　淳
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-108

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに
到達目標	病理学は基礎医学の総まとめ、そして臨床医学への入門であり、医療に携わる者にとって、どんな職種であれ必要不可欠な学問である。本講義では学生が、これまで学習した内容を総合して、病気の原因、発生の仕組み、経過、病気が辿る最終的な結末（転帰）といった病気の本態に関する基礎知識を身につけ、臨床医学をさらに理解できることを到達目標とする。
授業概要	病理学総論として、全身の臓器に共通する一般的な原理を講義する。これには細胞の異常、炎症、循環障害、免疫と免疫異常、先天異常、代謝異常、老化、感染症などの項目が挙げられる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科医として病理解剖の実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	試験は必ず行う。講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各1時間半程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	細胞・組織とその障害	高橋
第２回	再生と修復	高橋
第３回	炎症	高橋
第４回	循環障害(1)（浮腫、出血、血栓、ショック）	高橋
第５回	循環障害(2)（動脈硬化）	高橋
第６回	免疫とアレルギー(1)（自然免疫、獲得免疫）	高橋
第７回	免疫とアレルギー(2)（アレルギー疾患、免疫疾患）	高橋
第８回	腫瘍(1)（臨床腫瘍学）	高橋
第９回	分子生物学	高橋
第１０回	腫瘍(2)（腫瘍生物学）	高橋
第１１回	遺伝性疾患、先天異常	高橋
第１２回	新生児の病理、老化と老年病	高橋
第１３回	感染症	高橋
第１４回	環境と栄養	高橋
第１５回	生命の危機、腫瘍3	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書			
教・書籍名１	なるほどなっとく!病理学 plus: 病態形成の機序と各器官の疾病の特徴	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	小林 正伸 (著)	教・ＩＳＢＮ１	978-4525151812

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅰ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-109		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。　また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	呼吸器疾患(1)-症候、検査、治療、呼吸不全	高橋
第２回	呼吸器疾患(2)-感染症、アレルギー疾患	高橋
第３回	呼吸器疾患(3)-気管支喘息、COPD、間質性肺疾患	高橋
第４回	呼吸器疾患(4)-肺癌、肺塞栓、換気・胸膜・縦隔疾患	高橋
第５回	消化管疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第６回	消化管疾患(2)-食道疾患、消化性潰瘍	高橋
第７回	消化管疾患(3)-胃癌、炎症性腸疾患	高橋
第８回	消化管疾患(4)-大腸癌、急性腹症	高橋
第９回	肝・胆・膵疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１０回	肝・胆・膵疾患(2)-ウイルス肝炎、肝硬変	高橋
第１１回	肝・胆・膵疾患(3)-肝癌、代謝性肝疾患	高橋
第１２回	肝・胆・膵疾患(4)-胆道疾患、膵疾患	高橋
第１３回	膠原病・アレルギー疾患(1)-症候、検査、治療、アレルギー性疾患	高橋
第１４回	膠原病・アレルギー疾患(2)-関節リウマチ、SLE、皮膚筋炎、強皮症	高橋
第１５回	膠原病・アレルギー疾患(3)-血管炎	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	看護のための臨床病態学 第4版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集), 吉山直樹 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-50514-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅱ			担当者	中角　祐治、服部　俊夫		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-110		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	神経系および循環器系の病態生理の理解であり、このテーマに関わる看護師国家試験問題に対応できるレベ ルの知識の習得を到達目標とする。
授業概要	病態生理の理解には、当然ながら正常解剖・生理の理解が不可欠である。この講義では神経系および循環器系の解剖と生理を順次 講義し、それにリンクさせて関連疾患の講義を行う。講義はプリントを配布し、同じ内容のスライド（パワーポイント）に必要な画像 や図を加えたもので行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	受講態度、期末試験結果などを合わせて総合的に評価する。成績評価基準は受講態度10%、試験成績90%を目安とする。試験後不正　解の原因を解説する講評時間を設ける。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業において小テストを実施し、授業内容の確認を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、スライドでの講義と同じ内容のプリントを配布するので、講義中のノートテイクはほとんど必要ない。講義内容の　理解に集中してほしい。可能な限り早めにプリントを配布するので、1年次に学習した内容も含め、あらかじめ疑問点、理解のでき ない内容を確認しておいてほしい。特に神経系の解剖は難解な専門用語が多く、また内容も多いので、予習、復習を含め相当の自学 自習の努力が必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　両教官ともに、臨床分野の教育・診療経験が豊富である。
事前学習・事後学習とその時間	この講義では2冊の教科書を用意している。講義は教科書に則り行うので、教科書の予習と講義時に配布する印刷物を用いて、復習 が必要である。各3 0分以上。
オフィスアワー	月曜日　午後１時

授業計画		担当者
第１回	神経系の構造と機能	中角祐治
第２回	神経診断学	中角祐治
第３回	脳血管障害、外傷性脳損傷	中角祐治
第４回	変性疾患、脱髄疾患	中角祐治
第５回	末梢神経・筋疾患	中角祐治
第６回	感染、腫瘍、中毒	中角祐治
第７回	先天性疾患、機能性疾患	中角祐治
第８回	循環器系の解剖と生理 心臓と全身循環	服部俊夫
第９回	循環器の疾患とその病態	服部俊夫
第１０回	心不全、心疾患	服部俊夫
第１１回	高血圧症	服部俊夫
第１２回	不整脈	服部俊夫
第１３回	動脈系疾患	服部俊夫
第１４回	静脈系疾患	服部俊夫
第１５回	循環器まとめ	服部俊夫
第１６回	単位試験	中角祐治 服部俊夫

教科書

教・書籍名１		教・出版社名１	系統看護学講座専門ＩＩ循環器
教・著者名１	系統看護学講座専門II脳・神経	教・ＩＳＢＮ１	医学書院
教・書籍名２	医学書院	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅲ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-111		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。　また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝性疾患(1)-症候、検査、治療、糖尿病	高橋
第２回	代謝性疾患(2)-糖尿病合併症、低血糖症	高橋
第３回	代謝性疾患(3)-肥満、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症	高橋
第４回	代謝性疾患(4)-骨粗鬆症、内分泌疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第５回	内分泌疾患(2)-下垂体・甲状腺疾患	高橋
第６回	内分泌疾患(3)-副甲状腺・副腎疾患	高橋
第７回	腎・泌尿器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第８回	腎・泌尿器疾患(2)-慢性腎臓病、腎不全	高橋
第９回	腎・泌尿器疾患(3)-糸球体腎炎	高橋
第１０回	腎・泌尿器疾患(4)-腎盂腎炎、泌尿器科疾患(1)	高橋
第１１回	腎・泌尿器疾患(5)-泌尿器科疾患(2)	高橋
第１２回	血液疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１３回	血液疾患(2)-貧血	高橋
第１４回	血液疾患(3)-白血病	高橋
第１５回	血液疾患(4)-悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	看護のための臨床病態学 第4版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集), 吉山直樹 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-50514-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅳ			担当者	森　芳史		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-112		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	「運動器の基礎科学・解剖・生理」、「整形外科疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション」をテーマとし、運動器の解剖、生理、さらに整形外科疾患の病態やその治療方法を学び、看護師として臨床の現場で困らないだけの知識と課題を分析し解決する能力を学生が身につけることが出来る。
授業概要	この講義では、今までに学修した解剖学・生理学の知識を踏まえ、整形外科疾患の病態を理解し、診断方法を学び、臨床の現場に役立つ力を身につけるものである。病態や治療法を理解する上で重要な基本的・普遍的なポイントをおさえつつ、随時最新の知見を取り入れて講義する。また、実際の症例を多くの画像を用いて紹介し、臨床の現場で必要となる科学的根拠に基づいた判断力・思考力も養えるようにする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度、定期試験の成績を併せて評価する。成績評価基準として知識習得状況を把握するための最終試験80%、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度20%の割合で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で、あるいはオンラインで必要なフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	整形外科学は、解剖学・生理学の知識がないと正確に理解することができない。授業開始までにこれらの科目を確実に復習しておくこと。 講義は教科書とスライドを併用して行う。教科書は必ず用意すること。スライド内容は紙媒体と電子媒体双方で配布する。特段の事情のない睡眠・遅刻は厳禁。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、整形外科医である教員が、その経験を活かし、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習は、教科書の次回の授業範囲を読み、練習問題を解くまでは最低限行うこと。また、予習の際に解剖学や生理学の知識が不確かであると自覚したら、当該分野の復習も確実に行うこと。復習は、教科書やスライド内容を読み返し、さらに授業で扱った範囲に関連する国家試験の問題を解くとよい。予習及び復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階、6412号室：火曜日5限目、水曜日5限目、その他授業前、放課後、昼休みにお越し下さい。

授業計画		担当者
第１回	骨折①	森
第２回	骨折②	森
第３回	偽関節と骨壊死	森
第４回	変形性関節症	森
第５回	関節リウマチ	森
第６回	軟骨・関節の疾患	森
第７回	靭帯の外傷・疾患	森
第８回	腱の外傷・疾患	森
第９回	筋肉の外傷・疾患	森
第１０回	絞扼性神経障害	森
第１１回	神経根の障害	森
第１２回	脊髄疾患	森
第１３回	小児整形外科①	森
第１４回	小児整形外科②・切断	森

第１５回	ギプス実習		森
第１６回	単位認定試験		森
教科書			
教・書籍名１	はじめての講義 リハビリテーションのための整形外科学の歩き方	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	監修：田中　栄 著：　仲村　一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-23737-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	微生物学Ⅰ			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	HS-NU-1-113		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識について学ぶことができる。学生は広範なる微生物の知識を理解し、さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査、新興感染症、感染症法の分類と疾患等の専門的知識を習得することができる。
授業概要	看護専門職に必要な専門的知識を習得させるために、広範なる微生物の知識を充分に納得させる。さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査等の知識を教授し、専門的知識を体得させる。また、現代医療に不可欠な免疫に関する知識を、基礎から応用まで幅広く講義する。すなわち、病原微生物の生態、感染の概念と生体反応（免疫反応）を理解し、細菌、ウイルス、リケッチア、真菌等の病原性、感染経路、感染症の治療等について学ぶ。 医療現場において重要である消毒、滅菌法に関する知識、新興感染症（重症急性呼吸器症候群、鳥型インフルエンザのヒト感染等）、感染症法の分類と疾患等についても教授する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日３限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	序論，細菌の分類と命名法，細菌の形態	長町
第２回	細菌の増殖，細菌の変異と遺伝	長町
第３回	感染と発症，感染症の診断	長町
第４回	消毒と滅菌	長町
第５回	化学療法	長町
第６回	院内感染とその対策	長町
第７回	グラム陽性通性嫌気性および好気性球菌	長町
第８回	グラム陰性通性嫌気性桿菌	長町
第９回	らせん菌群	長町
第１０回	グラム陰性好気性桿菌・球菌	長町
第１１回	グラム陽性好気性および通性嫌気性桿菌	長町
第１２回	偏性嫌気性菌	長町
第１３回	マイコバクテリウム他	長町
第１４回	リケッチア、クラミジア	長町
第１５回	口腔細菌	長町

第１６回	試験		長町
教科書			
教・書籍名１	シンプル微生物学	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	小熊惠二、堀田　博他著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25483-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	微生物学Ⅱ	担当者	長町　榮子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	HS-NU-1-114

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識について学ぶことができる。学生は広範なる微生物の知識を理解し、さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査、新興感染症、感染症法の分類と疾患等の専門的知識を習得することができる。
授業概要	看護専門職に必要な専門的知識を習得させるために、広範なる微生物の知識を充分に納得させる。さらに、各種感染症における病原微生物及び感染予防に関する知識、滅菌・消毒、化学療法、微生物学的検査等の知識を教授し、専門的知識を体得させる。また、現代医療に不可欠な免疫に関する知識を、基礎から応用まで幅広く講義する。すなわち、病原微生物の生態、感染の概念と生体反応（免疫反応）を理解し、細菌、ウイルス、リケッチア、真菌等の病原性、感染経路、感染症の治療等について学ぶ。 医療現場において重要である消毒、滅菌法に関する知識、新興感染症（重症急性呼吸器症候群、鳥型インフルエンザのヒト感染等）、感染症法の分類と疾患等についても教授する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。
オフィスアワー	水曜日３限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

	授業計画	担当者
第１回	ウイルス学総論	長町
第２回	ポックスウイルス科，ヘルペスウイルス科	長町
第３回	アデノウイルス科，パピローマウイルス科	長町
第４回	パルボウイルス科，オルソミクソウイルス科他	長町
第５回	ラブドウイルス科，フィロウイルス科他	長町
第６回	レオウイルス科，ピコルナウイルス科他	長町
第７回	コロナウイルス科	長町
第８回	レトロウイルス科	長町
第９回	肝炎ウイルス(1)	長町
第１０回	肝炎ウイルス(2)	長町
第１１回	遅発性ウイルス感染症とプリオン病	長町
第１２回	真菌学総論	長町
第１３回	深在性真菌症	長町
第１４回	深在性・表在性皮膚真菌症	長町
第１５回	原虫学総論・各論	長町

第１６回	試験		長町
教科書			
教・書籍名１	シンプル微生物学	教・出版社名１	南江堂
教・著者名１	小熊惠二、堀田　博他著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-524-25483-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	疫学			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-115		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	テーマ：疫学は，疾病の原因解明や治療の効果評価に必要な原因と結果との関連（因果）を明らかにする学問である。原因の結果に与える影響を定量的に評価することにより、公衆衛生活動の優先度や治療方法の選択等を支える重要な科学である。 看護師は医療者として，科学的な疾病の原因や治療方法、看護方法の根拠を判断するために疫学を身につけることが求められている。保健師には必須で，国家試験の頻出分野である。 到達目標：学生は，疫学の基礎を学び，論文の疫学的記載の基本を理解できるようになる。また，３年次の看護研究１における疫学調査計画の基本部分が立案できるようになることが，到達目標である。
授業概要	公衆衛生活動の実践当たっては，対象集団のニーズの把握，活動計画，活動の評価の各段階で疫学的なアプローチ・手法が欠かせない。また，医療現場においても，治療法の有効性の評価などに関して，EBM（根拠に基づく医療）の基礎となる疫学は必須である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	期末の定期試験（60%）と授業への取り組み姿勢、提出物の内容（40%）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、個別の評価に反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための練習問題も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	疫学では、因果についての「考え方」を学ぶ。演習を通じて、理解が深まり身についてくる。教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補うと楽しい。疫学の魅力を知ってもらうため、参考書を読むことを強く薦めたい。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限を，オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	疫学の基礎 アウトブレイク対応	中瀬
第２回	アウトブレイク対応の記述疫学	中瀬
第３回	サーベイランスとは	中瀬
第４回	サーベイランスにおける疫学	中瀬
第５回	検査、スクリーニング	中瀬
第６回	臨床診断の評価	中瀬
第７回	記述疫学 演習	中瀬
第８回	検定と推定 演習	中瀬
第９回	交絡の調整	中瀬
第１０回	交絡の調整（年齢調整） 演習	中瀬
第１１回	研究方法論	中瀬

第１２回	因果、十分原因構成要素モデル		中瀬
第１３回	疫学調査論文の実際、例示		中瀬
第１４回	サーベイランス論文の実際、例示		中瀬
第１５回	纏め		中瀬
第１６回	筆記試験		中瀬
教科書			
教・書籍名１	看護学生のための疫学・保健統計　改訂３版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野 嘉延	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-05343-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ロスマンの疫学一科学的思考への誘い　第２版	参・出版社名１	篠原出版新社
参・著者名１	KennethJ. Rothman (著), 矢野 栄二 (翻訳), 橋本 英樹 (翻訳), 大脇 和浩 (翻訳)	参・ＩＳＢＮ１	978-4884123727
参・書籍名２	医学的根拠とは何か (岩波新書)	参・出版社名2	岩波書店
参・著者名2	津田敏秀	参・ＩＳＢＮ2	978-4004314585

授業科目名	公衆衛生学Ⅰ	担当者	中瀬　克己
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年	ナンバリング	HS-NU-1-116

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標：個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体）を構成する人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程に関わる主要な要因について学び、健康課題を評価する基本的な能力を養う。
授業概要	人を取り巻く社会・文化的、物理・化学・生物学的環境が人のライフスタイル・行動や健康に与える影響と仕組み、それをコントロールするため設けられている公衆衛生を担う機関やその働きの基礎を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（５０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（５０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、個別の評価にも反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は体系的で簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、授業内容の背景理解にはテキスト、参考資料などで補うことを勧める。
オフィスアワー	6号館4 6424研究室にて 毎週水曜2限 教授会がある日を除く または木曜 限を オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	社会と健康	中瀬克己
第２回	食のイメージマッピング	中瀬克己
第３回	公衆衛生を担う機関	中瀬克己
第４回	行動経済学	中瀬克己
第５回	ソーシャルキャピタルとヘルスプロモーション	中瀬克己
第６回	環境保健	中瀬克己
第７回	医療政策	中瀬克己
第８回	レポート発表、グループワーク	中瀬克己
第９回	定期試験	中瀬克己
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	公衆衛生―健康支援と社会保 制度〈2〉14版 （ただし、新たな版が出版されたら新しいものとする）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	神馬征峰ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03574-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所(編)	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生学Ⅱ			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-117		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマは公衆衛生のより深い理解である。公衆衛生活動の目的は その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。 到達目標：この科目で学生はコミュニティ（共同体）を構成する人々の心身の健康に関わる主要な要因についての理解を元に、顕在・潜在している地域の健康課題を明確にし、解決・改善策を企画・立案実施・評価する能力を養うことを目標とする。 保健師助産師看護師法第1条には 「この法律は 保健師 助産師及び看護師の　を向上し もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり 公衆衛生学は看護師における必 分 であることから国家試 にも必出分 である。
授業概要	様々なコミュニティー（地域、職場など）での多様な健康課題とそれへの解決・改善策の例を通して、課題のアセスメントと対策の立案評価能力を養う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	期末の試験（７０％）と授業への取り組み姿勢及び提出物の内容（３０％）で評価する。授業時にアンケートや練習問題を行い、個別の評価にも反映させる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は体系的で簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、授業内容の背景理解にはテキスト、参考資料などで補うことを勧める。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	産業保健	中瀬克己
第２回	メンタルヘルス	中瀬克己
第３回	口腔保健	中瀬克己
第４回	災害保健・健康危機管理	中瀬克己
第５回	感染症対策	中瀬克己
第６回	食品保健	中瀬克己
第７回	疫学	中瀬克己
第８回	公衆衛生とは（演習）	中瀬克己
第９回	定期試験	中瀬克己

第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	公衆衛生―健康支援と社会保 制度〈2〉14版 （ただし、新たな版が出版されたら新しいものとする）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	神馬征峰ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03574-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる2022-2023	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所(編)	参・ＩＳＢＮ１	4896328582、978-4896328585
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健医療福祉行政論Ⅰ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-118		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	テーマ：保健師として，知っておかなければ成らない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し，行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する 到達目標：保健師活動を実践するための保健福祉行政における全般的な根拠法を学習し，法に則った保健師活動実践ができ，国家試験問題への対応ができる。
授業概要	保健師は，保健・医療・福祉・企画分野での広範囲な行政部署において，専門性に立脚した行政手腕が求められる。その基礎知識として保健医療福祉行政の仕組み・財政・社会保障制度・公衆衛生全般にわたる内容を学習する。 具体的には，公衆衛生に関する法改正を踏まえ，過去・現在・未来を視野に入れた公衆衛生看護活動を理解する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	最終試験８０％・課題２０％で評価を行う
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	社会情勢や健康課題への関心を持ち，自分の考えを議論する習慣を身につける 講義内容に関する関係法の予習・復習を行い，法令の用語や言い回し等の理解をすること 指定した教科書・参考書等は必ず持参すること 課題レポートの提出は期限厳守とし，予習・復習を兼ね問われた内容が記載されたものとする 小テスト対策として数回毎に授業内容を復習すること
実務経験のある教員	該当する　／　内容：行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し，その事について調べたことについて自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う２）複数回に分けた小テストを行い，達成度を確認し，振り返り授業を行う。3）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4）社会情勢やその動向に興味を持つことで，健康課題に応じた法整備や看護職の役割に関心を持つ。5）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと　そのための時間は約1時間を要す
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日4時限目に実施

授業計画		担当者
第１回	１．健康増進法・健康日本21(第2次)	田中富子
第２回	２．健康増進対策生活習慣病	田中富子
第３回	３．健康増進法・ヘルスプロモーション	田中富子
第４回	４．感染症法の概要	田中富子
第５回	５．感染症法　結核対策	田中富子
第６回	６．新たな健康課題と政策	田中富子
第７回	７．医療保障制度と医療法	田中富子
第８回	８．医療計画	田中富子
第９回	９．医療の動向	田中富子
第１０回	１０．難病対策・被爆者対策	田中富子
第１１回	１１．保健医療福祉の計画・実施	田中富子
第１２回	１２．保健医療福祉の実施・評価	田中富子
第１３回	１３．ＰＤＣＡによる計画作成	田中富子
第１４回	１４．授業前半の振り返り	田中富子
第１５回	１５．授業後半の振り	田中富子
第１６回	16．筆記試験	田中富子

教科書			
教・書籍名１	最新保健学講座７　保健福祉行政論	教・出版社名１	
教・著者名１	メヂカルフレンド社 野村陽子	教・ＩＳＢＮ１	看護法令要覧 日本看護協会出版会 清水嘉世子他
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国民衛生の動向	参・出版社名１	厚生統計協会
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	国民福祉と介護の動向	参・出版社名2	厚生統計協会
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健統計学				担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年				ナンバリング	HS-NU-2-119		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：統計的考え方を身につける。看護師、保健師になった後、統計やデータの解釈の重要性を認めるものの苦手意識を持つ人が多い。学生の間に現代人の行動選択の基本である統計学と応用の基本に触れ、見通しを持つことが有用である。 到達目標：統計的考え方の基本を演習を通して身につけ、疫学研究との関わりをおおまかにつかむことを目標とする。
授業概要	始めに現在の統計に関する能力を確認するために模擬的に試験を受けてもらう。講義では、設問の意図や背景の解説をに加え、小テストを通じて基礎的な力の獲得を目指す。講義内で小テストを行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	期末試験（50%）と出席や日頃の授業への参加度、提出物の内容（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	理解を助けるための練習問題を行うので，ファイルするなり，ノートに貼り付けるなどして系統的に整理しておくと自身の到達点や今後の学習方向の判断に役立つ。 授業は電卓持ち込みで，試験時にも持ち込み可とするので，電卓を準備すること（スマホの計算機能は不可）。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	国家試験の過去問を含む練習問題を配布する。講義中の小テストと復習等により統計学的な基礎技術を身につけてほしい。反復することで，徐々に身についていく。 統計検定に準じたe-learningの無料学習サイトもあるので活用すると良い。gacco　の統計学１、統計学２推測統計などはよく纏まっており例年更新されている。 https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga014+2016_05/about 参考書はweb資料と連動し、Exelを用いた統計処理を学ぶことができるので、将来扱いたい人に勧める。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限を，オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 統計検定3級の模擬的試験	中瀬
第２回	統計学の歴史、記述統計と推測統計、データの種類	中瀬
第３回	量的データの要約 度数分布	中瀬
第４回	度数分布表とヒストグラム	中瀬
第５回	代表値と箱ひげ図	中瀬
第６回	標準偏差と分散	中瀬
第７回	格差を測る、ローレンツ曲線とジニ係数	中瀬
第８回	Exelを利用した演習1 要約	中瀬
第９回	Exelを利用した演習2　代表値、グラフ	中瀬
第１０回	質的データの要約と統計グラフ	中瀬
第１１回	クロス集計表とオッズ比	中瀬

第１２回	相関と散布図	中瀬	
第１３回	相関係数と回帰分析	中瀬	
第１４回	検定と区間推定	中瀬	
第１５回	衛生統計の見方と活用	中瀬	
第１６回	筆記試験	中瀬	
教科書			
教・書籍名１	統計学Ｉ データ分析の基礎　　改訂第2版	教・出版社名１	日本統計協会
教・著者名１	竹村 彰通 (著), 酒折 文武 (著), 中山 厚穂 (著), 下川 敏雄 (著), 他	教・ＩＳＢＮ１	978-4822340421
教・書籍名２	看護学生のための疫学・保健統計　改訂３版	教・出版社名2	南山堂
教・著者名2	浅野 嘉延 (著)	教・ＩＳＢＮ2	978-4-525-05343-7
参考書			
参・書籍名１	優しい統計処理　保健・医療データの活用	参・出版社名１	実教出版
参・著者名１	豊田修一ほか	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 : 4407349530 ISBN-13 : 978-4407349535
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護学概論	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2019～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2019～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年	ナンバリング	HS-NU-1-201

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間、健康、環境について基本的捉えかたを学び、看護の対象や看護の役割について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	看護とは何かが考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心をもち、視野を広げておく。 授業終了後は課題レポートを期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読しておくこと。 復習：授業終了後に授業内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	看護とは　看護の概念	掛谷
第２回	看護の役割と機能	掛谷
第３回	看護の対象の理解　人間のこころ・からだ・発達	澤田
第４回	看護の対象の理解　地域での暮らし	澤田
第５回	健康とは	掛谷
第６回	ライフサイクルと健康・生活	澤田
第７回	看護の歴史	掛谷
第８回	看護職のキャリア	掛谷
第９回	看護における倫理　現代社会と職業倫理	掛谷
第１０回	看護における倫理　看護実践における倫理的問題	掛谷

第１１回	看護サービスの提供	掛谷	
第１２回	国際化と看護	澤田	
第１３回	看護をめぐる制度と政策	掛谷	
第１４回	災害時における看護	澤田	
第１５回	私の看護観	掛谷・澤田	
第１６回	試験	掛谷・澤田	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　　基礎看護学①　看護学概論　医学書院	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護方法論			担当者	掛谷　益子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-202		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護実践の基本的能力として求められるヒューマンケアの基盤的能力として、幅広い視野から人間と人間生活を理解し、確実な倫理観を持って行動できる態度と看護の計画的な展開能力を習得することが必要である。看護の計画的な展開である看護過程においては、問題解決型思考のもとに、看護の対象に有効だと考えられる援助を具体的に考え理解を深めていく。 〈到達目標〉 1. 看護過程の意義・目的を理解できる。 2. 看護過程に必要な問題解決型思考について理解できる。 3. 情報収集・分析、看護診断・計画の立案、評価について理解できる。
授業概要	看護過程を展開する技術である情報収集・分析、看護診断・計画の立案、評価について学ぶ。看護の日常的で実際的な実践の形態は、問題解決型思考にもとづく看護過程というとらえ方によって理解することが有用である。そして、そしてその基本的な原理は、病院や各種施設で実施される看護から、在宅看護や地域看護まで、全ての看護実践の場で活用可能である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	筆記試験(60%)、課題レポート(20%)、授業中の発言・態度(20%)で評価する
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に提出した課題レポートについては、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	グループで検討し、看護過程について学んでいくため、積極的にグループワークに参加し、理解を深めることができるようにする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	看護過程に必要な問題解決思考は日々の生活において無意識に実施している判断が基礎となることを理解し、なぜその判断をしたのか客観的に考えることを実践していく。また、事例展開において専門用語や病気について予習・復習を必ず行う。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	看護におけるコミュニケーション	掛谷
第２回	患者の気持ちの理解　ケアリング	掛谷
第３回	プロセスレコードの活用	掛谷
第４回	看護過程と看護理論	掛谷
第５回	成長発達段階・健康レベル	掛谷
第６回	看護過程：情報収集・分析・看護診断	掛谷
第７回	看護過程：情報分析（健康知覚健康管理）	掛谷
第８回	看護過程：情報分析(栄養代謝)	掛谷
第９回	看護過程：情報分析(排泄)	掛谷
第１０回	看護過程：情報分析(活動運動)	掛谷
第１１回	看護過程：情報分析(睡眠休息)	掛谷
第１２回	施設見学	掛谷
第１３回	看護過程：情報の統合（関連図）	掛谷

第１４回	看護過程：看護診断・看護計画		掛谷
第１５回	看護過程のまとめ		掛谷
第１６回	筆記試験		掛谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅰ（Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-203

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人が生きていくための基本となるものが「衣・食・住」である。衣生活を整えることは皮膚を清潔に保ち、外界との防御機能を果たしている。人は本来自分の力で自分なりに清潔を保ち、衣生活調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 衣生活を整える必要性を理解できる。 2. 清潔援助の効果と全身への影響を考え患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。（清拭、足浴、部分浴、洗髪、口腔ケア）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する清潔・衣生活についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 教科書内のわからない言葉などを調べておく。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	澤田・掛谷
第２回	感染予防	澤田・掛谷
第３回	衣生活：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第４回	寝衣交換	澤田・掛谷
第５回	身体の清潔：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第６回	洗髪（洗髪車）	澤田・掛谷
第７回	洗髪（ケリーパッド）	澤田・掛谷

第８回	入浴の意義・目的	澤田・掛谷	
第９回	清拭	澤田・掛谷	
第１０回	部分浴	澤田・掛谷	
第１１回	足浴	澤田・掛谷	
第１２回	口腔ケア	澤田・掛谷	
第１３回	陰部ケア	澤田・掛谷	
第１４回	実技試験（足浴）	澤田・掛谷	
第１５回	援助技術のまとめ	澤田・掛谷	
第１６回	単位認定試験	澤田・掛谷	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅰ（Ｂクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-203

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人が生きていくための基本となるものが「衣・食・住」である。衣生活を整えることは皮膚を清潔に保ち、外界との防御機能を果たしている。人は本来自分の力で自分なりに清潔を保ち、衣生活調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 衣生活を整える必要性を理解できる。 2. 清潔援助の効果と全身への影響を考え患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。（清拭、足浴、部分浴、洗髪、口腔ケア）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する清潔・衣生活についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 教科書内のわからない言葉などを調べておく。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	澤田・掛谷
第２回	感染予防	澤田・掛谷
第３回	衣生活：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第４回	寝衣交換	澤田・掛谷
第５回	身体の清潔：意義・目的・方法	澤田・掛谷
第６回	洗髪（洗髪車）	澤田・掛谷
第７回	洗髪（ケリーパッド）	澤田・掛谷

第８回	入浴の意義・目的	澤田・掛谷	
第９回	清拭	澤田・掛谷	
第１０回	部分浴	澤田・掛谷	
第１１回	足浴	澤田・掛谷	
第１２回	口腔ケア	澤田・掛谷	
第１３回	陰部ケア	澤田・掛谷	
第１４回	実技試験（足浴）	澤田・掛谷	
第１５回	援助技術のまとめ	澤田・掛谷	
第１６回	単位認定試験	澤田・掛谷	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅱ （Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-204

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 ＜到達目標＞ 1. 個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 2. 対象者に適切な援助を提供できる基礎看護技術（食事の援助・排泄の援助・創傷の管理）を習得できる。
授業概要	人の健康問題を解決に導くために、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。また、各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が必要となることを理解し、食事の援助、排泄の援助について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	食事援助技術	澤田・掛谷
第２回	食事摂取の介助	澤田・掛谷
第３回	摂食・嚥下訓練	澤田・掛谷
第４回	非経口的栄養摂取の援助の基礎知識	澤田・掛谷
第５回	経管栄養法	澤田・掛谷
第６回	排泄援助技術	澤田・掛谷
第７回	自然排尿・排便の介助	澤田・掛谷
第８回	導尿	澤田・掛谷
第９回	排便を促す援助	澤田・掛谷
第１０回	創傷管理技術	澤田・掛谷

第１１回	創傷管理技術（包帯法）		澤田・掛谷
第１２回	施設見学：病院見学		澤田・掛谷
第１３回	終末期患者の理解		澤田・掛谷
第１４回	死の看取りの援助		澤田・掛谷
第１５回	まとめ		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田・掛谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅱ （Bクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-204

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	＜テーマ＞人の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が含まれる。看護技術を支える態度や行為の構成要素である、知識と判断、実施と評価、利用者への説明、完全安楽の確保、プライバシーの保護、指示の確認、報告・記録、個別性の対応、家族相談などをふまえて個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 ＜到達目標＞ 1. 個別の患者に対して基本技術を正しく適応するために必要な内容を習得することができる。 2. 対象者に適切な援助を提供できる基礎看護技術（食事の援助・排泄の援助・創傷の管理）を習得できる。
授業概要	人の健康問題を解決に導くために、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。また、各基本技術を看護行為として実践するためには、対象者への深い理解と社会的責任に立脚した判断が必要となることを理解し、食事の援助、排泄の援助について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書き提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	食事援助技術	澤田・掛谷
第２回	食事摂取の介助	澤田・掛谷
第３回	摂食・嚥下訓練	澤田・掛谷
第４回	非経口的栄養摂取の援助の基礎知識	澤田・掛谷
第５回	経管栄養法	澤田・掛谷
第６回	排泄援助技術	澤田・掛谷
第７回	自然排尿・排便の介助	澤田・掛谷
第８回	導尿	澤田・掛谷
第９回	排便を促す援助	澤田・掛谷
第１０回	創傷管理技術	澤田・掛谷

第１１回	創傷管理技術（包帯法）		澤田・掛谷
第１２回	施設見学：病院見学		澤田・掛谷
第１３回	終末期患者の理解		澤田・掛谷
第１４回	死の看取りの援助		澤田・掛谷
第１５回	まとめ		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田・掛谷
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学[３]	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅲ （Aクラス）			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-205		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 （自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメーキング） 2. ボディメカニクスの基本原理を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 （安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解） 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。 （体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移動・移送）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書いて提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	療養生活の環境	澤田・掛谷
第２回	病室の環境のアセスメント	澤田・掛谷
第３回	ベッド周囲の環境整備、病床を整える	澤田・掛谷
第４回	ベッドメイキング	澤田・掛谷

第５回	ベッドメイキング（総合演習）		澤田・掛谷
第６回	ベッドメイキング実技試験		澤田・掛谷
第７回	基本的活動の基礎知識		澤田・掛谷
第８回	よい姿勢・体位・ボディメカニクス		澤田・掛谷
第９回	体位変換		澤田・掛谷
第１０回	移動①ベッド上における移動		澤田・掛谷
第１１回	移動②車椅子		澤田・掛谷
第１２回	移動③ストレッチャー・杖他		澤田・掛谷
第１３回	車椅子実技試験		澤田・掛谷
第１４回	苦痛の緩和・安楽確保の技術		澤田・掛谷
第１５回	罨法		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学[３]　基礎看護技術Ⅱ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅲ （Bクラス）			担当者	掛谷　益子、澤田　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	HS-NU-1-205		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉患者をとりまく外部環境をいつも安全で快適な状態に整えておくことは、すべての看護実践の基本である。人は本来自分の力で自分なりの環境・姿勢と体位・移動などを適切に調整していく能力を有しているが、病気や障害や加齢や幼弱のため、あるいは治療上の制約などのため、自力では不可能な場合が考えられる。そのような際に看護が全面的に責任を負うため、関係する援助技術を習得する必要がある。 〈到達目標〉 1. 環境を多角的にとらえ、患者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる。 （自立度に応じた病室・病床の整備・ベッドメーキング） 2. ボディメカニクスの基本原理を理解し、対象者・看護者双方が安楽・安全な体位で、効果的・効率的にケアを実践する基本的方法を習得する。 （安楽な体位を保持する技術・体位と身体に及ぼす影響の理解） 3. 対象に応じた方法の選択と実施ができる。 （体位変換および立位と歩行の援助・車椅子やストレッチャーによる移動・移送）
授業概要	健康水準が低下した人々に対して、生活の質を下げないように援助する具体的方法について教授する。 看護者の専門的技術は、専門的な知識や行為を支える理論に基づいて、対象者の安全・安楽・自立・効果・経済性・倫理性を目指した目的意識的な行為である。そしてその看護技術には看護観と技術の習得レベルが反映される。本科目では、生活援助技術に属する環境整備・体位・体位の保持・移動・移送についての具体的な援助技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（60%）実技試験（20%）課題レポート（10%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業終了後はノートの整理と所感を記述する。 技術習得のために、正確さと規定時間内で実施できるよう繰り返し練習を行う。 課題レポート、所感は期限厳守で提出する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において予習プリントを配布するので教科書を熟読し予習プリントをしてから参加する。 復習：予習プリントの追加学習をし、所感を書いて提出する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	療養生活の環境	澤田・掛谷
第２回	病室の環境のアセスメント	澤田・掛谷
第３回	ベッド周囲の環境整備、病床を整える	澤田・掛谷
第４回	ベッドメイキング	澤田・掛谷

第５回	ベッドメイキング（総合演習）		澤田・掛谷
第６回	ベッドメイキング実技試験		澤田・掛谷
第７回	基本的活動の基礎知識		澤田・掛谷
第８回	よい姿勢・体位・ボディメカニクス		澤田・掛谷
第９回	体位変換		澤田・掛谷
第１０回	移動①ベッド上における移動		澤田・掛谷
第１１回	移動②車椅子		澤田・掛谷
第１２回	移動③ストレッチャー・杖他		澤田・掛谷
第１３回	車椅子実技試験		澤田・掛谷
第１４回	苦痛の緩和・安楽確保の技術		澤田・掛谷
第１５回	罨法		澤田・掛谷
第１６回	単位認定試験		澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学[３]　基礎看護技術Ⅱ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅳ （Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、竹﨑　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-206

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	バイタルサインの観察およびフジカルアセスメント技術を中心に学ぶ。看護の対象のかかえる身体問題はさまざまである。生命の危機に直面して苦しんでいる場合もあれば、慢性疾患がうまく管理できない場合や回復後に後遺症で苦しむ場合、治療の副作用で悩む場合もある。どのような場合であっても、看護師として患者の状態を観察し、必要な援助を提供しなければならない。そのために、バイタルサインの観察とフィジカルアセスメント技術は不可欠なものである。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。演習は身なりを整え、手洗いを済ませてから臨むこと。 学内演習前は実施する援助技術のポイントを学習し、演習後は実施した援助技術の内容の振り返りを行う。それにより看護技術の習得につながる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと 復習・授業・演習終了後に、授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ヘルスアセスメントとは	掛谷・澤田
第２回	バイタルサインとは	掛谷・澤田
第３回	バイタルサインの観察(体温)	掛谷・澤田
第４回	バイタルサインの観察(脈拍)	掛谷・澤田
第５回	バイタルサインの観察(呼吸)	掛谷・澤田
第６回	バイタルサインの観察(血圧)	掛谷・澤田
第７回	バイタルサインの観察(意識)	掛谷・澤田
第８回	臥床患者に対するバイタルサインの観察	掛谷・澤田
第９回	個別技術確認（血圧測定）	掛谷・澤田・竹﨑
第１０回	フィジカルアセスメントの基本技術	掛谷・澤田
第１１回	呼吸器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田

第１２回	循環器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田	
第１３回	腹部のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田	
第１４回	身体計測	掛谷・澤田	
第１５回	心理・社会的側面のアセスメント	掛谷・澤田	
第１６回	単位認定試験	掛谷・澤田	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅳ （Bクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、竹﨑　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	HS-NU-1-206

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。 〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解できる。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解できる。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる
授業概要	バイタルサインの観察およびフジカルアセスメント技術を中心に学ぶ。看護の対象のかかえる身体問題はさまざまである。生命の危機に直面して苦しんでいる場合もあれば、慢性疾患がうまく管理できない場合や回復後に後遺症で苦しむ場合、治療の副作用で悩む場合もある。どのような場合であっても、看護師として患者の状態を観察し、必要な援助を提供しなければならない。そのために、バイタルサインの観察とフィジカルアセスメント技術は不可欠なものである。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。演習は身なりを整え、手洗いを済ませてから臨むこと。 学内演習前は実施する援助技術のポイントを学習し、演習後は実施した援助技術の内容の振り返りを行う。それにより看護技術の習得につながる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと 復習・授業・演習終了後に、授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ヘルスアセスメントとは	掛谷・澤田
第２回	バイタルサインとは	掛谷・澤田
第３回	バイタルサインの観察(体温)	掛谷・澤田
第４回	バイタルサインの観察(脈拍)	掛谷・澤田
第５回	バイタルサインの観察(呼吸)	掛谷・澤田
第６回	バイタルサインの観察(血圧)	掛谷・澤田
第７回	バイタルサインの観察(意識)	掛谷・澤田
第８回	臥床患者に対するバイタルサインの観察	掛谷・澤田
第９回	個別技術確認（血圧測定）	掛谷・澤田・竹﨑
第１０回	フィジカルアセスメントの基本技術	掛谷・澤田
第１１回	呼吸器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田

第１２回	循環器系のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田	
第１３回	腹部のフィジカルアセスメント	掛谷・澤田	
第１４回	身体計測	掛谷・澤田	
第１５回	心理・社会的側面のアセスメント	掛谷・澤田	
第１６回	単位認定試験	掛谷・澤田	
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅴ （Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、岡本　さゆり
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-207

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉治療・処置における看護援助技術実施の際には、その目的と必要性、および期待される効果を理解し、実施前に対象者に説明し了解を得たうえで実施される。基本的原則に基づいて安全に実施できるよう、治療・処置・検査について理解する。また、与薬技術について演習を通して理解を深める。 〈到達目標〉 1. 適切な与薬方法について説明できる。 2. 治療・処置の援助における看護師の役割について説明できる。 3. 正しい技術で安全に筋肉注射をモデル人形に実施できる。
授業概要	治療・処置における看護援助技術を中心に、各種注射法、静脈血採血などについて学ぶ。これらは、医学的検査や治療の際、それらに付随して発生する対象者の苦痛や不安をできるだけ軽減しつつ、一方では検査の目的や治療の効果が最大限に達成されるように、その過程を支援する必要がある。また、技術実施の過程における危険性の認識とリスクマネージメントを意識し、対象者の安全・安楽に十分配慮して行動する能力等が必要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は、必ず実習衣を着用し、頭髪・爪など身なりを整えて演習に臨むこと。 各項目1回の演習で十分な効果を得るため、予習として演習の目的および手順を確認し、患者に安楽かつ安全に援助できるようイメージトレーニングを行う。また、復習として自分の実施した内容を振り返り、できた部分、できなかった部分、および改善点を明らかにする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと。 復習：授業・演習終了後に授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	治療処置における安全	掛谷・澤田
第２回	与薬の技術1(薬物療法)	掛谷・澤田
第３回	与薬の技術2(皮下注射)	掛谷・澤田
第４回	与薬の技術3(筋肉内注射)	掛谷・澤田
第５回	与薬の技術4(静脈内注射)	掛谷・澤田
第６回	与薬の技術5(点滴静脈内注射)	掛谷・澤田
第７回	個別技術確認	掛谷・澤田
第８回	検査時の介助・検体検査	掛谷・澤田
第９回	検体検査（静脈血採血）	掛谷・澤田
第１０回	呼吸循環を整える技術	掛谷・澤田

第１１回	吸入・吸引		掛谷・澤田
第１２回	輸血の介助		掛谷・澤田
第１３回	CVC挿入の介助		掛谷・澤田
第１４回	侵襲的処置の介助		掛谷・澤田
第１５回	救命救急処置		掛谷・澤田
第１６回	単位認定試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅴ （Bクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、岡本　さゆり
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-207

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	〈テーマ〉治療・処置における看護援助技術実施の際には、その目的と必要性、および期待される効果を理解し、実施前に対象者に説明し了解を得たうえで実施される。基本的原則に基づいて安全に実施できるよう、治療・処置・検査について理解する。また、与薬技術について演習を通して理解を深める。 〈到達目標〉 1. 適切な与薬方法について説明できる。 2. 治療・処置の援助における看護師の役割について説明できる。 3. 正しい技術で安全に筋肉注射をモデル人形に実施できる。
授業概要	治療・処置における看護援助技術を中心に、各種注射法、静脈血採血などについて学ぶ。これらは、医学的検査や治療の際、それらに付随して発生する対象者の苦痛や不安をできるだけ軽減しつつ、一方では検査の目的や治療の効果が最大限に達成されるように、その過程を支援する必要がある。また、技術実施の過程における危険性の認識とリスクマネージメントを意識し、対象者の安全・安楽に十分配慮して行動する能力等が必要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）課題レポート（20%）受講態度（10%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は、必ず実習衣を着用し、頭髪・爪など身なりを整えて演習に臨むこと。 各項目1回の演習で十分な効果を得るため、予習として演習の目的および手順を確認し、患者に安楽かつ安全に援助できるようイメージトレーニングを行う。また、復習として自分の実施した内容を振り返り、できた部分、できなかった部分、および改善点を明らかにする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業・演習において教科書の該当ページを熟読しておくこと。 復習：授業・演習終了後に授業・演習内容を再確認する。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	治療処置における安全	掛谷・澤田
第２回	与薬の技術1(薬物療法)	掛谷・澤田
第３回	与薬の技術2(皮下注射)	掛谷・澤田
第４回	与薬の技術3(筋肉内注射)	掛谷・澤田
第５回	与薬の技術4(静脈内注射)	掛谷・澤田
第６回	与薬の技術5(点滴静脈内注射)	掛谷・澤田
第７回	個別技術確認	掛谷・澤田
第８回	検査時の介助・検体検査	掛谷・澤田
第９回	検体検査（静脈血採血）	掛谷・澤田
第１０回	呼吸循環を整える技術	掛谷・澤田

第１１回	吸入・吸引		掛谷・澤田
第１２回	輸血の介助		掛谷・澤田
第１３回	CVC挿入の介助		掛谷・澤田
第１４回	侵襲的処置の介助		掛谷・澤田
第１５回	救命救急処置		掛谷・澤田
第１６回	単位認定試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	任　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04212-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術	参・出版社名１	メディカ出
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅵ （Aクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：人間の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。 そこで、専門職としての看護行為を実践する為に必要な基礎的理論と、その具体的な援助方法について理解でき、基礎看護学実習においての実践へつなげる。 到達目標：事例を通して看護過程を展開することができる。事例のアセスメント、看護上の問題、看護計画を記述することができる。
授業概要	看護技術は「対人関係の技術」「看護過程を展開する技術」「生活援助技術」「診療に伴う看護技術」の4つの種類にわけられる。この教科では、主に看護過程を展開する技術に焦点をあてて、情報収集・分析、看護診断・計画、評価について学び、基礎看護実習において、看護を実践する能力の習得を目指す。看護の日常的で実際的な実践の形態は、問題解決型思考にもとづく看護過程という、とらえ方によって理解することが有用である。そして、そしてその基本的な原理は、病院や各種施設で実施される看護から、在宅看護や地域看護まで、全ての看護実践の場で活用可能である。 この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床において実践的に役立つよう授業を実施し、看護過程について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	ペーパーテスト（70%）、課題レポート（20%）、授業態度（10%）で評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。 看護過程演習は今まで学習した全ての知識技術が必要である。事例に関することについて、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べるなど自主的に学習することで成果をあげる。 基礎看護実習にむけ、各プロセスを確実に学習すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業をする。
事前学習・事後学習とその時間	事例に関する予習として、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べて自分で看護過程を学習する。そして、自分で考えたことを記述し、指導を受ける。指導後は、看護過程について復習し理解を深めていくこと。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	看護過程とは	掛谷・澤田
第２回	看護理論と看護過程	掛谷・澤田
第３回	アセスメントの視点	掛谷・澤田
第４回	ゴードンの機能的健康パターン	掛谷・澤田
第５回	看護診断	掛谷・澤田
第６回	事例：疾患理解	掛谷・澤田
第７回	事例：情報収集	掛谷・澤田
第８回	事例：情報の分析	掛谷・澤田
第９回	事例：情報の統合	掛谷・澤田

第１０回	事例：関連図		掛谷・澤田
第１１回	事例：看護診断・看護目標		掛谷・澤田
第１２回	事例：看護計画立案		掛谷・澤田
第１３回	実施評価		掛谷・澤田
第１４回	看護過程のまとめ		掛谷・澤田
第１５回	基礎看護学実習概要		掛谷・澤田
第１６回	試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　基礎看護技術　Ⅰ　基礎看護学②	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	茂野香おる他　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-2600-01999-6
教・書籍名２	系統看護学講座　基礎看護技術II　基礎看護学③	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	任和子他　著	教・ＩＳＢＮ2	9787-4-260-02760-1
参考書			
参・書籍名１	看護技術プラクティス	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	竹尾恵子　監修	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生活援助論Ⅵ （Bクラス）	担当者	掛谷　益子、澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-208

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：人間の健康問題を解決に導くためには、看護の基本技術を適確に実施する能力が必要である。 そこで、専門職としての看護行為を実践する為に必要な基礎的理論と、その具体的な援助方法について理解でき、基礎看護学実習においての実践へつなげる。 到達目標：事例を通して看護過程を展開することができる。事例のアセスメント、看護上の問題、看護計画を記述することができる。
授業概要	看護技術は「対人関係の技術」「看護過程を展開する技術」「生活援助技術」「診療に伴う看護技術」の4つの種類にわけられる。この教科では、主に看護過程を展開する技術に焦点をあてて、情報収集・分析、看護診断・計画、評価について学び、基礎看護実習において、看護を実践する能力の習得を目指す。看護の日常的で実際的な実践の形態は、問題解決型思考にもとづく看護過程という、とらえ方によって理解することが有用である。そして、そしてその基本的な原理は、病院や各種施設で実施される看護から、在宅看護や地域看護まで、全ての看護実践の場で活用可能である。 この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床において実践的に役立つよう授業を実施し、看護過程について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	ペーパーテスト（70%）、課題レポート（20%）、授業態度（10%）で評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学内演習時は実習衣を着用する。 看護過程演習は今まで学習した全ての知識技術が必要である。事例に関することについて、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べるなど自主的に学習することで成果をあげる。 基礎看護実習にむけ、各プロセスを確実に学習すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業をする。
事前学習・事後学習とその時間	事例に関する予習として、今まで学習した科目や内容を復習し、積極的に調べて自分で看護過程を学習する。そして、自分で考えたことを記述し、指導を受ける。指導後は、看護過程について復習し理解を深めていくこと。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	看護過程とは	掛谷・澤田
第２回	看護理論と看護過程	掛谷・澤田
第３回	アセスメントの視点	掛谷・澤田
第４回	ゴードンの機能的健康パターン	掛谷・澤田
第５回	看護診断	掛谷・澤田
第６回	事例：疾患理解	掛谷・澤田
第７回	事例：情報収集	掛谷・澤田
第８回	事例：情報の分析	掛谷・澤田
第９回	事例：情報の統合	掛谷・澤田

第１０回	事例：関連図		掛谷・澤田
第１１回	事例：看護診断・看護目標		掛谷・澤田
第１２回	事例：看護計画立案		掛谷・澤田
第１３回	実施評価		掛谷・澤田
第１４回	看護過程のまとめ		掛谷・澤田
第１５回	基礎看護学実習概要		掛谷・澤田
第１６回	試験		掛谷・澤田
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　基礎看護技術　Ⅰ　基礎看護学②	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	茂野香おる他　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-2600-01999-6
教・書籍名２	系統看護学講座　基礎看護技術II　基礎看護学③	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	任和子他　著	教・ＩＳＢＮ2	9787-4-260-02760-1
参考書			
参・書籍名１	看護技術プラクティス	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	竹尾恵子　監修	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎看護学実習	担当者	掛谷　益子、澤田　和子、岡本　さゆり、市村　美香、飯田　尚美、一ノ瀬
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-210

必修・選択	必修	単位数	3単位	時間数	135	授業形態	実習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	看護学概論、看護方法論、生活援助論などで学んだ知識・技術を実際に活用して、看護の対象である患者の全体像を捕らえ、その人に応じた基本的な生活援助が出来ることを目的とする。
授業概要	基礎看護学実習Ⅰは、1週間、環境、コミュニケーション、日常生活援助について学ぶことによって、地域の病院の役割および看護職の役割について考える。 基礎看護学実習Ⅱは、2週間、患者を受け持ち、看護過程を展開していく。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	実習記録、記録の提出状況、実習態度などを総合的に評価を行う。看護の実施においては責任感・積極性も重視する。詳細は基礎看護学実習手引きに記述する。 基礎看護学実習Ⅰと基礎看護学実習Ⅱの結果を合わせて、Ⅰ：30%、Ⅱ：70%で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	日々のカンファレンスにて口頭および書面にてフィードバックを行う
履修条件・注意事項	基礎看護学実習のガイダンスは、実習前に実施するので、必ず出席する。 事前学習(外部講師)等については、生活援助論Ⅵの授業で説明する。 1・2年次履修した基礎看護学10単位の習得が必須である。 自分自身が健康でなければ患者の看護は実施できない。健康管理にも十分注意する。また、健康診断、抗体検査を受け、必要な予防接種も実施する。証明書・領収書等により、それらのことが確認されなければ実習はできない。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ実習指導を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	実習病棟で治療している疾患について病態生理と看護を実習前に学習する。 実習中は援助しようとする看護技術について事前に学習し、患者に安全・安楽に実施できるようにする。実施後は、患者の反応や自己の技術について振り返ることが必要である。
オフィスアワー	実習中に気になる事があれば、巡回時や昼休憩時、日々の実習終了後など、実習控え室やカンファレンスルームにおいていつでも面談する。

	授業計画	担当者
第１回	基礎看護学実習Ⅰは 病院の地域での役割の理解 看護場面の見学 患者とのコミュニケーションを実践する	澤田,掛谷,非常勤講師
第２回	基礎看護学実習Ⅱは 受持ち患者の看護過程を展開する	澤田,市村,飯田,岡本,一ノ瀬,掛谷,非常勤
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		

第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	参考図書等は秋学期以降に指示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学概論			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-301		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 成人期にある人々の特徴および健康上の問題について理解し、各健康レベルに応じた看護について理解する。さらに、成人期にある人々への看護に有用な概念・理論を学ぶ。 到達目標 １．成人期にある人々の特徴と、生活の影響による健康問題の特徴を理解する。 ２．各健康レベルや状態に応じた看護について理解する。 ３．成人期にある人々の看護に必要な基本的アプローチを理解する。 ４．成人看護に有用な概念・理論について理解する。
授業概要	成人期にある人々は、身体的特性、生活特性、個人に課せられた役割・期待などが統合された社会的存在である。そのため、身体的な健康上の問題だけでなく、家庭や社会における精神的ストレスなど複雑な問題を抱えている。ライフサイクルにおける成人期の特徴を社会や生活の関係から理解し、健康問題と主体的に健康生活を送るために必要な支援のあり方を考える。また、成人期の対象に有用な理論を理解し、成人看護の基本的アプローチと看護の役割について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記テスト（100%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題学習に対して、授業の中でフィードバックする。
履修条件・注意事項	次回授業までに次回授業部分のテキストをよく読み、専門的用語や諸理論の理解を深める。課題等自己学修に積極的に取り組むよう期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	理解を深めるために、次回授業予定に関してテキストを読んでおく。テキストにある成人看護に関する概念や理論について、テキスト以外に文献を読み、理解を深める。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて金曜日昼休みに実施

	授業計画	担当者
第１回	成人と生活・生活と健康	門倉康恵
第２回	成人への看護アプローチの基本	門倉康恵
第３回	ヘルスプロモーションと看護	門倉康恵
第４回	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 慢性病との共存を支える看護 人生の最後のときを支える看護	門倉康恵
第５回	学習者である患者への看護技術 治療過程にある患者への看護技術	門倉康恵

第６回	症状マネジメントにおける看護技術	門倉康恵
第７回	療養の場を移行する人々への看護技術	門倉康恵
第８回	まとめ 筆記試験	門倉康恵
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野　成人看護学総論　成人看護学１	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	小松浩子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-04701-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ナーシンググラフィカ22　成人看護学概論	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１	安酸史子編著	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-7528-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学Ⅰ			担当者	飯田　尚美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-302		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ： 健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。 到達目標： １）循環機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。 ２）呼吸機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。
授業概要	循環・呼吸機能は生命維持において重要な臓器であること、また生活習慣により機能が障害されることが多い。疾患を理解したうえで、循環・呼吸機能に障害がある成人期の患者を理解し、その基本的な看護について学び、考える。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（100%)で評価する。 評価の詳細については第1回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために提示した課題は、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 プリントを配布する場合があるので、ファイルを用意すること。 詳細は第１回目の授業で全体計画の説明をする。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない点をまとめて授業を受ける。 復習：毎回の授業終了後に教科書を読み、授業内容を確認しノートをまとめておく。
オフィスアワー	水曜日：2時限目　6号館4階　6421研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス、循環機能障害のある患者の看護①心不全	飯田
第２回	循環機能障害のある患者の看護②虚血性心疾患	飯田
第３回	循環機能障害のある患者の看護③刺激伝導系の障害、弁機能障害	飯田
第４回	循環機能障害のある患者の看護④心筋症障害、血管の器質異常	飯田
第５回	呼吸機能障害のある患者の看護①呼吸不全	飯田
第６回	呼吸機能障害のある患者の看護②酸素化障害、換気障害	飯田
第７回	呼吸機能障害のある患者の看護③呼吸器感染症、肺がん	飯田
第８回	呼吸機能障害のある患者の看護④免疫・アレルギー性肺疾患、胸膜・縦隔疾患、呼吸リハビリテーション	飯田
第９回	終講試験	飯田
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	ナーシンググラフィカEX 疾患と看護① 呼吸器	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ナーシンググラフィカEX 疾患と看護② 循環器	教・出版社名2	メディカ出版
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	疾患別看護過程の展開　第6版	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	石川ふみよ、髙谷真由美　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1366-8
参・書籍名２	看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント　第5版	参・出版社名2	Gakken
参・著者名2	高木永子　監修	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7809-1195-4

授業科目名	成人看護学Ⅱ			担当者	薬師寺　公一		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-303		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 成人各期に起こりうる疾患の診断と外科的治療について学び、理解を深める
授業概要	成人各期に起こりうる消化器・循環器・呼吸器・女性生殖器疾患における外科的療法・麻酔法・救命救急について講義する。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業態度40%　定期試験60%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	定期試験の結果をフィードバックして理解を深める。
履修条件・注意事項	予習・復習を行う。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医師（専門領域：消化器外科）としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている内容について自己学習する。（60分） 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。（60分）
オフィスアワー	授業終了後

	授業計画	担当者
第１回	外科学総論 ・外科学の歴史・専門分化（麻酔学を含む）・インフォームドコンセントなど	薬師寺
第２回	外科学総論 ・拡大手術と縮小手術　・集学的手術　・術後合併症等	薬師寺
第３回	外科学各論　食道・胃の疾患	薬師寺
第４回	小腸・大腸の疾患	薬師寺
第５回	イレウス・ヘルニア等	薬師寺
第６回	肝臓・胆道系の疾患	薬師寺
第７回	門脈圧亢進症の外科治療	薬師寺
第８回	膵臓の疾患・腹膜炎	薬師寺
第９回	鏡視下手術	薬師寺
第１０回	麻酔法 全身麻酔	薬師寺
第１１回	麻酔法 局所麻酔	薬師寺
第１２回	乳癌の診断と外科的手術	薬師寺
第１３回	乳癌の併用療法	薬師寺
第１４回	小手術について①	薬師寺

	縫合法、消毒、滅菌等		
第１５回	小手術について② 縫合法、消毒、滅菌等	薬師寺	
第１６回	定期試験	薬師寺	
教科書			
教・書籍名１	ナースの為の一般外科	教・出版社名１	真興交易医書出版部
教・著者名１	高倉　範尚他	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学Ⅲ			担当者	飯田　尚美、一ノ瀬　公美、門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-304		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康レベルと治癒過程と回復のプロセスを理解することができる。 周手術期・回復期・リハビリ期にある成人の看護、また、がん看護と終末期における成人の特徴、病態生理、機能障害、治療、心理状況および社会的変化を理解し、看護につなげることができる。
授業概要	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱに連動する科目であり、周手術期・慢性期にある成人の看護に焦点を当てる。 成人に必要な基本的援助技術、看護展開について講義を通して学ぶ。 健康レベルと治癒過程と回復までにおける看護の継続性について学び、看護師の役割を考える。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、周術期看護及びがん看護の経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	筆記試験（100%)で評価する。 評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回プリントを配布するので、第１回目授業からファイルを用意すること。 詳細は第一回目の授業で全体計画の説明をする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、看護の現場において実践的に役立つ授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、大切な部分にはマーカーを引き、理解できない部分をまとめて授業を受ける。 授業ごとに教科書を読み、ノートをまとめておく。
オフィスアワー	6号館4階　（6407）　木曜日　昼休み

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス、周術期看護①（術前の看護）	門倉康恵
第２回	周術期看護②（術中の看護）	門倉康恵
第３回	周術期看護③（術後の看護）	門倉康恵
第４回	周術期看護④（術後合併症）	門倉康恵
第５回	演習：事例展開	門倉・飯田・一ノ瀬
第６回	がん看護概論	門倉康恵
第７回	周術期看護各論①食道がん	門倉康恵
第８回	周術期看護各論②胃がん	門倉康恵
第９回	周術期看護各論③大腸がん	門倉康恵
第１０回	周術期看護各論④肝胆膵	門倉康恵
第１１回	周術期看護各論⑤泌尿器がん	門倉康恵
第１２回	周術期看護各論⑥肺がん	門倉康恵

第１３回	周術期看護各論⑦乳がん・子宮がん・卵巣がん		門倉康恵
第１４回	緩和ケア		門倉康恵
第１５回	演習（血糖測定・術後合併症の予防）		門倉・飯田・一ノ瀬
第１６回	まとめ・終講試験		門倉・飯田・一ノ瀬
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　臨床外科総論 系統看護学講座　臨床外科各論 系統看護学講座　消化器・腎泌尿器・呼吸器・女性生殖器	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	術前・術後の看護ケア	教・出版社名2	ナツメ社
教・著者名2	中島恵美子・伊藤有美監修	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8163-6565-2
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学Ⅳ			担当者	飯田　尚美、門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-305		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。 到達目標： １）消化・吸収機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。 ２）運動器機能障害のある患者の特徴と病態を理解し、必要な看護援助について理解できる。
授業概要	健康障害のある成人期の患者の看護を取り上げる。 １）疾患の病態生理の理解ならびに看護援助について理解を深める。 ２）疾患各期の症状の理解と対症看護について理解を深める。 ３）生活改善を含むさまざまなセルフケアについてその援助方法も含め理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	終講試験（100％） 評価の詳細については第1回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために提示した課題は、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、第１回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、臨床現場での実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受ける。 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を確認する。
オフィスアワー	水曜日：2時限目　6号館4階　門倉（6407）研究室 水曜日：2時限目　6号館4階　飯田（6421）研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス、消化・吸収機能障害のある患者の看護①（消化器の機能と役割・主な消化器症状と看護）	門倉康恵
第２回	消化・吸収機能障害のある患者の看護②（食道・胃疾患）	門倉康恵
第３回	消化・吸収機能障害のある患者の看護③（腸・腹膜疾患）	門倉康恵
第４回	消化・吸収機能障害のある患者の看護④（肝胆膵疾患）	門倉康恵
第５回	運動器機能障害のある患者の看護①骨折	飯田尚美
第６回	運動器機能障害のある患者の看護②脱臼、靭帯損傷、その他の外傷	飯田尚美
第７回	運動器機能障害のある患者の看護③関節炎・腱鞘炎、変形性関節症	飯田尚美
第８回	運動器機能障害のある患者の看護④大腿骨頭壊死症、脊椎変性疾患、末梢神経麻痺	飯田尚美
第９回	終講試験	門倉・飯田
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		

第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	1～4回　ナーシンググラフィカEX 疾患と看護③ 消化器 5～8回　ナーシンググラフィカEX 疾患と看護⑦ 運動器	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	看護看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 疾患別 看護過程の展開	参・出版社名１	学研メディカル秀潤社
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学Ⅴ	担当者	飯田　尚美、一ノ瀬　公美、門倉　康恵
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	HS-NU-3-306

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康障害のある成人期の患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、患者に必要な看護援助を行うための基礎的な知識と技術を学修する。 慢性期の事例について看護展開を通して、成人期の看護の理解を深め、実践的な能力を身につける。
授業概要	１） 健康障害をきたす各機能の解剖生理および病態の理解を深めるとともに看護援助について理解する。具体的には血液、脳神経・筋、感覚器、糖尿病、腎、内分泌の各機能障害の看護について学ぶ。 ２）各論実習を視野に入れ、看護過程の展開をG.Wを行い発表する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	終講試験：80%＋課題学習（事前課題含む）：20%　を合わせて評価する
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために提示した課題は、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回プリントを配布するので、第１回目授業からファイルを用意すること。 詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：各授業計画に記載されている単元について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受ける。 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を確認する。
オフィスアワー	水曜日：2時限目　6号館4階　各教員の研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス、脳血管障害のある患者の看護①：症状理解	飯田
第２回	脳血管障害のある患者の看護②：疾患看護	飯田
第３回	神経・筋疾患のある患者の看護①：症状理解	飯田
第４回	演習①：演習ガイダンス・関連図の書き方・事例展開	門倉・飯田・一ノ瀬
第５回	神経・筋疾患のある患者の看護②：疾患看護	飯田
第６回	感覚器機能障害のある患者の看護①：症状理解	飯田
第７回	感覚器機能障害のある患者の看護②：疾患看護	飯田
第８回	演習③　事例展開・関連図の発表	門倉・飯田・一ノ瀬
第９回	糖尿病患者の看護	一ノ瀬
第１０回	腎機能障害のある患者の看護	一ノ瀬
第１１回	透析治療の必要な患者の看護	一ノ瀬
第１２回	演習④　事例展開　看護計画の発表・まとめ	門倉・飯田・一ノ瀬
第１３回	内分泌・副腎機能障害のある患者の看護	一ノ瀬
第１４回	血液疾患のある患者の看護①：症状理解	一ノ瀬
第１５回	血液疾患のある患者の看護②：疾患看護	一ノ瀬
第１６回	まとめ・終講試験	門倉・飯田・一ノ瀬

教科書

教・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　②呼吸器、④血液・造血器、⑥内分泌・代謝、⑦	教・出版社名１	医学書院

	脳・神経、⑧腎・泌尿器		
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ナーシンググラフィカ　疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚	教・出版社名2	メディカ出版
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント　第５版 疾患別　看護過程の展開　第6版 看護過程の解体新書	参・出版社名１	学研メディカル秀潤社
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	成人看護学実習Ⅰ			担当者	飯田　尚美、一ノ瀬　公美、門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-307		
必修・選択	必修	単位数	3単位	時間数	135	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	目的：成人期にある患者を総合的に理解し、健康レベルに応じた看護実践を通して看護過程を展開するための知識・技術・態度を修得する。 目標：１．成人期にある対象の特徴を理解し、健康レベルに応じた個別性のある看護過程の展開ができる。 ２．成人期にある対象を通して保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる。 ３．実習を通して自己を見つめ、専門職者としての倫理観・看護観を養う。
授業概要	各実習病棟において、患者を受け持ち、指導者とともに看護を実施する。看護過程の展開においては、問題解決思考に基づき、情報の収集・アセスメント・関連図・看護目標と計画立案、実施と評価のプロセスを展開する。適宜、カンファレンスを開き、各々の学びを共有し看護内容を深める。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、実習現場において実践的に役立つ実習指導を行う。 ＊詳細については、看護学実習手引実習要綱「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を用いて実習オリエンテーションを行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習の手引きの成人看護学実習Ⅰ評価表に基づき評価を行う。 実習のための事前課題についても評価対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	事前課題は、フィードバックするので見直し・修正しておくこと。
履修条件・注意事項	臨床の場での実践を重視するので、出席は最低条件である。出席は、実習オリエンテーションから終了後のまとめまでを含む。 患者のプライバシーの保護や人権尊重を重視するとともに、安全で安心のできる看護を展開すること。学生自身の健康管理も重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、看護師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ指導を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	成人看護学ⅢおよびⅤで提示される課題、成人看護学実習オリエンテーションで提示される各病棟における疾患について自己学習しておく。 実習中に実際に行う看護技術については、事前学習をしていなければ実施できない。
オフィスアワー	適宜、必要時、面談を実施 各実習施設のカンファレンス室・控室

授業計画		担当者
第１回	1　実習内容は実習の手引き「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」に基づく。	門倉・飯田・一ノ瀬・
第２回	2　臨地において患者を受け持ち看護の展開を行う。	門倉・飯田・一ノ瀬
第３回	3　成人看護学実習Ⅰで実践した看護をグループ間で共有し、学びを深める。	門倉・飯田・一ノ瀬
第４回	4　成人看護学実習Ⅰの病棟実習終了後、受け持ち患者の看護実践のまとめを行う。	門倉・飯田・一ノ瀬
第５回		
第６回		

第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統別看護学講座　別巻　臨床外科看護総論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	矢島勝彦、髙橋則子　編集	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-02769-4
教・書籍名２	系統別看護学講座　別巻　臨床外科看護各論	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	北島政樹、江川幸二　編集	教・ＩＳＢＮ2	978-4-260-02765-6
参考書			
参・書籍名１	これならわかる術前・術後の看護ケア	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	中島恵美子、伊藤有美　監修	参・ＩＳＢＮ１	978-8163-6565-2
参・書籍名２	看護過程の解体新書	参・出版社名2	Gakken
参・著者名2	石川ふみよ	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7809-1201-2

授業科目名	成人看護学実習Ⅱ			担当者	飯田　尚美、一ノ瀬　公美、門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-308		
必修・選択	必修	単位数	3単位	時間数	135	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	健康障害をもつ成人期の患者の看護過程を通して、基礎的な看護実践能力と根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。また、対人関係を構築する能力を高めるとともに、看護実践の中でこれまで学んだ理論と知識・技術を統合することができる。 実習目的：成人期にある患者を総合的に理解し、健康レベルに応じた看護実践を通して看護過程を展開するための知識・技術・態度を修得する。 実習目標：１．成人期にある対象の特徴を理解し、健康レベルに応じた個別性のある看護過程の展開ができる。 ２．成人期にある対象を通して保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を理解できる。 ３．実習を通して自己を見つめ、専門職者としての倫理観・看護観を養う。
授業概要	各実習病棟において、患者を受け持ち、指導者とともに看護を実施する。看護過程の展開においては、問題解決思考に基づき、情報の収集・アセスメント・関連図・看護目標と計画立案、実施と評価のプロセスを展開する。適宜、カンファレンスを開き、各々の学びを共有し看護内容の質を高める。 この科目は臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かし、実習現場において実践的に役立つ実習指導を行う。 ＊詳細については、看護学実習手引実習要綱「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を用いて実習オリエンテーションを行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）の評価表に基づき評価を行う。実習態度・実習記録などを評価基準にそって総合的に判断し評価する。 実習のための事前課題についても評価対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	適宜、看護実践及び記録物に関して指導・助言を行う。
履修条件・注意事項	臨床の場での実践を重視するので、出席は最低条件である。出席は、実習オリエンテーションから終了後のまとめまでを含む。 患者のプライバシーの保護や人権尊重を重視するとともに、安全で安心のできる看護を展開すること。学生自身の健康管理も重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ指導を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	成人看護学ⅢおよびⅤで提示される課題、成人看護学実習オリエンテーションで提示される各病棟における疾患について自己学習しておく。 実習中に実際に行う看護技術については、事前学習をしていなければ実施できない。
オフィスアワー	実習前は水曜2限、実習中は各グループの指導教員が実習その他の相談を受ける。

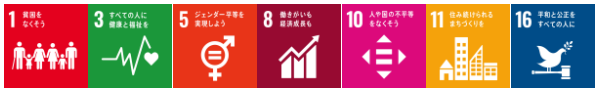
授業計画		担当者
第１回	１．実習内容は「成人看護学実習手引き」に基づく。	飯田・門倉・一ノ瀬・非常勤講師
第２回	２．患者を受け持ち看護過程の展開を行う。	飯田・門倉・一ノ瀬・非常勤講師

第３回	３．実習終了後、受け持ち患者の看護実践のまとめを行う。	飯田・門倉・一ノ瀬・非常勤講師
第４回	４．課題レポートを作成する。	飯田・門倉・一ノ瀬・非常勤講師
第５回	５．実践した看護をグループで共有し、他グループとの合同カンファレンスを通して学びを深める。	飯田・門倉・一ノ瀬・非常勤講師
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　成人看護学　【7】脳神経【4】血液造血器【2】呼吸器【3】循環器【5】消化器	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ナーシンググラフィカ　緩和ケア	教・出版社名2	メディカ出版
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	看護過程の解体新書	参・出版社名１	学研
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント　第5版	参・出版社名2	Gakken
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年看護学概論			担当者	岡本　さゆり		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-401		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	テーマ：高齢者を一人の生活者として捉え、多面的・総合的に理解を深める。 到達目標： ①高齢者を多面的に捉えるために、身体的、精神的、社会的な老いのプロセスが理解できる。 ②高齢者とその家族の現状を理解し、現代的な課題を理解できる。 ③高齢者へのエイジズムと、倫理的な課題を理解できる。 ④人を生活者として捉え、多面的・総合的に理解を深める。
授業概要	老年看護学の対象となる高齢者を、社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化の過程のみならず、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境など多面的な理解をもとに、対象の健康と生活を支える専門職としての基本的な考え方や姿勢を形成することができるよう、学習を深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	定期試験80%、レポート等20%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業ごとに、感じたこと、学んだこと、疑問に思ったことなどを紙面に記入して提出。 その内容について、今後の授業の中に取り入れ、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	授業ごとに、学び・感想について提出。 必要時小テストを実施する。復習が必要。 毎回プリントを配布するので、第１回目か授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について、事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業をうけること。 授業後は、復習をすること。
オフィスアワー	毎週水曜日2限　6413研究室

	授業計画	担当者
第１回	〈理念〉高齢者理解への視点　高齢者理解の９つのP	岡本
第２回	〈対象論〉身体的老化の過程①：身体的老化のプロセス、老化に関する学説等	岡本
第３回	〈対象論〉身体的老化の過程②：運動器系	岡本
第４回	〈対象論〉精神的老化の過程：高齢者の知能、高齢者を理解する理論、老年期の喪失、等	岡本
第５回	〈対象論〉社会的老化の過程：社会的老化への課題、統計的に見た高齢者の現状・高齢者世帯の現状、等	岡本
第６回	〈家族論〉現代の高齢者と家族：家族とライフサイクル、高齢者と家族の関わり、家族介護への援助、等	岡本
第７回	〈家族論〉家族介護機能と課題／まとめ：介護が必要になったとき／老年看護学概論のまとめ	岡本

第８回	定期試験	岡本
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　老年看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	北川公子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　老年看護　病態・疾患論	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	鳥羽研二ほか	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年看護学Ⅰ			担当者	岡本　さゆり		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-402		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： 老年看護学の対象である高齢者の理解を深めるために、社会的な現状を理解する。 到達目標： ①日本と世界の高齢化の現状を理解できる。 ②日本の高齢者の現状と課題が理解できる。 ③日本の高齢者施策が理解できる。 ④高齢者の健康課題が理解できる。
授業概要	我が国の高齢者のおかれている状況を社会の動向と関連させながら理解し、高齢者施策の中でも介護保険制度に関する概要が理解でき、今後の課題を考える主体的な学びとなるよう講義を進める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験80%、課題提出等20%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業ごとに、感じたこと、学んだこと、疑問に思ったことなどを紙面に記入して提出。 その内容について、次回以降の授業に取り入れ、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修条件 ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。 注意事項 ・毎回プリントを配布するので、第１回目か授業からファイルを用意すること。 ・随時小テストを実施する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療福祉の現場で実践的に役立つ授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	自己学修 予定されている項目について教科書を読み、疑問点を書き出しておく。授業後は復習を行う。 随時、小テストを実施。
オフィスアワー	毎週水曜日２限　6413研究室

授業計画		担当者
第１回	＜社会論＞日本と世界の高齢化の現状・2025年問題	岡本
第２回	＜社会論＞介護保険制度の概要	岡本
第３回	＜健康論＞老年症候群１（①老年症候群とは、②急性・慢性・疾患に付随する症候）	岡本
第４回	＜健康論＞老年症候群２（①ADL低下に合併する症候　②フレイル）	岡本
第５回	＜エンドオブライフケア＞生きることを支えるケア	岡本

第６回	＜課題のまとめ１＞とある高齢者の人生：グループワーク	岡本
第７回	＜課題のまとめ２＞とある高齢者の人生：発表	岡本
第８回	＜老年看護学の展望とまとめ＞ 筆記試験	岡本
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	北川公子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患論	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	鳥羽研二ほか	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年看護学Ⅱ	担当者	澤田　和子、岡本　さゆり、飯田　尚美、一ノ瀬　公美
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	HS-NU-3-403

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義　演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限 月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： 　加齢によって生じる様々な変化を理解し、高齢者の生活・療養の場に応じた看護援助の方法について学習する。また、老年看護学の理論・知識・技術を踏まえ、健康の段階に応じた老年看護技術を習得する。 到達目標： １．高齢者に起こりやすい症候や高齢者特有の症状のあらわれ方について理解でき、それらに対する看護　援助について理解できる。 ２．高齢者の健康障害や特有な疾患とそれらに対する看護について理解できる。 ３．高齢者のQOLを高める看護活動について理解できる。 ４．高齢者の健康段階に応じた日常生活援助技術を身に着けることができる。 ５．障害を持つ高齢者が日常生活に対応できるよう、高齢者とその家族に応じた看護活動について理解でき、看護過程の展開ができる。
授業概要	講義、高齢者疑似体験、看護技術演習、グループワークを通して、老年期に特徴的な疾患や身体症状を理解し、身体的・精神的・社会的側面を幅広くとらえ、生活形態にあった援助のために必要な知識や実践的な技術を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	試験70%　課題への取組み・提出物30%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業ごとに、感想、学び、疑問などを紙面に記入し、提出。 その内容について次回以降の授業でフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修条件 ・課題に対する積極的な取り組みができる。 ・高齢者を敬う気持ちをもって取り組むことができる。 ・リーダーシップ、メンバーシップを発揮し、お互いに学びを深め合う姿勢で挑むことができる。 注意事項 ・毎回プリントを配布するので、第１回目か授業からファイルを用意すること。 ・随時小テストを実施する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は看護師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、医療福祉現場において実践的に役立つ授業を展開する。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について、事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。授業後は復習をすること。各９０分の時間を要す。
オフィスアワー	水曜日2限　6413研究室

	授業計画	担当者
第１回	高齢者を取り巻く状況　老年看護学Ⅱガイダンス	岡本
第２回	高齢者の特徴（身体的・心的・社会的）：高齢者全体像作成	岡本
第３回	高齢者の特徴（身体的・心的・社会的）：高齢者全体像の発表	岡本
第４回	高齢者のヘルスアセスメント	岡本
第５回	疾患・障害のある高齢者の看護１：泌尿器系疾患と排泄ケア	一ノ瀬

第６回	疾患・障害のある高齢者の看護１：泌尿器系疾患と排泄ケア（演習）	一ノ瀬・岡本
第７回	疾患・障害のある高齢者の看護２：認知症（認知症サポーター養成講座）	岡本
第８回	疾患・障害のある高齢者の看護２：認知症（認知症サポーター養成講座：演習）	岡本
第９回	疾患・障害のある高齢者の看護３：骨関節疾患と転倒予防	岡本
第１０回	疾患・障害のある高齢者の看護３：骨関節疾患と転倒予防（演習）	岡本
第１１回	高齢者と災害	澤田
第１２回	生活、療養の場における看護：介護保険施設等	岡本
第１３回	高齢者の生活機能を整える看護：基本的動作・清潔	岡本
第１４回	高齢者の生活機能を整える看護： 生活リズム・コミュニケーション	岡本
第１５回	疾患・障害のある高齢者の看護４：摂食嚥下障害のケア	飯田
第１６回	疾患・障害のある高齢者の看護４：摂食嚥下障害のケア（演習）	飯田・岡本
第１７回	高齢者リハビリテーション	岡本
第１８回	看護過程の展開１：事例紹介	岡本
第１９回	高齢者の理解：高齢者疑似体験（演習）	岡本
第２０回	高齢者の理解:疑似体験(まとめ、発表)	岡本
第２１回	護過程の展開２：情報の整理～看護計画	岡本
第２２回	看護過程の展開４：グループワーク	岡本
第２３回	看護過程の展開5：発表	岡本
第２４回	高齢者コミュニケーション	岡本
第２５回	高齢者コミュニケーション（演習）	岡本
第２６回	高齢者施設における看護師の役割	外部講師・岡本
第２７回	医療機関（病院）における高齢者の看護	岡本
第２８回	高齢者施設における高齢者の看護	岡本
第２９回	老年看護学のまとめ１：視聴覚教材	岡本
第３０回	老年看護学Ⅱのまとめ	岡本
第３１回	定期試験（筆記）	岡本
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　老年看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	北川公子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　老年看護病態・疾患論	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	鳥羽研二ほか	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	根拠と事故防止から見た　老年看護技術	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	亀井智子	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年看護学実習Ⅰ			担当者	岡本　さゆり		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-404		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 医療機関における老年看護実践において、加齢や疾病による健康課題を有する高齢者を受け持ち、高齢者特有の健康障害について理解を深め発達段階や健康状態に応じた看護が実践できる能力を養う。 また、看護実践を行う中で、チーム保健医療や家族との連携、社会福祉資源の活用について学び、チームの一員としての看護の役割について考える力を養う。 到達目標 １．高齢者を身体的・精神的・社会的側面から捉えることができる。 ２．対象となる高齢者の健康問題とそれに由来する生活機能障害について理解でき、看護問題（看護の焦点）を明らかにする。 ３．高齢者のQOLが高められるよう支援できる。 ４．高齢者における継続看護の重要性を認識し、地域での生活に向けた看護や他職種との連携、家族への支援について理解できる。 ５．高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションをとることができる。 ６．看護実践をとおして自己の高齢者観を養う。
授業概要	入院中の受け持ち高齢患者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、看護スタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。 １）学生１名の患者（利用者）を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。 ２）Ⅰ実習では、問題解決思考に基づいて看護問題を導き、ケア計画等は事前に指導者から助言を受け実施する。指導者との中間・最終カンファレンスで、助言・指導を受ける。 ３）受け持ち患者（利用者）だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者（利用者）とも積極的に関わる。 ４）看護師・スタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習
評価方法と割合	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、課題への取り組みや合同カンファレンスの内容(30%)をもとに総合的に評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	日々のカンファレンスにて口頭、および書面にてフィードバックを行う
履修条件・注意事項	・実習は、全出席を原則とする。 ・受持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。
事前学習・事後学習とその時間	実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に着けておく。 実習中は、健康状態の維持に努める。 日々、実習での学びについて振りかえりと記録、翌日の実習計画を綿密に立て、実習に望む。		
オフィスアワー	実習中は、巡回時や昼休憩、日々の実習終了後など、控室やカンファレンスルームにおいて、いつでも面談する。		

	授業計画	担当者
第１回	医療機関または学内にて、実習計画に沿って実習を行う	岡本、非常勤講師
第２回	1週目：オリエンテーション、問題・計画立案カンファレンス、中間カンファレンス、看護活動の実践	岡本、非常勤講師
第３回	2週目：看護活動の実践、最終カンファレンス	岡本、非常勤講師
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	老年看護学概論・老年看護学Ⅰ・老年看護学Ⅱで使用したテキスト	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	

参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	老年看護学実習Ⅱ			担当者	岡本　さゆり		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-405		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 介護老人保健施設または介護老人福祉施設で生活する高齢者とのかかわりを通して、老年期の身体的・心理的・社会的特徴や、コミュニケーションの方法について学び、高齢者のQOLの維持・向上を目指した老年看護を実践するために必要な能力を養う。 　さらに、高齢者の生きてきた時代背景などを知ることで、個を尊重した関わりの大切さを理解し、高齢者・家族を取り巻く保健・医療・福祉の社会資源及び多職種との連携の実際を知り、施設での看護職の役割を学ぶ。 到達目標 １．加齢に伴って起こる変化が日常生活にどのような影響を及ぼしているか理解できる。 ２．高齢者の生活の場と日常生活に必要な援助を理解できる。 ３．多職種との連携・協働のあり方や保健・医療・福祉の連携の現状を理解し、看護の役割を考えることができる。 ４．高齢者を援助するさまざまな場面の中で、学生自身の感情や態度を考察しながら、高齢者とのコミュニケーションのとり方を学び、自己の課題を明確にできる。 ５．看護実践をとおして自己の高齢者観を養うことができる。
授業概要	概要 施設入所中の受け持ち高齢利用者のケアを通して、実習目標を達成するために、臨床指導者、ケアスタッフ、教員の指導助言のもとに実習を進める。 １）学生１名の患者（利用者）を受け持ち、担当看護師・スタッフとともに看護・ケアを行う。 ２）受け持ち患者（利用者）だけでなく、同室者や短期入所者、デイサービス利用者など、他の患者（利用者）とも積極的に関わる。 ３）看護師・ケアスタッフの援助場面にも積極的に参加・見学を行う。 ４）2週目は学内にて振り返り、演習、まとめ等を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	教員評価・実習記録・実習態度・事前学習(70%)、実習の取り組み、カンファレンスの内容(30%)等をもとに総合的に評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	日々のカンファレンスにて口頭および書面にてフィードバックを行う
履修条件・注意事項	実習は、全出席を原則とする。 ・受持ち高齢者への尊厳と敬意を常に意識する。 ・高齢者とコミュニケーションを通して、自己の対人援助職としての姿勢を振り返る。 ・看護・介護スタッフと連携を取り、安全・安楽なケアを提供できるよう努める。
実務経験のある教員	該当する　　内容　この科目は、学外実習であり、看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、医療・福祉の現場における実践的教育から構成された科目である。

事前学習・事後学習とその時間	実習初日までに、事前学習について読み返し、基本的知識を身に着けておく。 実習中は、健康状態の維持に努める。
オフィスアワー	実習中は、巡回時や昼休憩、日々の実習終了後など、控室やカンファレンスルームにおいて、いつでも面談する。

授業計画		担当者
第１回	高齢者施設にて、実習計画に沿って実習を行う	岡本　非常勤講師
第２回	1週目：オリエンテーション、中間カンファレンス、看護活動の実践、最終カンファレンス	岡本　非常勤講師
第３回	2週目：学内実習（振り返り、まとめ、演習等）	岡本　非常勤講師
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	老年看護学概論、老年看護学Ⅰ、老年看護学Ⅱで使用したテキスト	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児看護学概論	担当者	安福　真弓
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	HS-NU-2-501

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：健康な子どもの理解と小児看護の役割 到達目標：子どもは、絶えず成長･発達を続けていることを理解し、発達段階における子どもの特徴を知るとともに、子どもに対する見方、考え方を深め、小児看護学の意義を理解できる。
授業概要	「子どもと家族の看護の概念」「子どもを取り巻く社会」「健康な子どもの成長･発達」といった側面から、小児看護の対象を理解し、看護の役割や機能を学ぶ。また、子どもと家族を取り巻く現状について、統計資料や関係法規、新聞記事などを通して捉え、現代の小児と家族を取り巻く諸問題についても考える。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	最終試験（60%）、課題レポートなど（40%）で評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した試験やレポートなどについては、個別でフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	授業態度や出席状況も重視する。また、講義内での課題提示したものについては、レポートの形式や提出期限を厳守のこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を交えながら、子どもの養育に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	示された範囲の教科書は熟読し講義に臨み、講義後はノート整理を行なうこと。予習・復習には2時間以上を要する。
オフィスアワー	月曜2限(11:10～12：40）に6号館個人研究室(6405）にて対応

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス　小児看護とは	安福
第２回	小児看護の変遷・倫理	安福
第３回	子どもと家族を取り巻く社会（1）子どもと家族の諸統計	安福
第４回	子どもと家族を取り巻く社会（2）子どもと家族を守る法律	安福
第５回	子どもの成長発達（1）身体的発達	安福
第６回	子どもの成長発達（2）心理・社会的発達	安福
第７回	子どもの成長発達（3）養育（子どもと遊び含む）	安福
第８回	単位認定試験	安福
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　小児看護学〔１〕小児看護学概論　小児臨床看護総論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　小児看護学〔2〕　小児臨床看護各論	教・出版社名2	医学書院

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児看護学Ⅰ			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-502		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児期の各期（新生児、乳児、学童、思春期）においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。
授業概要	１．小児各期のおける成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 ２．循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 ３．消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 ４．血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 ５．腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 ６．神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 ７．発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ミニテスト30%、定期試験70%に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した試験は、授業の中でフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、長年、小児科医としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護師として必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	受講前には各回のテキスト内容を一読し、受講後は学習した内容をその日のうちにまとめる。特に、疑問やわからなかった点をチエックして調べておくこと。予習・復習には、2時間以上を要する。
オフィスアワー	火曜1限(9：30 ～11：00 ）に個人研究室(6 号館 4 階6420研究室)にて対応

授業計画		担当者
第１回	小児期の特徴と内容	赤在
第２回	成長と発達（胎児）	赤在
第３回	成長と発達（新生児期）	赤在
第４回	乳幼児期の栄養	赤在
第５回	診断と治療における特性	赤在
第６回	新生学	赤在
第７回	新生児期の病気	赤在
第８回	感染症	赤在
第９回	神経疾患	赤在
第１０回	神経疾患（痙攣性疾患など）	赤在
第１１回	神経筋難病	赤在
第１２回	腎・泌尿器疾患	赤在
第１３回	発達障害（発達遅滞、重症心身障害）	赤在
第１４回	発達障害（ADHD、多動など）	赤在

第１５回	小児疾患とリハビリ		赤在
第１６回	定期試験		赤在
教科書			
教・書籍名１	小児看護学総論、小児看護学Ⅰ・Ⅱ	教・出版社名１	JEIドキュメントセンター
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　小児看護学〔1〕　小児看護学概論　小児臨床看護総論	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　小児看護学〔2〕　小児看護各論	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児看護学Ⅱ			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-503		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児期の各期（新生児、乳児、学童、思春期）においてみられる疾患について、原因、病態生理、症状、経過、治療および予防の観点を学び、疾患をもつ小児特徴と治療および療養生活の看護援助、療育の方法と家族支援の方法について理解する。
授業概要	１．小児各期のおける成長と発達段階、各時期に特有な疾患について学ぶ。 ２．循環器疾患では、先天性ならびに後天性心疾患、特に川崎病、心筋症、不整脈の病態について学ぶ。 ３．消化器疾患では、先天奇形、食道・胃・小腸・大腸・直腸疾患、肝臓疾患について学ぶ。 ４．血液・造血疾患では主に貧血、白血病について学ぶ。 ５．腎臓・泌尿器疾患では、急性子宮体腎炎とネフローゼ症候群について学ぶ。 ６．神経疾患では、炎症性疾患、免疫性疾患、血管性疾患などを学ぶ。 ７．発達障害と社会生活の支援や難病についても学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	ミニテスト30%、定期試験70%に加え、授業態度も加味して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した試験は、授業の中でフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	小児科疾患の病態生理に関心を持つこと。また、医療に関するニュースに関心をもつこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、長年、小児科医としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護師として必要とされる知識や能力について講義し、理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	受講前には各回のテキスト内容を一読し、受講後は学習した内容をその日のうちにまとめる。特に、疑問やわからなかった点をチエックして調べておくこと。予習・復習には、2時間以上を要する。
オフィスアワー	火曜1限(9：30 ～11 ：00 ）に個人研究室(6 号館 4 階6420研究室)にて対応

	授業計画	担当者
第１回	循環器疾患（先天性、後天性）	赤在
第２回	消化器疾患（幽門狭窄症など）	赤在
第３回	消化器疾患（肝炎、胆道閉そく症、肝臓移植）	赤在
第４回	血液疾患（貧血）	赤在
第５回	血液疾患（白血病など）	赤在
第６回	悪性腫瘍（神経芽細胞腫など）	赤在
第７回	悪性腫瘍（脳腫瘍）	赤在
第８回	腎臓・泌尿器疾患	赤在
第９回	神経疾患（感染症、血管性疾患、免疫性疾患）	赤在
第１０回	神経疾患（痙攣性疾患など）	赤在
第１１回	神経筋難病	赤在
第１２回	発達障害（脳性麻痺）	赤在
第１３回	発達障害（発達遅滞、重症心身障害）	赤在
第１４回	発達障害（ADHD、多動など）	赤在
第１５回	発達障害等への支援	赤在
第１６回	定期試験	赤在

教科書

教・書籍名１	小児臨床看護総論、小児看護学１・２	教・出版社名１	JEIドキュメントセンター
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　小児看護学〔1〕　小児看護学概論　小児臨床看護総論	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　小児看護学〔2〕　小児看護各論	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児看護学Ⅲ	担当者	安福　真弓
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	HS-NU-3-504

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：健康障害をもつ子どもと家族の看護 到達目標：健康障害をもつ子どもの身体的、精神的、社会的特徴や家族への影響、生活・療養するための看護について理解できる。
授業概要	社会の変化や医療・看護の発展に伴って、小児看護の役割も大きく変化している。それらを考慮しつつ、疾病や障害が子どもと家族に与える影響、経過別看護の特徴や小児の特性を踏まえた症状の捉え方、検査や処置を受ける子どもの看護援助技術、外来や病棟における看護の役割について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	最終試験（60%）、レポートや演習、ノート整理（40%）で評価を行います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した試験やレポートなどについては、個別でフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	授業態度や出席状況も重視する。講義内での課題提示したものについては、提出期限を厳守のこと。日頃より、乳幼児の好きなテレビ番組やキャラクターについて興味関心をもって情報を得ておく。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を持つ教員が、臨床において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	示された範囲の教科書は熟読し講義に臨み、講義後はノート整理を行なうこと。予習・復習には2時間以上を要する。
オフィスアワー	月曜2限(11：10～12：40）に個人研究室(6405)にて対応

	授業計画	担当者
第１回	病気や入院が子どもに与える影響	安福
第２回	急性期にある子どもと家族の看護（１）発熱・嘔吐・下痢・脱水	安福
第３回	急性期にある子どもと家族の看護（２）呼吸困難・意識障害・けいれん	安福
第４回	急性期にある子どもと家族の看護（３）主な事故と外傷	安福
第５回	周手術期の子どもと家族の看護	安福
第６回	心疾患をもつ子どもと家族の看護	安福
第７回	腎疾患をもつ子どもと家族の看護	安福
第８回	アレルギーをもつ子どもと家族の看護	安福
第９回	糖尿病をもつ子どもと家族の看護	安福
第１０回	白血病をもつ子どもと家族の看護（行動制限を受けるとは）	安福
第１１回	検査・処置を受ける子どもの看護（１）概要・プレパレーションの意義	安福
第１２回	検査・処置を受ける子どもの看護（２）演習	安福
第１３回	外来における子どもと家族の看護	安福
第１４回	災害における子どもと家族の看護	安福
第１５回	終末期の子どもと家族の看護	安福
第１６回	単位認定試験	安福

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　小児看護学〔1〕　小児看護学概論　小児臨床看護総論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	系統看護学講座　小児看護学〔2〕　小児看護各論	教・出版社名2	医学書院

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児看護学実習			担当者	安福　真弓、一ノ瀬　公美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-505		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児の発達各期の特徴や健康段階の特徴を理解し、健康障害の程度と発達段階に応じた個別的な看護ができることを目的とする。さらに小児を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割についても理解を深める。
授業概要	小児看護学実習（2週間）のうち、5日間は子どもの入院療養病棟や外来で、また、3日間は保育施設での観察、体験学習を組み合わせて行う。残り2日間は、学内での事前オリエンテーションや実習後のまとめとする(実習手引き参照)。なお、この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。 【小児病棟】 １．小児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解し、成長発達に応じた援助ができる。 ２．病気や入院が小児に及ぼす影響を理解し、適切な援助ができる。 ３．入院している小児の遊びの意義を理解し、適切な援助ができる。 ４．看護チームの一員としての責任を自覚し、小児の取り巻く環境と看護者のあり方が理解できる。 ５．保護者や家族のおかれた状況を理解し、適切な援助ができる。 【小児外来】 １．外来を訪れる小児の健康障害や心理を理解し、適切な援助ができる。 ２．小児外来における看護の役割とその重要性が理解できる。 【保育施設】 １．健康な乳幼児の身体的・精神的・社会的な発達段階について理解できる。 ２．乳幼児期の成長・発達には個人差があることが理解できる。 ３．健康な乳幼児の基本的な生活習慣の自立状況を観察し、成長発達に応じた援助の必要性が理解できる。 ４．乳幼児の成長発達において保育園と家庭との連携の重要性が理解できる。 ５．乳幼児の保健・福祉行政など、小児をめぐる保育環境について理解できる。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	小児の発達各期の特徴理解、健康段階に応じた援助の必要性の理解と看護実践、実習記録内容、実習態度（カンファレンスへの参加状況も含む）等を含めて、総合的に評価を行う。具体的には、小児看護実習評価表に基づき評価を行う
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	「小児看護学Ⅲ」において実習課題は提示する。実習の中で、適時、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	臨床実習においては、原則として欠席を認めない。免疫力も未熟さを有する小児に関わるがゆえに、特に実習生自身の生活や体調面において、自己管理を十分に行いながら、実習に臨むことが必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、保健医療福祉領域の専門職と連携しながら、実践的な授業（実習）を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	臨床現場においては、小児看護学に限らず、解剖学、生理学、病理学、栄養学、薬理学、微生物学など専門基礎分野の知識も必要であり、これらを十分に活用し統合できるよう、日頃から既習事項は整理しておく必要がある。
オフィスアワー	病棟や控室などで、適宜対応。

授業計画		担当者
第１回	①学内実習：小児看護学実習直前オリエンテーション（1日間）	安福・一ノ瀬
第２回	②保育施設（3日間）	安福・一ノ瀬
第３回	③子どもの入院療養病棟および小児科外来（5日間）	安福・一ノ瀬
第４回	④学内実習：小児看護学実習まとめの会（1日間）	安福・一ノ瀬

第５回			
第６回			
第７回			
第８回			
第９回			
第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
第１７回			
第１８回			
第１９回			
第２０回			
第２１回			
第２２回			
第２３回			
第２４回			
第２５回			
第２６回			
第２７回			
第２８回			
第２９回			
第３０回			
第３１回			
第３２回			
教科書			
教・書籍名１	小児関連の授業で使用したテキストや配布されたプリント	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	母性看護学概論			担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-601		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：母性とは何かについて、個人・家族、集団からその特徴を理解する。 到達目標： ・母性看護を取り巻く社会の変遷と現状を知り、母性看護の役割を述べることができる。 ・ 女性のライフサイクルを通し、各期に応じた看護活動について述べることができる。
授業概要	・ライフサイクルを通じて母性とは何かを理解し個人、家族、集団の視点からその特徴を学ぶ。 ・母性への看護援助を展開するために必要とされる基礎的知識を習得するために、母性看護に必要な概念について学ぶ。 ・母子保健に必要な統計とその政策について学習し、国内外での母性看護の役割について学ぶ。 ・女性のライフステージ各期の特徴、健康上の問題および看護について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義終了後の筆記試験（70%）、演習参加度(20%)、レポート（10%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題提出方法、試験範囲について適宜伝達する。
履修条件・注意事項	・社会情勢に目を向け、社会に対する関心を持ち、母性について考え、視野を広げること。 ・講義、演習(妊婦体験、グループワーク)には、積極的に参加すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、教育機関での経験もあるため母性看護学に精通している。
事前学習・事後学習とその時間	・授業後の復習や予習は必ず行うこと。 ・課題レポートの提出もあり、日々の自己学習を行う。
オフィスアワー	月曜日～金曜日　12:40～13:30　　福岡研究室（6423号室）

	授業計画	担当者
第１回	母性とは、母性看護の概念の変遷	福岡美和
第２回	セクシャリティとは：人間の性行動の特徴 について	福岡美和
第３回	リプロダクティブヘルス・ライツとは	福岡美和
第４回	母 保健における重要用語の理解わが国における母子保健統計の変遷	福岡美和
第５回	母子保健に関する政策の変遷と現状と母子保健に関する今後の課題と法的整備	福岡美和

第６回	思春期の抱える問題（10代の妊娠と出産）、春期と性感染症	福岡美和
第７回	各期に生じる身体的問題と看護	福岡美和
第８回	試験	福岡美和
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	母性看護学Ⅰ　女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケ　概論 第2版	教・出版社名１	医歯薬出版株式会社
教・著者名１	有森直子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	母性看護学Ⅰ			担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-602		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常・異常について理解する。 到達目標： １．　ライフサイクルに応じた女性および母子の健康をアセスメントし、必要な看護技術を学ぶことで、適切な看護援助過程を理解することができる。 1）妊婦の身体的特性、心理的・社会的特性をふまえた援助方法を理解できる。 2）産婦の分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化をふまえた援助方法を理解できる。 3）新生児の生理的変化をふまえ、健康な発達への援助方法を理解できる。 4）褥婦の身体的特性、心理・社会的特性をふまえた援助方法を理解できる。 5）妊婦・産婦・新生児・褥婦のハイリスクや異常時の援助方法を理解できる。
授業概要	骨盤模型、ファントームなどの教材、教具を使用し、周産期の正常経過とおこりやすい異常経過を学び、対象の理解と支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業中の小テスト(10%)、講義終了後の筆記試験（70%）レポート（10%）受講態度（10%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題提出方法、試験範囲は適宜伝達する。
履修条件・注意事項	看護するために必要な周産期の正常と異常について学ぶため、予習と復習は必ず行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、教育機関での経験もあるため母性看護学に精通している。
事前学習・事後学習とその時間	１．シラバスを基に事前学習を行い、内容を把握しておくこと。 ２．各講義終了後は必ず復習を行い、理解を深め、疑問点はそのままにせず質問し解決する。
オフィスアワー	月曜日～金曜日：12:40～13:30　福岡研究室（6423号室）

	授業計画	担当者
第１回	1.　小テスト 2.　妊娠期の身体的特性、心理・社会的特性、妊婦と家族および社会	福岡美和
	1.　小テスト 2.　妊娠期における看護	

第２回	妊婦の経過とアセスメント	福岡美和
第３回	1. 小テスト 2. 胎児の経過とアセスメント、 妊婦と家族の看護	福岡美和
第４回	1. 小テスト 2. 妊娠の異常と看護① ・ハイリスク妊娠 ・妊娠期の感染症 ・妊娠疾患　・多胎妊娠	福岡美和
第５回	1. 小テスト 2. 分娩期における看護 1) 分娩の経過 ・産痛、胎児に及ぼす影響、産婦の心理、社会的変化	福岡美和
第６回	1. 小テスト 2. 分娩期における看護 産婦と胎児の健康状態のアセスメント	福岡美和
第７回	1. 小テスト 2. 分娩第１期の活動期の看護	福岡美和
第８回	1. 小テスト 2. 分娩時の損傷、 分娩第3期の異常、 分娩時異常出血、 産科処置と産科手術	福岡美和
第９回	異常妊婦の異看護（糖尿病合併・血液型不適合）	福岡美和
第１０回	1. 小テスト 2. 褥婦のアセスメントと看護	福岡美和
第１１回	1. 小テスト 2. 施設退院後の看護、産褥の異常と看護 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱	福岡美和
第１２回	1. 小テスト 2. 新生児の機能	福岡美和
第１３回	事例による看護過程の展開の説明（妊娠期）	福岡美和
第１４回	事例による看護過程の展開の説明（新生児期）	福岡美和
第１５回	看護過程の展開のためのグループワークの作業、発表	福岡美和
第１６回	試験	福岡美和
教科書		

教・書籍名１	母性看護学Ⅰ　女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケ　概論　第2版	教・出版社名１	医歯薬出版株式会社
教・著者名１	有森直子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	母性看護学Ⅱ　質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得 第２版	教・出版社名2	医歯薬出版株式会社
教・著者名2	有森直子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	母性看護学Ⅱ			担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-603		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限 木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常・異常について理解する。 到達目標：ライフサイクルに応じた女性および母子の健康をアセスメントし、必要な看護技術を学ぶことで、適切な看護援助過程を理解する。 1）妊婦の身体的特性、心理的・社会的特性をふまえた援助方法を理解できる。 2）産婦の分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化をふまえた援助方法を理解できる。 3）新生児の生理的変化をふまえ、健康な発達への援助方法を理解できる。 4）褥婦の身体的特性、心理・社会的特性をふまえた援助方法を理解できる。 5）妊婦・産婦・新生児・褥婦のハイリスクや異常時の援助方法を理解できる。
授業概要	骨盤模型、ファントームなどの教材、教具を使用し、周産期の正常経過とおこりやすい異常経過を学び、対象の理解と支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業中の小テスト(10%)、講義終了後の筆記試験（70%）レポート（10%）受講態度（10%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題提出方法、試験範囲は適宜伝達する。
履修条件・注意事項	看護するために必要な周産期の正常と異常について学ぶため、予習と復習は必ず行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、教育機関での経験もあるため母性看護学に精通している。
事前学習・事後学習とその時間	１．シラバスを基に事前学習を行い、内容を把握しておくこと。 ２．各講義終了後は必ず復習を行い、理解を深め、疑問点はそのままにせず質問し解決する。
オフィスアワー	月曜日～金曜日：12:40～13:30　福岡研究室（6423号室）

	授業計画	担当者
第１回	1.　小テスト 2.　妊娠とその診断、妊娠期に行う検査とその目的、胎児の発育と健康状態の診断	福岡美和
第２回	1.　小テスト 2.　妊婦と胎児の経過の診断	福岡美和
第３回	妊婦と胎児の経過とアセスメント	福岡美和
第４回	1.　小テスト 2.　妊婦と家族の看護問題	福岡美和
第５回	1.　小テスト 2.　妊婦と家族の看護の援助方法	福岡美和

第６回	1. 小テスト 2. 妊娠持続期間の異常、異所性妊娠	福岡美和
第７回	1. 小テスト 分娩とは：分娩の3要素・胎児と子宮および骨盤との関係・分娩の機序	福岡美和
第８回	1. 小テスト 分娩進行と産婦の身体的変化、産婦の身体的変化	福岡美和
第９回	実習に向けての事前学習（妊娠、分娩）	福岡美和
第１０回	実習に向けての事前学習（産褥期、新生児）	福岡美和
第１１回	1. 小テスト 2. 産婦と家族の心理,社会面のアセスメント	福岡美和
第１２回	1. 小テスト 2. 看護目標と産婦のニード、安全・安楽分娩への看護、出産体験が肯定的になるための看護	福岡美和
第１３回	1. 小テスト 2. 分娩期の看護の実際（分娩第１期活動期の終盤の看護、分娩第2期～4期までの看護）	福岡美和
第１４回	1. 小テスト 2. 産道、娩出力の異常、 胎児の異常による分娩障害、胎児の付属物の異常	福岡美和
第１５回	1. 小テスト 2. 産褥経過、 褥婦のアセスメントと看護 ・産褥経過の診断（退行性変化・進行性変化）	福岡美和
第１６回	1. 小テスト 2. 産褥期における看護 褥婦のアセスメントと看護の実践	福岡美和
第１７回	産褥期の休息、栄養、排泄、清潔、疼痛ケア	福岡美和
第１８回	1. 小テスト 2. 乳房ケアの方法	福岡美和
第１９回	産褥血栓症、 精神障害の看護	福岡美和
第２０回	新生児の体格、新生児の姿勢	福岡美和
第２１回	新生児の健康状態のアセスメント	福岡美和
第２２回	出生直後、退院まで、 生後1か月時の看護	福岡美和
第２３回	事例による看護過程の展開の説明（分娩期）	福岡美和
第２４回	事例による看護過程の展開の説明（産褥期）	福岡美和

第２５回	1. 看護過程の展開グループワークの作業		福岡美和
第２６回	看護過程(妊娠期)の展開のための発表		福岡美和
第２７回	看護過程(分娩期)の展開のための発表		福岡美和
第２８回	看護過程(産褥期)の展開のための発表		福岡美和
第２９回	看護過程(新生児期)の展開のための発表		福岡美和
第３０回	出生前診断の実際、 着床前診断		福岡美和
第３１回	試験		福岡美和
第３２回			
教科書			
教・書籍名１	母性看護学１　女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケ　概論　第2版	教・出版社名１	医歯薬出版株式会社
教・著者名１	有森直子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	母性看護学Ⅱ　周産期各論　アセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追求する　第2版	教・出版社名2	医歯薬出版株式会社
教・著者名2	有森直子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	母性看護学実習				担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年				ナンバリング	HS-NU-3-604		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	90時間	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：マタニティサイクルにある女性と児、その家族への適切な援助ができるための看護者としての基礎的能力およびj実際について学ぶ。 到達目標： 1. マタニティサイクルにある女性と児について妊娠・分娩・産褥期の身体心理社会的変化と経過を理解できる。 2. マタニティサイクルにある女性と児、家族について健康上のアセスメントができる。 3. マタニティサイクルにある女性と児、家族の健康問題に応じた適切な看護援助が実践できる。 4. 正常経過をたどっている新生児について理解でき、その特徴に応じた看護援助が理解できる。 5. 女性のライフステージにおける各期の特徴と健康問題について理解できる。 6. 女性のライフステージに応じて生じやすい健康問題に対して看護援助が提供できる。 7. 各施設設備の各機能・役割を理解できる。 8. ライフステージ各期における女性と児，その家族への継続的な看護援助の重要性を知り、地域との連携のあり方が理解できる。 9. マタニティサイクルにある対象者への援助を展開している医療チームの一員として看護の役割を理解し、述べることができる。 10. 看護者としての姿勢を身につけ、看護観・倫理観を養うことができる。
授業概要	・実習は施設実習4日間（月曜日～木曜日）学内1日(金曜日)　祝日がある場合は学内実習は除く。 ・学生2人で１人の対象者を受け持つ。受け持ち対象者の褥婦、新生児の情報収集，アセスメント、看護計画を立案し実施する。担当スタッフまたは、教員の指示のもと、母性看護学実習に必要な看護技術を実施する。 ・施設によっては外来実習を行う場合もある。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	記録の提出方法は適宜伝達する。
履修条件・注意事項	原則として欠席、遅刻、補修は認めない。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は看護師、助産師として臨床経験があり、教育機関での経験もあるため母性看護学に精通している。
事前学習・事後学習とその時間	1.　教科書、テキストを参考に事前学習を必ず行う。 2.　実習前に必ず、演習を行い、受け持ち対象者に迷惑をかけないようにすること。 3. 実習の手引きを確認しておくこと。

オフィスアワー	金曜日：12:40～13:30

授業計画		担当者
第１回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第３回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第４回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第５回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第６回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第７回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第８回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第９回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１０回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１１回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１２回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１３回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１４回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１５回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１６回	褥婦を受け持った場合は新生児の情報収集，アセスメント、看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１７回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１８回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第１９回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２０回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２１回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２２回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２３回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２４回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２５回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２６回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２７回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２８回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第２９回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第３０回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師
第３１回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師

第３２回	褥婦、新生児の看護計画立案し実施する。	福岡美和　非常勤講師	
教科書			
教・書籍名１	母性看護学１　女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケ　概論　第2版	教・出版社名１	医歯薬出版株式会社
教・著者名１	有森直子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	母性看護学Ⅱ　周産期各論　アセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追求する　第2版	教・出版社名2	医歯薬出版株式会社
教・著者名2	有森直子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神看護学概論				担当者	中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年				ナンバリング	HS-NU-2-701		
必修・選択	必修	単位数	1単位		時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ： 本科目では、こころの健康についての理解を深め、こころの看護に必要な基本的知識を学習する。 到達目標： 1. 心の健康について、心のはたらきについて理解できる。 2. 心のしくみ、心の発達、心の危機について理解できる。 3. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。 4. 心を病むことについて幅広く理解し、精神看護を理解できる。
授業概要	本科目は精神医学の概念をふまえて、人間の精神（こころ）の健康に関するメカニズムを探究し、その複雑な構造と機能の理解を基盤に、精神障害の発症を予防し、また精神障害者の人権を尊重しながら社会復帰と自立の支援、再発予防を図るための援助活動についての基礎知識を学習する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物の基準は、①自分の考えを論理的に述べている　②文献を用いて根拠のある主張をしている　③提出期限を守っている　④誤字脱字がない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	全体のフィードバックに対しては授業中にコメント、個々のフィードバックに対しては、レポートの返却時にコメントを行う
履修条件・注意事項	詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学修への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回、プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：本科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、外部講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること(予習）。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと（復習）。 詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 新聞・ニュースなどで取り上げられる心の健康問題について目を通しておくこと。 なお、予習・復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目にオフィスアワー（教授会のある日を除く）とする。

	授業計画	担当者
第１回	1. 精神保健とは、　精神科看護とは	中嶋
第２回	2. 心の健康とは　精神保健の考え方	中嶋
第３回	3. 心の発達：漸成的発達理論（エリクソン）など	中嶋
第４回	4. 心の危機状況：ストレス、危機理論、PTSD	中嶋
第５回	5. 心の働き、心のしくみ（フロイト）	中嶋

第６回	6. 臨床における心の健康と不健康：病むという体験	中嶋
第７回	7. 人間関係と心の働き：家族・集団力動	中嶋
第８回	8. 試験/振り返り	中嶋
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　精神看護の基礎　精神看護学①	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-12588-2
教・書籍名２	系統看護学講座　精神看護の展開　精神看護学②	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-260-12589-9
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神看護学Ⅰ			担当者	中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-702		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：本科目では、心の健康について理解を深め、心の看護に必要な基本的知識を学習する 到達目標： 1. 現代社会における人生各期・生活の場における精神の不健康状態を理解できる。 2. 精神保健医療福祉の歴史を理解できる。 3. 精神保健医療福祉の法律と制度について理解できる。 4. 心を病むことについて幅広く理解し、精神看護を理解できる。
授業概要	心の健康について、人間の発達課題、人間関係や環境、また、その関係や歪み等諸問題について学習する。精神保健医療福祉の歴史的変遷を踏まえながら、心の健康を支える保健・医療・福祉のしくみについて学習する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物の基準は、①自分の考えを論理的に述べている　②文献を用いて根拠のある主張をしている　③提出期限を守っている　④誤字脱字がない
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	全体のフィードバックに対しては授業中にコメント、個々のフィードバックに対しては、レポートの返却時にコメントを行う。
履修条件・注意事項	詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回、プリントを配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること(予習）。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと（復習）。 新聞・ニュースなどで取り上げられる心の健康問題について目を通しておくこと。 なお、予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目にオフィスアワー（教授会のある日を除く）とする。

授業計画		担当者
第１回	1. 現代社会と精神保健的問題(家族・学校)	中嶋
第２回	2. 現代社会と精神保健的問題(職場・地域)	中嶋
第３回	3. 脳の働き、精神症状	中嶋
第４回	4. 精神科医療、精神科看護の歴史と現状	中嶋
第５回	5. 臨床における心の健康と不健康：病むという体験（リカバリー、レジリエンス）	外部講師

第６回	6. 法律と制度：精神保健福祉法、障害者総合支援法など	中嶋
第７回	7. リエゾン精神看護、災害時のメンタルヘルスと看護、看護師のメンタルヘルス	中嶋
第８回	8. 試験/振り返り	中嶋
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　精神看護の基礎　精神看護学①	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-12588-2
教・書籍名２	系統看護学講座　精神看護の展開　精神看護学②	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-260-12589-9
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神看護学Ⅱ			担当者	森信　繁		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-703		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義・課題学習・発表
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ：精神障害を理解する。 到達目標：看護師として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。 １．精神医学の基礎的事項・総説的事項を理解できる。 ２．代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 ３．精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 ４．精神医学の歴史的な背景を理解できる。 ５．精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。
授業概要	精神科看護に関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、接し方や看護の方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、評価にも反映します。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「精神障害を理解する。」の到達度について、知識　および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（８０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストでは回答を示し、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義では毎回プリントを配布するので、紛失しないようファイルにまとめて保存して、必要な項目が取り出せるようきちんと準備する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。
オフィスアワー	木曜２限、６号館４階6401研究室

	授業計画	担当者
第１回	精神医学総論 （精神症状と診断分類）	森信　繁
第２回	統合失調症及び関連障害	森信　繁
第３回	うつ病及び関連障害	森信　繁
第４回	双極性障害 自殺の実態と予防	森信　繁
第５回	不安障害と強迫性障害	森信　繁
第６回	ストレス関連性障害	森信　繁

第７回	身体表現性障害と解離性転換性障害	森信　繁
第８回	パーソナリティー障害	森信　繁
第９回	摂食障害 精神分析学	森信　繁
第１０回	睡眠障害	森信　繁
第１１回	認知症及び関連障害	森信　繁
第１２回	てんかん 器質性・症状性精神障害	森信　繁
第１３回	物質関連障害	森信　繁
第１４回	自閉性スペクトラム障害 注意欠損多動性障害	森信　繁
第１５回	緩和ケアと精神腫瘍学 精神保健福祉法	森信　繁
第１６回	テスト	

教科書			
教・書籍名１	森信　繁	教・出版社名１	
教・著者名１	講義のスライドを資料として配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神看護学Ⅲ			担当者	中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-704		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・課題学習・発表・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	テーマ： 本科目では、精神疾患や精神障害をもつ人を対象にした援助関係や精神看護の方法について、また精神障害者の地域生活支援について、精神保健・医療・福祉の動向を踏まえながら看護の役割について学習する。 到達目標： 1. 自己理解を深める方法や人間関係を深める方法を理解できる。 2. セルフケア理論を活用しながら、アセスメント方法を理解できる。 3. 代表的な疾患や精神状態についての治療や看護を理解できる。 4. 地域で生活していくための精神保健医療福祉の連携、看護の役割について理解できる。
授業概要	精神疾患・精神障害の意味を理解する。また今後の精神医療・看護の課題について考え、精神看護の機能と役割について学ぶ。心の健康の保持増進について考えるとともに、心の障害について学ぶ。心の障害をもつ人との間に援助的な対人関係を築き、精神障害者の人権尊重・ノーマライゼーションの理念に基づく看護援助を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	筆記試験(60%)、提出物(30%)、授業態度(10%)を合わせて評価する。 評価の詳細については、第1回目の授業時に説明する。 提出物の基準は、①よく調べてレポートしている　②文献を用いて根拠のある主張をしている　③誤字脱字がない　④提出期限を守っている　の4点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のため実施した課題などについては、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	詳細は第1回目の授業で全体計画の説明をする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学び考えることを期待する。 毎回、プリントのを配布するので、第1階目授業からファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、精神看護学実習において実践的に役立つ授業を実践する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように教科書や資料を読んでくること（予習）。 また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業ごとにノートをまとめておくこと（復習）。 なお、予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目（教授会がある日を除く）をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1. ケアの人間関係：精神看護の考え方	中嶋
第２回	2. 精神看護に用いる理論：対人関係論（プロセスレコード）	中嶋
第３回	3. 感情障害に対する看護：（1）抑うつ状態、（2）躁状態	中嶋

第４回	4. アルコール使用（薬物使用を含む）障害に対する看護、	中嶋
第５回	5. 統合失調症に対する看護：（1）幻覚妄想状態、(2)無為自閉状態	外部講師
第６回	6. 診療・検査および治療に伴う看護：薬物療法の看護、身体合併症の看護、	中嶋
第７回	7. 精神看護に用いる理論：セルフケア理論	中嶋
第８回	8. 精神看護における看護過程：精神症状、心理社会的発達、全体像、看護計画	中嶋
第９回	9. 事例検討（1）：統合失調症の看護（問題抽出、計画立案）	中嶋
第１０回	10. 事例検討(2)：統合失調症の看護（計画立案、看護の展開）	中嶋
第１１回	11. 医療観察法	外部講師
第１２回	12. ケアの人間関係：コミュニケーション（1）…カウンセリング技法	中嶋
第１３回	13. ケアの人間関係：コミュニケーション（2）…プロセスレコード	中嶋
第１４回	14. ケアの人間関係：コミュニケーション（3）…認知行動療法、自己理解	中嶋
第１５回	15. ケアの人間関係：コミュニケーション（3）…カンファレンス、WRAP	中嶋
第１６回	16. 試験、振り返り、実習オリエンテーション	中嶋

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　精神看護の展開　精神看護学②	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-12589-9
教・書籍名２	精神看護学　学生-患者のストーリーで綴る実習展開	教・出版社名2	医歯薬出版株式会社
教・著者名2	編集　田中美恵子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-263-23673-4

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	精神看護学実習			担当者	甲木　順子、中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-705		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ： 精神に障害をもつ人とのかかわりを通しながら患者-看護者関係について考え、また幅広く対象を理解することを学習する。 到達目標： 1.　精神に障害をもつ人とのかかわりを通して、生物・心理・社会的に幅広く心を病む人への理解ができる。 2.　精神に障害をもつ人とのかかわりを振り返りながら、患者-看護者関係について考えることができる。 3.　精神に障害をもつ人の日常生活の自立に向けての援助ができる。 4.　精神に障害をもつ人が望む、その人らしい自立した地域生活を支えるために、必要となる援助と課題について考えることができる。 5.　実施した看護を的確に言語化し、論理的・体系的に記述することができる。
授業概要	精神に障害のある対象者を受け持ち、看護過程を通し、精神症状が日常生活に及ぼす影響について理解を深め、援助の必要性とその方法を学ばせる。さらに、心の障害をもつ人を支える援助学習として、看護者の治療的な自己活用のあり方についても理解を深める。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習内容(60%)、実習記録（30%)、レポート(10%)により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	精神看護学実習終了後に、実習全体のまとめを行うことで、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修条件：精神看護学概論、精神看護学Ⅰ、精神看護学Ⅱ、精神看護学Ⅲの履修 詳細な内容は「精神看護学実習手引」に記してあるのでよく読んでおくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、精神科病院勤務経験を持つ教員、非常勤講師がその経験を活かし、実習指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	実習までに教科書や資料を読み、課題内容をまとめておく（予習）。 実習で実施した内容と教科書や資料を照らし合わせながら、記録にまとめておく（復習）。
オフィスアワー	カンファレンス後、昼休み中、自己学習時など、実習病院や大学内で気になることがあればいつでも面談する。

	授業計画	担当者
第１回	精神科病院で2週間の実習を行う。	中嶋・非常勤講師
第２回	病棟実習では精神に障害をもつ人を1名継続して受け持ち、看護過程に沿った看護を展開する。	
第３回	詳細は「精神看護学実習手引き」を参照のこと。	
第４回		
第５回		
第６回		

第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	精神看護学　学生-患者のストーリーで綴る実習展開	教・出版社名１	医歯薬出版株式会社
教・著者名１	編集　田中美恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-23673-4
教・書籍名２	系統看護学講座　精神看護の展開　精神看護学②	教・出版社名2	医学書院
教・著者名2	編集　武井麻子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-260-12589-9

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護管理論			担当者	竹﨑　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-801		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 看護専門職として質の高い看護を効果的に提供するために必要な看護管理の基本的な知識と理論を学ぶ。 到達目標 １．看護管理に基本概念および基本的理論を理解できるようになる。 ２．看護組織の構造、管理、改革について理解できるようになる。 ３．人材育成、キャリア開発について理解できるようになる。 ４．組織において直面する倫理的課題、対策について理解できるようになる。 ５．医療における安全保障の意義について理解できるようになる。 ６．看護を取り巻く多様な状況から、看護管理の直面する課題とその背景を理解できるようになる。
授業概要	授業の概要 看護を取り巻く社会背景、医療環境の変化、看護管理の概要に関する知識を深め、安全で質の高い医療と看護を提供するためのシステム構築について理解を 深める。看護の対象となる人々に良質な看護を提供するための組織や看護実践にひつようなマネジメントを考える。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験70%　課題レポート20%　授業態度　10%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出された課題についてコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	・医療に関連する様々な社会現象に関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと ・毎回の授業進行に合わせ２時間程度予習してくること ・授業終了後はノート整理等２時間程度復習すること ・指定した教科書、配布資料等は必ず持参すること ・課題レポートは期限厳守で提出すること
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護管理者として実務経験（18年）を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：次回の授業内容に向けて看護管理にかんする教科書・参考書を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける（90分） 復習：授業内容を再確認して理解を深める。 課題レポート：検討課題に関する各自の意見をまとめて論理的に記載する。
オフィスアワー	火曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護管理の概念	竹﨑
第２回	看護ケアのマネジメント	竹﨑

第３回	医療安全のマネジメント	竹﨑
第４回	チーム医療のマネジメント	竹﨑
第５回	看護管理と倫理	竹﨑
第６回	看護業務のマネジメント	竹﨑
第７回	看護職のキャリアマネジメント	竹﨑
第８回	看護サービスのマネジメント	竹﨑
第９回	人材のマネジメント	竹﨑
第１０回	環境・物品・情報のマネジメント	竹﨑
第１１回	組織におけるリスクマネジメント	竹﨑
第１２回	マネジメントに必要な知識と技術	竹﨑
第１３回	組織のマネジメント	竹﨑
第１４回	看護を取り巻く諸制度	竹﨑
第１５回	まとめ	竹﨑
第１６回	定期試験	竹﨑

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践　看護管理	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上泉　和子他	教・ＩＳＢＮ１	9784260031820
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	家族看護学			担当者	安福　真弓、掛谷　益子、岡本　さゆり、中嶋　貴子、竹﨑　和子、福岡　美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-802		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：家族看護の基礎理論と活用 到達目標：家族とは、システムとしての特徴を有しながら発達している1単位の生命体である。このような1単位の家族を看護の対象として理解するために、家族看護学にはさまざまな理論と技法があることを理解し、家族を一つのユニットとして捉えてアセスメントするための基礎理論を、実際の家族事例について活用できる。
授業概要	人は家族システムのなかに生きており、家族は地域社会システムの下位システムでもある。家族はその社会の文化的背景に大きな影響を受けて時代とともに変容している。看護が個人を対象とする場合も、地域を対象とする場合においても、家族を一つのユニットとして捉え、家族が自らの健康問題を解決できるように支援することが重要である。そこで、本科目では、家族の形態や機能・家族の健康の概念など看護における家族の捉え方及びそれらの歴史的変化について学習する。更に、種々の健康課題の発生やライフイベントから家族成員はどんな影響を受け、ユニットとしての家族はどんな状態におかれるのかを共感的に理解する。また、そのような家族の状態を理解するための基礎理論を学び、ユニットとしての家族をアセスメントする方法を学習する。これらの学習を通し、自己の捉え方の特徴に気付き家族の様々なありようを受け入れる看護職としての態度を培う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク
評価方法と割合	各領域分担教員評価（75%）・試験（25%）で評価する。 各領域教員の授業で出される課題を必ず提出する。課題提出がない場合、その領域が評価でできないことがある。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバック する。
履修条件・注意事項	家族というキーワードの理解を深めるために、今まで学んできた看護過程や各領域での看護を振り返り統合させていくことが必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床における課題や必要とされる知識について講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	授業は各領域教員によりオムニバスに実施される。それぞれの領域での課題を理解するために、予習および復習では、これまで学習したことと統合できるようしていく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	家族看護の定義・看護学における家族の理解	掛谷
第２回	家族に関する理論	掛谷
第３回	成人期の患者と家族	竹﨑
第４回	小児と家族　こどもを取り巻く家族	安福
第５回	高齢者と家族	岡本
第６回	精神科疾患患者と家族	中嶋
第７回	出産と家族	福岡
第８回	家族看護過程の展開／試験	掛谷
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	家族看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上別府圭子　著者代表	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅰ			担当者	田中　富子、市村　美香、飯田　尚美、一ノ瀬　公美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-803		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習・グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	統合看護演習では、看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることがテーマである。具体的には成人・老年・在宅・地域など領域毎の講義や演習を通して得た看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることができる。
授業概要	健康問題解決のために各領域の学びを統合するとともに、多角的な視点から実践的に新たな知見を学ぶ。具体的には、これまでの学習の知識の統合に加え、地域の健康課題に気づき，介護予防事業での在宅高齢者への支援、地域診断や健康教育などによる地域貢献を行い、このことを通して総合的な看護の視野と感性を培う。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・演習を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	授業や演習への取り組み姿勢や予習復習なども含め総合的に判断し評価する。　レポート100 ％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	テーマ毎に作成したレポートを講義でフィードバックし、各自で課題や地域課題を振り返る
履修条件・注意事項	日頃から社会の出来事にも目を向けること。様々な現地での演習・実習に積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容　地域住民や地区組織・社会資源と連携し地域をフィールドとした授業内容を実務経験の実績により行う
事前学習・事後学習とその時間	各演習で提示された資料のほか、地域の保健活動や在宅看護，地域包括ケアシステムに関する社会動向などを文献やマスコミ情報などから収集し，問題や課題を明確にするなど、予習・復習を必ずすること
オフィスアワー	個人研究室にて火曜日4次限で行う

	授業計画	担当者
第１回	1:ガイダンス・看護感について	田中富子
第２回	2:地域包括ケアシステム 公助	田中富子・飯田・外部講師
第３回	3:地域包括ケアシステム共助	田中富子・一ノ瀬・外部講師
第４回	4:地域包括ケアシステム自助	田中富子・市村・外部講師
第５回	5:ケアシステムと在宅医療	田中富子・飯田・外部講師

第６回	6:地域介護予防事業現地実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第７回	7:地域介護予防事業学内実習	田中・一ノ瀬・外部講師
第８回	8:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第９回	9:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１０回	10:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１１回	11:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１２回	12:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１３回	13:地域高齢者の生活①	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１４回	14:地域高齢者の生活②	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１５回	15:まとめ・発表	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１６回	16：まとめレポート	田中・市村・飯田・一ノ瀬

教科書			
教・書籍名１	授業ごとに資料を作成	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合実習 （病院施設・地域医療）			担当者	竹﨑　和子、赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-804		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ Ⅰ看護師長・チームリーダーの業務内容を見学して、看護管理の組織的活動という視点から看護チームにおける協働・安全管理・情報管理などについて理解を 　深める。 Ⅱ地域包括医療について学ぶことを通じて、患者・家族の視点に立った地域連携の主体的な実践能力を養う。 到達目標 Ⅰ　①看護管理について理解できる　②看護チームにおけるリーダシップ・メンバーシップを理解できる。 　③複数の患者を受け持ち優先順位・時間管理・安全を考慮した援助について理解できる。　④マネジメントに必要な知識と技術を理解できる。 Ⅱ　①人口の高齢化に伴う2025年問題を踏まえた医療・介護の在り方について理解できる。②地域連携室の機能と役割を理解できる。 　③地域包括医療チームのメンバーシップを理解できる。　④退院後の生活を見据えながら患者・家族の視点に立った援助を理解できる。
授業概要	Ⅰ病棟における看護師長・チームリーダーの業務を見学し、管理の実際を体験する。 　受持ち患者の全体像を理解し、指導看護師と共に多職種カンファレンス等に参加し、継続看護、チーム医療の実際を体験する。 Ⅱ地域連携室のソーシャルワーカーや退院調整看護師、病棟師長等により講義や地域連携関連施設の見学、患者・家族との関わりや病院内外関連機関、関連職種 による支援・連携状況の見学等により、退院後地域で生活する人々の健康の保持・増進のために必要なニーズに応じた多職種連携の在り方を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	実習態度50%　実習記録30%　課題レポート20%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習記録にコメントを返すため今後の実習に役立てること。
履修条件・注意事項	看護学生として、主体的に、礼儀正しく責任ある行動で実習に取り組む。 個人情報の管理は厳重に行う。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、 ・臨床現場で看護管理者としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ・保健・医療・福祉分野で保健師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習： Ⅰ　実習病院及び病棟概要、看護方針等調べまとめる。 Ⅱ　地域の特性や地域包括医療について事前に調べまとめる。 復習

	Ⅰ・Ⅱともに実習中、疑問に思ったことを調べるとともに指導された内容について調べまとめる。
オフィスアワー	各グループ担当教員が実習巡回時や昼休憩等適宜実施する。

授業計画		担当者
第１回	実習指導要綱に基づき実習展開を行う。 看護管理：5日 地域包括：5日	竹﨑　赤澤　非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①　　医学書院
教・著者名１	上泉和子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03182-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学概論	担当者	市村　美香
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-805

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の目的と特徴が理解できる。 在宅看護の現状を知り、看護師に求められる役割と機能が理解できる。 ・疾病や障害を持ちながら、在宅で療養する人とその家族を理解する。 ・在宅看護の仕組みについて理解する。 ・在宅看護に関連する法制度について理解する。
授業概要	在宅看護の目的や特徴、法令・制度について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験80%、受講態度・提出物20%にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限 研究室

	授業計画	担当者
第１回	在宅看護の目指すもの	市村美香
第２回	地域包括ケアシステム	市村美香
第３回	在宅看護の対象者	市村美香
第４回	在宅看護の対象者（家族）	市村美香
第５回	訪問看護制度	市村美香
第６回	療養の場の移行に伴う看護	市村美香
第７回	療養を支える在宅ケアチーム	市村美香
第８回	筆記試験、まとめ	市村美香
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅰ			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-806		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の現状を知り、在宅における日常生活援助・医療処置援助の技術を理解できる。 また、在宅療養者の特性をふまえた援助について考えることができる。
授業概要	在宅で求められる医療技術について学習し、その具体的方法について考える。それにより、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	これまでに学習してきた医療処置、基礎看護技術について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術（経管栄養法）	市村美香
第３回	在宅医療技術（HPN）	市村美香
第４回	在宅医療技術（排尿援助）	市村美香
第５回	在宅医療技術（呼吸援助）	市村美香
第６回	在宅医療技術（HPPV）	市村美香
第７回	在宅医療技術（HOT）	市村美香
第８回	在宅医療技術（排痰援助）	市村美香
第９回	在宅医療技術（ストーマ管理）	市村美香
第１０回	在宅医療技術（皮膚創傷管理）	市村美香
第１１回	在宅医療技術（外来治療）	市村美香
第１２回	在宅医療技術（がん治療、終末期援助、疼痛緩和）	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	振り返り、フィードバック	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅱ			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-807		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源の活用方法について理解できる。 在宅看護の特性をふまえた看護過程の展開方法が理解でき、在宅ケアシステムにおける看護職の役割について理解できる。
授業概要	在宅療養者の特徴、主な健康障害、看護援助の実際、家族支援方法、社会資源の活用方法、他職種との連携と協働について学ぶ。 ペーパーペイシェントでの看護過程の展開を行い、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。 新聞や雑誌などで紹介されている、在宅医療、在宅看護、在宅介護などについての情報に関心を持つこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術の振り返り前半	市村美香
第３回	在宅医療技術の振り返り後半	市村美香
第４回	事例展開（ALS）一般論	市村美香
第５回	事例展開（ALS）サービス	市村美香
第６回	事例展開（ALS）看護	市村美香
第７回	事例展開（脳梗塞）一般論	市村美香
第８回	事例展開（脳梗塞）サービス	市村美香
第９回	事例展開（脳梗塞）看護	市村美香
第１０回	事例展開（認知症）一般論	市村美香
第１１回	事例展開（認知症）サービス	市村美香
第１２回	事例展開（認知症）看護	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	事例展開（実習）	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-

			5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学実習			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-808		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源活用の実際について学ぶ。 対象者とその家族が抱えているニーズを理解し、必要な支援について考えることができる。 在宅ケアシステムを理解し、在宅看護における看護師の役割について考えることができる。
授業概要	訪問看護ステーションにおいて、2週間の実習を行う。看護師と同行訪問を行い、在宅看護の実際について学ぶ。受け持ち利用者について、情報収集、アセスメント、関連図作成から対象の全体像を把握し、必要な看護について考え、実施する。併設の施設（居宅介護支援事業所、通所系サービスなど）での実習や、サービス担当者会議等へ参加することもある。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を、評価基準に基づき総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習の学びは実習反省会やまとめの会で共有したりフィードバックしたりする。
履修条件・注意事項	看護学生として責任ある行動をとるよう心がけ、積極的態度で実習に臨んでください。 個人情報については管理を厳重に行ってください。 実習オリエンテーション、現地オリエンテーション、まとめの会には必ず出席してください。評価の対象となります。 実習は「看護学実習手引 在宅看護学実習」に基づいて行う。 他事業所での実習もあるため、事前学習を十分に行って実習に臨む。 実践した看護をグループで共有してください。また、実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深めるてください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	訪問看護活動に関係する制度、これまでに学習した医療処置や基礎看護技術について必ず復習をしてから実習に臨むこと。
オフィスアワー	水曜2限（実習中は事前に連絡をしてください）

授業計画		担当者
第１回	臨地実習（２週間）：在宅看護過程の展開	市村美香、非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域看護学概論			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-809		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：地域看護の理念・目的、対象、活動方法の特性について基本的な理解を得る。 到達目標：学生が、地域看護学の理念や目的を知り、地域看護活動の場(行政・産業・学校・在宅)において、身体・心・生活・環境の4つをマネジメントすることにより人間の治癒力・健康力を高める看護活動の特性が理解できる。さらに、健康問題について、個人・家族・集団・組織・地域を対象に展開する看護活動の根拠や特性が理解できる。
授業概要	地域看護学は看護職に必要不可欠な学問である。地域看護学概論では、地域で生活する住民の健康づくりの基本的内容を理解する。 具体的には、地域看護学の理念・歴史・特性　地域の健康問題について理解する。 また、地域で暮らす住民を対象とした健康問題へ関わる公衆衛生看護・産業保健・在宅看護・学校保健の役割や活動特性を理解する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ講義を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	評価方法 　最終試験80点、レポート20点、で評価を行う。 自分自身や家族の健康に関心を持ち，健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については講義内で全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	これまでに学んだ専門基礎科目の復習を行い、保健福祉医療に関するニュースに関心を持ち講義に参加すること。 また、自らの健康に関心をもち、健康レベルの向上に向けた取り組みが実践できること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	講義：地域看護学の理念	横溝
第２回	講義：公衆衛生看護の歴史	横溝
第３回	講義：産業保健・学校保健	横溝
第４回	講義：在宅医療の必要性と役割	横溝・高尾
第５回	GW・フィールドワーク：公衆衛生看護活動	横溝
第６回	GW・フィールドワーク：公衆衛生看護活動	横溝
第７回	講義・プレゼンテーション：保健福祉対策と事業計画	横溝・高尾
第８回	講義・プレゼンテーション：ヘルスケアチーム、最終試験	横溝

第９回			
第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座　公衆衛生看護学概論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる	参・出版社名１	medic media
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	将来看護職として活動する中で，日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い，科学的評価を目的とした論文の作成を目指し，自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして，文献検索と論文クリティークを通し，研究テーマを決定し，研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し，そのテーマに沿った文献の検索方法を学び，先行文献の読み込みとクリティークを通して，研究のポイントを絞り込む。そして，その研究テーマの背景，研究目的，研究対象者，研究方法，分析方法等の研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度（30%）、先行研究論文の読み込みとクリティーク（30%）、研究計画書の内容（30%）、看護研究発表会聴講後の所感内容（10%）で総合的に評価する。講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち，医療行政や保健福祉に関して，日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。グループ全員で協力し，集団結束力を発揮し，研究計画書の作成に取り組む。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し，そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが，必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　　内容
事前学習・事後学習とその時間	自身が関心のある資料や文献、あるいは事前に示された参考資料を精読して授業には臨み、課題や問題を明確にしながら、研究ノート作成する。そのための予習・復習には2時間以上は要する。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意）	赤在
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	赤在
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	赤在
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは	赤在
第５回	研究（ゼミ）・量的研究・質的研究	赤在
第６回	研究（ゼミ）・文献検索の方法と視点	赤在
第７回	研究（ゼミ）・中間発表会	赤在
第８回	研究（ゼミ）・文献検索の実際	赤在
第９回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	赤在
第１０回	研究（ゼミ）・クリティーク発表	赤在
第１１回	研究（ゼミ）・クリティーク発表	赤在
第１２回	研究（ゼミ）・クリティーク発表	赤在
第１３回	研究（ゼミ）・研究計画書	赤在
第１４回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤在

第１５回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤在	
第１６回	研究計画作成・提出	赤在	
教科書			
教・書籍名１	必要時適時提示	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　別巻　看護研究	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度30%、先行研究論文研究30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	口頭及び書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。 5)予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、平日昼休憩の時間(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1. ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意） 2. 研究倫理教育	長町

第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	長町
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	長町
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは	長町
第５回	研究（ゼミ）・量的研究	長町
第６回	研究（ゼミ）・質的研究	長町
第７回	研究（ゼミ）・文献検索の方法と視点	長町
第８回	研究（ゼミ）・文献検索の実際	長町
第９回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	長町
第１０回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	長町
第１１回	研究（ゼミ）・クリティーク発表	長町
第１２回	研究（ゼミ）・クリティーク発表	長町
第１３回	研究（ゼミ）・研究計画書	長町
第１４回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	長町
第１５回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	長町
第１６回	研究計画作成・提出	長町

教科書			
教・書籍名１	適宜指示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義、演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ 科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定し、研究計画書を作成する。 到達目標 文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度40%、研究計画書の内容60%
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業の中でフィードバックする
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、看護師として、また大学教員としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、看護の現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて木曜日昼休みに実施する

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意）	看護研究委員
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	看護研究委員・看護学科教員
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	看護研究委員
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは 研究倫理について 文献検索の方法と視点	門倉康恵
第５回	研究（ゼミ）・量的研究	門倉康恵
第６回	研究（ゼミ）・質的研究	門倉康恵
第７回	論文クリティーク：先行研究探索	門倉康恵
第８回	論文クリティーク：先行研究　分析	門倉康恵

第９回	論文クリティーク：ディスカッション		門倉康恵
第１０回	論文クリティーク：発表		門倉康恵
第１１回	研究テーマ絞り込み		門倉康恵
第１２回	研究方法の検討		門倉康恵
第１３回	倫理的配慮について		門倉康恵
第１４回	研究計画書作成（社会的背景）		門倉康恵
第１５回	研究計画書作成		門倉康恵
第１６回	研究計画書　提出		門倉康恵
教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナーズNOTE　改訂第2版	教・出版社名１	Gakken
教・著者名１	古橋洋子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1394-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究に臨む態度30％、先行研究論文研究（クリティーク）30％、研究計画書の内容30％、看護研究発表会レポート内容10％で評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf　研究プロセス、意欲・態度、チームワーク、自己評価を評価項目として実施する。
課題や試験のフィードバック方法	課題についてはミーティングで全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容　複数の自治体で保健所での勤務経験がある。
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)クリティークした内容について全員1回は発表する。
オフィスアワー	火曜日2限 6424研究室

	授業計画	担当者
第１回	講義：ガイダンス1（研究の進め方・全般的注意）	中瀬
第２回	講義：ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	中瀬
第３回	講義：ガイダンス3（希望分野の決定）	中瀬
第４回	講義：研究（ゼミ）・看護研究とは、研究倫理について	中瀬
第５回	講義：研究（ゼミ）・量的研究	中瀬
第６回	講義：研究（ゼミ）・質的研究	中瀬
第７回	ディスカッション：研究計画書	中瀬
第８回	ディスカッション：研究（ゼミ）・文献検索の方法	中瀬
第９回	GW:研究（ゼミ）・文献検索の実際	中瀬
第１０回	ディスカッション：研究（ゼミ）・論文クリティーク	中瀬
第１１回	ディスカッション：研究（ゼミ）・論文クリティーク	中瀬
第１２回	プレゼン：研究（ゼミ）・クリティーク発表	中瀬
第１３回	プレゼン：研究（ゼミ）・クリティーク発表	中瀬

第１４回	ディスカッション：研究（ゼミ）・研究計画書作成	中瀬
第１５回	ディスカッション：研究（ゼミ）・研究計画書作成	中瀬
第１６回	ディスカッション：研究計画書作成、提出	中瀬

教科書			
教・書籍名１	適宜指示する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	掛谷　益子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義・AL
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	＜テーマ＞ 将来看護の専門職として活動する中で、業務に対する科学的な評価は必要不可決である。科学的思考能力を養い、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定し、研究計画書を作成する。 ＜到達目標＞ 1. 研究とは何かについて理解できる。 2. 研究の内容、研究の進め方、論文の形式や書き方等について理解できる。 3. 関心のある文献を検索することができる。 4. 先行文献の読み込みをクリティークすることができる。 5. 研究テーマを決定し、研究計画書を作成をすることができる。
授業概要	研究とは何かということや、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。具体的な内容は担当教員に任されるが、ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	日々の研究に取り組む意欲や態度，論文の先行研究論文の読み込みとクリティーク，看護研究発表会聴講後の所感を合わせて90%，研究計画書を10%の総合的評価とする。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	先行研究のクリティーク内容について授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	グループメンバー全員で協力し，集団結束力を発揮し，研究計画書の作成に取り組むことが求められる。
実務経験のある教員	該当する　内容　看護師での臨床経験と研究経験を活かし、希望するテーマに関する研究において実践的に役立つゼミを実施する。
事前学習・事後学習とその時間	メンバー間で協力するために、個人が考え話し合いながら、ゼミまでに資料の整理が必要である。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩（12:40～13:30）に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス（研究の進め方）	掛谷
第２回	ガイダンス（専門分野と指導方針の説明）	掛谷
第３回	ガイダンス（希望分野の決定）	掛谷
第４回	看護研究とは 研究における倫理的視点	掛谷
第５回	量的研究	掛谷
第６回	質的研究	掛谷
第７回	文献研究の方法と視点	掛谷
第８回	文献検索の実際	掛谷
第９回	論文の読み方とクリティーク	掛谷
第１０回	文献収集とクリティーク(第1発表者)	掛谷
第１１回	文献収集とクリティーク（第2発表者）	掛谷
第１２回	文献収集とクリティーク（第3発表者）	掛谷
第１３回	研究計画書の書き方	掛谷

第１４回	研究計画書作成	掛谷	
第１５回	研究計画書作成・修正	掛谷	
第１６回	研究計画書作成・提出	掛谷	
教科書			
教・書籍名１	研究に関する文献は多数存在するが、学習状況に合わせたものを適宜紹介し、資料として配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	高尾　茂子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：看護研究の意義と方法を学び研究計画書を作成することによって科学的思考能力を身に着ける 到達目標：学生が将来看護師として活動するためには、業務全般への科学的評価が必要である。看護学の進歩・発展もこれに寄与する。2年間で行う「看護研究」においては、看護実践活動の中で情報の収集、分析、考察、論文作成等を通じ、科学的思考能力を身につけることができる。初年度の「看護研究」においては、研究テーマの設定、テーマに合わせた研究対象や研究方法の選択、実施時期など、研究計画の策定を行うことができる。
授業概要	「看護研究Ⅰ」においては、研究とは何か、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。 担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。子育て支援や保健師の役割等についての質的研究を中心に行ってきた。現在は災害に関する研究もテーマとしている。 　授業は学生の思いを大切にして学生がテーマをしぼっていきやすいように支援していく。またグループでの研究が中心になるのでグループの協力関係、信頼関係を大切にする。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	ゼミでの日常の研究に臨む姿勢（研究への興味や意欲、意見・質問・出席などの学習態度）55点、課題の明確化（先行研究論文クリティーク・看護研究発表会聴講後の所感など）25点、計画立案能力（研究計画書作成の協力・関与、計画書の共有、学生自身の成長）20点、これらについて指導教員が総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	研究は、ゼミ毎にグループで行う。研究の主体は学生であり、学生が決定した研究テーマに応じた教員のゼミに配属する。1グループの教員担当は最大5人までとする。人数の都合などで希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	研究テーマに関連する他の文献をできるだけ読むこと。読みとった内容を研究計画書作成に生かすこと。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３･4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス1（研究の進め方・全般的注意）	高尾茂子
第２回	ガイダンス2（各教員が専門分野や指導方法を説明）	高尾茂子
第３回	ガイダンス3（研究倫理に基づく責任ある研究活動）	高尾茂子
第４回	研究スケジュール作成	高尾茂子
第５回	各自の研究テーマの報告	高尾茂子
第６回	グループの研究テーマの検討	高尾茂子
第７回	発表会聴講と所感の発表	高尾茂子
第８回	研究テーマ選択の背景報告	高尾茂子
第９回	研究デザイン検討	高尾茂子
第１０回	文献検索とレビュー	高尾茂子
第１１回	文献の要旨報告	高尾茂子

第１２回	文献の整理		高尾茂子
第１３回	研究計画書作成		高尾茂子
第１４回	研究計画書修正		高尾茂子
第１５回	研究計画書完成		高尾茂子
第１６回	研究計画書提出		高尾茂子
教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	授業・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	看護研究Ⅱに於いては研究のまとめを論文作成の完成及び発表により行うことを目標とする。研究の手順を踏みこれに基づく科学的な情報を分析した、研究結果に論理的考察を行い、結論を導く。この一連の過程を研究的に辿ることで、看護研究の基本を理解できる。
授業概要	研究発表は、研究内容を簡潔にまとめ分かりやすい資料作成やプレゼン能力を養うことを目的とする。そのための技術・様々な工夫を考え修得する。発表前に考えられる研究の限界から質疑の想定や応答を検討することで、研究の問題が明確になることから、論文を期限日までに修正・完成することで終結となる。この科目では、予防的視点を持って多様な領域や健康レベルの対象者やテーマにより、公衆衛生看護実践に長年関わってきた経験を活かした授業・演習・研究指導を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	研究内容及び研究に取り組む姿勢や態度、グループワークでの発言・研究手法の理解度などを総合的に評価する。具体的には、姿勢や態度20%、グループワークでの発言20%、研究手法の理解度20%、発表内容20%、論文成果20%似て評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	演習や授業で態度や理解度について随時フィードバックするので確認し自己評価後見直すこと
履修条件・注意事項	時間割上は後期履修となっているが指導教員と相談しながら履修する。研究を着実に進め論文完成まで行う事。発表には必ず参加しメンバー間で協力し合い行うとともに、他の発表を批判的に疑問を持って聞く事。
実務経験のある教員	該当する　内容　公衆衛生看護行政に長年携わり予防的視点を持って多様な領域や健康レベルの対象者やテーマに取組んだ経験を有する。
事前学習・事後学習とその時間	１．情報処理・疫学・保健統計学の学習及び理解が必要　２．看護研究Ⅰで作成した研究計画に基づき看護研究を継続する。３．グループワークで得られるデスカッションやチームワーク力を高める。４．メンバーシップを構築できる交友関係に努める。　ゼミの記録を次回までに作成し提出しメンバー間で共有しておく。研究目的や履修目標を理解し
オフィスアワー	個人研究室で火曜日4限で行う

	授業計画	担当者
第１回	研究倫理に基づく責任ある研究活動・データ回収	田中富子
第２回	データ入力	田中富子
第３回	データ基礎集計	田中富子
第４回	データ集計	田中富子
第５回	データ分析	田中富子
第６回	データ読み取り	田中富子
第７回	データ加工	田中富子
第８回	データの表作成	田中富子
第９回	論文作成　結果	田中富子
第１０回	論文作成　結果	田中富子
第１１回	論文作成　諸言・方法	田中富子
第１２回	論文作成　諸言・結果	田中富子
第１３回	論文作成　考察	田中富子

第１４回	論文作成　考察		田中富子
第１５回	論文作成　結語		田中富子
第１６回	論文作成　アブストラクト　発表準備		田中富子
教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１	テーマに応じた資料を配布	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	安福　真弓		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	将来看護職として活動する中で，日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い，科学的評価を目的とした論文の作成を目指し，自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして，文献検索と論文クリティークを通し，研究テーマを決定し，研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し，そのテーマに沿った文献の検索方法を学び，先行文献の読み込みとクリティークを通して，研究のポイントを絞り込む。そして，その研究テーマの背景，研究目的，研究対象者，研究方法，分析方法等の研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度（30%）、先行研究論文の読み込みとクリティーク（30%）、研究計画書の内容（30%）、看護研究発表会聴講後の所感内容（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち，医療行政や保健福祉に関して，日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。グループ全員で協力し，集団結束力を発揮し，研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し，そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが，必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習（2時間以上要）として以下の自己学習を行うことで研究について理解できる。 1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。
オフィスアワー	月曜2限(11：10～12：40）に6号館4階個人研究室（6405）にて対応

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意・研究倫理教育）	安福
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	安福
第３回	研究（ゼミ）・研究倫理に基づく責任ある研究活動・希望分野について	安福
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは	安福
第５回	研究（ゼミ）・量的研究	安福
第６回	研究（ゼミ）・質的研究	安福
第７回	研究（ゼミ）・文献検索の方法と視点	安福
第８回	研究（ゼミ）・文献検索の実際	安福
第９回	研究（ゼミ）・論文クリティーク（量的）	安福
第１０回	研究（ゼミ）・クリティーク発表（量的）	安福

第１１回	研究（ゼミ）・論文クリティーク（質的）	安福
第１２回	研究（ゼミ）・論文クリティーク発表（質的）	安福
第１３回	研究（ゼミ）・研究計画書	安福
第１４回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	安福
第１５回	研究（ゼミ）・研究計画書提出	安福
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	必要時適時提示	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ	担当者	中嶋　貴子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	HS-NU-3-810

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ： 将来看護の専門職として活動する中で、業務に対する科学的な評価は必要不可決である。研究倫理観と科学的思考能力を養い、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定し、研究計画書を作成する。 到達目標： 1. 研究とは何かについて理解できる。 2. 研究の内容、研究の進め方、論文の形式や書き方等について理解できる。 3. 関心のある文献を検索することができる。 4. 先行文献の読み込みをクリティークすることができる。 5. 研究テーマを決定し、研究計画書を作成することができる。
授業概要	「看護研究Ⅰ」においては、研究とは何かということや、研究の方法、研究の進め方、論文の形式や書き方等について学ぶ。具体的な内容は担当教員に任されるが、ゼミにおけるディスカッション、先行研究業績や参考文献の収集・分析等を通じて、より具体的な研究テーマの設定など、研究計画の策定を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	日々の研究に取り組む意欲や態度，論文の先行研究論文の読み込みとクリティーク，看護研究発表会聴講後の所感を合わせて90%，研究計画書を10％の総合的評価とする。
ルーブリック評価	/URL/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業で提示した課題については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	研究はゼミ毎に同じテーマでディスカッションを行う。グループ全員で協力し，集団結束力を発揮し，研究計画書の作成に取り組む。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、精神科病院勤務を持つ教員がその経験を活かし、精神看護学をテーマにした看護研究において実践的に役立つゼミを実施する。
事前学習・事後学習とその時間	医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち，医療行政や保健福祉に関して，日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探しておく。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、水曜日の2限目（教授会がある日を除く）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1．ガイダンス１（研究の進め方・研究倫理教育・全般的注意など）	中嶋
第２回	2．ガイダンス２（各教員が専門分野や指導方針を説明）	中嶋
第３回	3．ガイダンス３（希望分野の決定）	中嶋
第４回	4．研究（ゼミ）：看護研究とは、倫理的配慮について	中嶋
第５回	5．研究（ゼミ）：量的研究	中嶋
第６回	6．研究（ゼミ）：質的研究	中嶋
第７回	7．研究（ゼミ）：文献研究の方法と視点	中嶋
第８回	8．研究（ゼミ）：文献検索の実際	中嶋
第９回	9．研究（ゼミ）：論文の読み方とクリティーク	中嶋
第１０回	10．研究（ゼミ）：論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表１	中嶋

第１１回	11. 研究（ゼミ）：論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表２	中嶋	
第１２回	12. 研究（ゼミ）：論文テーマに関わる文献収集とクリティーク発表３	中嶋	
第１３回	13. 研究（ゼミ）：研究計画書の書き方	中嶋	
第１４回	14. 研究（ゼミ）：研究計画書作成１	中嶋	
第１５回	15. 研究（ゼミ）：研究計画書作成２	中嶋	
第１６回	16. 研究（ゼミ）：研究計画書作成・提出	中嶋	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナーズNOTE	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	古橋　洋子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1394-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。 この科目は、大学院で博士課程を修了した教員がその経験をいかして指導する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究に臨む態度、先行研究のクリティーク内容、研究計画書の内容に基づき総合的に評価する。 クリティークや計画書、各種レポートの内容などは講義内でフィードバックする。
ルーブリック評価	ルーブリックを評価に活用する。 /uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　　内容
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。
オフィスアワー	水曜２限　研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意）	看護研究委員
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	看護研究委員
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	市村美香
第４回	研究（ゼミ）看護研究とは、研究倫理教育	市村美香
第５回	研究（ゼミ）量的研究	市村美香
第６回	研究（ゼミ）質的研究	市村美香
第７回	研究（ゼミ）文献検索の方法と視点	市村美香
第８回	研究（ゼミ）文献検索の実際	市村美香
第９回	研究（ゼミ）論文クリティーク前半	市村美香
第１０回	研究（ゼミ）論文クリティーク後半	市村美香
第１１回	研究（ゼミ）クリティーク発表前半	市村美香
第１２回	研究（ゼミ）クリティーク発表後半	市村美香

第１３回	研究（ゼミ）研究計画書	市村美香	
第１４回	研究（ゼミ）研究計画書作成	市村美香	
第１５回	研究（ゼミ）研究計画書作成、発表	市村美香	
第１６回	研究（ゼミ）研究計画作成、提出	市村美香	
教科書			
教・書籍名１	適宜、提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究に臨む態度30％、先行研究論文研究（クリティーク）30％、研究計画書の内容30％、看護研究発表会レポート内容10％で評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf　研究プロセス、意欲・態度、チームワーク、自己評価を評価項目として実施する。
課題や試験のフィードバック方法	課題についてはミーティングで全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)クリティークした内容について全員1回は発表する。
オフィスアワー	火曜日2限 6426研究室

	授業計画	担当者
第１回	講義：ガイダンス1（研究の進め方・全般的注意）	横溝
第２回	講義：ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	横溝
第３回	講義：ガイダンス3（希望分野の決定）	横溝
第４回	講義：看護研究における研究倫理	横溝
第５回	講義：研究（ゼミ）・量的研究	横溝
第６回	講義：研究（ゼミ）・質的研究	横溝
第７回	ディスカッション：研究計画書	横溝
第８回	ディスカッション：研究（ゼミ）・文献検索の方法	横溝
第９回	GW:研究（ゼミ）・文献検索の実際	横溝
第１０回	ディスカッション：研究（ゼミ）・論文クリティーク	横溝
第１１回	ディスカッション：研究（ゼミ）・論文クリティーク	横溝
第１２回	プレゼン：研究（ゼミ）・クリティーク発表	横溝

第１３回	プレゼン：研究（ゼミ）・クリティーク発表	横溝	
第１４回	ディスカッション：研究（ゼミ）・研究計画書作成	横溝	
第１５回	ディスカッション：研究（ゼミ）・研究計画書作成	横溝	
第１６回	ディスカッション：研究計画書作成、提出	横溝	
教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナーズNOTE	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	３０	授業形態	講義、演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	将来養護教諭として活動する中で、日々の業務の中で科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容についての研究テーマを選定する。そして、文献研究と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書を作成することができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究ポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書を作成する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度30%、先行研究の読み込みとクリティーク20%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容20%で評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	クリティークや研究計画書、課題の内容等は講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	ゼミは、基本的には同じテーマでグループでの共同作業で行うが、学生の主体性や他の教科の履修状況等に応じて個別の指導となる場合もある。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、テーマにふさわしい教員のゼミに配属するが人数の調整を行うこともある。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、研究活動の実践があり、学校現場で養護教諭経験を持つ教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	１）興味のある学校保健に関する論文を探し、事前に読み込む。 ２）発表者は、資料（文献カード等）を作成し、事前にメンバーに配布する。 ３）メンバーは当日、ディスカッションができるように配布資料を読んでおく。
オフィスアワー	毎週水曜3限：6号館４階　6433研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意）	赤澤
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	赤澤
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	赤澤
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは、質的・量的研究	赤澤
第５回	研究（ゼミ）・研究倫理教育	赤澤
第６回	研究（ゼミ）・文献検索の方法と視点	赤澤
第７回	研究（ゼミ）・文献検索の実際	赤澤
第８回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	赤澤
第９回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	赤澤
第１０回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	赤澤
第１１回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	赤澤
第１２回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤澤
第１３回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤澤
第１４回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤澤
第１５回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	赤澤
第１６回	研究（ゼミ）・研究計画書提出	赤澤

教科書			
教・書籍名１	適宜指示する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	竹﨑　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 学生が科学的思考力を養い論文の作成を目指し、自らが日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを設定できる 到達目標 ①看護研究の目的と意義を理解できる ②看護研究の基本的プロセスを理解できる ③文献検索の目的と方法を理解できる ④関心のある研究テーマを明確化することができる ⑤倫理的配慮に必要な項目について説明できる ⑥研究計画書を作成できる
授業概要	看護研究の基礎的・基本的な知識を学び、研究意義と目的を理解し、研究方法、研究プロセスの概要を学習する 研究成果を看護実践に活かすための基本的能力を養う
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	研究に臨む姿勢（３０％） 文献検討（３０％） 研究計画書の内容（４０％）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために課された課題（レポート）は授業内でフィードバックする
履修条件・注意事項	グループ全員で協力し、研究テーマに関連した先行研究を検索して、研究計画書の作成に取り組む ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人、グループで検討する場を設ける 研究の主体は学生であり、学生が決定した研究テーマに応じた教員ゼミに配置するが、必ずしも希望通りになるとは限らない
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床で４０年間の看護師経験あり。また認定看護管理者の資格を持っている。 専門はリハビリテーション看護である。
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習に各２時間程度必要となる 自分の関心がある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込んでおく 毎回の授業で学習した内容について、資料を活用して理解する
オフィスアワー	木曜日　５限　６号館　６４０４研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.ガイダンス（研究の進め方・全般的注意）（研究倫理教育）：講義	1.竹﨑
第２回	2.ガイダンス２（各教員の専門分野・指導方針の説明）：講義	2.竹﨑
第３回	3.ガイダンス（希望分野の決定）（AL）	3.竹﨑
第４回	4.看護研究とは（AL）	4.竹崎
第５回	5.量的研究について（AL）	5.竹崎
第６回	6.質的研究について（AL）	6.竹崎

第７回	7.文献検索方法と視点（AL）	7.竹崎
第８回	8.文献検索の実際（AL）	8.竹崎
第９回	9.論文クリティーク（AL）	9.竹崎
第１０回	10.論文クリティーク（（AL）	10.竹崎
第１１回	11.クリティーク発表（AL）	11.竹崎
第１２回	12.クリティーク発表（AL）	12.竹崎
第１３回	13.研究計画書の作成①（AL）	13.竹崎
第１４回	14.研究計画書の作成②（AL）	14.竹崎
第１５回	15.研究計画書の作成③（AL）	15.竹崎
第１６回	16.研究計画書の提出（AL）	16.竹崎

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる　看護研究　ビギナーズNOTE　改訂第２版	教・出版社名１	Gakken
教・著者名１	古橋　洋子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：母性看護に関連するテーマを見出し、研究に関して理解を深める。 到達目標： １．テーマの抽出方法が理解できる。 ２．文献検索方法について理解できる。 ３．文献検討について理解できる。 ４．先行研究から課題を見出すことができる。 ５．倫理的配慮について理解できる。 ６．研究計画書の作成方法が理解できる。
授業概要	１．研究方法の概要を理解し、研究計画書の作成を行う。 ２．研究の概要を学び、研究計画書を作成する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	研究の遂行、指導に対する姿勢（50%） 研究メンバーとのディスカッションなど（20%） 作成された研究計画書（30%） 研究テーマの妥当性、研究方法、論旨の妥当性、倫理的配慮について総合的に評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題提出方法は適宜伝達する。
履修条件・注意事項	１．各自文献を読んでくること。 ２．グループディスカッションの際には、自分の意見を述べること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員は、母子、家族に関する調査を行ってきた経験があるため女性、母子、家族などの研究について指導することができる。
事前学習・事後学習とその時間	１．各自文献を読んでくること。 ２．新聞やニュースなどを視聴し、母性看護学に関連するトピックスに目を向ける事。
オフィスアワー	月曜日～金曜日：12:40～13:30　福岡研究室（6423号室）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	福岡美和
第２回	研究とは何か	福岡美和
第３回	研究の進め方	福岡美和
第４回	文献検索の方法	福岡美和

第５回	母性看護学に関連するテーマの抽出	福岡美和
第６回	母性看護学に関連する文献検索	福岡美和
第７回	文献検討（先行研究より母性看護学に関連する課題等を抽出）	福岡美和
第８回	テーマの検討	福岡美和
第９回	テーマの決定	福岡美和
第１０回	倫理的配慮とは何か 研究倫理に基づく責任ある研究について	福岡美和
第１１回	研究方法について（対象者、研究デザイン、フィールド、データ収集法、論文作成、投稿）	福岡美和
第１２回	研究計画書についてのディスカッション	福岡美和
第１３回	研究計画書の作成	福岡美和
第１４回	研究計画書の再検討（追加、修正）	福岡美和
第１５回	研究計画書の完成	福岡美和
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナーズNOTE　第2版	教・出版社名１	学研メディカル秀潤社
教・著者名１	古橋洋子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ			担当者	飯田　尚美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-NU-3-810		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義　演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書を作成することができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書を作成する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度30%、先行研究の読み込みとクリティーク20%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	クリティークや研究計画書、課題の内容等は講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	ゼミは、基本的には同じテーマでグループでの共同作業で行うが、学生の主体性や他の教科の履修状況等に応じて個別の指導となる場合もある。 学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、テーマにふさわしい教員のゼミに配属するが人数の調整を行うこともある。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、研究活動の実践があり、臨床にて看護師経験を持つ教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	１）自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 ２）発表者は、資料（文献カード等）を作成し、事前にメンバーに配布する。 ３）メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおく。
オフィスアワー	毎週水曜２限：6号館4階　6421研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス１（研究の進め方・全般的注意）	飯田
第２回	ガイダンス２（各教員の専門分野や指導方針説明）	飯田
第３回	ガイダンス３（希望分野の決定）	飯田
第４回	研究（ゼミ）・看護研究とは、量的/質的研究	飯田
第５回	研究（ゼミ）・研究倫理教育	飯田
第６回	研究（ゼミ）・文献検索の方法と視点	飯田
第７回	研究（ゼミ）・文献検索の実際	飯田
第８回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	飯田
第９回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	飯田
第１０回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	飯田
第１１回	研究（ゼミ）・論文クリティーク	飯田
第１２回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	飯田
第１３回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	飯田
第１４回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	飯田
第１５回	研究（ゼミ）・研究計画書作成	飯田

第１６回	研究（ゼミ）・研究計画書提出		飯田
教科書			
教・書籍名１	適宜提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅰ	担当者	澤田　和子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	HS-NU-3-810

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	将来看護職として活動する中で、日々の業務の進歩のために科学的評価は不可欠である。科学的思考能力を養い、科学的評価を目的とした論文の作成を目指し、自ら日々疑問に思っていることや興味を持っている内容について研究テーマを選定する。そして、文献検索と論文クリティークを通し、研究テーマを決定し、研究計画書の作成ができる。
授業概要	研究テーマを選定し、そのテーマに沿った文献の検索方法を学び、先行文献の読み込みとクリティークを通して、研究のポイントを絞り込む。そして、その研究テーマの背景、研究目的、研究対象者、研究方法、分析方法等を決定し、研究計画書の作成をする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	日常の研究に臨む態度30%、先行研究のクリティーク内容30%、研究計画書の内容30%、看護研究発表会レポート内容10%で評価する。 クリティークや計画書、各種レポートの内容などは講義内でフィードバックする。
ルーブリック評価	／URL／Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	クリティークや計画書、各種レポートの内容などは講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	特に医療行政や保健福祉に関するニュースに関心を持ち、医療行政や保健福祉に関して、日々疑問に思っていることや興味を持っているテーマを探す。グループ全員で協力し、集団結束力を発揮し、研究計画書の作成に取り組む。ゼミにおいてディスカッションするが、必ずその前後に、個人でも、グループでも検討しなければならない。学生が希望したテーマを可能な限り尊重し、そのテーマにもっともふさわしい教員のゼミに配属するが、必ずしも希望通りになるとは限らない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験をいかして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	1)自分の興味のある保健・医療・福祉に関する看護論文を探し、事前に読み込む。 2)発表者は発表できるように資料を作成する。作成した資料は事前にメンバーに配布する。 3)メンバーは当日ディスカッションできるように配布資料を読んでおくこと。 4)研究計画書作成までに全員1～2回発表する。
オフィスアワー	平日12時４0分～13時30分（6438研究室）

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス（研究倫理について・研究の進め方）	澤田
第２回	ガイダンス（各教員の専門分野の説明）	澤田
第３回	希望分野について	澤田
第４回	看護研究とは	澤田
第５回	量的研究	澤田
第６回	質的研究	澤田
第７回	文献検索の方法と視点	澤田
第８回	文献検索の実際	澤田
第９回	論文クリティーク	澤田

第１０回	論文クリティーク	澤田	
第１１回	クリティーク発表	澤田	
第１２回	クリティーク発表	澤田	
第１３回	研究計画書	澤田	
第１４回	研究計画書作成	澤田	
第１５回	研究計画書提出	澤田	
第１６回		澤田	
教科書			
教・書籍名１	適宜、提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	基本がわかる　看護研究ビギナーズNOTE	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	古橋　洋子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1394-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	チーム医療			担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美、寺岡　睦		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-811		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 学生が、患者を中心とした安全で良質な医療や療養上の課題解決を目標に、チーム医療の構成員として看護の専門性を活かし、チーム力を維持し、発展させるための機能について理解できる。
授業概要	医療体制の歴史的流れについて理解し、現代医療におけるチーム医療の必要性や重要性を理解し、チーム医療を推進する施策や各専門職の役割、活動するための基本的スキル・能力等について学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート30%　　グループワークの参加状況・プレゼンテーション20%　定期試験60%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートにコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	秋学期「統合実習」に関連付けて学ぶこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床現場でチーム医療の実務経験を持つ教員が、チーム医療における信念対立解明アプローチの実践等の経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：授業終了後に、授業内容を再確認して理解する。（120分） 3年次の臨地実習体験から、チーム医療に関連した体験を振り返る。
オフィスアワー	木曜日　12：40～13：30　6号館4階　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	チーム医療の概念　　他職種連携教育	竹﨑
第３回	チーム医療における信念対立	寺岡
第４回	チーム医療における信念対立解明アプローチ	寺岡
第５回	チーム医療活動の実践	飯田
第６回	チーム医療における専門性	飯田
第７回	チーム医療におけるコミュニケーション	飯田
第８回	まとめ・定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じて資料を配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護政策論			担当者	高尾　茂子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-812		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／３．すべての人に健康と福祉を／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	保健医療福祉看護政策への関心を高め、政策決定過程への参加活動の必要性の認識を高めることができる。
授業概要	本授業をとおして、まずは保健医療福祉看護政策に対して関心を高める。看護職として勤務するようになったときに、労働環境・労働条件の改善、医療事故対策、看護職員の配置基準などの看護優先課題が対象者への安心安全な看護を提供するために必要であることが認識できること、またその実現のために看護政策決定への参加活動の必要性が認識できることが求められる。看護の問題を現象のみで捉えるのではなく、社会学的想像力をもって考えることができ、政策的な思考ができる看護職の育成につながる授業である。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	毎回提出レポート（30%）、最終レポート（50%）、授業の態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること
実務経験のある教員	該当する　／　内容：授業は、病院や看護協会、政策の場等において看護の労働環境改善や医療事故対策など豊富な実務経験を有する教員（講師）が担当し、具体的な実例を交えた講義を行い、イメージをもちながら学ぶことができる。
事前学習・事後学習とその時間	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心をもち、授業と関連づけて考える。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	看護政策概説①	学外講師、高尾茂子
第２回	看護政策概説②	学外講師、高尾茂子
第３回	身近な看護政策①	学外講師、高尾茂子
第４回	身近な看護政策②	学外講師、高尾茂子
第５回	看護と政治①	学外講師、高尾茂子
第６回	看護と政治②	学外講師、高尾茂子
第７回	まとめ	学外講師、高尾茂子
第８回	試験	高尾茂子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際看護学			担当者	市村　美香、服部　俊夫		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	HS-NU-4-813		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	国際看護では、国外だけでなく日本に在住する外国人等あらゆる人間を対象とする看護について学ぶ。 １．世界に関心を持ち国際的問題に興味を持つことができる。 ２．国際看護を国内・国外の看護活動として捉えることができる。 ３．国際看護活動の支援を必要とする対象を理解することができる。 ４．多文化を理解し、その看護活動を理解することができる。 ５．国際協力における看護職の役割を理解することができる。
授業概要	グローバル社会が進む中、人間の生命や尊厳、健康においてもその影響を受けている。健康関連課題に対し、看護職がどのようにかかわることができるのか考察する。日本人・外国人を問わずあらゆる国で生活する人間が遭遇している健康問題について視野を広め考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験70%、課題・授業態度30%で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	世界で起こる問題やニュース等に関心を持ち、国際的な健康上の問題についての演習準備をすること。 予習や復習の自己学修をしっかりして、学びを深めましょう。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医療従事者としての実務経験のある教員と国際医療の知見を多くもつ教員により指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	課題について調べてきたことに基づき参加型学習法により授業を行う為、必ず課題について自己学修して参加すること。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、概論	市村
第２回	国際支援活動や国際協力機関の活動	市村
第３回	グローバルヘルス	市村
第４回	各国の現状と看護（情報収集）	市村
第５回	世界の健康問題（感染症）	服部、市村
第６回	各国の現状と看護（まとめる）	市村
第７回	各国の現状と看護（発表）	市村
第８回	筆記試験、まとめ	市村
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　看護の統合と実践③　災害看護学・国際看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-260-01679-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	災害医療			担当者	澤田　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-814		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	災害現場での医療援助、看護活動および被害者の生活や健康問題への支援、心のケアについて考えていく。効果的な医療援助や看護活動のあり方について自分の考えを表現できることを到達目標とする。
授業概要	大害医療は、大規模災害（地震、火災、津波）等により、対応する側の医療能力を上回るほど多数の医療対象者が発生した時に行われる医療である。災害の及ぼす生命や健康生活への被害を最小限にとどめるために、災害現場での看護活動と災害後の中長期にわたる被災者の生活や健康問題への支援、心のケアについて理解できる。 災害のイメージができるよう視聴覚教材を用いながら進めていく。 災害時の看護活動の理解として、慢性疾患を抱える看護として認定看護師を迎え理解を深めていく。 災害現場においてのトリアージの実際を演習を通じて理解を深めていく。 また、認定看護師・DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（６０％）、提出物（３０％）、授業態度（１０％）を合わせて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	課題提出（期限厳守）を定期試験受験の条件とする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学びを考えることを期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容：看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、また、認定看護師、DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業進行に合わせ予習し、授業ごとにノートをまとめておくこと（予習・復習） なお、予習、復習には各2時間程度を要する。 身の回りにある災害関連について関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと。
オフィスアワー	平日12時40分～13時30分（6438研究室）

	授業計画	担当者
第１回	災害看護とは	澤田
第２回	災害医療の基礎知識	澤田
第３回	災害看護の基礎知識	澤田
第４回	災害急性期医療・看護	外部講師
第５回	DMATについて	外部講師
第６回	災害時の看護活動（慢性疾患を抱える患者の看護）	外部講師
第７回	災害サイクルについて	澤田
第８回	災害時の備えについて/単位認定試験	澤田
第９回		

第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学　看護の統合と実践③	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	竹下　喜久子（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03570-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救命救急			担当者	飯田　尚美、赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-815		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	1. 救命救急の概念と救急医療ｼｽﾃﾑが理解できる。 2. 救命救急で遭遇する事の多い疾患･外傷などの病態について理解できる。 3. 生命の危機的状況にある人のアセスメントを述べることができる。 4. 生命の危機的状況にある人の対象の特徴と看護について考えることができる。
授業概要	救命救急における看護の役割を理解し、適切な援助が実践できるための基本的な知識・技術を学ぶ。 具体的には、救急患者の主要病態と救急処置を基盤に、生命の危機的状況にある人の看護について学ぶ。 臨床経験のある医師及び看護師が実務経験に基づく講義を行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）、課題提出（レポート）（30%）を合わせて評価する。 評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題を授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この科目は統合分野であり、これまで学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術が必要である。 難解な専門用語も多いので、予習・復習を含め相当の自学自習の努力を期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、1～3年生で学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術を復習しておく。また、必要時、事前にプリントを配布するので熟読し、関連事項について予習する。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日2時限目　：　６号館４階　飯田（6421）研究室 火曜日5時限目・水曜日5時限目　：　６号館４階　森（6412）研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 救命救急の概念 救命医療システム	飯田
第２回	救命救急処置および緊急検査 全身と外観の観察とアセスメント ALS（気管挿管）	赤在
第３回	救命救急における主要病態の理解：呼吸器系、循環器系	赤在
第４回	救命救急における主要病態の理解：脳・神経系、外傷	赤在
第５回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：A 気道、B 呼吸	飯田
第６回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：C 循環、D 中枢神経系	飯田
第７回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第８回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第９回	終講試験	赤在・飯田
第１０回		
第１１回		

第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　別巻　救急看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学（４）臨床看護総論	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	香春　知永　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論・各論	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	編集：矢永　勝彦、小路　美喜子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護教育				担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年				ナンバリング	HS-NU-4-816		
必修・選択	選択	単位数	1単位		時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 　学生が、看護教育の歴史的変遷、教育制度、教育課程について学修し、看護職者としての自らのキャリア発達に向けた教育や学習の意義を習得できる。 到達目標 １．看護教育の歴史と制度が理解できるようになる。 ２．大学における看護教育の在り方が理解できるようになる。 ３．進路選択における新人教育の内容が理解できるようになる。 ４．自らのキャリア発達に向けた看護生涯教育や自己評価の意義と方法が理解できるようになる。
授業概要	看護教育の歴史や制度を学び、現状と課題について考察する。看護学教育の特徴を理解して、看護職者としての教育的視点を養うと共に、進路選択に必要な条件や自分自身の方向性を考え、将来のキャリアアップに向けた目標設定をイメージする機会とする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート60％　グループワークの参加状況・プレゼンテーション40％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートはコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	①　看護基礎教育における自己の成長が表現できるよう、今までの学生生活の中での振り返りを行う。 ②　卒業後の自分自身のキャリアアップに関して、具体的な方向性を描くことができる。 ①②について、よく考え自分の意見を纏めて授業に臨むこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床で看護管理者としての看護師教育、認定看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する（120分） 提示した課題内容について検討し、各自の意見えお纏めて記載する。
オフィスアワー	水曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	看護教育の歴史	竹﨑
第３回	日本の看護教育制度	竹﨑
第４回	新人教育とキャリアアップ	竹﨑
第５回	看護職の資格認定制度	飯田
第６回	認定看護師の実践活動 ＜摂食嚥下障害看護＞	飯田
第７回	専門職としてのキャリアアップ	竹﨑　飯田

第８回	まとめ 定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない 必要に応じて資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅱ			担当者	安福　真弓、佐藤　三矢、京極　真、中嶋　貴子、森下　元賀、市村　美香、高尾　茂子、福岡　美和、寺岡　睦、赤在あゆみ、長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-817		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限 金曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	看護の各領域での学びを関連づけて考える力（統合する力）を育て、看護の対象者を尊厳ある地域生活者として捉えることができ、対象者の生活背景を視野に入れた看護の提供ができる看護師の育成をめざす。
授業概要	現代社会の中で生じる健康問題を多（他）職種、多組織との連携のなかで協力して解決していくために、多角的視点から実践的な知識を学び、今までに学んだ各領域の知識を関連付け統合して考える力を養う。 　担当教員は、本学の各領域の専門教員や、統合実習の実習先である臨床現場における指導者・管理者、さらに難病等の専門性の高い当事者等外部講師であり、知識の統括としての講義であり、最終学年として看護の統合的視野と感性が培える講義である。 　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	演習成果（50%）、最終レポート（30%）、授業態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②最終レポート、演習成果、授業態度が評価の基準となる。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	配布資料、提示する参考書等を通して理解し、自分の言葉で伝えられること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	高尾茂子
第２回	ガイダンス	高尾茂子
第３回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第４回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第５回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第６回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第７回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第８回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第９回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１０回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１１回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１２回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１３回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１４回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１５回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子

第１６回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子
第１７回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１８回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１９回	知識の統合「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２０回	知識の統合　「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２１回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２２回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２３回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２４回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２５回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２６回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２７回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２８回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２９回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３０回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３１回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子
第３２回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	医療安全			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-818		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 医療安全の基本的な考え方を理解し、リスクに対する感受性と判断力を磨き、看護の質と医療安全の関連について考える。医療安全における基本的な知識および看護職の責務と役割を学び、安全対策の方法について理解を深める。 到達目標 １．医療安全に関する基礎的知識、医療安全に対する考え方や取組みを理解する。 ２．看護業務を行う際の環境の特徴、医療事故の種類や背景、要因について理解する。 ３．医療事故後の対応を理解する。 ４．医療専門職者として、主体的に医療安全に取り組む姿勢を培うことができる。
授業概要	医療安全の基本的な考え方を理解し、事故事例を用いる、自己の傾向を振り返る、ディスカッション等を通して、看護専門職としての責務と役割、医療現場における危険の予知と回避、患者の安全対策、事故防止等について考える。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート70%、グループワーク・発表30%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の中でフィードバックする
履修条件・注意事項	医療安全は看護の質に深く関連するので、各自が自己の問題としてとらえること。 日ごろから、新聞・ニュース等により、国内外において発生する医療事故に関心をもち、情報を得ておくこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師として実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、看護の現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	テキストを読み、わからない用語等は自己で調べ、その上でわからないことはまとめておき、質問するなど自主的に学んでほしい。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて木曜日　昼休みに実施する

	授業計画	担当者
第１回	医療安全と看護の理念 医療安全への取り組みと医療の質の評価	門倉康恵
第２回	事故のメカニズムとリスクマネジメント	門倉康恵
第３回	看護業務の関連する事故と安全対策	門倉康恵
第４回	在宅看護における医療事故と安全対策	門倉康恵
第５回	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	門倉康恵
第６回	KYT分析　グループワーク	門倉康恵
第７回	KYT分析　GW発表	門倉康恵
第８回	医療安全の学び（まとめ発表）	門倉康恵
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	ナーシンググラフィカ医療の統合と実践②　医療安全	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１	松下由美子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-7212-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よ、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%　にて評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	口頭及び書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で、図式化・文章化していく。予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、平日昼休憩の時間(12:40～13:30)に実施する。

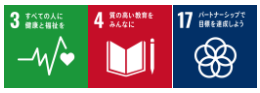
	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション・データ収集 2．研究倫理教育	長町
第２回	データ収集・分析	長町
第３回	データ分析	長町
第４回	研究発表準備・表作成	長町
第５回	研究発表準備・発表資料作成	長町
第６回	研究発表準備・発表原稿作成	長町
第７回	研究発表	長町

第８回	研究発表	長町
第９回	研究発表	長町
第１０回	論文作成・諸言	長町
第１１回	論文作成・研究方法	長町
第１２回	論文作成・研究結果	長町
第１３回	論文作成・考察	長町
第１４回	論文作成・結論	長町
第１５回	論文作成・今後の課題	長町
第１６回	論文提出	長町

教科書			
教・書籍名１	適宜指示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	テーマ 看護研究の方法（研究計画から論文作成までまでの一連の過程）を実践的に学び、研究成果を発表することができる。 到達目標 １．研究の一連のプロセスを理解できる。 ２．研究倫理をふまえて研究の成果を論文としてまとめ、発表できる。
授業概要	看護研究における研究計画の立案から論文作成までの一連の過程を学ぶ。具体的には、質的・量的研究方法ともに進捗状況に合わせた指導を行う。 量的研究では、データーの収集・分析、分析結果に基づく考察の方法を学ぶ。 質的研究では、テーマに基づく文献検索、データーの質的分析、考察の方法を学ぶ。 看護研究として、調査結果のまとめ方、分析方法、考察、論文の書き方、発表方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究態度20%、研究内容30%、文献検索20%、論文作成プロセス30%
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	文献検索と熟読、まとめを、ゼミ前日までに提出する。各自、グループメンバーの論文まとめをゼミまでに読んでくる。 ゼミの中で、課題に対するフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	学生の研究への自主的な取り組みが大切である。グループワークに積極的に参加し、ディスカッションをしっかり行う。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、看護師としてまた大学教員としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、看護研究の素地を育成するために役に立つ授業を実践する。
事前学習・事後学習とその時間	研究テーマにそった文献を検索し、熟読してまとめ、文献レビューの発表ができるよう準備する。 分析方法について、自己でも学習をする。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて木曜日昼休みに実施

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス 研究テーマの再検討 今後の計画立案	門倉康恵
第２回	研究計画書の内容、仮説の再検討	門倉康恵
第３回	研究テーマに沿った文献の再検討 研究倫理について	門倉康恵
第４回	倫理的配慮を踏まえた研究方法の再検討	門倉康恵
第５回	データ収集	門倉康恵

第６回	データ入力	門倉康恵
第７回	データの分析	門倉康恵
第８回	データ分析結果の整理	門倉康恵
第９回	分析結果の考察	門倉康恵
第１０回	研究論文作成（背景、目的、意義）	門倉康恵
第１１回	研究論文作成（方法、結果）	門倉康恵
第１２回	研究論文作成（考察、結論、文献）	門倉康恵
第１３回	研究論文推敲、論文発表資料作成	門倉康恵
第１４回	研究発表練習	門倉康恵
第１５回	論文発表	門倉康恵
第１６回	論文提出	門倉康恵

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究　ビギナーズNOTE　改訂第2版	教・出版社名１	Gakken
教・著者名１	古橋洋子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1394-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	はじめての看護研究アンケート調査編	参・出版社名１	メディカ出版
参・著者名１	及川慶浩	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-5353-0
参・書籍名２	はじめての看護研究統計学編	参・出版社名2	メディカ出版
参・著者名2	及川慶浩	参・ＩＳＢＮ2	978-4-8404-4035-6

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：看護における研究を自ら行う。 到達目標：看護研究Ⅱでは、研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究Ⅰで学習したことを基礎に、看護研究の方法(研究計画から論文作成ならびに研究成果発表までの一連の過程)を実践的に学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%　にて評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf 研究プロセス、意欲・態度、チームワーク、自己評価を評価項目として実施する。
課題や試験のフィードバック方法	口頭及び書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた講義枠はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　内容　複数の自治体で保健所に勤務し業務に関連する研究を行なってきた。
事前学習・事後学習とその時間	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で、図式化・文章化していく。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜2限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション、研究倫理	中瀬
第２回	データ収集・分析	中瀬
第３回	データ分析	中瀬
第４回	研究発表準備・表作成	中瀬
第５回	研究発表準備・発表資料作成	中瀬
第６回	研究発表準備・発表原稿作成	中瀬
第７回	研究発表	中瀬
第８回	研究発表	中瀬
第９回	研究発表	中瀬
第１０回	論文作成・諸言	中瀬
第１１回	論文作成・研究方法	中瀬
第１２回	論文作成・研究結果	中瀬
第１３回	論文作成・考察	中瀬
第１４回	論文作成・結論	中瀬
第１５回	論文作成・今後の課題	中瀬

第１６回	論文提出	中瀬	
教科書			
教・書籍名１	適宜指示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	掛谷　益子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	AL
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	＜テーマ>科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導くことを学ぶ。また研究内容を第3者にわかりやすく発表し、論文を完成する。 ＜到達目標＞ 1. 科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導くことができる。 2. 研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく発表することができる。 3. 研究内容について、ゼミ仲間同士でディスカッションし、考察を深めることができる。 4. 原稿規定に沿って作成し、期日までに提出することができる。 5. 個人情報の取り扱いや研究協力者への配慮など研究者としてあるべき姿勢を身に付ける。
授業概要	研究発表は、研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、終結する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度，研究発表内容・態度・資料を合わせて70%、論文の成果を30%にて評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業での課題を必ず考え、次の授業までに解決策を提示できるように各自準備する。
履修条件・注意事項	グループ研究ではあるが、各自主体的に考え、実践することで研究は完成する。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師経験を持つ教員がその経験を活かし、看護研究テーマに沿った実践的に役立つゼミを実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業時間内だけの考察では研究は完成しない。課題解決のため助言を参考に考察を進めていく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	掛谷
第２回	研究テーマ・方法の検討・研究倫理について	掛谷
第３回	研究テーマの確定	掛谷
第４回	調査の実施	掛谷
第５回	データ収集	掛谷
第６回	データの整理	掛谷
第７回	研究結果の整理	掛谷
第８回	記述統計(図表の作成)	掛谷
第９回	記述統計(図表の精整)	掛谷
第１０回	結果の考察	掛谷
第１１回	プレゼンテーション資料作成	掛谷

第１２回	研究発表準備		掛谷
第１３回	研究発表		掛谷
第１４回	論文作成(方法・結果・考察)		掛谷
第１５回	論文作成・仕上げ		掛谷
第１６回	論文提出		掛谷
教科書			
教・書籍名１	必要な資料はその都度配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	高尾　茂子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：研究のまとめを行い論文を完成させ研究発表を行う。 到達目標：学生は、研究の手順によって得た科学的な情報を分析し、研究結果を基に、論理的考察を行い、結論に導く。この一連の過程を研究的に実施することで看護研究の基本を理解することができる。
授業概要	研究発表は、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることも、この科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで終結する。 担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。子育て支援や保健師の役割等についての質的研究を中心に行ってきた。今後は災害に関する研究もテーマとしていく予定である。 　授業は学生の思いを大切にして学生がテーマをしぼっていきやすいように支援していく。またグループでの研究が中心になるのでグループの協力関係、信頼関係を大切にする。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%にて評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業としては秋期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め論文を仕上げていくこと。研究発表の時は、必ず出席し他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	研究テーマに関連する他の文献をできるだけ読むこと。読みとった内容を研究論文作成に生かすこと。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	研究倫理に基づく責任ある研究活動	高尾茂子
第２回	データ収集	高尾茂子
第３回	データ整理	高尾茂子
第４回	データ分析	高尾茂子
第５回	データ分析から結果を出す	高尾茂子
第６回	結果から今後の方向を出す	高尾茂子
第７回	中間報告	高尾茂子
第８回	論文作成…研究の背景	高尾茂子
第９回	論文作成…研究方法	高尾茂子
第１０回	論文作成…結果	高尾茂子
第１１回	論文作成…考察	高尾茂子
第１２回	論文作成…結論	高尾茂子
第１３回	論文修正	高尾茂子

第１４回	論文発表用資料作成		高尾茂子
第１５回	論文発表準備（練習等）		高尾茂子
第１６回	発表会		高尾茂子
教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	授業・演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	看護研究Ⅱに於いては研究のまとめを論文作成の完成及び発表により行うことを目標とする。研究の手順を踏みこれに基づく科学的な情報を分析した、研究結果に論理的考察を行い、結論を導く。この一連の過程を研究的に辿ることで、看護研究の基本を理解できる。
授業概要	研究発表は、研究内容を簡潔にまとめ分かりやすい資料作成やプレゼン能力を養うことを目的とする。そのための技術・様々な工夫を考え修得する。発表前に考えられる研究の限界から質疑の想定や応答を検討することで、研究の問題が明確になることから、論文を期限日までに修正・完成することで終結となる。この科目では、予防的視点を持って多様な領域や健康レベルの対象者やテーマにより、公衆衛生看護実践に長年関わってきた経験を活かした授業・演習・研究指導を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	研究内容及び研究に取り組む姿勢や態度、グループワークでの発言・研究手法の理解度などを総合的に評価する。具体的には、姿勢や態度20%、グループワークでの発言20%、研究手法の理解度20%、発表内容20%、論文成果20%似て評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	演習や授業で態度や理解度について随時フィードバックするので確認し自己評価後見直すこと
履修条件・注意事項	時間割上は後期履修となっているが指導教員と相談しながら履修する。研究を着実に進め論文完成まで行う事。発表には必ず参加しメンバー間で協力し合い行うとともに、他の発表を批判的に疑問を持って聞く事。
実務経験のある教員	該当する　内容　公衆衛生看護行政に長年携わり予防的視点を持って多様な領域や健康レベルの対象者やテーマに取組んだ経験を有する。
事前学習・事後学習とその時間	１．情報処理・疫学・保健統計学の学習及び理解が必要　２．看護研究Ⅰで作成した研究計画に基づき看護研究を継続する。３．グループワークで得られるデスカッションやチームワーク力を高める。４．メンバーシップを構築できる交友関係に努める。　ゼミの記録を次回までに作成し提出しメンバー間で共有しておく。研究目的や履修目標を理解し
オフィスアワー	個人研究室で火曜日4限で行う

	授業計画	担当者
第１回	データ回収	田中富子
第２回	データ入力	田中富子
第３回	データ基礎集計	田中富子
第４回	データ集計	田中富子
第５回	データ分析	田中富子
第６回	研究倫理に基づく責任ある研究活動	田中富子
第７回	データ読み取り・加工	田中富子
第８回	データの表作成	田中富子
第９回	論文作成　結果	田中富子
第１０回	論文作成　結果	田中富子
第１１回	論文作成　諸言・方法	田中富子
第１２回	論文作成　諸言・結果	田中富子
第１３回	論文作成　考察	田中富子

第１４回	論文作成　考察		田中富子
第１５回	論文作成　結語		田中富子
第１６回	論文作成　アブストラクト　発表準備		田中富子
教科書			
教・書籍名１	特に指定しない	教・出版社名１	
教・著者名１	テーマに応じた資料を配布	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	安福　真弓		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究のもっとも重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかにできるのかを考え、実際に研究を進めていく。また、研究発表では，研究の内容を短時間で要領よく、わかり易く伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲や態度（20%），研究発表内容（20%），研究発表態度・資料（20%）論文の成果（40%）にて評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義中に提示した課題は、授業でフィードバックするので指定日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業としては秋学期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら，研究を進め，論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務付ける。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，近年の実習体験や長きにわたる臨床経験を活かし、身近な疑問や健康課題に関係するテーマを中心に授業・研究指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	選択したテーマに沿ってまとめることができるように、先行文献や資料などをしっかりと精読しながら、進めていき、グループでの分担作業の過程や思考・意見なども、しっかりと記録をして共有しておく。そのための学修には2時間以上の地道な努力を要する。
オフィスアワー	月曜2限(11:10～12：40）に個人研究室(6405）にて対応

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（研究倫理教育：研究倫理に基づく責任ある研究活動について）	安福
第２回	データ収集・入力	安福
第３回	データ分析	安福
第４回	研究発表準備・表作成	安福
第５回	研究発表準備・発表資料作成	安福
第６回	研究発表準備・発表原稿作成	安福
第７回	研究発表（1群）	安福
第８回	研究発表（2群）	安福
第９回	研究発表（3群）	安福
第１０回	論文作成・緒言	安福
第１１回	論文作成・研究方法	安福
第１２回	論文作成・研究結果	安福
第１３回	論文作成・考察	安福
第１４回	論文作成・結論	安福

第１５回	論文作成・今後の課題	安福	
第１６回	論文提出	安福	
教科書			
教・書籍名１	必要時適時提示	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ： 倫理的な配慮に基づき、科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導くことを学ぶ。また研究内容を第3者にわかりやすく発表し、論文を完成する。 到達目標： 1. 倫理的な配慮に基づき、科学的な手順を踏んで得られた研究結果に論理的な考察を加え、結論に導くことができる。 2. 研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく発表することができる。 3. 研究内容について、ゼミ仲間同士でディスカッションし、考察を深めることができる。 4. 原稿規定に沿って作成し、期日までに提出することができる。 5. 個人情報の取り扱いや研究協力者への配慮など研究者としてあるべき姿勢を身に付ける。
授業概要	研究発表は、研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、終結する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度，研究発表内容・態度・資料を合わせて70%、論文の成果を30%にて評価する。
ルーブリック評価	/URL/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業の中で提示した課題については、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	グループ研究だからといって人任せにせず、主体的に考え、動くこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、精神看科病院勤務を持つ教員がその経験を活かし、精神看護学をテーマにした看護研究において実践的に役立つゼミを実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回課題を出すので、次回までにしておくこと。
オフィスアワー	6号館4階個人研究室にて、基本的に毎週水曜日の2限目（教授会がある日を除く）を、オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	1. ガイダンス（研究の進め方・研究倫理教育など）	中嶋
第２回	2. 研究方法の検討１	中嶋
第３回	3. 研究方法の検討２	中嶋
第４回	4. 実施１	中嶋
第５回	5. 実施２	中嶋
第６回	6. 結果（図・表の作成）1	中嶋
第７回	7. 結果（図・表の作成）2	中嶋
第８回	8. 考察1	中嶋
第９回	9. 考察2	中嶋

第１０回	10. 発表準備	中嶋
第１１回	11. 発表準備	中嶋
第１２回	12. 論文仕上げ	中嶋
第１３回	13. 論文仕上げ・修正	中嶋
第１４回	14. 論文仕上げ・修正	中嶋
第１５回	15. 論文仕上げ・修正	中嶋
第１６回	16. 論文提出	中嶋

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%　にて評価する。
ルーブリック評価	ルーブリックを評価に活用する。 /uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で図式化・文章化していく。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・データ収集・研究倫理教育	看護研究委員、市村美香
第２回	データ収集	市村美香
第３回	データ収集、データの整理	市村美香
第４回	データの整理・分析	市村美香
第５回	データ分析	市村美香
第６回	データ分析、図表の作成	市村美香
第７回	データ分析、研究発表の原稿作成	市村美香
第８回	研究発表の原稿作成	市村美香
第９回	研究発表	市村美香
第１０回	研究発表クリティーク	市村美香
第１１回	論文作成（緒言）	市村美香
第１２回	論文作成（研究方法）	市村美香
第１３回	論文作成（研究結果）	市村美香
第１４回	論文作成（考察）	市村美香
第１５回	論文作成（結論、今後の課題）	市村美香

第１６回	論文提出、まとめ		市村美香
教科書			
教・書籍名１	適宜、提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ	担当者	横溝　珠実
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-819

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習

年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よ、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%　にて評価する。
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf　研究プロセス、意欲・態度、チームワーク、自己評価を評価項目として実施する。
課題や試験のフィードバック方法	課題については講義内で全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら、研究を進め、論文を仕上げて行くこと。研究発表の時は、必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で、図式化・文章化していく。
オフィスアワー	火曜日1限（実習中は事前に連絡をしてください）

	授業計画	担当者
第１回	講義：オリエンテーション・データ収集	横溝
第２回	講義：データ収集	横溝
第３回	ディスカッション：看護研究における研究倫理、データ収集	横溝
第４回	GW:データ分析	横溝
第５回	GW:データ分析	横溝
第６回	ディスカッション：研究発表準備・表作成	横溝
第７回	GW:研究発表準備・発表資料作成	横溝
第８回	GW:研究発表準備・発表原稿作成	横溝
第９回	GW:研究発表	横溝
第１０回	ディスカッション：研究発表	横溝
第１１回	ディスカッション：研究発表	横溝
第１２回	GW:論文作成・緒言	横溝
第１３回	GW:論文作成・研究方法・結果	横溝
第１４回	GW:論文作成・研究考察・結論	横溝

第１５回	GW:論文作成・今後の課題	横溝	
第１６回	ディスカッション：論文提出（12月上旬）	横溝	
教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナーズNOTE	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	竹﨑　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 学生が、看護実践を積み重ねる過程で専門性を深めていくために必要な看護研究の基本的な方法を理解して、実践できる 到達目標 ①看護計画に基づき、研究を実施しデータを収集できる ②研究結果の分析と考察ができる ③研究論文が作成できる ④研究の口頭発表の準備、パワーポイントの作成ができる
授業概要	研究倫理を遵守し、研究計画書に沿って研究を遂行してデータ分析、論文のまとめ方を学び、研究の実践的理解を学習する 研究論文までのプロセスを通して、批判的な思考力、論理的表現力、創造的な問題解決能力を高め、研究の意義や理解を深める
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究に臨む姿勢（２０％） 文献検索（３０％） 研究内容（３０％） 論文作成（２０％）
ルーブリック評価	・/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のために課された課題（レポート）等は授業内でフィードバックする
履修条件・注意事項	積極的・自律的に参加する 疑問点を整理し、先行研究を参考にしながら主体的に行動計画を立て、看護研究に取り組む姿勢が求められる 研究発表会には必ず参加し、ほかの学生の発表を聴くこと
実務経験のある教員	該当する　内容　看護師としての臨床経験は４０年であり、認定看護管理者としての資格を有している。 専門分野は人材管理、リハビリテーション看護である
事前学習・事後学習とその時間	予習復習に各2時間程度が必要である。 自らの疑問点を明確にしてゼミに参加することが求められる。また授業内での学びをノート等に自分でまとめておく
オフィスアワー	木曜日　５限　６号館　６４０４研究室

授業計画		担当者
第１回	1.オリエンテーション（AL） 研究倫理教育	1.竹崎
第２回	2.データ収集（AL）	2.竹崎

第３回	3.データ収集・分析（AL）	3.竹崎
第４回	4.データ分析（AL）	4.竹崎
第５回	5.論文作成：緒言（AL）	5.竹崎
第６回	6.論文作成：研究方法（AL）	6.竹崎
第７回	7.論文作成：結果・考察（AL）	7.竹崎
第８回	8.論文作成：考察（AL）	8.竹崎
第９回	9.論文作成：考察（AL）	9.竹崎
第１０回	10.論文作成：結論（AL）	10.竹崎
第１１回	11.研究の限界と今後の課題（AL）	11.竹崎
第１２回	12.論文の発表と議論（AL）	12.竹崎
第１３回	13.論文の発表と議論（AL）	13.竹崎
第１４回	14.論文修正（AL）	14.竹崎
第１５回	15.論文発表（AL）	15.竹崎
第１６回	16.論文提出（AL）	16.竹崎

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる　看護研究　ビギナーズNOTE　改訂第２版	教・出版社名１	Gakken
教・著者名１	古橋　洋子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	福岡　美和		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	テーマ：自らの研究について探求し、研究の方法、論文作成について学ぶ。 到達目標： 1. 先行研究の動向と課題が理解できる。 2. 研究方法を理解できる。 3. タイムスケジュールに沿って論文作成ができる。 4. 他者が理解できるプレゼンテーションを行うことができる。
授業概要	1. 看護研究Ⅰで取り組んだテーマ、研究計画書をもとに文献検討、方法の再検討、調査、分析、考察を行い論文を作成す　る。 2. 学会等でプレゼンテーションを行い、研究成果を広く周知する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	1. 研究テーマの妥当性、研究方法、論旨の妥当性、倫理的配慮（30%） 2. 研究に取り組む姿勢（40%） 3. 作成された抄録、論文の完成度（20%） 4. 研究成果のプレゼンテーション（10%）
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	口頭、書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	1. 各自論文の内容を理解し、他者に説明できること。 2. 理解できないことはそのままにせず討議、質問し、解決すること。 3. 自分の意見を述べること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員は、母子、家族に関する調査を行ってきた経験があるため女性、母子、家族などの研究について指導することができる。
事前学習・事後学習とその時間	課題に沿って研究をすすめていくこと。
オフィスアワー	月曜日～金曜日：12:40～13:30　福岡研究室（6423号室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、ディスカッション	福岡美和
第２回	論文抄読会	福岡美和
第３回	研究計画の再確認、修正（研究倫理に基づく責任ある研究の見直し）	福岡美和
第４回	研究方法の再検討	福岡美和
第５回	データ収集法の検討、資料作成	福岡美和

第６回	研究参加の依頼	福岡美和
第７回	参加者募集の実施	福岡美和
第８回	データ収集	福岡美和
第９回	データの整理	福岡美和
第１０回	データの確認	福岡美和
第１１回	データの分析	福岡美和
第１２回	結果の整理	福岡美和
第１３回	考察の検討	福岡美和
第１４回	論文作成	福岡美和
第１５回	プレゼンテーションの練習、最終チェック	福岡美和
第１６回	リフレクション	福岡美和

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる看護研究ビギナ-ズＮＯＴＥ	教・出版社名１	学研メディカル秀潤社
教・著者名１	古橋洋子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	飯田　尚美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	看護研究の方法（研究計画から論文作成までの一連の過程）を実践的に学び、研究成果を発表することができる。
授業概要	看護研究における研究計画の立案から論文作成までの一連の過程を学ぶ。具体的には、質的・量的研究方法ともに進捗状況に合わせた指導を行う。 看護研究Ⅱでは調査結果のまとめ方、分析方法、考察、論文の書き方、発表方法を学ぶ　。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究態度20%、研究内容30%、文献検索30%、論文作成プロセス20%
ルーブリック評価	/URL/Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	研究に取り組む姿勢が重要になる。学生の自主的な姿勢が大切になるので、積極的に研究に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、研究活動の実践があり、臨床現場において実務経験のある教員が、その経験を活かして実施する。
事前学習・事後学習とその時間	研究に取り組む姿勢が重要になる。学生の自主的な姿勢が大切になるので、積極的に研究に取り組むこと。
オフィスアワー	水曜日：２時限目　6421研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス・研究倫理教育	飯田
第２回	データ収集	飯田
第３回	データ収集・分析	飯田
第４回	データ分析	飯田
第５回	研究発表準備・表作成	飯田
第６回	研究発表準備・発表資料作成	飯田
第７回	研究発表準備・発表原稿作成	飯田
第８回	研究発表	飯田
第９回	研究発表	飯田
第１０回	論文作成・緒言	飯田
第１１回	論文作成・研究方法	飯田
第１２回	論文作成・研究結果	飯田
第１３回	論文作成・考察	飯田
第１４回	論文作成・結論	飯田
第１５回	論文作成・今後の課題	飯田
第１６回	まとめ、論文提出	飯田

教科書			
教・書籍名１	適宜提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			

参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	澤田　和子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義 演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導く過程が研究の最も重要な点であり、研究者の能力を問われる点でもある。看護研究Ⅱでは、この過程を学んで身につけることができ、研究のまとめとしての発表と論文が完成できる。
授業概要	看護研究は、量的なアプローチと質的なアプローチの研究に分けられる。それぞれの研究の特徴を理解し、どのような研究手法を用いると研究課題を明らかに出来るのか考え、実際に研究を進めていく。 また、研究発表では、研究の内容を短時間で要領よくわかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の目的の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、看護研究は終結する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度：20%、研究発表内容：20%、研究発表態度・資料：20%、論文の成果：40%　にて評価する。
ルーブリック評価	／URL／Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	研究発表や論文に対する講評などは講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業としては後期となっているが、時間割に定められた時間はない。指導教員と個別に相談しながら研究を進め、論文を仕上げていくこと。研究発表の時は必ず出席し、他の学生の発表を聴くことを義務づける。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、大学院で修士課程を修了した教員がその経験をいかして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	研究は自分が行うものである。データ収集・分析、論文作成を助言を受けながら完成させていく。授業時間内では助言とディスカッションが中心となるので、その結果を授業時間外で図式化・文章化していく。
オフィスアワー	平日　12時40分～13時30分(6438研究室)

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション(研究倫理について)・データ収集	澤田
第２回	データ収集・分析	澤田
第３回	データ分析	澤田
第４回	研究発表準備・表作成	澤田
第５回	研究発表準備・発表資料作成	澤田
第６回	研究発表準備・発表原稿作成	澤田
第７回	研究発表	澤田
第８回	研究発表	澤田
第９回	研究発表	澤田
第１０回	論文作成・緒言	澤田
第１１回	論文作成・研究方法	澤田

第１２回	論文作成・研究結果	澤田	
第１３回	論文作成・考察	澤田	
第１４回	論文作成・結論	澤田	
第１５回	論文作成・今後の課題	澤田	
第１６回	論文提出	澤田	
教科書			
教・書籍名１	適宜指示する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	基本がわかる　看護研究　ビギナーズNOTE	参・出版社名１	Gakken
参・著者名１	古橋　洋子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7809-1394-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	健康管理論			担当者	中瀬　克己		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-HN-3-101		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１３．気候変動に具体的な対策を
到達目標	テーマ：健康危機への対応。本科目では感染症および自然災害というの健康危機時における健康管理を学習する。公衆衛生１（基礎）、２（応用）で学習した知識考え方を基本として、個人およびコミュニティーの健康への健康危機発生前から発生後までを含めて、公衆衛生的介入の「応用力」を学ぶ。 到達目標：健康危機管理の理念と目的、対象と方法、災害時サイクル各期の保健活動、感染症の集団発生時の保健活動について基本的な理解を得る。
授業概要	授業の概要：大規模自然災害時の対応や感染症集団発生の事例を通して公衆衛生の観点から健康危機管理を学ぶ。日常生活に馴染みが少なくかつ公衆衛生とし期待される２つの分野を取り上げ、演習を交えて具体的に学ぶ。保健師・看護師として具体的な場面で対応できる基礎的な能力の獲得を目指す。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク
評価方法と割合	期末の定期試験（60%）と授業への取り組み姿勢、提出物の内容（40%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時にアンケートや練習問題を行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。
履修条件・注意事項	プリントを配布し、理解を助けるための練習問題も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。 保健師課程の必修科目であるが、看護師課程でも履修すると有用である。 選択教科なので，再試験はしない。時間割編成上，再履修可能性も低いので，そのつもりで履修すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、自治体の公衆衛生部門において自然災害及び感染症危機対応の実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	公衆衛生対応を効果的に行うには市民がどのように感じ対応しようとするかのイメージできることが重要である。演習を通して、稀な環境や事態に対面した際の理解が深まる。教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を身近な人の意見やメディア情報など他の資料などで補う必要がある。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限を，オフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	健康危機管理概	中瀬
第２回	災害時のシミュレーション、目黒巻き	中瀬
第３回	災害時の保健活動とソーシャルキャピタル	中瀬
第４回	避難所における健康・衛生管理	中瀬
第５回	災害時支援活動の基本 PFA演習	中瀬
第６回	災害時保健活動の基礎　演習1	中瀬
第７回	災害時保健活動の基礎　演習2	中瀬
第８回	大規模自然災害における支援と受援	中瀬
第９回	感染症対策と保健師活動	中瀬
第１０回	感染症危機管理	中瀬
第１１回	感染症調査 演習	中瀬
第１２回	集団発生調査の基礎	中瀬
第１３回	新興・再興感染症対策	中瀬

第１４回	リスクコミュニケーション 演習	中瀬	
第１５回	食品安全と健康危機	中瀬	
第１６回	筆記試験	中瀬	
教科書			
教・書籍名１	公衆衛生―健康支援と社会保障制度〈2〉14版	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	神馬　征峰ら	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03574-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健医療福祉行政論Ⅱ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-HN-2-102		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	テーマ：保健師として，知っておかなければ成らない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し，行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する 到達目標：保健師活動を実践するための保健福祉行政における全般的な根拠法を学習し，法に則った保健師活動実践ができ，国家試験問題への対応ができる。
授業概要	保健師は，保健・医療・福祉・企画分野での広範囲な行政部署において，専門性に立脚した行政手腕が求められる。その基礎知識として保健医療福祉行政の仕組み・財政・社会保障制度・公衆衛生全般にわたる内容を学習する。 具体的には，公衆衛生に関する法改正を踏まえ，過去・現在・未来を視野に入れた公衆衛生看護活動を理解する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	最終試験８０％・課題２０％で評価を行う
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	社会情勢や健康課題への関心を持ち，自分の考えを議論する習慣を身につける 講義内容に関する関係法の予習・復習を行い，法令の用語や言い回し等の理解をすること 指定した教科書・参考書等は必ず持参すること 課題レポートの提出は期限厳守とし，予習・復習を兼ね問われた内容が記載されたものとする 小テスト対策として数回毎に授業内容を復習すること
実務経験のある教員	該当する　内容　行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し，その事について調べたことについて自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う２）複数回に分けた小テストを行い，達成度を確認し，振り返り授業を行う。3）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4）社会情勢やその動向に興味を持つことで，健康課題に応じた法整備や看護職の役割に関心を持つ。5）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと　そのための時間は約1時間を要す
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日4時限目に実施

授業計画		担当者
第１回	１．健康増進法・健康日本21(第2次)	田中富子
第２回	２．健康増進対策生活習慣病	田中富子
第３回	３．健康増進法・ヘルスプロモーション	田中富子
第４回	４．感染症法の概要	田中富子
第５回	５．感染症法　結核対策	田中富子
第６回	６．新たな健康課題と政策	田中富子
第７回	７．医療保障制度と医療法	田中富子
第８回	８．医療計画	田中富子
第９回	９．医療の動向	田中富子
第１０回	１０．難病対策・被爆者対策	田中富子
第１１回	１１．保健医療福祉の計画・実施	田中富子
第１２回	１２．保健医療福祉の実施・評価	田中富子
第１３回	１３．ＰＤＣＡによる計画作成	田中富子
第１４回	１４．授業前半の振り返り	田中富子
第１５回	１５．授業後半の振り	田中富子
第１６回	16．筆記試験	田中富子

教科書			
教・書籍名１	最新保健学講座７　保健福祉行政論	教・出版社名１	
教・著者名１	メヂカルフレンド社 野村陽子	教・ＩＳＢＮ１	看護法令要覧 日本看護協会出版会 清水嘉世子他
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国民衛生の動向	参・出版社名１	厚生統計協会
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	国民福祉と介護の動向	参・出版社名2	厚生統計協会
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学概論			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-HN-3-103		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・グループワーク
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：公衆衛生看護活動を担う保健師の専門性に基づく役割と機能を学ぶ 到達目標：公衆衛生看護活動の理念や意義と，住民と地域を対象として展開する保健師の援助方法を学ぶことで，保健師の役割を理解できる
授業概要	保健師の専門性である公衆衛生看護学をヘルスプロモーションを基本概念とし，健康づくりを視点とした個人・家族・集団・地域をエンパワメントする地区活動の展開・展開法法・役割について学ぶ。具体的には，行政に所属する保健師が1次予防を中心に行う公衆衛生看護の概要を理解する。 ※ 多領域での公衆衛生看護の実務経験を活用し、具体的事例と授業と連動させた学びとする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	評価方法 最終試験以前の講義への出席２／３以上を最終試験受験の基本条件とする 最終試験90％　課題10％で評価を行う
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	地域看護学概論・保健医療福祉行政論等これまでに学んだ公衆衛生看護学の関連科目を復習し，予習として位置づけるレポート作成を行い，授業に臨むこと また，自分自身や家族の健康に関心を持ち，健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する
実務経験のある教員	該当する　内容　公衆衛生看護活動に長年関わり多領域の保健師活動を展開してきた実績をもとに授業を行う
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に提示した課題について調べ，自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う ２）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。3）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと 予習復習及び演習は計画に添って自己学習で完成させること　そのための時間は2時間程度を擁する.
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日　4次限目に行う

	授業計画	担当者
第１回	１．授業ガイダンス 公衆衛生看護の概念と対象	田中富子
第２回	２．公衆衛生の専門職としての保健師	田中富子

第３回	３．保健師活動の特徴	田中富子
第４回	４．学校保健と地域保健の機能	田中富子
第５回	５．行政における保健師の役割	田中富子
第６回	６．地域づくりの方法論	田中富子
第７回	７．振り返り	田中富子
第８回	８．筆記試験	田中富子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	第2版　これからの保健医療福祉行政論	教・出版社名１	medic media
教・著者名１	日本看護協会出版会 星旦二・麻原きよみ	教・ＩＳＢＮ１	公衆衛生がみえる
教・書籍名２	保健師活動指針　活用ガイド 日本看護協会	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学Ⅰ			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	HS-HN-3-104		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限 金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ 地域で生活するすべての健康レベル、すべてのライフサイクルの人々の健康問題解決のために必要な、公衆衛生看護に関する基礎的知識と支援技術を習得し、「個人・家族・集団・組織」それぞれの特徴を踏まえた支援ができる。 到達目標 ①地域を構成する人々の心身の健康、疾病、障害の予防・発生・回復、改善の過程のアセスメント及び健康課題の明確化について理解できる。 ②「個人、家族」が主体的に問題を解決できるよう地域特性を踏まえた適切な支援技術の選択及び支援方法について理解できる。 ③地域アセスメント（地域診断）に基づき地域の健康課題を明確化する方法について理解できる。 ④地区活動および地域組織の育成・支援に関わる活動の展開方法について理解できる。 ⑤保健医療福祉における施策化と事業の計画・実施・評価の方法について理解できる。 ⑥保健医療福祉における地域ケアシステムの構築について理解できる。 ⑦具体的には、地域で生活するすべての健康レベル、すべてのライフサイクルの人々の健康問題を解決するために、保健指導、健康相談、健康教育、健康診査、家庭訪問、地区組織活動等の場面で用いられる理論、技術や手法について講義とグループワーク演習を実施する。
授業概要	地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題を解決するために、保健指導、健康相談、健康教育、健康診査、家庭訪問、地区組織活動の場面で用いられる理論、技術や手法について講義とグループワーク演習を実施する。 担当教員は、行政における保健師としての30年の実務経験を有し、研究機関における経験は10年目となる。現場経験を活かして具体的な事例をまじえながら学生がイメージをしやすいように授業を行う。 　また、地域における看護（公衆衛生看護）は、地域で暮らす人々の生活を支えるものであり、健康問題と生活がどのように関連をするのか、個人の健康課題は地域の健康課題とどのように関連しているか、健康と社会環境・健康と生活との関連をしっかり考える授業とする。そのためグループワークを取り入れ学生が主体的に授業に参加し自分で考えることがとても重要となる。このことは国家試験対策ともつながる。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	最終試験（50%）、演習（30%）、授業態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	・これまでに学んだ医学、看護、保健、福祉に関する知識の復習をし、最近のニュースに関心をもち、特に医療、行政や保健福祉に関するニュースは、その内容を正確に把握しておく。 ・毎回の授業までには、授業内容の理解を深めることや、討論が可能なように教科書の指定されたページや資料を熟読しておく。 ・授業終了後は、試験と4年次の公衆衛生看護実習Ⅱに備え、ノートや資料をまとめておく。 ・配布資料、提示する参考書等をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること。

実務経験のある教員	該当する	内容	行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。		
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス、公衆衛生看護における機能と技術 対象の理解とアセスメントに基づく支援	高尾茂子　横溝珠実
第２回	ガイダンス、公衆衛生看護における機能と技術 対象の理解とアセスメントに基づく支援	高尾茂子　横溝珠実
第３回	保健行動の理解とアセスメントに基づく支援	高尾茂子　横溝珠実
第４回	保健行動の理解とアセスメントに基づく支援	高尾茂子　横溝珠実
第５回	公衆衛生看護活動における対人支援の基本（保健行動と保健活動２）	高尾茂子　横溝珠実
第６回	公衆衛生看護活動における対人支援の基本（保健行動と保健活動２）	高尾茂子　横溝珠実
第７回	公衆衛生看護活動における各支援の特徴と方法	高尾茂子　横溝珠実
第８回	公衆衛生看護活動における各支援の特徴と方法	高尾茂子　横溝珠実
第９回	地域組織活動（地域組織の育成・支援）	高尾茂子　横溝珠実
第１０回	地域組織活動（地域組織の育成・支援）	高尾茂子　横溝珠実
第１１回	集団への支援（ヘルスプロモーション、エンパワメント）	高尾茂子　横溝珠実
第１２回	集団への支援（ヘルスプロモーション、エンパワメント）	高尾茂子　横溝珠実
第１３回	地域(保健)支援活動の基本	高尾茂子　横溝珠実
第１４回	地域(保健)支援活動の基本	高尾茂子　横溝珠実
第１５回	地域アセスメント	高尾茂子　横溝珠実
第１６回	地域アセスメント	高尾茂子　横溝珠実
第１７回	地区活動	高尾茂子　横溝珠実
第１８回	地区活動	高尾茂子　横溝珠実
第１９回	保健医療福祉における事業化と施策化	高尾茂子　横溝珠実
第２０回	保健医療福祉における事業化と施策化	高尾茂子　横溝珠実
第２１回	健康教育の目的・対象・技術等	高尾茂子　横溝珠実
第２２回	健康教育の目的・対象・技術等	高尾茂子　横溝珠実
第２３回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２４回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２５回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２６回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２７回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２８回	健康教育企画書指導案の作成	高尾茂子　横溝珠実
第２９回	健康教育発表	高尾茂子　横溝珠実
第３０回	健康教育発表	高尾茂子　横溝珠実
第３１回	まとめ　最終試験	高尾茂子　横溝珠実
第３２回	まとめ　最終試験	高尾茂子　横溝珠実

教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座　公衆衛生看護技術	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	中村裕美子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる	参・出版社名１	メディックメディア
参・著者名１	医療情報科学研究所編集	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	保健師　地域のけんこうをつむぐそのはたらきと能力形成	参・出版社名2	ふくろう出版

参・著者名2	高尾茂子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学Ⅱ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-105		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限 火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	各領域別の対象における公衆衛生看護活動の基盤となる制度と理論、技術や手法の理解。 到達目標：学生が公衆衛生看護活動の基盤となる法的根拠や制度と活動を展開するための理論を理解し、それぞれの対象の健康問題を解決するために、公衆衛生看護の基礎的技術や手法を習得し、個人や集団の特性に応じた支援の理解ができる。
授業概要	地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題の解決のため、法的根拠や制度と理論の理解を深め、健康課題に応じた公衆衛生看護支援の特性・技術・手法を習得するために講義とグループワーク演習を実施する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	評価方法 認定試験（100%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	全授業過程の区切りで理解度を国家試験問題等により確認しフィードバックを行う
履修条件・注意事項	1)これまでに学んだ医療、看護、保健、福祉の知識の復習をし、最近のニュースに関心を持ち、特に医療行政　や保健福祉に関するニュースはその内容を正確に把握しておく。 2)授業前後の予習復習を行い国試問題や実習地域の健康問題と関連づけた履修とする。 また，自分自身や家族の健康に関心を持ち，健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題や小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：市及び県の行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1.　発達段階と保健サービス	田中富子
第２回	2.　発達段階と保健サービス２	田中富子
第３回	3.　母子保健の理念・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子
第４回	4.　母子保健施策・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子

第５回	5. 母子保健施策・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子
第６回	6. 母子保健施策・発達過程前期の健康問題と保健活動	田中富子
第７回	7. 母子保健施策・発達過程後期の健康問題と保健活動	田中富子
第８回	8. 母子保健施策・発達過程後期の健康問題と保健活動	田中富子
第９回	9. 成人保健の理念・成人期前期の健康問題と保健活動	田中富子
第１０回	10. 成人保健の理念・成人期後期の健康問題と保健活動	田中富子
第１１回	11. 高齢者保健の理念・高齢者の健康問題と保健活動	田中富子
第１２回	12. 要介護状態の高齢者保健施策・健康問題と保健活動	田中富子
第１３回	13. ハイリスク母子への保健活動	田中富子
第１４回	14. ハイリスク母子への保健活動	田中富子
第１５回	15. ハイリスク親子保健活動への保健活動各論	田中富子
第１６回	１６：障害者・精神保健福祉の基本理念	田中富子
第１７回	１７：障害者・精神保健福祉の基本施策	田中富子
第１８回	１８：精神保健に関する健康問題と保健活動	田中富子
第１９回	19：精神障害者に関する施策	田中富子
第２０回	20：精神障害者に関する施策・サービス	田中富子
第２１回	21：精神障害者に関する施策の歴史	田中富子
第２２回	22：統合失調症に関する保健活動	田中富子
第２３回	23：精神障害に関する保健活動（依存症）	田中富子
第２４回	23：精神障害に関する地域の社会資源	田中富子
第２５回	２５：難病に関する施策	田中富子
第２６回	26：難病対策の歴史と保健対策の特徴	田中富子
第２７回	30：地域包括ケアシステム（精神障害者）	田中富子
第２８回	30：地域包括ケアシステム（精神障害者）	田中富子
第２９回	30：地域包括ケアシステム（高齢者）	田中富子
第３０回	30：地域包括ケアシステム（高齢者）	田中富子
第３１回	31：全体の振り返り	田中富子
第３２回	３２：最終試験	田中富子

教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座　対象別公衆衛生看護活動	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	中谷芳美	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	公衆衛生がみえる	教・出版社名2	メディックメディア
教・著者名2	編集　荒賀直子他	教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	

参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護管理論			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-106		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限 木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：行政保健師に求められる公衆衛生看護管理-地域の健康課題のアセスメントを行い，その対策としての事業企画の立案の実際を学ぶ 到達目標：行政に所属する保健師の役割を認識し，公衆衛生看護管理のうち地域を管理する機能を中心に理解，実施できる．　　保健師国家試験問題に対応できる
授業概要	保健師には，地域に顕在する健康問題だけでなく，潜在化している健康問題やニーズをアセスメントとし，優先順位を明確にしたうえでの，保健行政への施策化が求められる。具体的には，公衆衛生看護技術である地域診断を駆使し，地域住民と協働して健康課題を解決する機能が希求されている。また，公衆衛生看護の専門性に立脚し，医療・福祉等様々な関係者と連携・協働が可能な行政手腕が必要とされている。これらから，地域ケアシステムの構築・施策の企画立案ができるよう学習する。 １．住民の健康や障害を生活モデルで捉え，社会環境との関連から健康問題をアセスメントする力を養う ２．個だけでなく地域をエンパワメントする支援を学ぶ ３．地域の社会資源を評価・調整・開発する視点を養う ４．健康政策の実現に向けた保健計画の策定・実施・評価の過程を理解する この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践や公衆衛生看護管理 に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	講義・演習への出席が2／3以上であることを最終試験受験条件とする 最終試験を70%，演習態度・発表内容･レポート30%として総合評価とする。 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については講義内で全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	保健医療福祉における最新ニュースや話題になっているに健康課題に関心を持ち，政策・施策の現状を理解するために新聞を読む・様々な人と意見交換をする習慣を身につけること 指定した教科書･参考書・配付資料・ノートは必ず持参すること 予習復習を行い，授業内容や社会背景を押さえ課題レポートを作成し，期限厳守で提出すること
実務経験のある教員	該当する　　内容　都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に提示した課題について調べ，自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う2）地域診断演習のまとめを提出し，指導・修正・再指導を行うことで精度を高める3）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと　5）作成した地域診断演習のまとめは実習で活用し，実習指導者からの指導を得るために地域の実情に応じた内容とする　予習復習及び演習は計画に添って自己学習で完成させること　そのための時間は2時間程度を要する
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日　4次限目に行う

授業計画		担当者
第１回	講義：地域看護と対象理解	横溝・高尾
第２回	講義：公衆衛生看護管理の目的と特徴	横溝・高尾
第３回	講義・ディスカッション：公衆衛生看護管理の構造と機能	横溝・高尾
第４回	講義・ディスカッション：専門的自立と人材育成	横溝・高尾
第５回	講義：健康危機管理	横溝・高尾
第６回	講義・GW:地域診断過程と関連理論	横溝・高尾
第７回	講義：地域診断の実際	横溝・高尾
第８回	講義：保健計画・評価	横溝・高尾
第９回	講義・GW:地域診断演習①地域を知る	横溝・高尾
第１０回	講義・GW:地域診断演習②健康課題把握	横溝・高尾
第１１回	講義・GW:地域診断演習③健康課題への対策	横溝・高尾
第１２回	演習・GW:地域診断演習④実習地域の課題把握	横溝・高尾
第１３回	演習・GW:地域診断演習⑤実習地域のアセスメント	横溝・高尾
第１４回	演習・GW:地域の健康課題に対する保健計画立案	横溝・高尾
第１５回	プレゼンテーション：地域診断の発表	横溝・高尾
第１６回	プレゼンテーション：地域診断演習の発表、最終試験	横溝・高尾
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	最新　保健学講座5　公衆衛生看護管理論	教・出版社名１	メヂカルフレンド社
教・著者名１	平野かよ子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	地域看護診断第2版	教・出版社名2	東京大学出版会
教・著者名2	金川克子・田高悦子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる	参・出版社名１	medic media
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	地域看護アセスメントガイド第2版	参・出版社名2	医歯薬出版
参・著者名2	佐伯和子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業衛生学			担当者	中瀬　克己、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-107		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：労働の場における健康保持増進活動、産業衛生の基本の理解がテーマである。事業所において，労働衛生管理の中心となる「衛生管理者」は国家資格であるが，保健師の資格があれば，資格試験免除で，上位資格である「第1種衛生管理者免許」が与えられる。 到達目標：この科目で学生は、保健師とともに衛生管理者に求められる労働衛生管理の基本的能力を習得することを目標とする。
授業概要	1年次の公衆衛生学，2年次の疫学・保健統計等を基盤とする。職業性疾患については，臨床医学の知識も必要となるなど，幅広い知識が要求されるが、本科目では実践的な内容を学ぶ。産業保健師として工場等に勤務しなくても，保健師の資格があれば，勤務先の病院等で衛生管理者に選任される可能性もある。産業保健の系統的な考え方やその取り組みは、適応される対象も多く看護師として勤務する場合にも有用である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	学期末の筆記試験（70%）と，実習を含めた取り組み姿勢およびレポート（30%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の保健師国家試験問題等の小テストを行い、グループワークを含めたフィードバックを随時行い実際的な理解を促す。
履修条件・注意事項	産業保健現場での実習は朝から１日間かけて行う。協力先の可能な日に行うが、受講者の他の講義日程となるべく重ならないよう調整する予定である。 保健師課程の必修科目であるが，看護師課程や教職課程でも参考になる。 プリントを配布し、小テストも行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、産業医として実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をするとともに実際の産業現場の実習も行い、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	教科書は図説で分かりやすいが詳細であり、講義やプリントによる概要や要点の把握の上で用いることを推奨する。また、将来産業保健師や衛生管理者となった際に考えの整理に有用である。参考書である「労働衛生のしおり」は毎年更新され、最新の施策や統計を知ることができる、公式資料である。実習前には、課題を示すので実習当日までにしっかりと準備し効果的な実習となるよう自習が必要である。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜日２限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 産業保健と産業看護、関係法令　講義	中瀬
第２回	産業保健と産業看護、関係法令　演習	中瀬
第３回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　講義	中瀬
第４回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　演習	中瀬
第５回	作業環境管理1　その基本　講義	中瀬
第６回	作業環境管理1　その基本　演習	中瀬
第７回	作業管理1　その基本　講義	中瀬
第８回	作業管理1　その基本　演習	中瀬
第９回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　講義	中瀬

第１０回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　演習	中瀬
第１１回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　講義	中瀬
第１２回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　演習	中瀬
第１３回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　講義	中瀬
第１４回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　演習	中瀬
第１５回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　講義	中瀬
第１６回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　演習	中瀬
第１７回	職業性健康障害各論物理的要因　講義	中瀬
第１８回	職業性健康障害各論物理的要因　演習	中瀬
第１９回	地域保健と産業保健の連携　講義	中瀬
第２０回	地域保健と産業保健の連携　演習	中瀬
第２１回	職業性健康障害各論　その他　講義	中瀬
第２２回	職業性健康障害各論　その他　演習	中瀬
第２３回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２４回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２５回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２６回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２７回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２８回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２９回	産業現場での総合的健康対策 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３０回	産業現場での総合的健康対策　実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３１回	筆記試験	中瀬
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	職場の健康がみえる（現行では2019年発行版であるが、新版が出ればそちらとする）	教・出版社名１	メディックメディア
教・著者名１	医療情報科学研究所（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89632-782-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	労働衛生のしおり　令和4年度　最新版とする	参・出版社名１	中央労働災害防止協会編
参・著者名１	中央労働災害防止協会編	参・ＩＳＢＮ１	例年新年度版は８月頃発売される
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学実習Ⅰ			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	HS-HN-4-108		
必修・選択	選択	単位数	4単位	時間数	180	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	地域における健康課題の顕在化と，その健康課題解決を目指す公衆衛生看護活動の一連の展開過程を地域フィールドで実践的に学ぶ 　地域における人々の暮らし・健康問題を理解し，看護専門職が公衆衛生看護活動を計画・実施・評価・組織化するための知識と基礎的な技術の習得 １．保健所・市町村における公衆衛生看護活動の現状について理解する ２．公衆衛生看護活動の実際について学ぶ ３．地域の健康課題をテーマとし地域や対象者の特性を踏まえた健康教育を体験する 　地域ケアシステムの構築とネットワーク化の実際について学ぶ ４．地区組織活動の実態を把握し，地域住民の主体的参加を促す方法を学ぶ ５．自己研鑽や研究の重要性を理解し，研究的態度を養う ☒
授業概要	教科で学んだ理論を，地域において公衆衛生看護活動としての実践的活動を通し，個人／家族と集団／地域に主体的・創造的に働きかける学習である １．岡山県内の保健所・市町村を実習施設とし，公衆衛生看護活動の現状を理解することで，保健師が果たす役割・機能・援助技術について学ぶ ２．地域で生活する様々な健康レベルやライフステージにおける対象へが抱える健康問題を理解し，援助技術を駆使した支援を学ぶ ３．各種事業に参加し，健康教育や住民との交流等により、地域を志向した課題解決方法を学ぶ この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ実習指導を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習指導者の評価・実習記録・カンファレンス内容を総合的に評価する 具体的には １．実習指導者の総合評価　50% 　実習内容の理解度・態度・実習記録等評価評による評価点 ２．指導担当教員の総合評価　50% 　巡回指導時の理解度・態度・実習記録・課題レポートを総合的に評価する
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	日々の記録や家庭訪問記録、各種事業の整理など実習期間中に使用する実習記録等については、実習施設指導者と教員が内容を確認し、指導を行う。また実習前に各実習先の地区診断を行い、実習期間を通じて追記や修正を重ねるよう継続して指導を行う。
履修条件・注意事項	公衆衛生看護学関係授業科目　17科目24単位の修得が可能なこと 注意事項：住民を対象とする行政や現場であることを念頭に，謙虚且つ学習者としての意欲・目的意識をち，積極的に行動すること ① 学生間での情報の共有・個人情報への倫理的配慮を徹底すること ②事前予習をして実習に臨み，実習内容の復習をした上で記録の作成を行う。 ③国家試験対策として，理論を実践に結びつける意識を常に持って臨むこと

実務経験のある教員	該当する	内容	都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	1)実習地である保健所及び市町村の社会環境や健康問題を地域診断で明らかにし理解して臨む 2）実習前に行う事前オリ（学内・現地）のすべてに参加する 3）実習前に実習指導者と打合せを行い実習計画および健康教育企画書・指導案を作成しする 4)実習計画の事業内容の事前学習を行うこと 5）自己の実習目的に応じた実習目標を定め，その内容に応じた実習計画を作成する 6）公衆衛生看護技術の家庭訪問・健康教育・乳幼児健康診査等は1回以上体験すること		
オフィスアワー	個人研究室で火曜日4次限に行う ☒		

授業計画		担当者
第１回	第1週：行政組織や地域組織の機能や役割を事業参加や地区踏査を通じて整理する	横溝珠実、高尾茂子
第２回	第2週：実習管内の地域が抱える問題を整理し保健師の活動について理解を深める。	横溝珠実、高尾茂子
第３回	第3週：実習管内の地域が抱える問題を整理し保健師の活動について理解を深める。	横溝珠実、高尾茂子
第４回	第4週：地域が抱える問題を整理し地区診断を行う	横溝珠実、高尾茂子
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない（配布資料・関係科目の教科書全般）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	

参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-109		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	45	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	地域における健康課題の顕在化とその課題の解決を目指す一連の公衆衛生看護活動の展開過程を実践的に学ぶ 到達目標：地域住民の生活から健康問題を把握し，公衆衛生看護活動を計画・実施・評価・組織化・施策化するための知識と基本的な技術を習得する
授業概要	公衆衛生看護学実習の一連で行う，保健所オリエンテーション・学内の実習前後演習・介護予防事業を含む。理論を地域住民の生活の場で体験する実習への準備と統合学習する。 １．保健所業務の全般を理解する ２．高齢者対策における1～2次予防事業と保健師の役割を理解する ３．地域の高齢者対策への健康づくりボランティア（地区組織）の関係と活動を理解する ４．市町村における公衆衛生活動と関係機関との連携・調整を理解する ５．公衆衛生上のさまざまな場における保健師の役割を理解する この科目は，行政機関で高齢者の介護予防や高齢者を対象とした公衆衛生看護実践活動に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ実習指導を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	演習におけるレポート・演習態度・発表内容・健康教育企画・健康教育を総合的に評価する 具体的には，１．実習担当教員の総合評価を100％とし ①実習指導者の評価を勘案した評価を行う ②実習後のまとめ・健康教育内容を中心とした評価とする
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習中の健康教育企画、媒体作成、発表などに向けた実習前からの準備と、実習中の地域や現場の実情に応じた望ましい方策を再検討しながら企画を洗練させていく。デモンストレーションを複数回行い、実習施設指導者と教員で改善点等について指導を行う。
履修条件・注意事項	地域看護学実習関係科目　17科目24単位の修得ができていること 注意事項：住民の人権を尊重し学習者として謙虚で，且つ目的意識を持って学習に臨むこと 実習関係資料・教科書を復習し充分な準備と生活習慣を見直し臨むこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	1)実習地の高齢者対策や介護予防事業を理解して臨む 2）実習前に行う事前演習のすべてに参加する 3）実習前に実習内容の事前学習を行うこと 4）自己の実習目的に応じた実習目標を定め，その内容に応じた内容を体験する 5）公衆衛生看護技術の健康教育･健康相談・健康診査等の知識や演習内容と関連づけること 6）公衆衛生看護学実習Ⅱと関連づけること
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日4時限目に実施

	授業計画	担当者
第１回	地域における様々な対象が抱える課題解決のための保健活動の計画策定を行う	横溝珠実、高尾茂子
第２回	健康教育等の手法を用いて課題解決に向けた取り組みを実施評価する	横溝珠実、高尾茂子

第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座２　公衆衛生看護技術	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	内容毎に資料を配付	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	養護学概論			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	TC-NU-3-901		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も
到達目標	養護教諭の職務と保健室の機能、役割を理解し、児童生徒の健康課題の解決方法と技術について学習する。 (1) 「養護」の意味について考えることができる (2) 養護教諭の実践の実際が理解できる (3) 健康問題の解決の方法が理解できる (4) 保健教育の目的・進め方が理解できる
授業概要	「養護」の意味について考え、学校教育における養護教諭の職務と役割を理解する。養護教諭としての基礎的知識と技術を学び、その基礎となる価値観を醸成する。演習やグループ学習をとおして実践への展開を考える。さらに地域社会における学校保健の役割と養護教諭の職務および期待されている役割、及び子どもの健康課題とその支援方法について考える。 この科目は、養護教諭として実務経験を持つ教員がその経験を生かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	養護教諭一種免許状取得を目的とする科目であるため、学校保健学等を履修した教職課程資格登録者を対象とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。また、教員採用試験対策と併せて自己学習を進めるとともに、養護教諭の職務や社会的役割について書籍や専門誌等で日ごろから興味関心をもって学んでおくこと。
オフィスアワー	講義終了後

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス 養護とは	赤澤
第２回	養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷	赤澤
第３回	学校教育及び学校保健に果たす養護教諭の役割	赤澤
第４回	養護教諭に必要な資質能力と基礎知識	赤澤
第５回	保健室の経営	赤澤
第６回	健康実態の把握と課題（保健調査・健康観察）	赤澤
第７回	学校における救急処置①	赤澤
第８回	学校における感染症対策	赤澤
第９回	学校における救急処置②	赤澤
第１０回	学校における健康診断①	赤澤
第１１回	学校における健康診断②	赤澤
第１２回	学校環境衛生活動の実際	赤澤
第１３回	保健指導	赤澤
第１４回	特別支援教育・保健組織活動	赤澤

第１５回	まとめ		赤澤
第１６回	試験		赤澤
教科書			
教・書籍名１	新訂版学校保健実務必携	教・出版社名１	
教・著者名１	学校保健・安全研修会編著	教・ＩＳＢＮ１	新訂養護概説
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	学校保健学			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	TC-NU-2-902		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学校保健の概略を理解するとともに、学校保健を実践する上で必要となる各論的知識を学習する。 (1) 法的根拠に基づいた学校保健活動が理解できる (2) 学校保健における養護教諭の役割が理解できる (3) 児童生徒の健康問題及び健康課題を理解することができる
授業概要	学校保健は学校において児童生徒の健康の保持増進するための活動として、保健教育と保健管理、及び組織活動について学修する。学校保健安全法等に定められる学校保健の概略と養護教諭の役割、及び児童生徒の健康課題と心身の健康の保持増進について保健教育の視点から理解を深める。 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校保健活動及び地域保健活動において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験(80%)、課題・演習(20%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	公衆衛生学Ⅱを修得していること。 養護教諭免許（1種及び2種）と保健師国家試験受験資格の取得を目的とする必修科目である。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	学校保健学を通して、公衆衛生看護学の中の保健師と養護教諭の職種の違いや、連携のあり方について学び、理解を深めることを期待する。
オフィスアワー	講義終了後

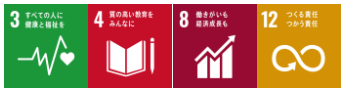
	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	赤澤
第２回	学校保健の実際（養護実習）	赤澤
第３回	学校保健の対象	赤澤
第４回	学校事故の実際	赤澤
第５回	保健管理①　感染症	赤澤
第６回	保健管理②　健康診断	赤澤
第７回	保健管理③　学校環境衛生	赤澤
第８回	保健教育①	赤澤
第９回	学校経営における学校保健	赤澤
第１０回	保健教育②　指導案	赤澤
第１１回	保健教育③　指導案作成	赤澤
第１２回	保健教育④　発表	赤澤
第１３回	養護教諭と保健室	赤澤
第１４回	保健組織活動	赤澤
第１５回	特別支援を要する子どもと学校保健	赤澤
第１６回	筆記試験	赤澤

教科書

教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	健康相談活動論			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	TC-NU-4-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	養護教諭の職務の一つである健康相談活動の理論と実践について講義と演習を行い、学校における健康相談活動の理念と実践を学ぶ。 (1) 養護教諭が行う健康相談活動の意義と法的根拠を理解する (2) 健康相談活動について、基本的知識・技術・態度を理解する (3) 養護教諭の職務と専門性、及び保健室の機能との関連づけができる (4) 看護学を基盤とした身体的心理的社会的なアセスメントができる
授業概要	健康相談活動の概念と他職種の相談活動との違いを理解し、法的根拠に基づいた相談活動の実際と、基本的知識・技術・態度について学ぶ。 演習では対象となる児童生徒の発達段階と健康課題に応じて、養護教諭の専門性と保健室の特性を活かした健康相談活動の基本的対応スキルを身につける。また学校場面での健康相談活動の基本プロセスとアセスメントの方法について理解を深める。 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	養護教諭免許の取得を目的とする。授業態度（演習やグループワークへの参加・出席状況を含む）や課題レポートの提出及び内容の充実を厳しく評価する。予習復習及び課題への自己学習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。また、教員採用試験対策と併せて自己学習を進めるとともに、養護教諭の職務や社会的役割について書籍や専門誌等で日ごろから興味関心をもって学んでおくこと。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	健康相談活動とは	赤澤
第２回	社会の変化と子どもの健康問題の変遷、子どものヘルスニーズ	赤澤
第３回	発達段階別の心身の健康問題	赤澤
第４回	健康相談活動のプロセスと対応	赤澤
第５回	心身に関する知識とヘルスアセスメントの活用	赤澤
第６回	支援体制づくりと校内外の連携	赤澤
第７回	演習：①体調不良	赤澤
第８回	演習：②アレルギー	赤澤
第９回	演習：③保健室登校	赤澤
第１０回	演習：④精神疾患⑤自傷行為	赤澤
第１１回	演習：⑥いじめ　⑦虐待	赤澤

第１２回	演習：⑧多様な性		赤澤
第１３回	健康相談活動の実際（健康相談）		赤澤
第１４回	健康相談活動の記録と評価、事例検討		赤澤
第１５回	まとめ		赤澤
第１６回	試験		まとめ
教科書			
教・書籍名１	新訂養護概説	教・出版社名１	ぎょうせい
教・著者名１	三木 とみ子 (編集), 大沼 久美子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護教育法Ⅰ			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	TC-NU-3-904		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	１．看護教育制度及び高等学校看護科教育の目標、教育課程について理解し、看護教育の方法と学習指導理論について説明できる。 ２．学習指導要領の内容を理解し学習においての指導上の留意点、生徒の実態や学力に応じた学習指導案の作成ができる。 ３．高等学校看護科教員として資質の能力形成を目指す為に、教科指導に必要な知識と技術を習得し、より教育効果が上がる授業方法について研究する。 ４．看護教育の授業を評価する方法について理解し、模擬授業を実践し客観的に評価し改善ができる。
授業概要	看護教育制度及び学習指導要領を基に、高等学校看護科における教科目標および科目編成、看護科の各科目の目標と内容及びその取扱いについて解説する。また、高等学校看護科の生徒の発達段階に応じた学習指導ができるよう、学習指導理論を踏まえた指導観、教材観を育み授業の展開ができる能力を養うことを意図する。また、看護教育に携わる者としての態度及び実践的・研究能力を養い学習指導への位置づけについて考察できることを目指す。この科目は、高校教員として実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディベート／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	授業態度（20%）、課題レポート（20%）、試験（60%）とし、総合的に評価する。授業の３分の２以上の出席を基礎条件とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	４年次の教育実習を履修する学生は必修となる科目である。 看護教育法Ⅰの単位を取得しないと教育実習の履修は出来ない。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。
オフィスアワー	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。

	授業計画	担当者
第１回	看護教育の歴史	赤澤
第２回	学習指導要領の解説（高等学校看護科教育の目標及び教育課程）	赤澤
第３回	看護教育の方法と学習指導理論	赤澤
第４回	学習指導案について（看護教育における授業と学習形態）	赤澤
第５回	教材研究及び教材開発について（情報機器及び教材の効果的な活用）	赤澤
第６回	授業の評価方法について	赤澤
第７回	看護教育の授業設計（１）講義法の構成(教材研究)、情報機器の活用、留意点など	赤澤
第８回	看護教育の授業設計（２）前回の講義で学習した内容を基に指導案を作成する。	赤澤
第９回	看護教育の授業設計（３）作成した指導案を基に指導案及び教材の作成をする。	赤澤
第１０回	模擬授業（１）（人体と看護）	赤澤
第１１回	模擬授業（２）（基礎看護）	赤澤
第１２回	模擬授業（３）（生活と看護）	赤澤
第１３回	模擬授業（４）（疾病と看護）	赤澤

第１４回	模擬授業の振り返り	赤澤	
第１５回	まとめ	赤澤	
第１６回	試験	赤澤	
教科書			
教・書籍名１	高等学校学習指導要領解説　看護編	教・出版社名１	東京法令出版
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護教育法Ⅱ			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-905		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限 火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	１．高等学校看護科の教育目標および教育課程を踏まえた効果的な授業展開と評価についての演習を実施することが出来る。 ２．看護教育における「実習」の学習形態の特徴について説明できる。 ３．講義と実習の一体的な指導に係る授業の設計方法及び評価について説明できる。 ４．臨地実習における指導計画・指導方法について説明できる。 ５．実習校と連絡をとり、実習校で行う科目・単元について学習指導案を作成し、模擬授業を実践し、客観的に評価し授業設計を改善することが出来る。 ６．看護教育の授業研究の必要性について説明できる。
授業概要	教育実習の事前指導をテーマとし、効果的な授業展開、校内実習を伴う授業や臨地実習の指導方法について解説する。看護教員にとって授業設計に基づく授業実践は重要であり、看護教育法Ⅱでは看護教育法Ⅰで学習したことを踏まえて、看護実践に必要な知識と技術の習得に向けた講義と実習の一体的な指導に関わる授業設計ができる能力を養うことを意図する。また、看護教育に携わる者としての態度及び実践的・研究能力を養い学習指導への位置づけについて考察できることを目指す。 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	学習指導案の作成（40%）、教材研究および模擬授業の発表内容（40%）、授業態度（20%）とし、総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	１．看護教育法Ⅰ・教育実習の研究の単位取得ができていること ２．教育実習の準備が整っていること
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、看護科教育の法的根拠の基礎的理解や基礎看護の基礎的技術は各自身に付けておくようにすること。
オフィスアワー	講義終了後

授業計画		担当者
第１回	高等学校看護科教育の目標及び教育課程	赤澤
第２回	校内における実習の授業設計(情報機器の活用)（１）授業設計およびグループワーク	赤澤
第３回	校内における実習の授業設計(情報機器の活用)（２）模擬授業	赤澤
第４回	実習校の紹介と実習目標のプレゼンテーション	赤澤
第５回	臨地実習における指導方法	赤澤
第６回	模擬授業の実施と評価（１）基礎看護・教材研究及び指導案の作成	赤澤
第７回	模擬授業の実施と評価（２）基礎看護・校内での実習を行う授業展開（血圧測定について）	赤澤
第８回	模擬授業の実施と評価（３）基礎看護・校内での実習を行う授業展開（排泄の援助について）	赤澤
第９回	模擬授業の実施と評価（４）人体と看護・教材研究	赤澤
第１０回	模擬授業の実施と評価（５）人体と看護・模擬授業	赤澤
第１１回	模擬授業の実施と評価（６）生活と看護・教材研究及び指導案の作成	赤澤

第１２回	模擬授業の実施と評価（７）生活と看護・模擬授業		赤澤
第１３回	模擬授業の実施と評価（８）疾病と看護・模擬授業		赤澤
第１４回	模擬授業の評価		赤澤
第１５回	模擬授業の評価		赤澤
第１６回	試験		赤澤
教科書			
教・書籍名１	高等学校学習指導要領解説　看護編	教・出版社名１	東京法令出版
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育原論 （看護）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	TC-NU-1-906		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる ２．代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する ３．近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する ４．家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する ５．上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の意見を持つ
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画		担当者
第１回	教育の基礎概念	倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同 体による教育	倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想	倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想	倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育	倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育	倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育	倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立	倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開	倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相	倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育	倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育	倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育	倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育	倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教育原論 （看護）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	TC-NU-1-906		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける 【到達目標】 １．学生は教育の基本概念を理解し、適切に用いることができる ２．学生は代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解し、説明できる ３．学生は近代公教育（学校）をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解し、説明できる ４．学生は家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解し、説明できる ５．学生は上記の学習を通じて教育の本質について考察し、今後の教育制度（学校など）の役割について自身の考えを表現できる
授業概要	本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかに変容し、それに伴い家庭教育、地域社会（共同体）の教育、学校教育がいかに変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。 本講義は大きく６つの段階に分けて展開する。１・２回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的（非組織的）な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	各回の講義の振り返りを行う学習記録（15%）、レポート（15%）、定期試験（70%）で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	学習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回講義の予習と復習を行っていただく（学習記録用紙）。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。
オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）

授業計画		担当者
第１回	教育の基礎概念	倉知典弘
第２回	教育の源形態－家庭・共同体による教育	倉知典弘
第３回	古代の教育思想（1）西洋の教育思想	倉知典弘
第４回	第４回：古代の教育思想（2）日本の教育思想	倉知典弘
第５回	中世の教育思想（1）宗教と教育	倉知典弘
第６回	第６回：中世の教育思想（2）ルネサンスと教育	倉知典弘
第７回	近代の教育思想（1）産業革命と教育	倉知典弘
第８回	近代の教育思想（2）近代教育制度の成立	倉知典弘
第９回	近代の教育思想（3）教育学の成立と展開	倉知典弘
第１０回	現代の教育思想（1）新教育運動の諸相	倉知典弘
第１１回	現代の教育思想（2）戦争と教育	倉知典弘
第１２回	現代の教育思想（3）東西冷戦下の教育	倉知典弘
第１３回	現代社会と教育（1）現代社会の課題と教育	倉知典弘
第１４回	現代社会と教育（2）子どもの生活世界の変容と教育	倉知典弘
第１５回	第15回：現代社会と教育（3）－まとめにかえて	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	『教育思想史』（有斐閣アルマ）	教・出版社名１	有斐閣
教・著者名１	今井康雄編	教・ＩＳＢＮ１	978-4641123847
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育の歴史と思想	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	石村華代・軽部勝一郎編	参・ＩＳＢＮ１	978-4623065844
参・書籍名２	新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷	参・出版社名2	東北大学出版会
参・著者名2	水原克敏	参・ＩＳＢＮ2	978-4861633171

授業科目名	教職論 （看護）			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	TC-NU-1-907		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上

第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上
第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職論 （看護）			担当者	池上　真由美		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年			ナンバリング	TC-NU-1-907		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	教職についての基礎的な知識（教職の歴史と社会的使命，教員の職務，教員養成と研修，服務規程，「チームとしての学校」の一員としての役割等）について理解するとともに，教員としての自らの適性について考えることを目標とする。
授業概要	教師，教職，人を教え育てるという行為など，教育という営みをめぐる哲学的，原理的な課題からはじまり，学校教育，教員の使命と役割，学校における教員のさまざまな活動について理解する。また，これからの学校においては，「チームとしての学校」の体制の中で，一人の教員として自らの専門性を発揮し組織の一員として課題解決に当たる資質・能力が求められることを理解する。さらに，グループ討議等を通して，教員をめざすにあたり，自分には求められる資質・能力があるか，自分は教職に向いているかを真剣に考える場をもつようにする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は、ルーブリックを添付して授業でフィードバックする。コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２限

	授業計画	担当者
第１回	教師の歴史と教師論	池上
第２回	求められる教員の資質の変遷	池上
第３回	教育的諸問題と教職の課題	池上
第４回	教員の仕事と役割①（種類と職階，関係づくり）	池上
第５回	教員の仕事と役割②（教科指導）	池上

第６回	教員の仕事と役割③（教科外指導）	池上
第７回	教員の仕事と役割④（進路指導）	池上
第８回	教員の仕事と役割⑤（学級経営・学校経営・校務分掌）	池上
第９回	教員の仕事と役割⑥（教育相談）	池上
第１０回	教員の仕事と役割⑦（学級崩壊）	池上
第１１回	教員の研修	池上
第１２回	服務規程	池上
第１３回	小中学校の教員	池上
第１４回	高等学校・特別支援学校の教員	池上
第１５回	教員養成と教職課程	池上
第１６回	筆記試験	池上

教科書			
教・書籍名１	教職論　教師を志すすべての人へ　第2版	教・出版社名１	
教・著者名１	教職問題研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05305-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育行政学 （看護）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	TC-NU-2-908		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。 到達目標 １．学生は教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解し、説明できる ２．学生は学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解し、説明できる ３．学生は学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解し、説明できる ４．学生は子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解し、対応の仕方を考察できる ５．学生は現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解し、説明できる ６．学生は子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できる
授業概要	本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする（第１回）。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく（第２回～第７回）。 以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい（第８回～第14回）。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる（第15回）。 本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に着けてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	学習記録の提出（15%）及びレポート課題（15%）及び定期試験（70%）で評価する。評価に関わる詳細は初回講義の際に示す。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として1）講義に取り上げる予定の法令調べ　2）講義にかかわる事項の調べ　3）テーマに関わる論述課題を課す（2時間程度）。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1）講義のキーワードのまとめ　2）論述課題　3）講義の振り返りを課す（2時間程度）

オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）にて		
授業計画			担当者
第１回	公教育の基本原理と教育行政：教育の公共性について		倉知典弘
第２回	教育の法制の概要：教育の法律主義について		倉知典弘
第３回	教育行政の機構：教育行政のガバナンス		倉知典弘
第４回	教育の中立性確保：宗教的中立と政治的中立		倉知典弘
第５回	教育の義務制と機会均等：教育福祉の観点から		倉知典弘
第６回	教育機関の設置・管理：学校と社会教育・生涯学習		倉知典弘
第７回	教育職員に関わる法制：養成・採用・服務を中心に		倉知典弘
第８回	学校の組織体制：チームとしての学校を中心に		倉知典弘
第９回	学校経営計画と評価：PDCAサイクル		倉知典弘
第１０回	学校における教育活動：教育課程		倉知典弘
第１１回	学校における生徒指導：「問題行動」とその制度的対応		倉知典弘
第１２回	学校経営の諸課題(1)地域社会との連携		倉知典弘
第１３回	学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健		倉知典弘
第１４回	学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応		倉知典弘
第１５回	現代教育改革と教育行政・学校経営		倉知典弘
第１６回	筆記試験		倉知典弘
教科書			
教・書籍名１	教育行政学　第３版 子ども・若者の未来を拓く	教・出版社名１	八千代出版
教・著者名１	横井敏郎編	教・ＩＳＢＮ１	9784842917849
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教育小六法	参・出版社名１	学陽書房
参・著者名１	市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆	参・ＩＳＢＮ１	978-4313011953
参・書籍名２	中学校学習指導要領（最新版）　高等学校学習指導要領（最新版）	参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育行政学 （看護）			担当者	倉知　典弘		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	TC-NU-2-908		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。 到達目標 １．教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解し、説明できる ２．学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解し、説明できる ３．学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解し、説明できる ４．子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解し、対応の仕方を考察できる ５．現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解し、説明できる ６．子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる
授業概要	本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする（第１回）。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく（第２回～第７回）。 以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい（第８回～第14回）。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる（第15回）。 本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に着けてもらいたい。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	学習記録の提出（15%）及びレポート課題（15%）及び定期試験（70%）で評価する。評価に関わる詳細は初回講義の際に示す。
ルーブリック評価	本講義は規定ルーブリックは用いない。
課題や試験のフィードバック方法	習記録は各回担当者のコメントを付して返却される。レポート及び筆記試験については、再試験日程発表の際に総括的にフィードバックを行う。その後、ユニバーサルパスポートなどで個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。また、教職課程を履修しないものの履修も可能であるが、その場合でも教職課程を取っているものと同等の態度などで臨むこと
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として1）講義に取り上げる予定の法令調べ　2）講義にかかわる事項の調べ　3）テーマに関わる論述課題を課す（2時間程度）。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1）講義のキーワードのまとめ　2）論述課題　3）講義の振り返りを課す（2時間程度）

オフィスアワー	水曜日4限　研究室（9301）にて

授業計画		担当者
第１回	公教育の基本原理と教育行政：教育の公共性について	倉知典弘
第２回	教育の法制の概要：教育の法律主義について	倉知典弘
第３回	教育行政の機構：教育行政のガバナンス	倉知典弘
第４回	教育の中立性確保：宗教的中立と政治的中立	倉知典弘
第５回	教育の義務制と機会均等：教育福祉の観点から	倉知典弘
第６回	教育機関の設置・管理：学校と社会教育・生涯学習	倉知典弘
第７回	教育職員に関わる法制：養成・採用・服務を中心に	倉知典弘
第８回	学校の組織体制：チームとしての学校を中心に	倉知典弘
第９回	学校経営計画と評価：PDCAサイクル	倉知典弘
第１０回	学校における教育活動：教育課程	倉知典弘
第１１回	学校における生徒指導：「問題行動」とその制度的対応	倉知典弘
第１２回	学校経営の諸課題(1)地域社会との連携	倉知典弘
第１３回	学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健	倉知典弘
第１４回	学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応	倉知典弘
第１５回	現代教育改革と教育行政・学校経営	倉知典弘
第１６回	筆記試験	倉知典弘

教科書			
教・書籍名１	教育行政学　第３版 子ども・若者の未来を拓く	教・出版社名１	八千代出版
教・著者名１	横井敏郎編	教・ＩＳＢＮ１	9784842917849
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	教育小六法	参・出版社名１	学陽書房
参・著者名１	市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆	参・ＩＳＢＮ１	978-4313011953
参・書籍名２	中学校学習指導要領（最新版）　高等学校学習指導要領（最新版）	参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学 （看護）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-909

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学 （看護）			担当者	藤原　直子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	TC-NU-2-909		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別支援教育 （看護）（後半8回）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-910

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	発達障害をはじめとする特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を理解し、適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につけることを目標とする。 さらに、特別支援教育の理念とシステムを学び、保護者や他の教員、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を習得する。
授業概要	特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の特性と心理的特徴について理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための具体的な方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、教育現場における障害児者に対する心理的支援の実務経験（幼稚園・小学校での教員、小中高等学校でのスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回相談）がある教員が担当し、教育現場における現状や課題、教員として必要とされる特別支援に関する知識や支援方法について教授する。
事前学習・事後学習とその時間	①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業内で実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 ③授業内で配布するプリントの空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	特別支援教育の制度と理念、学校における支援体制及び連携	藤原直子
第２回	特別支援教育の実際、指導計画の作成	藤原直子
第３回	発達障害児の心身の発達・心理的特性	藤原直子
第４回	自閉スペクトラム症（ASD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第５回	注意欠如多動症（ADHD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第６回	限局性学習症（LD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第７回	様々な障害のある児童生徒の特性と支援、まとめ	藤原直子
第８回	試験	藤原直子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト	教・出版社名１	学研教育みらい
教・著者名１	小林倫代（編・著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-05-801762-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

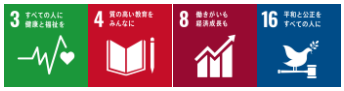
授業科目名	教育課程論 （看護）（前半8回）	担当者	池上　真由美
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-911

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL

年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し，学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する，また，編成した教育課程を実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルについて理解することを目標とする。
授業概要	教育課程とは何か，教育課程の変遷，教育課程の法体系と学習指導要領，新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また，編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを，実践例を通して学び，演習やグループワーク等を行うことで，カリキュラム・マネジメント力を養う。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２時限目

	授業計画	担当者
第１回	教育課程とは何か	池上
第２回	教育の目的と教育課程の編成	池上

第３回	現代日本の教育課程の変遷	池上
第４回	新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」	池上
第５回	近年の教育改革の動向および今後の課題	池上
第６回	幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程	池上
第７回	教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント	池上
第８回	筆記試験	池上
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	はじめて学ぶ教育課程	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	広岡義之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-07559-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	道徳教育の理論と方法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-912

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・討論・模擬授業
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	【テーマ】道徳教育について，基礎理論を理解し，併せて実践的指導力(道徳科の授業力）を身に付けることができる。 【到達目標】 １）基礎的知識として，道徳教育の歴史，道徳性の発達理論，道徳教育の役割と意義を理解する。 ２）道徳の読み物資料の分析の仕方，指導案の書き方を学修し，指導案を作成することができる。 ３）作成した指導案を基に模擬授業を実施する。 ４）道徳科の評価について考え方を理解することができる。
授業概要	道徳教育の基礎知識である，道徳教育の歴史，道徳性の発達理論，道徳の授業理論について，各自で課題を決めて学修し，パワーポイント資料にまとめ発表する。また，実践力育成という視点から，グループで，道徳の読み物資料を基に道徳的価値の分析を行い，道徳的価値について学びを深める。その後，学習指導案を作成し，模擬授業の実施，相互評価，改善点の話合いという一連の過程を通して，質の高い授業力を身に付ける。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎時間の課題（小プリント，レポート）については点数，コメントを付けて返す。模擬授業については，評価の視点を示し，授業後コメントを付けて返却する。
履修条件・注意事項	事前に出されたプリントをする。テキストを必ず持参する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをしておくこと。 復習　2時間　学習した内容の要点をまとめておくこと。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館　個人研究室　１０３０９）

	授業計画	担当者
第１回	15回の授業予定，道徳教育を学ぶ視点，道徳教育で培う道徳性。	川上
第２回	道徳教育の目標，学校における道徳教育の実際，全体計画，年間計画	川上
第３回	道徳資料の読み方　授業構成の仕方　資料１（視点A）	川上
第４回	学修指導案の書き方　資料を基に作成	川上
第５回	道徳教育の歴史　戦前，戦後の道徳教育の比較	川上
第６回	道徳性の発達理論　フロイト，ピアジェ	川上
第７回	道徳性の発達理論　コールバーグ，ブル	川上
第８回	総合単元的な道徳学習，統合的な道徳学習	川上
第９回	教材研究　学習指導案作成　資料２（視点B）	川上
第１０回	模擬授業１（演習）相互評価　授業後の検討・①②グループ	川上
第１１回	模擬授業２（演習）　相互評価　授業後の検討　③④グループ	川上
第１２回	教材研究　学習指導案作成　資料３（視点D）	川上
第１３回	模擬授業３　相互評価　授業後の検討　⑤⑥グループ	川上

第１４回	道徳科の評価　評価の基本的な考え方　具体例		川上
第１５回	道徳教育の理論と方法　学習のまとめ		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	道徳教育を学ぶ人のために（四訂版）	教・出版社名１	世界思想社
教・著者名１	小寺正一　藤永芳純　他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7907-0
教・書籍名２	中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編	教・出版社名2	教育出版
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-316-30084-9
参考書			
参・書籍名１	楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	横山利弘　牧崎幸夫　他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08085-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	道徳教育の理論と方法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-912

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・討論・模擬授業
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	【テーマ】道徳教育について，基礎理論を理解し，併せて実践的指導力(道徳科の授業力）を身に付けることができる。 【到達目標】 １）基礎的知識として，道徳教育の歴史，道徳性の発達理論，道徳教育の役割と意義を理解する。 ２）道徳の読み物資料の分析の仕方，指導案の書き方を学修し，指導案を作成することができる。 ３）作成した指導案を基に模擬授業を実施する。 ４）道徳科の評価について考え方を理解することができる。
授業概要	道徳教育の基礎知識である，道徳教育の歴史，道徳性の発達理論，道徳の授業理論について，各自で課題を決めて学修し，パワーポイント資料にまとめ発表する。また，実践力育成という視点から，グループで，道徳の読み物資料を基に道徳的価値の分析を行い，道徳的価値について学びを深める。その後，学習指導案を作成し，模擬授業の実施，相互評価，改善点の話合いという一連の過程を通して，質の高い授業力を身に付ける。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎時間の課題（小プリント，レポート）については点数，コメントを付けて返す。模擬授業については，評価の視点を示し，授業後コメントを付けて返却する。
履修条件・注意事項	事前に出されたプリントをする。テキストを必ず持参する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをしておくこと。 復習　2時間　学習した内容の要点をまとめておくこと。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館　個人研究室　１０３０９）

	授業計画	担当者
第１回	15回の授業予定，道徳教育を学ぶ視点，道徳教育で培う道徳性。	川上
第２回	道徳教育の目標，学校における道徳教育の実際，全体計画，年間計画	川上
第３回	道徳資料の読み方　授業構成の仕方　資料１（視点A）	川上
第４回	学修指導案の書き方　資料を基に作成	川上
第５回	道徳教育の歴史　戦前，戦後の道徳教育の比較	川上
第６回	道徳性の発達理論　フロイト，ピアジェ	川上
第７回	道徳性の発達理論　コールバーグ，ブル	川上
第８回	総合単元的な道徳学習，統合的な道徳学習	川上
第９回	教材研究　学習指導案作成　資料２（視点B）	川上
第１０回	模擬授業１（演習）相互評価　授業後の検討・①②グループ	川上
第１１回	模擬授業２（演習）　相互評価　授業後の検討　③④グループ	川上
第１２回	教材研究　学習指導案作成　資料３（視点D）	川上
第１３回	模擬授業３　相互評価　授業後の検討　⑤⑥グループ	川上

第１４回	道徳科の評価　評価の基本的な考え方　具体例		川上
第１５回	道徳教育の理論と方法　学習のまとめ		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	道徳教育を学ぶ人のために（四訂版）	教・出版社名１	世界思想社
教・著者名１	小寺正一　藤永芳純　他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7907-0
教・書籍名２	中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編	教・出版社名2	教育出版
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-316-30084-9
参考書			
参・書籍名１	楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	横山利弘　牧崎幸夫　他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08085-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-913

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義　演習　AL
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】特別活動，総合的な学習の時間について基礎的知識を理解し，実践的指導力を身に付ける。 【到達目標】 １．特別活動・総合的な学習の時間の意義，目標，教育課程上の位置づけ，内容を理解する。 ２．特別活動の内容の種類と関連性を理解し，学級活動の年間計画，学習指導案を作成することができる。 ３．総合的な学習の時間の課題を決めて単元計画を作成し，その強みと探求の過程について説明することができる。 ４．特別活動・総合的な学習の時間の評価の考え方を理解することができる。
授業概要	特別活動・総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら，下記の内容を実践的に学修する。 ①特別活動の目標，教育課程上の位置づけ，学級活動，クラブ活動，生徒会活動等の内容については，事前にプリントで予習しておく。そして，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ②学級活動指導案作成の仕方については，実際に作成することを通して学修する。 ③総合的な学習の時間の目標，教育課程上の位置づけ，特徴については，予習プリントで事前に学修しておき，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ⑤全体計画，年間計画，単元計画，思考ツール等は作成，活用することを通して，学修する。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／グループワーク
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート，小テストは採点して助言を添えて返却する。単元計画，年間計画，学習指導案はコメントを付けて説明する。
履修条件・注意事項	事前に配布された予習プリントをする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをする。 復習　2時間　学習したことの要点をまとめる。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館 個人研究室 10309）

授業計画		担当者
第１回	授業予定　特別活動の目標　特質	川上
第２回	特別活動の内容（学級活動　学校行事　生徒会活動）と全体計画	川上
第３回	学級活動の目標，内容，年間計画	川上
第４回	学級活動の年間計画作成（演習）	川上
第５回	学校行事、生徒会活動の目標，内容，具体的活動	川上
第６回	学級活動の指導案の書き方　指導案作成	川上
第７回	模擬授業　　代表グループ①②	川上
第８回	学級活動とSEL	川上/GT（中学校教諭）

第９回	総合的な学習の時間の意義，目標		川上
第１０回	総合的な学習の時間の歴史　教育課程上の位置づけ		川上
第１１回	総合的な学習の時間　全体計画　単元計画		川上
第１２回	単元計画の考え方　作成の仕方		川上
第１３回	作成した単元計画の発表　（グループ内で情報交換）		川上
第１４回	思考ツールと活用例（演習）		川上
第１５回	総合的な学習の時間の評価		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	新しい教職教育講座９　特別活動	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	中村　豊/ 原　清治	教・ＩＳＢＮ１	978-623-08192-9
教・書籍名２	新しい教職教育講座８　総合的な学習の時間	教・出版社名2	ミネルヴァ書房
教・著者名2	森田真樹　/　篠原正典	教・ＩＳＢＮ2	978-4-623-08191-2
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領　解説　総合的な学習の時間	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8278-1561- 0
参・書籍名２	中学校学習指導要領　解説　特別活動	参・出版社名2	978-4-8278-1562-7
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	東山書房

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-913

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義　演習　AL
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】特別活動，総合的な学習の時間について基礎的知識を理解し，実践的指導力を身に付ける。 【到達目標】 １．特別活動・総合的な学習の時間の意義，目標，教育課程上の位置づけ，内容を理解する。 ２．特別活動の内容の種類と関連性を理解し，学級活動の年間計画，学習指導案を作成することができる。 ３．総合的な学習の時間の課題を決めて単元計画を作成し，その強みと探求の過程について説明することができる。 ４．特別活動・総合的な学習の時間の評価の考え方を理解することができる。
授業概要	特別活動・総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら，下記の内容を実践的に学修する。 ①特別活動の目標，教育課程上の位置づけ，学級活動，クラブ活動，生徒会活動等の内容については，事前にプリントで予習しておく。そして，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ②学級活動指導案作成の仕方については，実際に作成することを通して学修する。 ③総合的な学習の時間の目標，教育課程上の位置づけ，特徴については，予習プリントで事前に学修しておき，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ④全体計画，年間計画，単元計画，思考ツール等は作成，活用することを通して，学修する。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／グループワーク
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート，小テストは採点して助言を添えて返却する。単元計画，年間計画，学習指導案はコメントを付けて説明する。
履修条件・注意事項	事前に配布された予習プリントをする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをする。 復習　2時間　学習したことの要点をまとめる。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館 個人研究室 10309）

授業計画		担当者
第１回	授業予定　特別活動の目標　特質	川上
第２回	特別活動の内容（学級活動　学校行事　生徒会活動）と全体計画	川上
第３回	学級活動の目標，内容，年間計画	川上
第４回	学級活動の年間計画作成（演習）	川上
第５回	学校行事、生徒会活動の目標，内容，具体的活動	川上
第６回	学級活動の指導案の書き方　指導案作成	川上
第７回	模擬授業　　代表グループ①②	川上
第８回	学級活動とSEL	川上/GT（中学校教諭）

第９回	総合的な学習の時間の意義，目標		川上
第１０回	総合的な学習の時間の歴史　教育課程上の位置づけ		川上
第１１回	総合的な学習の時間　全体計画　単元計画		川上
第１２回	単元計画の考え方　作成の仕方		川上
第１３回	作成した単元計画の発表　（グループ内で情報交換）		川上
第１４回	思考ツールと活用例（演習）		川上
第１５回	総合的な学習の時間の評価		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	新しい教職教育講座９　特別活動	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	中村　豊/ 原　清治	教・ＩＳＢＮ１	978-623-08192-9
教・書籍名２	新しい教職教育講座８　総合的な学習の時間	教・出版社名2	ミネルヴァ書房
教・著者名2	森田真樹　/　篠原正典	教・ＩＳＢＮ2	978-4-623-08191-2
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領　解説　総合的な学習の時間	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8278-1561- 0
参・書籍名２	中学校学習指導要領　解説　特別活動	参・出版社名2	978-4-8278-1562-7
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	東山書房

授業科目名	教育の方法と技術 （看護）	担当者	小林　朝雄
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-914

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	教育の方法と技術について、諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術を学ぶとともに、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や児童生徒に情報活用能力を育成する基礎的な知識や技能を身に付ける。具体的には次のとおりである。 １　教育の方法と技術について、諸概念や理論を学び基礎的な指導法を身に付けるとともに、学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ２　個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性を理解している。 ３　情報通信技術を活用した指導法を身に付けている。 ４　特別な支援を必要とする児童生徒への、情報通信技術活用の必要性と留意点を理解している。 ５　学校における情報セキュリティの重要性について理解している。
授業概要	本講義では、教育の方法と技術にかかわる諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術について学ぶとともに、情報通信技術の効果的な活用法を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。また、各教科におけるＩＣＴ活用や情報モラルに関する授業について、受講者が具体的な授業を構想（指導案作成）し分担して模擬授業を行うとともに、タブレット端末等を活用した模擬授業を体験する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	模擬授業、指導案（30%）、授業への参加態度（20%）、単位認定試験（50%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中のフィードバックや指導案等は個別にも行う。
履修条件・注意事項	「中学校学習指導要領」または「高等学校学習指導要領」のどちらか（免許状取得を目指す方）と、「教育の方法と技術」を使用するので毎回持参する。その他については、必要に応じて関係資料を配付する。ノートは必ず作成し、配付資料も整理しておくこと。毎回の講義の予習、復習を行ってほしい。なお、模擬授業の際は作成した指導案を印刷し、全員分、配付すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この教科は、中学校教員、岡山県総合教育センター情報教育部指導主事としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	情報機器を活用した学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう教材研究に取り組んでいただきたい。予習・復習が２時間程度必要。
オフィスアワー	毎授業終了時に教室にて実施

	授業計画	担当者
第１回	教育の方法と技術とは	小林
第２回	教育方法の理論と歴史（GIGAスクール構想を含む）	小林
第３回	カリキュラムの位置付け（教科等の目標、指導内容、授業時数、年間指導計画の概要）	小林
第４回	授業における教師の役割と指導技術①（教材研究と授業での教師の役割）	小林
第５回	授業における教師の役割と指導技術②（児童生徒の主体性を引き出す指導）	小林
第６回	情報通信技術を効果的に活用したオンライン教育や校務の推進の在り方	小林

第７回	情報通信技術を活用した学習指導（デジタル教材の作成・利用、特別な支援を必要とする児童生徒への支援）		小林
第８回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の構想（指導案作成、実物投影機、ＰＣの活用）		小林
第９回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：前半グループ）		小林
第１０回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：後半グループ）		小林
第１１回	各教科におけるタブレット端末を活用した模擬授業の実施		小林
第１２回	情報モラルに関する授業構成（情報モラルの目標、指導法、教材等）		小林
第１３回	教育における評価（授業評価と学習評価について）		小林
第１４回	学校における情報セキュリティの重要性について		小林
第１５回	授業の振り返りとまとめ		小林
第１６回	単位認定試験		小林
教科書			
教・書籍名１	中学校学習指導要領	教・出版社名１	東洋館出版社
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	10 4827815402
教・書籍名２	高等学校学習指導要領	教・出版社名2	東山書房
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8278-1567-2
参考書			
参・書籍名１	三訂版　教育の方法と技術	参・出版社名１	図書文化社
参・著者名１	平沢　茂	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8100-8701-7
参・書籍名２	教育の情報化に関する手引き	参・出版社名2	製本版はなし。下記ページに公開 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育の方法と技術 （看護）	担当者	小林　朝雄
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-914

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	教育の方法と技術について、諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術を学ぶとともに、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や児童生徒に情報活用能力を育成する基礎的な知識や技能を身に付ける。具体的には次のとおりである。 １　教育の方法と技術について、諸概念や理論を学び基礎的な指導法を身に付けるとともに、学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ２　個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性を理解している。 ３　情報通信技術を活用した指導法を身に付けている。 ４　特別な支援を必要とする児童生徒への、情報通信技術活用の必要性と留意点を理解している。 ５　学校における情報セキュリティの重要性について理解している。
授業概要	本講義では、教育の方法と技術にかかわる諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術について学ぶとともに、情報通信技術の効果的な活用法を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。また、各教科におけるＩＣＴ活用や情報モラルに関する授業について、受講者が具体的な授業を構想（指導案作成）し分担して模擬授業を行うとともに、タブレット端末等を活用した模擬授業を体験する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	模擬授業、指導案（30%）、授業への参加態度（20%）、単位認定試験（50%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中のフィードバックや指導案等は個別にも行う。
履修条件・注意事項	「中学校学習指導要領」または「高等学校学習指導要領」のどちらか（免許状取得を目指す方）と、「教育の方法と技術」を使用するので毎回持参する。その他については、必要に応じて関係資料を配付する。ノートは必ず作成し、配付資料も整理しておくこと。毎回の講義の予習、復習を行ってほしい。なお、模擬授業の際は作成した指導案を印刷し、全員分、配付すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この教科は、中学校教員、岡山県総合教育センター情報教育部指導主事としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	情報機器を活用した学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう教材研究に取り組んでいただきたい。予習・復習が２時間程度必要。
オフィスアワー	毎授業終了時に教室にて実施

授業計画		担当者
第１回	教育の方法と技術とは	小林
第２回	教育方法の理論と歴史（GIGAスクール構想を含む）	小林
第３回	カリキュラムの位置付け（教科等の目標、指導内容、授業時数、年間指導計画の概要）	小林
第４回	授業における教師の役割と指導技術①（教材研究と授業での教師の役割）	小林
第５回	授業における教師の役割と指導技術②（児童生徒の主体性を引き出す指導）	小林
第６回	情報通信技術を効果的に活用したオンライン教育や校務の推進の在り方	小林

第７回	情報通信技術を活用した学習指導（デジタル教材の作成・利用、特別な支援を必要とする児童生徒への支援）		小林
第８回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の構想（指導案作成、実物投影機、ＰＣの活用）		小林
第９回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：前半グループ）		小林
第１０回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：後半グループ）		小林
第１１回	各教科におけるタブレット端末を活用した模擬授業の実施		小林
第１２回	情報モラルに関する授業構成（情報モラルの目標、指導法、教材等）		小林
第１３回	教育における評価（授業評価と学習評価について）		小林
第１４回	学校における情報セキュリティの重要性について		小林
第１５回	授業の振り返りとまとめ		小林
第１６回	単位認定試験		小林
教科書			
教・書籍名１	中学校学習指導要領	教・出版社名１	東洋館出版社
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	10 4827815402
教・書籍名２	高等学校学習指導要領	教・出版社名2	東山書房
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8278-1567-2
参考書			
参・書籍名１	三訂版　教育の方法と技術	参・出版社名１	図書文化社
参・著者名１	平沢　茂	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8100-8701-7
参・書籍名２	教育の情報化に関する手引き	参・出版社名2	製本版はなし。下記ページに公開 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生徒・進路指導論 （看護）	担当者	藤井　和郎
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-915

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。 【到達目標】 1　生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2　すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3　生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4　進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5　すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6　生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。
授業概要	生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに包含される進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習１→グループ学習→全体学習→個人学習２」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	［試験］50%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する） ［提出物］20%（レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する） ［授業への参画状況］30%（予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日３限目 10号館10303　藤井(和)研究室

	授業計画	担当者
第１回	生徒指導の意義と原理	藤井
第２回	学校における生徒指導体制、教育相談	藤井
第３回	生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携	藤井

第４回	生徒指導の進め方（児童生徒全体への指導）		藤井
第５回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：問題行動）		藤井
第６回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：不登校）		藤井
第７回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：いじめ）		藤井
第８回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：発達障害）		藤井
第９回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：児童虐待）		藤井
第１０回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：愛着障害）		藤井
第１１回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：性的マイノリティ）		藤井
第１２回	キャリア教育とは何か		藤井
第１３回	中学校におけるキャリア教育推進のために		藤井
第１４回	中学校におけるキャリア教育の実践		藤井
第１５回	生徒指導の今後の方向性		藤井
第１６回	試験		藤井
教科書			
教・書籍名１	生徒指導提要	教・出版社名１	教育図書
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87730-274-0
教・書籍名２	中学校キャリア教育の手引き	教・出版社名2	教育出版
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-316-30026-9
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領(平成29年告示)	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	高等学校学習指導要領(平成30年告示)	参・出版社名2	東山書房
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生徒・進路指導論 （看護）	担当者	藤井　和郎
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-915

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。 【到達目標】 1　生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2　すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3　生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4　進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5　すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6　生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。
授業概要	生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに包含される進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習１→グループ学習→全体学習→個人学習２」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	［試験］50%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する） ［提出物］20%（レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する） ［授業への参画状況］30%（予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日３限目 10号館10303　藤井(和)研究室

	授業計画	担当者
第１回	生徒指導の意義と原理	藤井
第２回	学校における生徒指導体制、教育相談	藤井
第３回	生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携	藤井

第４回	生徒指導の進め方（児童生徒全体への指導）		藤井
第５回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：問題行動）		藤井
第６回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：不登校）		藤井
第７回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：いじめ）		藤井
第８回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：発達障害）		藤井
第９回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：児童虐待）		藤井
第１０回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：愛着障害）		藤井
第１１回	生徒指導の進め方（個別の課題を抱える児童生徒への指導：性的マイノリティ）		藤井
第１２回	キャリア教育とは何か		藤井
第１３回	中学校におけるキャリア教育推進のために		藤井
第１４回	中学校におけるキャリア教育の実践		藤井
第１５回	生徒指導の今後の方向性		藤井
第１６回	試験		藤井
教科書			
教・書籍名１	生徒指導提要	教・出版社名１	教育図書
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87730-274-0
教・書籍名２	中学校キャリア教育の手引き	教・出版社名2	教育出版
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-316-30026-9
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領(平成29年告示)	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	高等学校学習指導要領(平成30年告示)	参・出版社名2	東山書房
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育相談の基礎 （看護）	担当者	津川　秀夫
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	TC-NU-1-916

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する
授業概要	学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意（私語、居眠り、スマートフォンの使用等）が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点（80%）、授業への参加態度（20%）にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストや課題レポートについて授業においてフィードバックする。
履修条件・注意事項	教職科目を履修することを自覚し「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。
実務経験のある教員	該当する　内容：精神科クリニックでの心理臨床活動、小・中・高でのスクールカウンセリング、教育センターでの教育相談などの経験を踏まえて当該授業について講義する。
事前学習・事後学習とその時間	できるだけ早い時期に指定テキストを読み通しておくこと。自己学修に２時間を要する。
オフィスアワー	月曜日4時限、個人研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	津川秀夫
第２回	児童生徒の発達の多様性	津川秀夫
第３回	児童生徒の発達の多様性：知的能力障害	津川秀夫
第４回	児童生徒の発達の多様性：自閉スペクトラム症	津川秀夫
第５回	児童生徒の発達の多様性：限局性学習症	津川秀夫
第６回	児童生徒の発達の多様性：注意欠如多動症	津川秀夫
第７回	問題行動の見立てと介入：行動随伴性	津川秀夫
第８回	問題行動の見立てと介入：強化、弱化、消去	津川秀夫
第９回	問題行動の見立てと介入：行動の機能	津川秀夫
第１０回	問題行動の見立てと介入：不登校	津川秀夫
第１１回	知能検査：種類と活用法	津川秀夫
第１２回	知能検査：検査の実際	津川秀夫
第１３回	ポジティブ行動の促進：事例	津川秀夫

第１４回	ポジティブ行動の促進：肯定的感情の拡張一形成理論		津川秀夫
第１５回	ポジティブ行動の促進：PBIS		津川秀夫
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	メリットの法則	教・出版社名１	集英社
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生徒指導提要	参・出版社名１	教育図書
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	よくわかる教育相談	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育相談の基礎 （看護）	担当者	津川　秀夫
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 1年	ナンバリング	TC-NU-1-916

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する
授業概要	学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート
評価方法と割合	単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意（私語、居眠り、スマートフォンの使用等）が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点（80%）、授業への参加態度（20%）にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストや課題レポートについて授業においてフィードバックする。
履修条件・注意事項	教職科目を履修することを自覚し「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。
実務経験のある教員	該当する　内容：精神科クリニックでの心理臨床活動、小・中・高でのスクールカウンセリング、教育センターでの教育相談などの経験を踏まえて当該授業について講義する。
事前学習・事後学習とその時間	できるだけ早い時期に指定テキストを読み通しておくこと。自己学修に２時間を要する。
オフィスアワー	月曜日4時限、個人研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	津川秀夫
第２回	児童生徒の発達の多様性	津川秀夫
第３回	児童生徒の発達の多様性：知的能力障害	津川秀夫
第４回	児童生徒の発達の多様性：自閉スペクトラム症	津川秀夫
第５回	児童生徒の発達の多様性：限局性学習症	津川秀夫
第６回	児童生徒の発達の多様性：注意欠如多動症	津川秀夫
第７回	問題行動の見立てと介入：行動随伴性	津川秀夫
第８回	問題行動の見立てと介入：強化、弱化、消去	津川秀夫
第９回	問題行動の見立てと介入：行動の機能	津川秀夫
第１０回	問題行動の見立てと介入：不登校	津川秀夫
第１１回	知能検査：種類と活用法	津川秀夫
第１２回	知能検査：検査の実際	津川秀夫
第１３回	ポジティブ行動の促進：事例	津川秀夫

第１４回	ポジティブ行動の促進：肯定的感情の拡張一形成理論		津川秀夫
第１５回	ポジティブ行動の促進：PBIS		津川秀夫
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	メリットの法則	教・出版社名１	集英社
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生徒指導提要	参・出版社名１	教育図書
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	よくわかる教育相談	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育実習指導			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年			ナンバリング	TC-NU-3-917		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	高等学校（看護）の教育実習に必要な学校教育における基本的な事項と態度を学ぶ。看護科の高等学校生徒の発達段階に応じた学習指導ができるようになることを目指す。 高等学校の看護教育の歴史を踏まえて意義を理解し、法的根拠に沿った教育活動を理解し、学習指導要領に準拠した専門教科の学習指導と指導上の留意点が理解できる。
授業概要	教育実習に臨むための基本的な知識と態度を学ぶ。看護教育の歴史的背景から現状と課題を学び、看護教育全体の中での教育的意義を確認させ、看護教員としての自覚と責任の意識化を図る。文科省の学習指導要領解説を用い、教科としての高等学校看護の目的と内容を教授し、カリキュラムの理解を図る。また、看護教育に欠かせない臨地実習の指導の在り方について学ばせる。教員として現職で勤務している先輩から看護教員として必要な学習や教育実習の心構えについて学ぶ機会も設ける。教育実習中の指導に活かせるよう、教育法規と学校組織・生徒指導の基本的事項の理解の定着を図る。 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	受講態度(40%)、課題レポート（20%)、試験（40％）の割合で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	教育実習を行うための必須科目である。単位取得をしないと教育実習の履修はできない。 教育職員という自覚を高めるためにも遅刻・欠席は厳しく対処する
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回、課題の提出を必要とする講義である。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	赤澤
第２回	教育実習ガイダンス	赤澤
第３回	教育実習の内容と実習の進め方	赤澤
第４回	学習指導要領における教科看護の理解	赤澤
第５回	学習指導要領における教科看護の理解及び生徒理解	赤澤
第６回	看護科の目標とカリキュラムについて	赤澤
第７回	学校と組織活動、危機管理	赤澤
第８回	臨地実習の指導と方法について	赤澤
第９回	生徒指導の実際	赤澤
第１０回	看護臨地実習指導の方法と実際	赤澤
第１１回	学級経営の進め方	赤澤
第１２回	授業の進め方①	赤澤

第１３回	授業の進め方②演習を伴う授業	赤澤	
第１４回	教育実習に向けて　プレゼン①	赤澤	
第１５回	教育実習に向けて　プレゼン②	赤澤	
第１６回	試験	赤澤	
教科書			
教・書籍名１	高等学校学習指導要領解説　看護編	教・出版社名１	東京法令出版
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	教育実習 （看護）			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-918		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	看護教育の内容、方法に関する実践的学習をテーマとし、実習を通して大学で学んだ教育理論を教育現場で実践し、教育職員としての役割や責任について学ぶ。
授業概要	衛生看護科のある高等学校を実習校とし、教育の実際について直接的な体験を通して、理論と実践の統合をめざしていく。具体的には、2 週間の教育実習において、１． 授業見学実習を行う、２． 学習指導案を作成し、指導教員から指導を受ける、３． 指導案をもとに授業を行う、４． 授業の後で指導教員から評価を受ける、５． 学級担任として生徒指導を行う、６． 課外活動、クラブ活動に参加し、生徒の実態を理解する、７． 実習終了後、大学において体験発表を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	実習校の評価（65%）、事前学習（10%）、意欲・態度（25%）等を総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	３年次までの教職免許取得に必須の教科の単位取得ができていること、 教職ＧＰＡが規定の基準に達していること、教育実習先の学校の実習許可を得ていること、の３点が基本的に教育実習にいく条件となる。 また、教員志望意識が低く、免許取得のみを目的としている者には教育実習に行くことを辞退する指導をする場合もある。また、教育実習中または教育実習終了後においても実習校での態度が実習生として適切でない態度や言動があった場合には単位の認定はしない。教育実習中においても同様な事態があった場合には実習を中止する場合もある。教育実習についてもガイダンスや学科単位での実習前の説明会には必ず参加すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	実習中は実習校において学校長の監督のもと、指導教諭の指導を受ける。学校教育の現場でしか体験できないことを積極的に取組む中で看護科教諭の職務の理解を深める。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	学校教育と校務分掌についての概 要のオリエンテーションから、実習 校の概要を学ぶ	実習
第２回	所属クラスの決定、「看護」科目の授業やホームルームなどの生徒指導の在り方を学ぶ。	実習
第３回	「看護」科目について授業の実践をし、授業方法や生徒理解を深める。	実習
第４回	研究授業で指導を受け、授業方法や担任教諭との連携、生徒理解と授業との関連を学ぶ。	実習
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	養護実習指導			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	TC-NU-4-919		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	養護実習を行う上での基本的知識・技術・態度を養い、学校教育全体の中の養護活動について理解し、養護教諭として求められる資質能力の修得する。 児童生徒の実態に応じた保健室経営について学び、健康診断、フィジカルアセスメントと救急処置、特別な支援の必要な児童生徒への基本的な対応を理解する。また保健指導を計画し実施する。
授業概要	養護実習の事前事後指導を行う。養護実習の目的、目標、内容について明確に意識して臨む。救急処置や健康診断等の養護教諭の職務の基本的事項についてグループワークや演習を中心に理解を深める。保健指導案、保健だよりを各自で作成して発表し、実習準備を行う。実習後は、実習成果を報告会にて発表し学びの確認と整理をする。 この科目は、養護教諭として実務経験を持つ教員がその経験を生かし、教育現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期及び実技試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	養護教諭一種免許状取得及び養護実習を受けるための必修科目である。実習校での模擬実習として、取組む姿勢が大切であり、出席状況（連絡のない遅刻欠席）、授業態度、課題提出等について重要な評価項目とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。養護実習前の事前準備として、保健室経営のあり方や法的根拠の基礎的理解や健康診断やフィジカルアセスメントの基礎敵技術は各自身に付けておくようにすること。
オフィスアワー	授業終了後

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　養護実習の意義 実習校の概要	赤澤
第２回	養護実習の目的、内容	赤澤
第３回	保健指導案作成	赤澤
第４回	保健指導発表	赤澤
第５回	感染症対策、実習記録演習	赤澤
第６回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第７回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第８回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第９回	養護教諭からの学び	赤澤
第１０回	学校場面を想定した救急処置	赤澤
第１１回	学校場面を想定した救急処置	赤澤
第１２回	実習のまとめ（礼状・学びの整理）	赤澤
第１３回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１４回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１５回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１６回	試験	赤澤

教科書

教・書籍名１	新訂版学校保健実務必携	教・出版社名１	第一法規
教・著者名１	学校保健・安全実務研究会	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	養護実習			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-920		
必修・選択	選択	単位数	4単位	時間数	120	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も
到達目標	養護教諭免許取得のための教科・科目で学んだ教育理論を教育現場で実践し、養護教諭の職務の理解を深め、教育職員としての自覚と責任について学ぶ。
授業概要	教育現場で直接的な体験を通して、教員として養護教諭としての職務と役割について実践的に学修する。学校教育活動をはじめ、児童生徒の実態、養護活動を見学し、指導を受け実践する。保健室経営、救急処置、保健指導等の実際を学び実習する。保健教育については指導案を作成して、保健指導または保健学習を行う。 実習は３週間で、実習校は出身校（小学校を基本）とするが遠方の場合は高梁市の小学校に依頼する。 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、児童生徒の健康課題や学校の状況に即した実習指導を展開する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、実習校の評価（60%）、実習記録（10%）、意欲・態度（30%）等を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、実習中及び事後指導にてフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	(1) ３年次までの教職免許取得の必須教科について単位取得ができていること (2) ＧＰＡ等の本学の教育・養護実習履修要件を満たしていること (3)教育実習先の学校の実習許可を得ていること 上記３要件に加え、教育実習のガイダンスや実習前の説明会には必ず参加すること。 なお、実習中や実習前後において、教職を目指す実習生として適切でない態度・行為があった場合には実習を中止する場合や単位認定できない場合もある。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	実習中は実習校において学校長の監督のもと、指導養護教諭の指導を受ける。学校教育の現場でしか体験できないことを積極的に取組む中で養護教諭の職務の理解を深める。
オフィスアワー	実習は学外のため、メールや電話にて相談を受ける

	授業計画	担当者
第１回	学校教育方針と，学校保健との関連について理解する	実習
第２回	保健室経営のあり方を理解し，児童生徒の健康課題に関し，個別的あるいは組織的な取り組みについて学ぶ	赤澤
第３回	児童生徒の実態及び健康課題や発達課題を把握し，児童生徒への基本的な養護活動の実践ができる。	赤澤
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職実践演習（高校）			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	TC-NU-4-921		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も
到達目標	学生の既習学習が、教員として必要な能力として有機的な統合・形成に繋がっているかについて、これまでの学習を踏まえて確認する。 また、学校現場の教育課題や課題解決のために必要な教育活動について講義や演習で学び、教員として必要な資質能力を身につけることができる。
授業概要	教員として必要な以下の資質能力について実践活動を交えながら学習・確認する。 ①使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する能力 ③生徒の理解や学級経営に関する事項 ④教科等の指導能力に関する事項 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディベート／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度３０％、レポート提出２０％グループワークの参加状況２０％、模擬授業の発表３０％とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みであること ②教育実習を終了している
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	教職の現場での実践能力を身に付けることができるよう、講義、グループワーク、ロールプレイ、実技演習、学外での実習など様々な教育手法を用いる。その都度、課題を課す。
オフィスアワー	集中講義であるので、講義後の１時間をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	赤澤
第２回	教育相談の課題と生徒対応の実際①	赤澤
第３回	教育相談の課題と生徒対応の実際②	赤澤
第４回	教師に求められる資質能力	赤澤
第５回	教員として必要な実践活動を学ぶ①	赤澤
第６回	教員として必要な実践活動を学ぶ②	赤澤
第７回	教員として必要な実践活動を学ぶ③	赤澤
第８回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ①	赤澤
第９回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ②	赤澤
第１０回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ③	赤澤
第１１回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ④	赤澤
第１２回	教材研究と授業展開（生活と看護）	赤澤
第１３回	教員として必要な実践能力	赤澤

第１４回	教育実習での学び	赤澤
第１５回	教材研究と授業展開	赤澤
第１６回	試験	赤澤

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職実践演習（養護教諭）	担当者	赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2019～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	TC-NU-4-922

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	これまでの学修が、養護教諭として必要な資質と能力として有機的に統合され形成することを目標とする。また、児童生徒の健康課題解決のために必要な養護教諭の教育活動について学び、教員として養護教諭としての必要な資質と能力を身につけることができる。
授業概要	養護教諭一種免許取得の最終として、以下の養護教諭として必要な資質について学修、確認する。 (1) 使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 (2) 社会性や対人関係能力に関する能力 (3) 児童生徒の健康と発達を養護する能力 (4) 保健室経営に関する事項 (5) 保健指導及び保健教育に関する事項 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、レポート(50%)、課題・発表・演習等(50%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①教職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みである ②養護実習を終了している
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。 養護実習で得た学びを理論的に整理し、学校現場で1人の教員として、養護教諭の資質と能力を身に付けることを意識して取り組むこと。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	養護教諭及び教職に関する基礎知識と学習歴の確認	赤澤
第２回	養護実習成果発表	赤澤
第３回	養護実習のまとめ（理論と実践の整理）	赤澤
第４回	保健室経営計画①	赤澤
第５回	保健室経営計画②（発表）	赤澤
第６回	教員に求められる資質能力（実践講和）	赤澤
第７回	特別支援と個別計画	赤澤
第８回	災害時の学校保健活動	赤澤
第９回	学校保健組織活動	赤澤
第１０回	就学時検診①（学外）	赤澤
第１１回	就学時検診②（学外）	赤澤
第１２回	就学時検診③（学外）	赤澤
第１３回	就学時検診④（学外）	赤澤

第１４回	教員育成指標と到達確認		赤澤
第１５回	養護教諭の資質と職務		赤澤
第１６回	試験		赤澤
教科書			
教・書籍名１	新訂版学校保健実務必携	教・出版社名１	第一法規
教・著者名１	学校保健・安全実務研究会	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新訂　養護概説	教・出版社名2	ぎょうせい
教・著者名2	三木とみ子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

保健医療福祉学部
看護学科

2017～2018 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部	担当者	山本　倫子、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	地域学概論 看護				担当者	中嶋　貴子、高尾　茂子		
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年				ナンバリング	GE-KE-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	15時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜4限		
ディプロマポリシー対応項目								
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目		
ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 							
到達目標	＜前半＞ 本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置付けられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるかを考え、チャレンジする態度を涵養できる。 ＜後半＞ 「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学びます。 到達目標は下記の通りです。 ・地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる ・SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる ・SDGsの各目標を自分事として捉えることができる ・SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる							
授業概要	＜前半＞ 順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み（歴史）を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創成に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。 ＜後半＞ 2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。<br　授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグ							

	ループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	＜前半＞毎回授業時提出のレポート評価（70%）、第8回に行う学修成果確認レポート作成の評価（30%）により、総合的に評価する。 ＜後半＞グループでの活動及び発表を評価する（50%）。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する（50%）。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたパーソナルポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う
履修条件・注意事項	＜前半＞ 地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。 ＜後半＞ １）初回の授業には、必ず出席すること ２）合同授業日と各学科授業日があるので注意すること ３）学科別授業では、理学療法学科と作業療法学科との合同でグループワークを行うことから授業を欠席しないこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：＜前半＞行政保健師30年 ＜後半＞該当しない
事前学習・事後学習とその時間	＜前半＞ 1)　事前にユニバを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回事前学修を行い授業に参加すること。 2)　授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回事後学修を行うこと。 ＜後半＞ ユニバーサルパスポートで配付する資料を基に事前学習をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	＜前半＞６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。 ＜後半＞6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目（教授会がある日を除く）をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　地域創成とは何か　意義と授業計画	大西正泰（経営社会学科） 高尾茂子
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史	順正学園専務理事 高尾茂子
第３回	高梁市の歴史、文化、政策課題、今後の方向性	外部講師　高尾茂子
第４回	高梁基督教会堂をめぐる歴史と人物	外部講師　高尾茂子
第５回	「未来につなぐ図書館」としての活動	外部講師　高尾茂子
第６回	宇治地域住民総動のまちづくり	外部講師　高尾茂子
第７回	日本遺産「備中吹屋」	外部講師　高尾茂子
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学習成果振り返りレポート作成	高尾茂子
第９回	SDGsとは何か－なぜ学ぶのか（オリエンテーションを含む）	井勝久喜、中嶋貴子
第１０回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜、中嶋貴子
第１１回	SDGsが目指している世界	井勝久喜、中嶋貴子
第１２回	SDGsの17の目標	井勝久喜、中嶋貴子
第１３回	当事者体験発表、 グループワーク（課題発掘）	外部講師、中嶋貴子
第１４回	グループワーク（生活課題の検討）	外部講師、中嶋貴子
第１５回	グループワーク（社会システム構築の検討）	中嶋貴子
第１６回	レポート試験	中嶋貴子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域貢献ボランティア 看護	担当者	高尾　茂子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：多様な社会課題に関する知識を習得するための情報収集を行い、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標 ①現代社会が抱える多様な課題を医学、看護学、社会学等々の視点から分析できるようになる。 ②課題解決に必要な理論、手法を修得する。 ③地域課題やSDGｓ目標との接点から、社会が抱える多様な課題を「我がこと」として捉えることができるようになる。 ④グループ演習活動を通して、多様な考え方やそれぞれの考え方の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身につく。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGｓ概論、グローバルスタディーズ入門）で学んだ各地域の現状、課題、SDGｓに関する目標・課題について、それぞれ解決策を模索することで、社会に積極的に貢献しようとしようとする心や姿勢を養うことを到達目標とする。 具体的には、グループごとに課題とするテーマを設定し、テーマに沿った情報を調べ、どのような方法であれば課題に対する解決が可能か検討を行う。 以上の能動的学習経験を通じて、課題解決のために必要な一連のプロセスを修得する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）、ポートフォリオ（40%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う。 ポートフォリオは各自保管し、復習のために活用すること。
履修条件・注意事項	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心を持ち、授業と関連付けて考えること。 配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること。
実務経験のある教員	該当する　　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会が多くある。その準備のために一定の予習・復習時間を要する。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション　研究倫理に基づく活動	高尾茂子
第２回	演習グループ　チームビルディング	高尾茂子
第３回	課題解決フレームワーク（なぜなぜ分析）	高尾茂子
第４回	データで知る社会　課題1	高尾茂子

第５回	データで知る社会　課題２		高尾茂子
第６回	データで知る社会　課題解決ワーク		高尾茂子
第７回	データで知る社会　成果発表		高尾茂子
第８回	保健医療福祉分野１　課題１		高尾茂子
第９回	保健医療福祉分野１　課題２		高尾茂子
第１０回	保健医療福祉分野１　課題解決ワーク		高尾茂子
第１１回	保健医療福祉分野１　成果発表		高尾茂子
第１２回	保健医療福祉分野２　課題１		高尾茂子
第１３回	保健医療福祉分野２　課題２		高尾茂子
第１４回	保健医療福祉分野２　課題解決ワーク		高尾茂子
第１５回	保健医療福祉分野２　成果発表		高尾茂子
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ		高尾茂子
教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 看護	担当者	澤田　和子、高尾　茂子、森信　繁、福岡　美和、一ノ瀬　公美、門倉　康恵、赤在　あゆみ、赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけであり、人生そのものといえる。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考え行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要である。そのために、社会が求める人間像について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが重要である。 【到達目標】 ①自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②その目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識を向上させる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成される。合同授業では、キャラとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康や、一般的学力(自己理解)について講義や演習を行う。 授業全体を通して「自分を知る」「社会を知る」「生き方を考える(大学生活を含む)」「働き方を考える」というテーマで構成される。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動と発言(30%)、課題及びレポート(40%)、基礎学習(kiuiドリル)実施状況(30%)で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやレポートの記入内容にについては、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するのでファイリングし整理する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師による、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を実施する。 また、学科別授業において看護師・保健師の経験からの講義を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	配布される資料を読み、自身のキャリアについて考える。専門用語は事前に調べておき、授業後に振り返ることで身についていく。
オフィスアワー	平日昼休憩(12:40～13:30)に、研究室にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、キャリアとは何か	藤原

第２回	自分を知る・社会を知る：適性検査	外部講師（マイナビ）
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原・一ノ瀬
第５回	自分を知る：基礎学力確認(1回目)、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	専門職になるとは(国家試験の意味)	外部講師（吉川）・澤田
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター））
第８回	専門性の理解(看護師)	一ノ瀬
第９回	専門性の理解(保健師)	高尾
第１０回	専門性の理解（助産師）	福岡
第１１回	専門職の理解（認定看護師）	門倉
第１２回	専門職の理解（養護教諭・高校教諭）	赤澤
第１３回	多職種連携	赤在
第１４回	自分を知る：基礎学力確認(2回目)、将来に向けて	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	澤田
第１６回	レポート課題(キャリアデザインノートの提出)	澤田

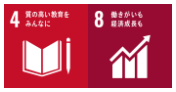
教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ 看護	担当者	安福　真弓、高尾　茂子、福岡　美和、飯田　尚美、赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業3年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会3年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も 
到達目標	テーマ：社会人として必要なマナーを理解し、就職活動に勝つための必要なスキルを身につけ、「なりたい姿」を実現する。 目標：①就職活動の流れを理解し、必要な技術を身につける。 ②社会や就職活動で必要な会話術を学び、日常から使えるようになる。 ③面接、グループディスカッションの場面でも自己表現が実践できる。
授業概要	初日と最終日以外は合同授業であり、社会人として、就職活動を行うために身につけておくべき内容から構成されている。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	毎回提出レポート(30%)、最終レポート(50%)、授業態度(20%)
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出されたパーソナルポートフォリオには、それぞれフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②合同授業と各学科授業日で教室が異なる。 ③授業態度及び毎回提出するレポートが評価の基準となる。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	配布資料、提示する参考書等をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	就職活動準備情報収集タイムマネジメント	マイナビ医　高尾茂子　3年チューター
第２回	病院減見学・インターンシップの必要性	マイナビ医　福岡美和
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ　安福真弓
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ　飯田尚美
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	3マイナビ・ベネッセ　赤澤真旗子
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ　高尾茂子
第７回	職種を学ぶ職業教育	京極真　福岡美和

第８回	社会人に必要なマナー	リクナビ　安福真弓
第９回	SPI（筆記試験）	リクナビ　飯田尚美
第１０回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ医　赤澤真旗子
第１１回	面接対策・GD/集団/個人	ビザビ　飯田尚美
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ　福岡美和
第１３回	３学科共通	京極真　安福真弓
第１４回	３学科共通	京極真　高尾茂子
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退お詫び	マイナビ医　赤澤真旗子
第１６回	試験	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅰ 看護				担当者	安福　真弓、中嶋　貴子		
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年				ナンバリング	GE-IT-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	授業と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限のコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習をおこなう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明を求める。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30％の重みづけで評価する。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。なお、評価のため実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のため実施した課題などについては、授業でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書・個人所有のパソコンを必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」を実施する。このシート未受験者の履修は認めない。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参

	加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	6号館4階の個人研究室において、基本的に水曜日の2限目をオフィスアワー（教授会のある日を除く）とする。

授業計画		担当者
第１回	第1回 オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認）	中嶋・安福
第２回	第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器	中嶋
第３回	第3回 デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	中嶋
第４回	第4回 OSとアプリケーション	中嶋
第５回	第5回 ファイルシステム操作	中嶋
第６回	第6回 社外文書の形式の理解とワープロソフトによる作成	安福
第７回	第7回 ワープロソフトによる社外文書の完成	安福
第８回	第8回 表計算ソフト操作	安福
第９回	第9回 表計算ソフトの課題の完成	安福
第１０回	第10回 プレゼンテーションソフト操作	安福
第１１回	第11回 プレゼンテーションソフトによる発表スライドの作成	安福
第１２回	第12回 課題の発表	安福
第１３回	第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	安福
第１４回	第14回 コンピュータによる問題解決	安福
第１５回	第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	安福
第１６回	第16回 単位認定試験	安福・中嶋

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー　入門編　＜改訂版＞　FPT2117	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-IT-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。

	これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社

教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護A	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	赤羽美鳥
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	赤羽美鳥
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	赤羽美鳥
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	赤羽美鳥
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	赤羽美鳥

第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	赤羽美鳥
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	赤羽美鳥
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	赤羽美鳥
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形	赤羽美鳥
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現	赤羽美鳥
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY	赤羽美鳥
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問	赤羽美鳥
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞	赤羽美鳥
第１５回	春学期の試験	赤羽美鳥
第１６回	春学期の総復習、フィードバック	赤羽美鳥

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護・子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄

第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文		平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形		平見勇雄
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続		平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		平見勇雄
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 看護	担当者	赤羽　美鳥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業でいますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０分でもよいので次の週までに合計６０～９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０分でよいので毎日自分で声に出して英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	金曜日1,2時限に来ています。質問のある方は、授業の前後にどうぞ。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての大雑把な説明と２回目の授業のさわり	赤羽美鳥
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	赤羽美鳥
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	赤羽美鳥
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	赤羽美鳥
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	赤羽美鳥
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	赤羽美鳥

第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	赤羽美鳥
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	赤羽美鳥
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	赤羽美鳥
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞	赤羽美鳥
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where	赤羽美鳥
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法	赤羽美鳥
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞	赤羽美鳥
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法	赤羽美鳥
第１５回	秋学期の試験	赤羽美鳥
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック	赤羽美鳥

教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

授業計画	担当者

第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄
第５回	メンバー交代　リンゴスター	平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション	平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー	平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア	平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出	平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況	平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ	平見勇雄
第１３回	世界制覇	平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール	平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画	担当者

第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄
第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」	平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死	平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー	平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行	平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム	平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト	平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード	平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー	平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン	平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー	平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター	平見勇雄
第１６回	筆記試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次

第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次

第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次

第７回	否定形		加藤健次
第８回	命令形		加藤健次
第９回	疑問形		加藤健次
第１０回	副詞		加藤健次
第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次

第７回	関係代名詞		加藤健次
第８回	過去分詞		加藤健次
第９回	直説法複合過去		加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順		加藤健次
第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二

第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二

第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文		清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞		清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター！ はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Iとドイツ語IIを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 0　自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0　挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二

第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語	清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形	清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学	清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞	清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇	清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化	清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情	清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現	清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二

第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二
第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ	清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順	清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情	清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞	清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ	清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法	清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ	清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式	清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習	孫基然

	4、鼻音の発声練習	
第４回	1、発音の復習 2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、助動詞「会」と「能」 ２、選択疑問文	孫基然
第２回	１、助動詞「想」 ２、反復疑問文	孫基然
第３回	１、経験表現	孫基然

	2、連動文	
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「対」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「毎……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然

第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然
第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然

第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然
第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子

第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力ー大学生のための日本語練習帳ー	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子

第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子
第８回	日本文学史（５）-近代文学	雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学	雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）	雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）	雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）	雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品	雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）	雲津 英子
第１５回	まとめ	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とそ	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館など

の時間	に鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	2 号館 6 階の前嶋研究室において、毎週月曜日 5 時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 看護・理学・作業	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	定期試験と講義内レポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、講義内レポートの記述内容3０％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は講義内容について、講義内レポートと感想により評価する。課題に対するフィードバックは講義内にて実施する。
履修条件・注意事項	準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。　また、学校現場を理解するという意欲もって、主体的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション：講義の進め方	國佐　栞
第２回	スポーツの意義：スポーツとは何か？	國佐　栞
第３回	社会生活の変化とスポーツの視点	國佐　栞
第４回	明治時代以降の学校体育	國佐　栞
第５回	戦後の社会教育：高度経済成長期のスポーツ	國佐　栞

第６回	スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング	國佐　栞
第７回	成長、発育、発達とスポーツ	國佐　栞
第８回	生涯スポーツと生きがいづくり	國佐　栞
第９回	スポーツとトレーニング	國佐　栞
第１０回	スポーツと経済	國佐　栞
第１１回	スポーツの多様化と住民スポーツ	國佐　栞
第１２回	地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア	國佐　栞
第１３回	地域スポーツイベントと地域活性化	國佐　栞
第１４回	中高年齢のライフステージのスポーツ	國佐　栞
第１５回	まとめ	國佐　栞
第１６回	試験	國佐　栞

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２	生涯スポーツの理論と実際	参・出版社名2	大修館書店
参・著者名2	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	参・ＩＳＢＮ2	978-4469266986

授業科目名	生涯スポーツ実習 （看護・理学・作業）	担当者	國佐　栞
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	様々なスポーツ種目を通して、スポーツの楽しさを理解し、それぞれの種目に興味を持つことをテーマに。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することを到達目標とする。
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、バレーボール、バトミントン）を通してルールを守り、技術、戦術、体力を総合的に高めるとともに、生涯スポーツに関わることができる態度と能力を身につける。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はスポーツ実施時のルールや注意点について、講義中の実践を通して評価する。課題に対するフィードバックは講義後半で実践を通して実施する。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 スポーツウェア等の準備（ジーンズ等は認めない）
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味、関心を持つこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので講義終了後またはメールにて対応する。

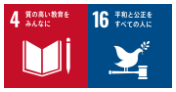
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	國佐　栞
第２回	バスケットボール	國佐　栞
第３回	バスケットボール	國佐　栞
第４回	バスケットボール	國佐　栞
第５回	バスケットボール	國佐　栞
第６回	フットサル	國佐　栞
第７回	フットサル	國佐　栞
第８回	フットサル	國佐　栞
第９回	バトミントン	國佐　栞
第１０回	バトミントン	國佐　栞
第１１回	バトミントン	國佐　栞
第１２回	バトミントン	國佐　栞
第１３回	バレーボール	國佐　栞
第１４回	バレーボール	國佐　栞

第１５回	バレーボール	國佐　栞	
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示す	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	

第１０回		山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本

第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本

第１３回	暇と退屈の倫理学	山本	
第１４回	スピノザ	山本	
第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

	授業計画	担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居

第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二

第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二	
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二	
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。

	原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義

年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

授業計画		担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文

第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文
第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分	生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売	生駒正文
第１６回	（１６）定期試験	生駒正文

教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥

第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥	
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥	
第１６回	定期筆記試験	張秉煥	
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

授業計画	担当者

第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂

第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。5.国家による管理	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚の経済的原因。4.非婚の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力をうしなったか	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わり。5.日本経済の没落	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に役30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子

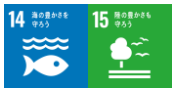
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子
第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

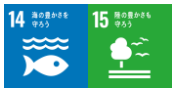
授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験

	を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画	担当者

第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二

第１５回	地球環境問題と人類		末吉秀二
第１６回	試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2017年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本

第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮

第１１回	青年期前期	宇都宮	
第１２回	青年期後期	宇都宮	
第１３回	青年期の病理	宇都宮	
第１４回	成人期	宇都宮	
第１５回	まとめ	宇都宮	
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-2-213

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井

第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井
第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉	森井
第１１回	言語を使った世界の広がり	森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論	森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性	森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育	森井
第１５回	まとめ	森井
第１６回	定期試験	森井

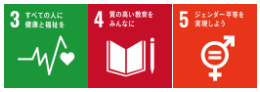
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝

第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝
第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルメディアと社会	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	AN-AN-1-108

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって

バック方法	（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。 復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	薬理学			担当者	長町　榮子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-107		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は、薬物の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について学ぶことができる。学生は、薬物に対する生体の反応についての基礎的知識を習得することができる。すなわち、学生は薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗菌剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬等の作用機序、有害作用、臨床応用等について習得することができる。
授業概要	医薬品の薬理作用についての知識は医療に携わる者にとっては、必須なものである。従って、薬物の最新の薬理作用とその作用機序、臨床応用、有害作用、薬物動態等について教授する。さらに、「薬物に対する生体の反応」についての基礎的知識を身につけさせる。薬の作用と有害作用（副作用）、循環器系に作用する薬、抗生剤の抗菌スペクトルと有害作用、抗癌剤、消化性潰瘍治療薬の作用機序と臨床応用、抗うつ薬・抗精神病薬等の精神科領域の薬、糖尿病治療薬等の長期間投与薬物の作用機序、有害作用、臨床応用について学ぶ。この科目は、医療現場において実務経験のある薬剤師である教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	試験の成績（80%）を中心に、授業態度（10%）、課題レポート等（10%）による総合評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	授業中は、講義内容を理解することを心がけること。疑問は積極的に質問すること。
実務経験のある教員	該当する　内容　薬剤師
事前学習・事後学習とその時間	授業予定の教科書のページを、熟読しておくこと。また、授業終了後には講義内容及び関連事項を、ノートにまとめておくこと。予習および復習には各90分程度を要する。
オフィスアワー	水曜日3限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

授業計画		担当者
第１回	薬理学の概念・薬理作用	長町
第２回	薬効に影響を及ぼす要因・薬の有害作用	長町
第３回	3.薬の適用・各種製剤と処方箋・処方の実際	長町
第４回	抗生物質各論・合成化学療法薬	長町
第５回	がんの化学療法・免疫抑制薬・消毒薬その他	長町
第６回	交感神経作用薬・副交感神経作用薬その他	長町
第７回	全身麻酔薬・催眠薬・抗精神病薬その他	長町
第８回	抗うつ薬・抗てんかん薬・麻薬性鎮痛薬その他	長町
第９回	アレルギーと抗ヒスタミン薬・炎症と抗炎症薬	長町
第１０回	強心薬・狭心症治療薬・抗不整脈薬	長町
第１１回	抗高血圧薬	長町
第１２回	血管拡張薬・利尿薬その他	長町
第１３回	呼吸器系薬物（気管支喘息治療薬、鎮咳薬他）	長町
第１４回	消化器系薬物（胃・十二指腸潰瘍薬他）	長町
第１５回	物質代謝に作用する薬物（糖尿病治療薬他）	長町
第１６回	筆記試験	長町

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　薬理学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	大鹿英世、吉岡充弘、井関　健著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-26-004716-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	今日の治療薬	参・出版社名１	南江堂
参・著者名１	浦部晶夫、島田和幸、川合眞一編集	参・ＩＳＢＮ１	978-4-524-22657-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅰ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-109		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。　また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	呼吸器疾患(1)-症候、検査、治療、呼吸不全	高橋
第２回	呼吸器疾患(2)-感染症、アレルギー疾患	高橋
第３回	呼吸器疾患(3)-気管支喘息、COPD、間質性肺疾患	高橋
第４回	呼吸器疾患(4)-肺癌、肺塞栓、換気・胸膜・縦隔疾患	高橋
第５回	消化管疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第６回	消化管疾患(2)-食道疾患、消化性潰瘍	高橋
第７回	消化管疾患(3)-胃癌、炎症性腸疾患	高橋
第８回	消化管疾患(4)-大腸癌、急性腹症	高橋
第９回	肝・胆・膵疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１０回	肝・胆・膵疾患(2)-ウイルス肝炎、肝硬変	高橋
第１１回	肝・胆・膵疾患(3)-肝癌、代謝性肝疾患	高橋
第１２回	肝・胆・膵疾患(4)-胆道疾患、膵疾患	高橋
第１３回	膠原病・アレルギー疾患(1)-症候、検査、治療、アレルギー性疾患	高橋
第１４回	膠原病・アレルギー疾患(2)-関節リウマチ、SLE、皮膚筋炎、強皮症	高橋
第１５回	膠原病・アレルギー疾患(3)-血管炎	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	看護のための臨床病態学 第4版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集), 吉山直樹 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-50514-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅱ			担当者	中角　祐治、服部　俊夫		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-110		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	神経系および循環器系の病態生理の理解であり、このテーマに関わる看護師国家試験問題に対応できるレベ ルの知識の習得を到達目標とする。
授業概要	病態生理の理解には、当然ながら正常解剖・生理の理解が不可欠である。この講義では神経系および循環器系の解剖と生理を順次 講義し、それにリンクさせて関連疾患の講義を行う。講義はプリントを配布し、同じ内容のスライド（パワーポイント）に必要な画像 や図を加えたもので行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	受講態度、期末試験結果などを合わせて総合的に評価する。成績評価基準は受講態度10%、試験成績90%を目安とする。試験後不正　解の原因を解説する講評時間を設ける。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業において小テストを実施し、授業内容の確認を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、スライドでの講義と同じ内容のプリントを配布するので、講義中のノートテイクはほとんど必要ない。講義内容の　理解に集中してほしい。可能な限り早めにプリントを配布するので、1年次に学習した内容も含め、あらかじめ疑問点、理解のでき ない内容を確認しておいてほしい。特に神経系の解剖は難解な専門用語が多く、また内容も多いので、予習、復習を含め相当の自学 自習の努力が必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　両教官ともに、臨床分野の教育・診療経験が豊富である。
事前学習・事後学習とその時間	この講義では2冊の教科書を用意している。講義は教科書に則り行うので、教科書の予習と講義時に配布する印刷物を用いて、復習 が必要である。各3 0分以上。
オフィスアワー	月曜日　午後１時

授業計画		担当者
第１回	神経系の構造と機能	中角祐治
第２回	神経診断学	中角祐治
第３回	脳血管障害、外傷性脳損傷	中角祐治
第４回	変性疾患、脱髄疾患	中角祐治
第５回	末梢神経・筋疾患	中角祐治
第６回	感染、腫瘍、中毒	中角祐治
第７回	先天性疾患、機能性疾患	中角祐治
第８回	循環器系の解剖と生理 心臓と全身循環	服部俊夫
第９回	循環器の疾患とその病態	服部俊夫
第１０回	心不全、心疾患	服部俊夫
第１１回	高血圧症	服部俊夫
第１２回	不整脈	服部俊夫
第１３回	動脈系疾患	服部俊夫
第１４回	静脈系疾患	服部俊夫
第１５回	循環器まとめ	服部俊夫
第１６回	単位試験	中角祐治 服部俊夫

教科書

教・書籍名１		教・出版社名１	系統看護学講座専門ＩＩ循環器
教・著者名１	系統看護学講座専門II脳・神経	教・ＩＳＢＮ１	医学書院
教・書籍名２	医学書院	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	病態生理学Ⅲ			担当者	高橋　淳		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-NU-2-111		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。　また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では、学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得することを到達目標とする。
授業概要	病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。このように学習することは患者さんにおけるナースの役割と位置づけを学び他のコメデイカルの職種との連携を考える上でも重要である。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	平常の授業態度と定期試験の成績を組み合わせて評価する。成績評価基準；最終試験(80%)、授業態度など（20%）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	試験問題については、講義の中で解説する。
履修条件・注意事項	教科書での予習、復習を前提にして授業を進める。講義には必ず教科書を持参すること。授業に対する取り組みの姿勢については厳しく指導する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、内科臨床医としての実務経験を持つ教員が、その経験を生かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	講義に出席するだけでは単位をとれないので、必ず予習、復習をおこなうこと。予習、復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	個人研究室（6414）にて、水曜日の4時限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	代謝性疾患(1)-症候、検査、治療、糖尿病	高橋
第２回	代謝性疾患(2)-糖尿病合併症、低血糖症	高橋
第３回	代謝性疾患(3)-肥満、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症	高橋
第４回	代謝性疾患(4)-骨粗鬆症、内分泌疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第５回	内分泌疾患(2)-下垂体・甲状腺疾患	高橋
第６回	内分泌疾患(3)-副甲状腺・副腎疾患	高橋
第７回	腎・泌尿器疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第８回	腎・泌尿器疾患(2)-慢性腎臓病、腎不全	高橋
第９回	腎・泌尿器疾患(3)-糸球体腎炎	高橋
第１０回	腎・泌尿器疾患(4)-腎盂腎炎、泌尿器科疾患(1)	高橋
第１１回	腎・泌尿器疾患(5)-泌尿器科疾患(2)	高橋
第１２回	血液疾患(1)-症候、検査、治療	高橋
第１３回	血液疾患(2)-貧血	高橋
第１４回	血液疾患(3)-白血病	高橋
第１５回	血液疾患(4)-悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患	高橋
第１６回	試験	高橋

教科書

教・書籍名１	看護のための臨床病態学 第4版	教・出版社名１	南山堂
教・著者名１	浅野嘉延 (編集), 吉山直樹 (編集)	教・ＩＳＢＮ１	978-4-525-50514-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護管理論						担当者	竹﨑　和子
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年						ナンバリング	HS-NU-4-801
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義	
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 看護専門職として質の高い看護を効果的に提供するために必要な看護管理の基本的な知識と理論を学ぶ。 到達目標 １．看護管理に基本概念および基本的理論を理解できるようになる。 ２．看護組織の構造、管理、改革について理解できるようになる。 ３．人材育成、キャリア開発について理解できるようになる。 ４．組織において直面する倫理的課題、対策について理解できるようになる。 ５．医療における安全保障の意義について理解できるようになる。 ６．看護を取り巻く多様な状況から、看護管理の直面する課題とその背景を理解できるようになる。
授業概要	授業の概要 看護を取り巻く社会背景、医療環境の変化、看護管理の概要に関する知識を深め、安全で質の高い医療と看護を提供するためのシステム構築について理解を 深める。看護の対象となる人々に良質な看護を提供するための組織や看護実践にひつようなマネジメントを考える。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験70%　課題レポート20%　授業態度　10%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出された課題についてコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	・医療に関連する様々な社会現象に関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと ・毎回の授業進行に合わせ２時間程度予習してくること ・授業終了後はノート整理等２時間程度復習すること ・指定した教科書、配布資料等は必ず持参すること ・課題レポートは期限厳守で提出すること
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護管理者として実務経験（18年）を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：次回の授業内容に向けて看護管理にかんする教科書・参考書を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける（90分） 復習：授業内容を再確認して理解を深める。 課題レポート：検討課題に関する各自の意見をまとめて論理的に記載する。
オフィスアワー	火曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護管理の概念	竹﨑
第２回	看護ケアのマネジメント	竹﨑

第３回	医療安全のマネジメント	竹﨑
第４回	チーム医療のマネジメント	竹﨑
第５回	看護管理と倫理	竹﨑
第６回	看護業務のマネジメント	竹﨑
第７回	看護職のキャリアマネジメント	竹﨑
第８回	看護サービスのマネジメント	竹﨑
第９回	人材のマネジメント	竹﨑
第１０回	環境・物品・情報のマネジメント	竹﨑
第１１回	組織におけるリスクマネジメント	竹﨑
第１２回	マネジメントに必要な知識と技術	竹﨑
第１３回	組織のマネジメント	竹﨑
第１４回	看護を取り巻く諸制度	竹﨑
第１５回	まとめ	竹﨑
第１６回	定期試験	竹﨑

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践　看護管理	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上泉　和子他	教・ＩＳＢＮ１	9784260031820
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	家族看護学			担当者	安福　真弓、掛谷　益子、岡本　さゆり、中嶋　貴子、竹﨑　和子、福岡　美		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-802		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：家族看護の基礎理論と活用 到達目標：家族とは、システムとしての特徴を有しながら発達している1単位の生命体である。このような1単位の家族を看護の対象として理解するために、家族看護学にはさまざまな理論と技法があることを理解し、家族を一つのユニットとして捉えてアセスメントするための基礎理論を、実際の家族事例について活用できる。
授業概要	人は家族システムのなかに生きており、家族は地域社会システムの下位システムでもある。家族はその社会の文化的背景に大きな影響を受けて時代とともに変容している。看護が個人を対象とする場合も、地域を対象とする場合においても、家族を一つのユニットとして捉え、家族が自らの健康問題を解決できるように支援することが重要である。そこで、本科目では、家族の形態や機能・家族の健康の概念など看護における家族の捉え方及びそれらの歴史的変化について学習する。更に、種々の健康課題の発生やライフイベントから家族成員はどんな影響を受け、ユニットとしての家族はどんな状態におかれるのかを共感的に理解する。また、そのような家族の状態を理解するための基礎理論を学び、ユニットとしての家族をアセスメントする方法を学習する。これらの学習を通し、自己の捉え方の特徴に気付き家族の様々なありようを受け入れる看護職としての態度を培う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク
評価方法と割合	各領域分担教員評価（75%）・試験（25%）で評価する。 各領域教員の授業で出される課題を必ず提出する。課題提出がない場合、その領域が評価でできないことがある。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバック する。
履修条件・注意事項	家族というキーワードの理解を深めるために、今まで学んできた看護過程や各領域での看護を振り返り統合させていくことが必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床における課題や必要とされる知識について講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	授業は各領域教員によりオムニバスに実施される。それぞれの領域での課題を理解するために、予習および復習では、これまで学習したことと統合できるようしていく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	家族看護の定義・看護学における家族の理解	掛谷
第２回	家族に関する理論	掛谷
第３回	成人期の患者と家族	竹﨑
第４回	小児と家族　こどもを取り巻く家族	安福
第５回	高齢者と家族	岡本
第６回	精神科疾患患者と家族	中嶋
第７回	出産と家族	福岡
第８回	家族看護過程の展開／試験	掛谷
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	家族看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上別府圭子　著者代表	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅰ			担当者	田中　富子、市村　美香、飯田　尚美、一ノ瀬　公美		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-803		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習・グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	統合看護演習では、看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることがテーマである。具体的には成人・老年・在宅・地域など領域毎の講義や演習を通して得た看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることができる。
授業概要	健康問題解決のために各領域の学びを統合するとともに、多角的な視点から実践的に新たな知見を学ぶ。具体的には、これまでの学習の知識の統合に加え、地域の健康課題に気づき，介護予防事業での在宅高齢者への支援、地域診断や健康教育などによる地域貢献を行い、このことを通して総合的な看護の視野と感性を培う。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・演習を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	授業や演習への取り組み姿勢や予習復習なども含め総合的に判断し評価する。　レポート100 ％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	テーマ毎に作成したレポートを講義でフィードバックし、各自で課題や地域課題を振り返る
履修条件・注意事項	日頃から社会の出来事にも目を向けること。様々な現地での演習・実習に積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容　地域住民や地区組織・社会資源と連携し地域をフィールドとした授業内容を実務経験の実績により行う
事前学習・事後学習とその時間	各演習で提示された資料のほか、地域の保健活動や在宅看護，地域包括ケアシステムに関する社会動向などを文献やマスコミ情報などから収集し，問題や課題を明確にするなど、予習・復習を必ずすること
オフィスアワー	個人研究室にて火曜日4次限で行う

	授業計画	担当者
第１回	1:ガイダンス・看護感について	田中富子
第２回	2:地域包括ケアシステム 公助	田中富子・飯田・外部講師
第３回	3:地域包括ケアシステム共助	田中富子・一ノ瀬・外部講師
第４回	4:地域包括ケアシステム自助	田中富子・市村・外部講師
第５回	5:ケアシステムと在宅医療	田中富子・飯田・外部講師

第６回	6:地域介護予防事業現地実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第７回	7:地域介護予防事業学内実習	田中・一ノ瀬・外部講師
第８回	8:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第９回	9:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１０回	10:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１１回	11:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１２回	12:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１３回	13:地域高齢者の生活①	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１４回	14:地域高齢者の生活②	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１５回	15:まとめ・発表	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１６回	16：まとめレポート	田中・市村・飯田・一ノ瀬

教科書			
教・書籍名１	授業ごとに資料を作成	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合実習 （病院施設・地域医療）			担当者	竹﨑　和子、赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-804		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ Ⅰ看護師長・チームリーダーの業務内容を見学して、看護管理の組織的活動という視点から看護チームにおける協働・安全管理・情報管理などについて理解を 　深める。 Ⅱ地域包括医療について学ぶことを通じて、患者・家族の視点に立った地域連携の主体的な実践能力を養う。 到達目標 Ⅰ　①看護管理について理解できる　②看護チームにおけるリーダシップ・メンバーシップを理解できる。 　③複数の患者を受け持ち優先順位・時間管理・安全を考慮した援助について理解できる。　④マネジメントに必要な知識と技術を理解できる。 Ⅱ　①人口の高齢化に伴う2025年問題を踏まえた医療・介護の在り方について理解できる。②地域連携室の機能と役割を理解できる。 　③地域包括医療チームのメンバーシップを理解できる。　④退院後の生活を見据えながら患者・家族の視点に立った援助を理解できる。
授業概要	Ⅰ病棟における看護師長・チームリーダーの業務を見学し、管理の実際を体験する。 　受持ち患者の全体像を理解し、指導看護師と共に多職種カンファレンス等に参加し、継続看護、チーム医療の実際を体験する。 Ⅱ地域連携室のソーシャルワーカーや退院調整看護師、病棟師長等により講義や地域連携関連施設の見学、患者・家族との関わりや病院内外関連機関、関連職種 による支援・連携状況の見学等により、退院後地域で生活する人々の健康の保持・増進のために必要なニーズに応じた多職種連携の在り方を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	実習態度50%　実習記録30%　課題レポート20%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習記録にコメントを返すため今後の実習に役立てること。
履修条件・注意事項	看護学生として、主体的に、礼儀正しく責任ある行動で実習に取り組む。 個人情報の管理は厳重に行う。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、 ・臨床現場で看護管理者としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ・保健・医療・福祉分野で保健師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習： Ⅰ　実習病院及び病棟概要、看護方針等調べまとめる。 Ⅱ　地域の特性や地域包括医療について事前に調べまとめる。 復習

	Ⅰ・Ⅱともに実習中、疑問に思ったことを調べるとともに指導された内容について調べまとめる。
オフィスアワー	各グループ担当教員が実習巡回時や昼休憩等適宜実施する。

授業計画		担当者
第１回	実習指導要綱に基づき実習展開を行う。 看護管理：5日 地域包括：5日	竹﨑　赤澤　非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①　　医学書院
教・著者名１	上泉和子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03182-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学概論			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-805		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の目的と特徴が理解できる。 在宅看護の現状を知り、看護師に求められる役割と機能が理解できる。 ・疾病や障害を持ちながら、在宅で療養する人とその家族を理解する。 ・在宅看護の仕組みについて理解する。 ・在宅看護に関連する法制度について理解する。
授業概要	在宅看護の目的や特徴、法令・制度について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験80%、受講態度・提出物20%にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限 研究室

	授業計画	担当者
第１回	在宅看護の目指すもの	市村美香
第２回	地域包括ケアシステム	市村美香
第３回	在宅看護の対象者	市村美香
第４回	在宅看護の対象者（家族）	市村美香
第５回	訪問看護制度	市村美香
第６回	療養の場の移行に伴う看護	市村美香
第７回	療養を支える在宅ケアチーム	市村美香
第８回	筆記試験、まとめ	市村美香
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅰ	担当者	市村　美香
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-806

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の現状を知り、在宅における日常生活援助・医療処置援助の技術を理解できる。 また、在宅療養者の特性をふまえた援助について考えることができる。
授業概要	在宅で求められる医療技術について学習し、その具体的方法について考える。それにより、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	これまでに学習してきた医療処置、基礎看護技術について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術（経管栄養法）	市村美香
第３回	在宅医療技術（HPN）	市村美香
第４回	在宅医療技術（排尿援助）	市村美香
第５回	在宅医療技術（呼吸援助）	市村美香
第６回	在宅医療技術（HPPV）	市村美香
第７回	在宅医療技術（HOT）	市村美香
第８回	在宅医療技術（排痰援助）	市村美香
第９回	在宅医療技術（ストーマ管理）	市村美香
第１０回	在宅医療技術（皮膚創傷管理）	市村美香
第１１回	在宅医療技術（外来治療）	市村美香
第１２回	在宅医療技術（がん治療、終末期援助、疼痛緩和）	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	振り返り、フィードバック	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅱ	担当者	市村　美香
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-807

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源の活用方法について理解できる。 在宅看護の特性をふまえた看護過程の展開方法が理解でき、在宅ケアシステムにおける看護職の役割について理解できる。
授業概要	在宅療養者の特徴、主な健康障害、看護援助の実際、家族支援方法、社会資源の活用方法、他職種との連携と協働について学ぶ。 ペーパーペイシェントでの看護過程の展開を行い、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。 新聞や雑誌などで紹介されている、在宅医療、在宅看護、在宅介護などについての情報に関心を持つこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術の振り返り前半	市村美香
第３回	在宅医療技術の振り返り後半	市村美香
第４回	事例展開（ALS）一般論	市村美香
第５回	事例展開（ALS）サービス	市村美香
第６回	事例展開（ALS）看護	市村美香
第７回	事例展開（脳梗塞）一般論	市村美香
第８回	事例展開（脳梗塞）サービス	市村美香
第９回	事例展開（脳梗塞）看護	市村美香
第１０回	事例展開（認知症）一般論	市村美香
第１１回	事例展開（認知症）サービス	市村美香
第１２回	事例展開（認知症）看護	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	事例展開（実習）	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-

			5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学実習			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-808		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源活用の実際について学ぶ。 対象者とその家族が抱えているニーズを理解し、必要な支援について考えることができる。 在宅ケアシステムを理解し、在宅看護における看護師の役割について考えることができる。
授業概要	訪問看護ステーションにおいて、2週間の実習を行う。看護師と同行訪問を行い、在宅看護の実際について学ぶ。受け持ち利用者について、情報収集、アセスメント、関連図作成から対象の全体像を把握し、必要な看護について考え、実施する。併設の施設（居宅介護支援事業所、通所系サービスなど）での実習や、サービス担当者会議等へ参加することもある。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を、評価基準に基づき総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習の学びは実習反省会やまとめの会で共有したりフィードバックしたりする。
履修条件・注意事項	看護学生として責任ある行動をとるよう心がけ、積極的態度で実習に臨んでください。 個人情報については管理を厳重に行ってください。 実習オリエンテーション、現地オリエンテーション、まとめの会には必ず出席してください。評価の対象となります。 実習は「看護学実習手引 在宅看護学実習」に基づいて行う。 他事業所での実習もあるため、事前学習を十分に行って実習に臨む。 実践した看護をグループで共有してください。また、実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深めるてください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	訪問看護活動に関係する制度、これまでに学習した医療処置や基礎看護技術について必ず復習をしてから実習に臨むこと。
オフィスアワー	水曜2限（実習中は事前に連絡をしてください）

授業計画		担当者
第１回	臨地実習（２週間）：在宅看護過程の展開	市村美香、非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	チーム医療			担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美、寺岡　睦		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-811		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 学生が、患者を中心とした安全で良質な医療や療養上の課題解決を目標に、チーム医療の構成員として看護の専門性を活かし、チーム力を維持し、発展させるための機能について理解できる。
授業概要	医療体制の歴史的流れについて理解し、現代医療におけるチーム医療の必要性や重要性を理解し、チーム医療を推進する施策や各専門職の役割、活動するための基本的スキル・能力等について学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート30%　　グループワークの参加状況・プレゼンテーション20%　定期試験60%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートにコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	秋学期「統合実習」に関連付けて学ぶこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床現場でチーム医療の実務経験を持つ教員が、チーム医療における信念対立解明アプローチの実践等の経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：授業終了後に、授業内容を再確認して理解する。（120分） 3年次の臨地実習体験から、チーム医療に関連した体験を振り返る。
オフィスアワー	木曜日　12：40～13：30　6号館4階　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	チーム医療の概念　　他職種連携教育	竹﨑
第３回	チーム医療における信念対立	寺岡
第４回	チーム医療における信念対立解明アプローチ	寺岡
第５回	チーム医療活動の実践	飯田
第６回	チーム医療における専門性	飯田
第７回	チーム医療におけるコミュニケーション	飯田
第８回	まとめ・定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じて資料を配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護政策論			担当者	高尾　茂子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-812		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／３．すべての人に健康と福祉を／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	保健医療福祉看護政策への関心を高め、政策決定過程への参加活動の必要性の認識を高めることができる。
授業概要	本授業をとおして、まずは保健医療福祉看護政策に対して関心を高める。看護職として勤務するようになったときに、労働環境・労働条件の改善、医療事故対策、看護職員の配置基準などの看護優先課題が対象者への安心安全な看護を提供するために必要であることが認識できること、またその実現のために看護政策決定への参加活動の必要性が認識できることが求められる。看護の問題を現象のみで捉えるのではなく、社会学的想像力をもって考えることができ、政策的な思考ができる看護職の育成につながる授業である。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	毎回提出レポート（30%）、最終レポート（50%）、授業の態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること
実務経験のある教員	該当する　／　内容：授業は、病院や看護協会、政策の場等において看護の労働環境改善や医療事故対策など豊富な実務経験を有する教員（講師）が担当し、具体的な実例を交えた講義を行い、イメージをもちながら学ぶことができる。
事前学習・事後学習とその時間	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心をもち、授業と関連づけて考える。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	看護政策概説①	学外講師、高尾茂子
第２回	看護政策概説②	学外講師、高尾茂子
第３回	身近な看護政策①	学外講師、高尾茂子
第４回	身近な看護政策②	学外講師、高尾茂子
第５回	看護と政治①	学外講師、高尾茂子
第６回	看護と政治②	学外講師、高尾茂子
第７回	まとめ	学外講師、高尾茂子
第８回	試験	高尾茂子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際看護学			担当者	市村　美香、服部　俊夫		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-813		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	国際看護では、国外だけでなく日本に在住する外国人等あらゆる人間を対象とする看護について学ぶ。 １．世界に関心を持ち国際的問題に興味を持つことができる。 ２．国際看護を国内・国外の看護活動として捉えることができる。 ３．国際看護活動の支援を必要とする対象を理解することができる。 ４．多文化を理解し、その看護活動を理解することができる。 ５．国際協力における看護職の役割を理解することができる。
授業概要	グローバル社会が進む中、人間の生命や尊厳、健康においてもその影響を受けている。健康関連課題に対し、看護職がどのようにかかわることができるのか考察する。日本人・外国人を問わずあらゆる国で生活する人間が遭遇している健康問題について視野を広め考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験70%、課題・授業態度30%で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	世界で起こる問題やニュース等に関心を持ち、国際的な健康上の問題についての演習準備をすること。 予習や復習の自己学修をしっかりして、学びを深めましょう。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医療従事者としての実務経験のある教員と国際医療の知見を多くもつ教員により指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	課題について調べてきたことに基づき参加型学習法により授業を行う為、必ず課題について自己学修して参加すること。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、概論	市村
第２回	国際支援活動や国際協力機関の活動	市村
第３回	グローバルヘルス	市村
第４回	各国の現状と看護（情報収集）	市村
第５回	世界の健康問題（感染症）	服部、市村
第６回	各国の現状と看護（まとめる）	市村
第７回	各国の現状と看護（発表）	市村
第８回	筆記試験、まとめ	市村
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　看護の統合と実践③　災害看護学・国際看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-260-01679-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	災害医療			担当者	澤田　和子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-814		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	災害現場での医療援助、看護活動および被害者の生活や健康問題への支援、心のケアについて考えていく。効果的な医療援助や看護活動のあり方について自分の考えを表現できることを到達目標とする。
授業概要	大害医療は、大規模災害（地震、火災、津波）等により、対応する側の医療能力を上回るほど多数の医療対象者が発生した時に行われる医療である。災害の及ぼす生命や健康生活への被害を最小限にとどめるために、災害現場での看護活動と災害後の中長期にわたる被災者の生活や健康問題への支援、心のケアについて理解できる。 災害のイメージができるよう視聴覚教材を用いながら進めていく。 災害時の看護活動の理解として、慢性疾患を抱える看護として認定看護師を迎え理解を深めていく。 災害現場においてのトリアージの実際を演習を通じて理解を深めていく。 また、認定看護師・DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（６０％）、提出物（３０％）、授業態度（１０％）を合わせて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	課題提出（期限厳守）を定期試験受験の条件とする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学びを考えることを期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容：看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、また、認定看護師、DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業進行に合わせ予習し、授業ごとにノートをまとめておくこと（予習・復習） なお、予習、復習には各2時間程度を要する。 身の回りにある災害関連について関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと。
オフィスアワー	平日12時40分～13時30分（6438研究室）

	授業計画	担当者
第１回	災害看護とは	澤田
第２回	災害医療の基礎知識	澤田
第３回	災害看護の基礎知識	澤田
第４回	災害急性期医療・看護	外部講師
第５回	DMATについて	外部講師
第６回	災害時の看護活動（慢性疾患を抱える患者の看護）	外部講師
第７回	災害サイクルについて	澤田
第８回	災害時の備えについて/単位認定試験	澤田
第９回		

第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学　看護の統合と実践③	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	竹下　喜久子（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03570-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救命救急			担当者	飯田　尚美、赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-815		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	1. 救命救急の概念と救急医療ｼｽﾃﾑが理解できる。 2. 救命救急で遭遇する事の多い疾患･外傷などの病態について理解できる。 3. 生命の危機的状況にある人のアセスメントを述べることができる。 4. 生命の危機的状況にある人の対象の特徴と看護について考えることができる。
授業概要	救命救急における看護の役割を理解し、適切な援助が実践できるための基本的な知識・技術を学ぶ。 具体的には、救急患者の主要病態と救急処置を基盤に、生命の危機的状況にある人の看護について学ぶ。 臨床経験のある医師及び看護師が実務経験に基づく講義を行う。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）、課題提出（レポート）（30%）を合わせて評価する。 評価の詳細については、第一回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題を授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この科目は統合分野であり、これまで学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術が必要である。 難解な専門用語も多いので、予習・復習を含め相当の自学自習の努力を期待する。
実務経験のある教員	該当する　　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、1～3年生で学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術を復習しておく。また、必要時、事前にプリントを配布するので熟読し、関連事項について予習する。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日2時限目　：　６号館４階　飯田（6421）研究室 火曜日5時限目・水曜日5時限目　：　６号館４階　　森（6412）研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 救命救急の概念 救命医療システム	飯田
第２回	救命救急処置および緊急検査 全身と外観の観察とアセスメント ALS（気管挿管）	赤在
第３回	救命救急における主要病態の理解：呼吸器系、循環器系	赤在
第４回	救命救急における主要病態の理解：脳・神経系、外傷	赤在
第５回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：A 気道、B 呼吸	飯田
第６回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：C 循環、D 中枢神経系	飯田
第７回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第８回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第９回	終講試験	赤在・飯田
第１０回		
第１１回		

第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　別巻　救急看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学（４）臨床看護総論	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	香春　知永　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論・各論	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	編集：矢永　勝彦、小路　美喜子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護教育				担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年				ナンバリング	HS-NU-4-816		
必修・選択	選択	単位数	1単位		時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 　学生が、看護教育の歴史的変遷、教育制度、教育課程について学修し、看護職者としての自らのキャリア発達に向けた教育や学習の意義を習得できる。 到達目標 １．看護教育の歴史と制度が理解できるようになる。 ２．大学における看護教育の在り方が理解できるようになる。 ３．進路選択における新人教育の内容が理解できるようになる。 ４．自らのキャリア発達に向けた看護生涯教育や自己評価の意義と方法が理解できるようになる。
授業概要	看護教育の歴史や制度を学び、現状と課題について考察する。看護学教育の特徴を理解して、看護職者としての教育的視点を養うと共に、進路選択に必要な条件や自分自身の方向性を考え、将来のキャリアアップに向けた目標設定をイメージする機会とする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート60％　グループワークの参加状況・プレゼンテーション40％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートはコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	①　看護基礎教育における自己の成長が表現できるよう、今までの学生生活の中での振り返りを行う。 ②　卒業後の自分自身のキャリアアップに関して、具体的な方向性を描くことができる。 ①②について、よく考え自分の意見を纏めて授業に臨むこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床で看護管理者としての看護師教育、認定看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する（120分） 提示した課題内容について検討し、各自の意見えお纏めて記載する。
オフィスアワー	水曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	看護教育の歴史	竹﨑
第３回	日本の看護教育制度	竹﨑
第４回	新人教育とキャリアアップ	竹﨑
第５回	看護職の資格認定制度	飯田
第６回	認定看護師の実践活動 ＜摂食嚥下障害看護＞	飯田
第７回	専門職としてのキャリアアップ	竹﨑　飯田

第８回	まとめ 定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない 必要に応じて資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅱ			担当者	安福　真弓、佐藤　三矢、京極　真、中嶋　貴子、森下　元賀、市村　美香、高尾　茂子、中瀬　克己、福岡　美和、寺岡　睦、赤在　あゆみ、長町　榮子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-817		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限 金曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	看護の各領域での学びを関連づけて考える力（統合する力）を育て、看護の対象者を尊厳ある地域生活者として捉えることができ、対象者の生活背景を視野に入れた看護の提供ができる看護師の育成をめざす。
授業概要	現代社会の中で生じる健康問題を多（他）職種、多組織との連携のなかで協力して解決していくために、多角的視点から実践的な知識を学び、今までに学んだ各領域の知識を関連付け統合して考える力を養う。 　担当教員は、本学の各領域の専門教員や、統合実習の実習先である臨床現場における指導者・管理者、さらに難病等の専門性の高い当事者等外部講師であり、知識の統括としての講義であり、最終学年として看護の統合的視野と感性が培える講義である。 　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	演習成果（50%）、最終レポート（30%）、授業態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②最終レポート、演習成果、授業態度が評価の基準となる。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	配布資料、提示する参考書等を通して理解し、自分の言葉で伝えられること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	高尾茂子
第２回	ガイダンス	高尾茂子
第３回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第４回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第５回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第６回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第７回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第８回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第９回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１０回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１１回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１２回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１３回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１４回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１５回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子

第１６回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子
第１７回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１８回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１９回	知識の統合「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２０回	知識の統合　「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２１回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２２回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２３回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２４回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２５回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２６回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２７回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２８回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２９回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３０回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３１回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子
第３２回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	医療安全			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-818		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 医療安全の基本的な考え方を理解し、リスクに対する感受性と判断力を磨き、看護の質と医療安全の関連について考える。医療安全における基本的な知識および看護職の責務と役割を学び、安全対策の方法について理解を深める。 到達目標 １．医療安全に関する基礎的知識、医療安全に対する考え方や取組みを理解する。 ２．看護業務を行う際の環境の特徴、医療事故の種類や背景、要因について理解する。 ３．医療事故後の対応を理解する。 ４．医療専門職者として、主体的に医療安全に取り組む姿勢を培うことができる。
授業概要	医療安全の基本的な考え方を理解し、事故事例を用いる、自己の傾向を振り返る、ディスカッション等を通して、看護専門職としての責務と役割、医療現場における危険の予知と回避、患者の安全対策、事故防止等について考える。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート70%、グループワーク・発表30%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の中でフィードバックする
履修条件・注意事項	医療安全は看護の質に深く関連するので、各自が自己の問題としてとらえること。 日ごろから、新聞・ニュース等により、国内外において発生する医療事故に関心をもち、情報を得ておくこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師として実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、看護の現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	テキストを読み、わからない用語等は自己で調べ、その上でわからないことはまとめておき、質問するなど自主的に学んでほしい。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて木曜日　昼休みに実施する

	授業計画	担当者
第１回	医療安全と看護の理念 医療安全への取り組みと医療の質の評価	門倉康恵
第２回	事故のメカニズムとリスクマネジメント	門倉康恵
第３回	看護業務の関連する事故と安全対策	門倉康恵
第４回	在宅看護における医療事故と安全対策	門倉康恵
第５回	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	門倉康恵
第６回	KYT分析　グループワーク	門倉康恵
第７回	KYT分析　GW発表	門倉康恵
第８回	医療安全の学び（まとめ発表）	門倉康恵
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	ナーシンググラフィカ医療の統合と実践②　医療安全	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１	松下由美子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-7212-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	掛谷　益子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	AL
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	＜テーマ>科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導くことを学ぶ。また研究内容を第3者にわかりやすく発表し、論文を完成する。 ＜到達目標＞ 1. 科学的な手順を踏んで得られた研究結果を基に論理的な考察を加え、結論に導くことができる。 2. 研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく発表することができる。 3. 研究内容について、ゼミ仲間同士でディスカッションし、考察を深めることができる。 4. 原稿規定に沿って作成し、期日までに提出することができる。 5. 個人情報の取り扱いや研究協力者への配慮など研究者としてあるべき姿勢を身に付ける。
授業概要	研究発表は、研究の内容を短時間で要領よく、わかりやすく伝えられる能力を養うことを目的とする。そのためには、様々な工夫も必要となるが、それを考えることもこの科目の一つである。発表後の質疑応答によって、研究の問題点が明らかになることがある。その点を踏まえて論文を修正・完成し、期日までに提出することで、終結する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究や論文の内容のみでなく、研究に取り組む意欲や態度、研究発表方法や質疑応答なども含めて、総合的に評価する。具体的には、日々の研究に取り組む意欲・態度，研究発表内容・態度・資料を合わせて70%、論文の成果を30%にて評価する。
ルーブリック評価	/uprx/kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業での課題を必ず考え、次の授業までに解決策を提示できるように各自準備する。
履修条件・注意事項	グループ研究ではあるが、各自主体的に考え、実践することで研究は完成する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、看護師経験を持つ教員がその経験を活かし、看護研究テーマに沿った実践的に役立つゼミを実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業時間内だけの考察では研究は完成しない。課題解決のため助言を参考に考察を進めていく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	掛谷
第２回	研究テーマ・方法の検討・研究倫理について	掛谷
第３回	研究テーマの確定	掛谷
第４回	調査の実施	掛谷
第５回	データ収集	掛谷
第６回	データの整理	掛谷
第７回	研究結果の整理	掛谷
第８回	記述統計(図表の作成)	掛谷
第９回	記述統計(図表の精整)	掛谷
第１０回	結果の考察	掛谷
第１１回	プレゼンテーション資料作成	掛谷

第１２回	研究発表準備		掛谷
第１３回	研究発表		掛谷
第１４回	論文作成(方法・結果・考察)		掛谷
第１５回	論文作成・仕上げ		掛谷
第１６回	論文提出		掛谷
教科書			
教・書籍名１	必要な資料はその都度配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保健医療福祉行政論Ⅱ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年			ナンバリング	HS-HN-2-102		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	テーマ：保健師として，知っておかなければ成らない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し，行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する 到達目標：保健師活動を実践するための保健福祉行政における全般的な根拠法を学習し，法に則った保健師活動実践ができ，国家試験問題への対応ができる。
授業概要	保健師は，保健・医療・福祉・企画分野での広範囲な行政部署において，専門性に立脚した行政手腕が求められる。その基礎知識として保健医療福祉行政の仕組み・財政・社会保障制度・公衆衛生全般にわたる内容を学習する。 具体的には，公衆衛生に関する法改正を踏まえ，過去・現在・未来を視野に入れた公衆衛生看護活動を理解する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	最終試験８０％・課題２０％で評価を行う
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
履修条件・注意事項	社会情勢や健康課題への関心を持ち，自分の考えを議論する習慣を身につける 講義内容に関する関係法の予習・復習を行い，法令の用語や言い回し等の理解をすること 指定した教科書・参考書等は必ず持参すること 課題レポートの提出は期限厳守とし，予習・復習を兼ね問われた内容が記載されたものとする 小テスト対策として数回毎に授業内容を復習すること
実務経験のある教員	該当する　／　内容：行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し，その事について調べたことについて自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う２）複数回に分けた小テストを行い，達成度を確認し，振り返り授業を行う。3）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4）社会情勢やその動向に興味を持つことで，健康課題に応じた法整備や看護職の役割に関心を持つ。5）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと　そのための時間は約1時間を要す
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日4時限目に実施

授業計画		担当者
第１回	１．健康増進法・健康日本21(第2次)	田中富子
第２回	２．健康増進対策生活習慣病	田中富子
第３回	３．健康増進法・ヘルスプロモーション	田中富子
第４回	４．感染症法の概要	田中富子
第５回	５．感染症法　結核対策	田中富子
第６回	６．新たな健康課題と政策	田中富子
第７回	７．医療保障制度と医療法	田中富子
第８回	８．医療計画	田中富子
第９回	９．医療の動向	田中富子
第１０回	１０．難病対策・被爆者対策	田中富子
第１１回	１１．保健医療福祉の計画・実施	田中富子
第１２回	１２．保健医療福祉の実施・評価	田中富子
第１３回	１３．ＰＤＣＡによる計画作成	田中富子
第１４回	１４．授業前半の振り返り	田中富子
第１５回	１５．授業後半の振り	田中富子
第１６回	16．筆記試験	田中富子

教科書			
教・書籍名１	最新保健学講座７　保健福祉行政論	教・出版社名１	
教・著者名１	メヂカルフレンド社 野村陽子	教・ＩＳＢＮ１	看護法令要覧 日本看護協会出版会 清水嘉世子他
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国民衛生の動向	参・出版社名１	厚生統計協会
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	国民福祉と介護の動向	参・出版社名2	厚生統計協会
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護学Ⅱ			担当者	田中　富子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-105		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限 火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	各領域別の対象における公衆衛生看護活動の基盤となる制度と理論、技術や手法の理解。 到達目標：学生が公衆衛生看護活動の基盤となる法的根拠や制度と活動を展開するための理論を理解し、それぞれの対象の健康問題を解決するために、公衆衛生看護の基礎的技術や手法を習得し、個人や集団の特性に応じた支援の理解ができる。
授業概要	地域で生活するすべての健康レベルの人々の健康問題の解決のため、法的根拠や制度と理論の理解を深め、健康課題に応じた公衆衛生看護支援の特性・技術・手法を習得するために講義とグループワーク演習を実施する。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	評価方法 認定試験（100%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	全授業過程の区切りで理解度を国家試験問題等により確認しフィードバックを行う
履修条件・注意事項	1)これまでに学んだ医療、看護、保健、福祉の知識の復習をし、最近のニュースに関心を持ち、特に医療行政　や保健福祉に関するニュースはその内容を正確に把握しておく。 2)授業前後の予習復習を行い国試問題や実習地域の健康問題と関連づけた履修とする。 また，自分自身や家族の健康に関心を持ち，健康レベルの向上に向けた自らの実践目標を実行する 評価のために実施した課題や小テストは授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
実務経験のある教員	該当する　／　内容：市及び県の行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，関係する各施策や法律を踏まえ教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画に記載されている部分について事前に教科書を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1.　発達段階と保健サービス	田中富子
第２回	2.　発達段階と保健サービス２	田中富子
第３回	3.　母子保健の理念・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子
第４回	4.　母子保健施策・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子

第５回	5. 母子保健施策・母性各期の健康問題と保健活動	田中富子
第６回	6. 母子保健施策・発達過程前期の健康問題と保健活動	田中富子
第７回	7. 母子保健施策・発達過程後期の健康問題と保健活動	田中富子
第８回	8. 母子保健施策・発達過程後期の健康問題と保健活動	田中富子
第９回	9. 成人保健の理念・成人期前期の健康問題と保健活動	田中富子
第１０回	10. 成人保健の理念・成人期後期の健康問題と保健活動	田中富子
第１１回	11. 高齢者保健の理念・高齢者の健康問題と保健活動	田中富子
第１２回	12. 要介護状態の高齢者保健施策・健康問題と保健活動	田中富子
第１３回	13. ハイリスク母子への保健活動	田中富子
第１４回	14. ハイリスク母子への保健活動ハイリスク児への保健活動各論	田中富子
第１５回	15. ハイリスク親子保健活動への保健活動各論	田中富子
第１６回	１６：障害者・精神保健福祉の基本理念	田中富子
第１７回	１７：障害者・精神保健福祉の基本施策	田中富子
第１８回	１８：精神保健に関する健康問題と保健活動	田中富子
第１９回	19：精神障害者に関する施策	田中富子
第２０回	20：精神障害者に関する施策・サービス	田中富子
第２１回	21：精神障害者に関する施策の歴史	田中富子
第２２回	22：統合失調症に関する保健活動	田中富子
第２３回	23：精神障害に関する保健活動（依存症）	田中富子
第２４回	24：精神障害に関する地域の社会資源	田中富子
第２５回	25：難病に関する施策	田中富子
第２６回	26：難病対策の歴史と保健対策の特徴	田中富子
第２７回	27：地域包括ケアシステム（精神障害者）	田中富子
第２８回	28：地域包括ケアシステム（精神障害者）	田中富子
第２９回	29：地域包括ケアシステム（高齢者）	田中富子
第３０回	30：地域包括ケアシステム（高齢者）	田中富子
第３１回	31：全体の振り返り	田中富子
第３２回	32：最終試験	田中富子

教科書			
教・書籍名１	標準保健師講座　対象別公衆衛生看護活動	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	中谷芳美	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	公衆衛生がみえる	教・出版社名2	メディックメディア
教・著者名2	編集　荒賀直子他	教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	

参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	公衆衛生看護管理論			担当者	高尾　茂子、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-106		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限 木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：行政保健師に求められる公衆衛生看護管理–地域の健康課題のアセスメントを行い，その対策としての事業企画の立案の実際を学ぶ 到達目標：行政に所属する保健師の役割を認識し，公衆衛生看護管理のうち地域を管理する機能を中心に理解，実施できる．　　保健師国家試験問題に対応できる
授業概要	保健師には，地域に顕在する健康問題だけでなく，潜在化している健康問題やニーズをアセスメントとし，優先順位を明確にしたうえでの，保健行政への施策化が求められる。具体的には，公衆衛生看護技術である地域診断を駆使し，地域住民と協働して健康課題を解決する機能が希求されている。また，公衆衛生看護の専門性に立脚し，医療・福祉等様々な関係者と連携・協働が可能な行政手腕が必要とされている。これらから，地域ケアシステムの構築・施策の企画立案ができるよう学習する。 １．住民の健康や障害を生活モデルで捉え，社会環境との関連から健康問題をアセスメントする力を養う ２．個だけでなく地域をエンパワメントする支援を学ぶ ３．地域の社会資源を評価・調整・開発する視点を養う ４．健康政策の実現に向けた保健計画の策定・実施・評価の過程を理解する この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践や公衆衛生看護管理 に長年携わった経験を活かし，教育現場において実践的に役立つ授業を行う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	講義・演習への出席が2／3以上であることを最終試験受験条件とする 最終試験を70%，演習態度・発表内容･レポート30%として総合評価とする。 評価のために実施した課題は授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については講義内で全体的な講評や重要な論点について解説する。
履修条件・注意事項	保健医療福祉における最新ニュースや話題になっているに健康課題に関心を持ち，政策・施策の現状を理解するために新聞を読む・様々な人と意見交換をする習慣を身につけること 指定した教科書･参考書・配付資料・ノートは必ず持参すること 予習復習を行い，授業内容や社会背景を押さえ課題レポートを作成し，期限厳守で提出すること
実務経験のある教員	該当する　　内容　都道府県保健所の保健師の勤務経験があり、県庁、県内保健所、県教育委員会、市町村（人事交流）での保健師活動を行ってきました。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に提示した課題について調べ，自己の意見をまとめたレポートを提出する。これにより，予習・復習を兼ねた参加型学習法による授業を行う2）地域診断演習のまとめを提出し，指導・修正・再指導を行うことで精度を高める3）要点を押さえた資料を配付し，これに授業内容を補完することで学習ノートを完成させる。4）試験及びレポートにより評価を行うことから，必ず予習復習を行うこと　5）作成した地域診断演習のまとめは実習で活用し，実習指導者からの指導を得るために地域の実情に応じた内容とする　予習復習及び演習は計画に添って自己学習で完成させること　そのための時間は2時間程度を要する
オフィスアワー	個人研究室にて，火曜日　4次限目に行う

授業計画		担当者
第１回	講義：地域看護と対象理解	横溝・高尾
第２回	講義：公衆衛生看護管理の目的と特徴	横溝・高尾
第３回	講義・ディスカッション：公衆衛生看護管理の構造と機能	横溝・高尾
第４回	講義・ディスカッション：専門的自立と人材育成	横溝・高尾
第５回	講義：健康危機管理	横溝・高尾
第６回	講義・GW:地域診断過程と関連理論	横溝・高尾
第７回	講義：地域診断の実際	横溝・高尾
第８回	講義：保健計画・評価	横溝・高尾
第９回	講義・GW:地域診断演習①地域を知る	横溝・高尾
第１０回	講義・GW：地域診断演習②健康課題把握	横溝・高尾
第１１回	講義・GW:地域診断演習③健康課題への対策	横溝・高尾
第１２回	演習・GW:地域診断演習④実習地域の課題把握	横溝・高尾
第１３回	演習・GW:地域診断演習⑤実習地域のアセスメント	横溝・高尾
第１４回	演習・GW:地域の健康課題に対する保健計画立案	横溝・高尾
第１５回	プレゼンテーション:地域診断演習の発表	横溝・高尾
第１６回	プレゼンテーション：地域診断演習の発表、最終試験	横溝・高尾
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	最新　保健学講座5　公衆衛生看護管理論	教・出版社名１	メヂカルフレンド社
教・著者名１	平野かよ子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	地域看護診断第2版	教・出版社名2	東京大学出版会
教・著者名2	金川克子・田高悦子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	公衆衛生がみえる	参・出版社名１	medic media
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	地域看護アセスメントガイド第2版	参・出版社名2	医歯薬出版
参・著者名2	佐伯和子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業衛生学			担当者	中瀬　克己、横溝　珠実		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-HN-4-107		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：労働の場における健康保持増進活動、産業衛生の基本の理解がテーマである。事業所において，労働衛生管理の中心となる「衛生管理者」は国家資格であるが，保健師の資格があれば，資格試験免除で，上位資格である「第1種衛生管理者免許」が与えられる。 到達目標：この科目で学生は、保健師とともに衛生管理者に求められる労働衛生管理の基本的能力を習得することを目標とする。
授業概要	1年次の公衆衛生学，2年次の疫学・保健統計等を基盤とする。職業性疾患については，臨床医学の知識も必要となるなど，幅広い知識が要求されるが、本科目では実践的な内容を学ぶ。産業保健師として工場等に勤務しなくても，保健師の資格があれば，勤務先の病院等で衛生管理者に選任される可能性もある。産業保健の系統的な考え方やその取り組みは、適応される対象も多く看護師として勤務する場合にも有用である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	学期末の筆記試験（70%）と，実習を含めた取り組み姿勢およびレポート（30%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の保健師国家試験問題等の小テストを行い、グループワークを含めたフィードバックを随時行い実際的な理解を促す。
履修条件・注意事項	産業保健現場での実習は朝から１日間かけて行う。協力先の可能な日に行うが、受講者の他の講義日程となるべく重ならないよう調整する予定である。 保健師課程の必修科目であるが，看護師課程や教職課程でも参考になる。 プリントを配布し、小テストも行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、産業医として実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をするとともに実際の産業現場の実習も行い、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	教科書は図説で分かりやすいが詳細であり、講義やプリントによる概要や要点の把握の上で用いることを推奨する。また、将来産業保健師や衛生管理者となった際に考えの整理に有用である。参考書である「労働衛生のしおり」は毎年更新され、最新の施策や統計を知ることができる、公式資料である。実習前には、課題を示すので実習当日までにしっかりと準備し効果的な実習となるよう自習が必要である。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜日２限をオフィスアワーとする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 産業保健と産業看護、関係法令　講義	中瀬
第２回	産業保健と産業看護、関係法令　演習	中瀬
第３回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　講義	中瀬
第４回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　演習	中瀬
第５回	作業環境管理1　その基本　講義	中瀬
第６回	作業環境管理1　その基本　演習	中瀬
第７回	作業管理1　その基本　講義	中瀬
第８回	作業管理1　その基本　演習	中瀬
第９回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　講義	中瀬

第１０回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　演習	中瀬
第１１回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　講義	中瀬
第１２回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　演習	中瀬
第１３回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　講義	中瀬
第１４回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　演習	中瀬
第１５回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　講義	中瀬
第１６回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　演習	中瀬
第１７回	職業性健康障害各論物理的要因　講義	中瀬
第１８回	職業性健康障害各論物理的要因　演習	中瀬
第１９回	地域保健と産業保健の連携　講義	中瀬
第２０回	地域保健と産業保健の連携　演習	中瀬
第２１回	職業性健康障害各論　その他　講義	中瀬
第２２回	職業性健康障害各論　その他　演習	中瀬
第２３回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２４回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２５回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２６回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２７回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２８回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２９回	産業現場での総合的健康対策 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３０回	産業現場での総合的健康対策　実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３１回	筆記試験	中瀬
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	職場の健康がみえる（現行では2019年発行版であるが、新版が出ればそちらとする）	教・出版社名１	メディックメディア
教・著者名１	医療情報科学研究所（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89632-782-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	労働衛生のしおり　令和4年度　最新版とする	参・出版社名１	中央労働災害防止協会編
参・著者名１	中央労働災害防止協会編	参・ＩＳＢＮ１	例年新年度版は８月頃発売される
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	健康相談活動論			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-903		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	養護教諭の職務の一つである健康相談活動の理論と実践について講義と演習を行い、学校における健康相談活動の理念と実践を学ぶ。 (1) 養護教諭が行う健康相談活動の意義と法的根拠を理解する (2) 健康相談活動について、基本的知識・技術・態度を理解する (3) 養護教諭の職務と専門性、及び保健室の機能との関連づけができる (4) 看護学を基盤とした身体的心理的社会的なアセスメントができる
授業概要	健康相談活動の概念と他職種の相談活動との違いを理解し、法的根拠に基づいた相談活動の実際と、基本的知識・技術・態度について学ぶ。 演習では対象となる児童生徒の発達段階と健康課題に応じて、養護教諭の専門性と保健室の特性を活かした健康相談活動の基本的対応スキルを身につける。また学校場面での健康相談活動の基本プロセスとアセスメントの方法について理解を深める。 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	養護教諭免許の取得を目的とする。授業態度（演習やグループワークへの参加・出席状況を含む）や課題レポートの提出及び内容の充実を厳しく評価する。予習復習及び課題への自己学習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。また、教員採用試験対策と併せて自己学習を進めるとともに、養護教諭の職務や社会的役割について書籍や専門誌等で日ごろから興味関心をもって学んでおくこと。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	健康相談活動とは	赤澤
第２回	社会の変化と子どもの健康問題の変遷、子どものヘルスニーズ	赤澤
第３回	発達段階別の心身の健康問題	赤澤
第４回	健康相談活動のプロセスと対応	赤澤
第５回	心身に関する知識とヘルスアセスメントの活用	赤澤
第６回	支援体制づくりと校内外の連携	赤澤
第７回	演習：①体調不良	赤澤
第８回	演習：②アレルギー	赤澤
第９回	演習：③保健室登校	赤澤
第１０回	演習：④精神疾患⑤自傷行為	赤澤
第１１回	演習：⑥いじめ　⑦虐待	赤澤

第１２回	演習：⑧多様な性		赤澤
第１３回	健康相談活動の実際（健康相談）		赤澤
第１４回	健康相談活動の記録と評価、事例検討		赤澤
第１５回	まとめ		赤澤
第１６回	試験		まとめ
教科書			
教・書籍名１	新訂養護概説	教・出版社名１	ぎょうせい
教・著者名１	三木 とみ子 (編集), 大沼 久美子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学 （看護）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	TC-NU-2-906

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育心理学 （看護）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	TC-NU-2-906

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	１．教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ ２．児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける ３．児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与しうる教育心理学的知識を身につける
授業概要	この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。 まず教育心理学の理論と方法を概観し、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説し、さまざまな学校現場における諸問題や児童生徒の困難さに対する支援方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション
評価方法と割合	評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や支援方法について教授し、実践に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	1. 初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 2. 授業内で定期的に実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 3. 授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、教育心理学とは	藤原直子
第２回	心身の発達①：発達の基礎的な理論と乳幼児期の発達	藤原直子
第３回	心身の発達②：児童期	藤原直子
第４回	心身の発達③：青年期以降	藤原直子
第５回	学習と知識獲得	藤原直子
第６回	認知的情報処理と記憶	藤原直子
第７回	動機づけと学習	藤原直子
第８回	認知発達と学習支援	藤原直子
第９回	学級集団と学習支援	藤原直子
第１０回	個性や個人差と学習支援	藤原直子
第１１回	教育評価	藤原直子
第１２回	障害の基本的理解と学校教育における配慮	藤原直子

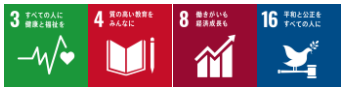
第１３回	困難さを抱える子どもへの教育的支援	藤原直子	
第１４回	子どもの情緒・適応の理解と心理的支援	藤原直子	
第１５回	学校教育を取り巻く諸問題と教育心理学	藤原直子	
第１６回	試験	藤原直子	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる教職エクササイズ②　教育心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	森田健宏・田爪宏二	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-08177-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育課程論 （看護）（前半8回）	担当者	池上　真由美
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 2年	ナンバリング	TC-NU-2-911

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL

年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し，学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する，また，編成した教育課程を実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルについて理解することを目標とする。
授業概要	教育課程とは何か，教育課程の変遷，教育課程の法体系と学習指導要領，新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また，編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを，実践例を通して学び，演習やグループワーク等を行うことで，カリキュラム・マネジメント力を養う。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	［試験］60%（授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。） ［提出物］20%（レポート課題，コメント用紙等により評価する。） ［授業への参画状況］20%（発表及び発言内容，教職への意欲や態度等を総合的に評価する。）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。
履修条件・注意事項	基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	前時に示された予習課題をもとに，目的意識をもって授業を受けること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。
オフィスアワー	月曜日２時限目

	授業計画	担当者
第１回	教育課程とは何か	池上
第２回	教育の目的と教育課程の編成	池上

第３回	現代日本の教育課程の変遷	池上
第４回	新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」	池上
第５回	近年の教育改革の動向および今後の課題	池上
第６回	幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程	池上
第７回	教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント	池上
第８回	筆記試験	池上
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	はじめて学ぶ教育課程	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	広岡義之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-07559-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育の方法と技術 （看護）	担当者	小林　朝雄
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-914

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	教育の方法と技術について、諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術を学ぶとともに、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や児童生徒に情報活用能力を育成する基礎的な知識や技能を身に付ける。具体的には次のとおりである。 １　教育の方法と技術について、諸概念や理論を学び基礎的な指導法を身に付けるとともに、学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ２　個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性を理解している。 ３　情報通信技術を活用した指導法を身に付けている。 ４　特別な支援を必要とする児童生徒への、情報通信技術活用の必要性と留意点を理解している。 ５　学校における情報セキュリティの重要性について理解している。
授業概要	本講義では、教育の方法と技術にかかわる諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術について学ぶとともに、情報通信技術の効果的な活用法を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。また、各教科におけるＩＣＴ活用や情報モラルに関する授業について、受講者が具体的な授業を構想（指導案作成）し分担して模擬授業を行うとともに、タブレット端末等を活用した模擬授業を体験する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	模擬授業、指導案（30%）、授業への参加態度（20%）、単位認定試験（50%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中のフィードバックや指導案等は個別にも行う。
履修条件・注意事項	「中学校学習指導要領」または「高等学校学習指導要領」のどちらか（免許状取得を目指す方）と、「教育の方法と技術」を使用するので毎回持参する。その他については、必要に応じて関係資料を配付する。ノートは必ず作成し、配付資料も整理しておくこと。毎回の講義の予習、復習を行ってほしい。なお、模擬授業の際は作成した指導案を印刷し、全員分、配付すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この教科は、中学校教員、岡山県総合教育センター情報教育部指導主事としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	情報機器を活用した学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう教材研究に取り組んでいただきたい。予習・復習が２時間程度必要。
オフィスアワー	毎授業終了時に教室にて実施

	授業計画	担当者
第１回	教育の方法と技術とは	小林
第２回	教育方法の理論と歴史（GIGAスクール構想を含む）	小林
第３回	カリキュラムの位置付け（教科等の目標、指導内容、授業時数、年間指導計画の概要）	小林
第４回	授業における教師の役割と指導技術①（教材研究と授業での教師の役割）	小林
第５回	授業における教師の役割と指導技術②（児童生徒の主体性を引き出す指導）	小林
第６回	情報通信技術を効果的に活用したオンライン教育や校務の推進の在り方	小林

第７回	情報通信技術を活用した学習指導（デジタル教材の作成・利用、特別な支援を必要とする児童生徒への支援）		小林
第８回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の構想（指導案作成、実物投影機、ＰＣの活用）		小林
第９回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：前半グループ）		小林
第１０回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：後半グループ）		小林
第１１回	各教科におけるタブレット端末を活用した模擬授業の実施		小林
第１２回	情報モラルに関する授業構成（情報モラルの目標、指導法、教材等）		小林
第１３回	教育における評価（授業評価と学習評価について）		小林
第１４回	学校における情報セキュリティの重要性について		小林
第１５回	授業の振り返りとまとめ		小林
第１６回	単位認定試験		小林
教科書			
教・書籍名１	中学校学習指導要領	教・出版社名１	東洋館出版社
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	10 4827815402
教・書籍名２	高等学校学習指導要領	教・出版社名2	東山書房
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8278-1567-2
参考書			
参・書籍名１	三訂版　教育の方法と技術	参・出版社名１	図書文化社
参・著者名１	平沢　茂	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8100-8701-7
参・書籍名２	教育の情報化に関する手引き	参・出版社名2	製本版はなし。下記ページに公開 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教育の方法と技術 （看護）	担当者	小林　朝雄
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 3年	ナンバリング	TC-NU-3-914

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	教育の方法と技術について、諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術を学ぶとともに、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や児童生徒に情報活用能力を育成する基礎的な知識や技能を身に付ける。具体的には次のとおりである。 １　教育の方法と技術について、諸概念や理論を学び基礎的な指導法を身に付けるとともに、学習評価の基礎的な考え方を理解している。 ２　個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性を理解している。 ３　情報通信技術を活用した指導法を身に付けている。 ４　特別な支援を必要とする児童生徒への、情報通信技術活用の必要性と留意点を理解している。 ５　学校における情報セキュリティの重要性について理解している。
授業概要	本講義では、教育の方法と技術にかかわる諸概念や理論、授業における教師の役割や指導技術について学ぶとともに、情報通信技術の効果的な活用法を理解し、基礎的な指導法を身に付ける。また、各教科におけるＩＣＴ活用や情報モラルに関する授業について、受講者が具体的な授業を構想（指導案作成）し分担して模擬授業を行うとともに、タブレット端末等を活用した模擬授業を体験する。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	模擬授業、指導案（30%）、授業への参加態度（20%）、単位認定試験（50%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中のフィードバックや指導案等は個別にも行う。
履修条件・注意事項	「中学校学習指導要領」または「高等学校学習指導要領」のどちらか（免許状取得を目指す方）と、「教育の方法と技術」を使用するので毎回持参する。その他については、必要に応じて関係資料を配付する。ノートは必ず作成し、配付資料も整理しておくこと。毎回の講義の予習、復習を行ってほしい。なお、模擬授業の際は作成した指導案を印刷し、全員分、配付すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この教科は、中学校教員、岡山県総合教育センター情報教育部指導主事としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	情報機器を活用した学習指導案が作成でき、模擬授業が実施できるよう教材研究に取り組んでいただきたい。予習・復習が２時間程度必要。
オフィスアワー	毎授業終了時に教室にて実施

授業計画		担当者
第１回	教育の方法と技術とは	小林
第２回	教育方法の理論と歴史（GIGAスクール構想を含む）	小林
第３回	カリキュラムの位置付け（教科等の目標、指導内容、授業時数、年間指導計画の概要）	小林
第４回	授業における教師の役割と指導技術①（教材研究と授業での教師の役割）	小林
第５回	授業における教師の役割と指導技術②（児童生徒の主体性を引き出す指導）	小林
第６回	情報通信技術を効果的に活用したオンライン教育や校務の推進の在り方	小林

第７回	情報通信技術を活用した学習指導（デジタル教材の作成・利用、特別な支援を必要とする児童生徒への支援）		小林
第８回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の構想（指導案作成、実物投影機、ＰＣの活用）		小林
第９回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：前半グループ）		小林
第１０回	各教科におけるＩＣＴを活用した模擬授業の発表と評価（発表：後半グループ）		小林
第１１回	各教科におけるタブレット端末を活用した模擬授業の実施		小林
第１２回	情報モラルに関する授業構成（情報モラルの目標、指導法、教材等）		小林
第１３回	教育における評価（授業評価と学習評価について）		小林
第１４回	学校における情報セキュリティの重要性について		小林
第１５回	授業の振り返りとまとめ		小林
第１６回	単位認定試験		小林
教科書			
教・書籍名１	中学校学習指導要領	教・出版社名１	東洋館出版社
教・著者名１	文部科学省	教・ＩＳＢＮ１	10 4827815402
教・書籍名２	高等学校学習指導要領	教・出版社名2	東山書房
教・著者名2	文部科学省	教・ＩＳＢＮ2	978-4-8278-1567-2
参考書			
参・書籍名１	三訂版　教育の方法と技術	参・出版社名１	図書文化社
参・著者名１	平沢　茂	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8100-8701-7
参・書籍名２	教育の情報化に関する手引き	参・出版社名2	製本版はなし。下記ページに公開 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	養護実習指導			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-919		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	養護実習を行う上での基本的知識・技術・態度を養い、学校教育全体の中の養護活動について理解し、養護教諭として求められる資質能力の修得する。 児童生徒の実態に応じた保健室経営について学び、健康診断、フィジカルアセスメントと救急処置、特別な支援の必要な児童生徒への基本的な対応を理解する。また保健指導を計画し実施する。
授業概要	養護実習の事前事後指導を行う。養護実習の目的、目標、内容について明確に意識して臨む。救急処置や健康診断等の養護教諭の職務の基本的事項についてグループワークや演習を中心に理解を深める。保健指導案、保健だよりを各自で作成して発表し、実習準備を行う。実習後は、実習成果を報告会にて発表し学びの確認と整理をする。 この科目は、養護教諭として実務経験を持つ教員がその経験を生かし、教育現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、定期及び実技試験(60%)、課題・発表・演習等(40%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	養護教諭一種免許状取得及び養護実習を受けるための必修科目である。実習校での模擬実習として、取組む姿勢が大切であり、出席状況（連絡のない遅刻欠席）、授業態度、課題提出等について重要な評価項目とする。
実務経験のある教員	該当する　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。養護実習前の事前準備として、保健室経営のあり方や法的根拠の基礎的理解や健康診断やフィジカルアセスメントの基礎敵技術は各自身に付けておくようにすること。
オフィスアワー	授業終了後

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　養護実習の意義 実習校の概要	赤澤
第２回	養護実習の目的、内容	赤澤
第３回	保健指導案作成	赤澤
第４回	保健指導発表	赤澤
第５回	感染症対策、実習記録演習	赤澤
第６回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第７回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第８回	保健指導（模擬授業演習）	赤澤
第９回	養護教諭からの学び	赤澤
第１０回	学校場面を想定した救急処置	赤澤
第１１回	学校場面を想定した救急処置	赤澤
第１２回	実習のまとめ（礼状・学びの整理）	赤澤
第１３回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１４回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１５回	実習のまとめ（発表・学びの共有）	赤澤
第１６回	試験	赤澤

教科書

教・書籍名１	新訂版学校保健実務必携	教・出版社名１	第一法規
教・著者名１	学校保健・安全実務研究会	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	養護実習			担当者	赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	TC-NU-4-920		
必修・選択	選択	単位数	4単位	時間数	120	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も
到達目標	養護教諭免許取得のための教科・科目で学んだ教育理論を教育現場で実践し、養護教諭の職務の理解を深め、教育職員としての自覚と責任について学ぶ。
授業概要	教育現場で直接的な体験を通して、教員として養護教諭としての職務と役割について実践的に学修する。学校教育活動をはじめ、児童生徒の実態、養護活動を見学し、指導を受け実践する。保健室経営、救急処置、保健指導等の実際を学び実習する。保健教育については指導案を作成して、保健指導または保健学習を行う。 実習は３週間で、実習校は出身校（小学校を基本）とするが遠方の場合は高梁市の小学校に依頼する。 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、児童生徒の健康課題や学校の状況に即した実習指導を展開する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、実習校の評価（60%）、実習記録（10%）、意欲・態度（30%）等を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、実習中及び事後指導にてフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	(1) ３年次までの教職免許取得の必須教科について単位取得ができていること (2) ＧＰＡ等の本学の教育・養護実習履修要件を満たしていること (3)教育実習先の学校の実習許可を得ていること 上記３要件に加え、教育実習のガイダンスや実習前の説明会には必ず参加すること。 なお、実習中や実習前後において、教職を目指す実習生として適切でない態度・行為があった場合には実習を中止する場合や単位認定できない場合もある。
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	実習中は実習校において学校長の監督のもと、指導養護教諭の指導を受ける。学校教育の現場でしか体験できないことを積極的に取組む中で養護教諭の職務の理解を深める。
オフィスアワー	実習は学外のため、メールや電話にて相談を受ける

	授業計画	担当者
第１回	学校教育方針と，学校保健との関連について理解する	実習
第２回	保健室経営のあり方を理解し，児童生徒の健康課題に関し，個別的あるいは組織的な取り組みについて学ぶ	赤澤
第３回	児童生徒の実態及び健康課題や発達課題を把握し，児童生徒への基本的な養護活動の実践ができる。	赤澤
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職実践演習（高校）	担当者	赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他4年	ナンバリング	TC-NU-4-921

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も
到達目標	学生の既習学習が、教員として必要な能力として有機的な統合・形成に繋がっているかについて、これまでの学習を踏まえて確認する。 また、学校現場の教育課題や課題解決のために必要な教育活動について講義や演習で学び、教員として必要な資質能力を身につけることができる。
授業概要	教員として必要な以下の資質能力について実践活動を交えながら学習・確認する。 ①使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する能力 ③生徒の理解や学級経営に関する事項 ④教科等の指導能力に関する事項 この科目は、高等学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ
アクティブラーニングの内容	ディベート／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度３０％、レポート提出２０％グループワークの参加状況２０％、模擬授業の発表３０％とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みであること ②教育実習を終了している
実務経験のある教員	該当する　　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	教職の現場での実践能力を身に付けることができるよう、講義、グループワーク、ロールプレイ、実技演習、学外での実習など様々な教育手法を用いる。その都度、課題を課す。
オフィスアワー	集中講義であるので、講義後の１時間をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	赤澤
第２回	教育相談の課題と生徒対応の実際①	赤澤
第３回	教育相談の課題と生徒対応の実際②	赤澤
第４回	教師に求められる資質能力	赤澤
第５回	教員として必要な実践活動を学ぶ①	赤澤
第６回	教員として必要な実践活動を学ぶ②	赤澤
第７回	教員として必要な実践活動を学ぶ③	赤澤
第８回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ①	赤澤
第９回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ②	赤澤
第１０回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ③	赤澤
第１１回	特別な支援を要する児童生徒の教育の実際を学ぶ④	赤澤
第１２回	教材研究と授業展開（生活と看護）	赤澤
第１３回	教員として必要な実践能力	赤澤

第１４回	教育実習での学び	赤澤
第１５回	教材研究と授業展開	赤澤
第１６回	試験	赤澤

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	教職実践演習（養護教諭）	担当者	赤澤　真旗子
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	TC-NU-4-922

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	これまでの学修が、養護教諭として必要な資質と能力として有機的に統合され形成することを目標とする。また、児童生徒の健康課題解決のために必要な養護教諭の教育活動について学び、教員として養護教諭としての必要な資質と能力を身につけることができる。
授業概要	養護教諭一種免許取得の最終として、以下の養護教諭として必要な資質について学修、確認する。 (1) 使命感、責任感、教育的愛情に関する事項 (2) 社会性や対人関係能力に関する能力 (3) 児童生徒の健康と発達を養護する能力 (4) 保健室経営に関する事項 (5) 保健指導及び保健教育に関する事項 この科目は学校にて養護教諭経験を持つ教員がその経験を生かし、学校現場において実践的に役立つ授業を展開する。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	養護教諭としての資質と能力を培うための知識と技術、及び態度を計るために、レポート(50%)、課題・発表・演習等(50%)を総合的に評価する。なお、評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックとしてレポートにコメントを返します。
履修条件・注意事項	履修条件は以下のとおりとする。 ①教職科目の全ての履修を行い、必要単位を取得または取得見込みである ②養護実習を終了している
実務経験のある教員	該当する　内容　教育現場における勤務経験のある教員が、その経験を活かして指導する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習については毎回に提示する。 養護実習で得た学びを理論的に整理し、学校現場で1人の教員として、養護教諭の資質と能力を身に付けることを意識して取り組むこと。
オフィスアワー	講義終了後

	授業計画	担当者
第１回	養護教諭及び教職に関する基礎知識と学習歴の確認	赤澤
第２回	養護実習成果発表	赤澤
第３回	養護実習のまとめ（理論と実践の整理）	赤澤
第４回	保健室経営計画①	赤澤
第５回	保健室経営計画②（発表）	赤澤
第６回	教員に求められる資質能力（実践講和）	赤澤
第７回	特別支援と個別計画	赤澤
第８回	災害時の学校保健活動	赤澤
第９回	学校保健組織活動	赤澤
第１０回	就学時検診①（学外）	赤澤
第１１回	就学時検診②（学外）	赤澤
第１２回	就学時検診③（学外）	赤澤
第１３回	就学時検診④（学外）	赤澤

第１４回	教員育成指標と到達確認		赤澤
第１５回	養護教諭の資質と職務		赤澤
第１６回	試験		赤澤
教科書			
教・書籍名１	新訂版学校保健実務必携	教・出版社名１	第一法規
教・著者名１	学校保健・安全実務研究会	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新訂養護概説	教・出版社名2	ぎょうせい
教・著者名2	三木とみ子	教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別支援教育 （看護）（後半8回）	担当者	藤原　直子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-910

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	発達障害をはじめとする特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を理解し、適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につけることを目標とする。 さらに、特別支援教育の理念とシステムを学び、保護者や他の教員、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を習得する。
授業概要	特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の特性と心理的特徴について理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための具体的な方法を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内の小テストや演習課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	講義をしっかり聴き積極的な学びに努めること。 プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、教育現場における障害児者に対する心理的支援の実務経験（幼稚園・小学校での教員、小中高等学校でのスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回相談）がある教員が担当し、教育現場における現状や課題、教員として必要とされる特別支援に関する知識や支援方法について教授する。
事前学習・事後学習とその時間	①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業内で実施する小テストの内容をもとに、復習を行う。 ③授業内で配布するプリントの空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。
オフィスアワー	10号館2階の個人研究室において、毎週月曜日4限目をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	特別支援教育の制度と理念、学校における支援体制及び連携	藤原直子
第２回	特別支援教育の実際、指導計画の作成	藤原直子
第３回	発達障害児の心身の発達・心理的特性	藤原直子
第４回	自閉スペクトラム症（ASD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第５回	注意欠如多動症（ADHD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第６回	限局性学習症（LD）の児童生徒への理解と支援	藤原直子
第７回	様々な障害のある児童生徒の特性と支援、まとめ	藤原直子
第８回	試験	藤原直子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト	教・出版社名１	学研教育みらい
教・著者名１	小林倫代（編・著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-05-801762-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-913

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義　演習　AL
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】特別活動，総合的な学習の時間について基礎的知識を理解し，実践的指導力を身に付ける。 【到達目標】 １．特別活動・総合的な学習の時間の意義，目標，教育課程上の位置づけ，内容を理解する。 ２．特別活動の内容の種類と関連性を理解し，学級活動の年間計画，学習指導案を作成することができる。 ３．総合的な学習の時間の課題を決めて単元計画を作成し，その強みと探求の過程について説明することができる。 ４．特別活動・総合的な学習の時間の評価の考え方を理解することができる。
授業概要	特別活動・総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら，下記の内容を実践的に学修する。 ①特別活動の目標，教育課程上の位置づけ，学級活動，クラブ活動，生徒会活動等の内容については，事前にプリントで予習しておく。そして，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ②学級活動指導案作成の仕方については，実際に作成することを通して学修する。 ③総合的な学習の時間の目標，教育課程上の位置づけ，特徴については，予習プリントで事前に学修しておき，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ⑤全体計画，年間計画，単元計画，思考ツール等は作成，活用することを通して，学修する。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／グループワーク
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート，小テストは採点して助言を添えて返却する。単元計画，年間計画，学習指導案はコメントを付けて説明する。
履修条件・注意事項	事前に配布された予習プリントをする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをする。 復習　2時間　学習したことの要点をまとめる。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館 個人研究室 10309）

授業計画		担当者
第１回	授業予定　特別活動の目標　特質	川上
第２回	特別活動の内容（学級活動　学校行事　生徒会活動）と全体計画	川上
第３回	学級活動の目標，内容，年間計画	川上
第４回	学級活動の年間計画作成（演習）	川上
第５回	学校行事、生徒会活動の目標，内容，具体的活動	川上
第６回	学級活動の指導案の書き方　指導案作成	川上
第７回	模擬授業　　代表グループ①②	川上
第８回	学級活動とSEL	川上/GT（中学校教諭）

第９回	総合的な学習の時間の意義，目標		川上
第１０回	総合的な学習の時間の歴史　教育課程上の位置づけ		川上
第１１回	総合的な学習の時間　全体計画　単元計画		川上
第１２回	単元計画の考え方　作成の仕方		川上
第１３回	作成した単元計画の発表　（グループ内で情報交換）		川上
第１４回	思考ツールと活用例（演習）		川上
第１５回	総合的な学習の時間の評価		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	新しい教職教育講座９　特別活動	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	中村　豊/ 原　清治	教・ＩＳＢＮ１	978-623-08192-9
教・書籍名２	新しい教職教育講座８　総合的な学習の時間	教・出版社名2	ミネルヴァ書房
教・著者名2	森田真樹　/　篠原正典	教・ＩＳＢＮ2	978-4-623-08191-2
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領　解説　総合的な学習の時間	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8278-1561- 0
参・書籍名２	中学校学習指導要領　解説　特別活動	参・出版社名2	978-4-8278-1562-7
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	東山書房

授業科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 （看護）	担当者	川上　はる江
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	TC-NU-2-913

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義　演習　AL
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	【テーマ】特別活動，総合的な学習の時間について基礎的知識を理解し，実践的指導力を身に付ける。 【到達目標】 １．特別活動・総合的な学習の時間の意義，目標，教育課程上の位置づけ，内容を理解する。 ２．特別活動の内容の種類と関連性を理解し，学級活動の年間計画，学習指導案を作成することができる。 ３．総合的な学習の時間の課題を決めて単元計画を作成し，その強みと探求の過程について説明することができる。 ４．特別活動・総合的な学習の時間の評価の考え方を理解することができる。
授業概要	特別活動・総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら，下記の内容を実践的に学修する。 ①特別活動の目標，教育課程上の位置づけ，学級活動，クラブ活動，生徒会活動等の内容については，事前にプリントで予習しておく。そして，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ②学級活動指導案作成の仕方については，実際に作成することを通して学修する。 ③総合的な学習の時間の目標，教育課程上の位置づけ，特徴については，予習プリントで事前に学修しておき，講義の中でグループワークを通して主体的に学びを深める。 ④全体計画，年間計画，単元計画，思考ツール等は作成，活用することを通して，学修する。
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／グループワーク
評価方法と割合	最終試験（50%） 授業全般にわたっての理解度を記述式及び空所補充の試験によって確認する。 提出物　（20%）レポート課題、学習指導案，プリントの記載内容によって評価する。 授業への参加状況（30%）パワーポイントの発表，模擬授業，発言及び発言内容により総合的に判断する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポート，小テストは採点して助言を添えて返却する。単元計画，年間計画，学習指導案はコメントを付けて説明する。
履修条件・注意事項	事前に配布された予習プリントをする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：小学校教諭，教育センター研究員，小学校校長として38年間の実務経験を有する教員が，その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習　2時間　事前に出された予習プリントをする。 復習　2時間　学習したことの要点をまとめる。
オフィスアワー	月5限　木3限　昼休み　（１０号館 個人研究室 10309）

授業計画		担当者
第１回	授業予定　特別活動の目標　特質	川上
第２回	特別活動の内容（学級活動　学校行事　生徒会活動）と全体計画	川上
第３回	学級活動の目標，内容，年間計画	川上
第４回	学級活動の年間計画作成（演習）	川上
第５回	学校行事、生徒会活動の目標，内容，具体的活動	川上
第６回	学級活動の指導案の書き方　指導案作成	川上
第７回	模擬授業　　代表グループ①②	川上
第８回	学級活動とSEL	川上/GT（中学校教諭）

第９回	総合的な学習の時間の意義，目標		川上
第１０回	総合的な学習の時間の歴史　教育課程上の位置づけ		川上
第１１回	総合的な学習の時間　全体計画　単元計画		川上
第１２回	単元計画の考え方　作成の仕方		川上
第１３回	作成した単元計画の発表　（グループ内で情報交換）		川上
第１４回	思考ツールと活用例（演習）		川上
第１５回	総合的な学習の時間の評価		川上
第１６回	定期試験（筆記試験）		川上
教科書			
教・書籍名１	新しい教職教育講座９　特別活動	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	中村　豊/ 原　清治	教・ＩＳＢＮ１	978-623-08192-9
教・書籍名２	新しい教職教育講座８　総合的な学習の時間	教・出版社名2	ミネルヴァ書房
教・著者名2	森田真樹　/　篠原正典	教・ＩＳＢＮ2	978-4-623-08191-2
参考書			
参・書籍名１	中学校学習指導要領　解説　総合的な学習の時間	参・出版社名１	東山書房
参・著者名１	文部科学省	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8278-1561- 0
参・書籍名２	中学校学習指導要領　解説　特別活動	参・出版社名2	978-4-8278-1562-7
参・著者名2	文部科学省	参・ＩＳＢＮ2	東山書房

Syllabus

保健医療福祉学部
看護学科

2012～2016 年度入学生

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。

	「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。

	「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子
第１３回	コロケーション	雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子

教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。

オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。		
授業計画			担当者
第１回	文学とはなにか		雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解		雲津 英子
第３回	図書館活用の実践		雲津 英子
第４回	日本文学史（１）-上代文学		雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学		雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学		雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学		雲津 英子
第８回	日本文学史（５）-近代文学		雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学		雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）		雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）		雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）		雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品		雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）		雲津 英子
第１５回	まとめ		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2014年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40％）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。		
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本

第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本
第１３回	暇と退屈の倫理学	山本
第１４回	スピノザ	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／ 2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本

第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなくそれぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからアラブ社会の情報に関心をもつこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二

第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（首都/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	論文輪読	末吉秀二
第１６回	試験	末吉秀二

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二

第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二
第１６回	単位認定試験	末吉秀二

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを

バック方法	習慣づける。		
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを

バック方法	習慣づける。		
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。		
実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。		
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。		

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（2時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

授業計画		担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文

第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文
第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文
第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分	生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売	生駒正文
第１６回	（１６）定期試験	生駒正文

教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥

第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例		張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２		張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用		張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用		張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動		張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３		張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）		張秉煥
第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥

第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例		張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２		張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用		張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用		張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動		張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３		張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）		張秉煥
第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容	

事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。		
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。		

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。

実務経験のある教員	該当する	内容	この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。		
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。		

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

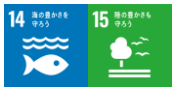
教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解

	しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8

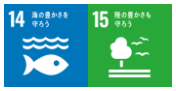
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解

	しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8

参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識

			や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。		
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。		

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学					担当者	秋山　純一	
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年					ナンバリング	GE-NM-0-004	
必修・選択	選択	単位数	2単位			時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期			曜日・時限	水曜3限	

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識

			や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。		
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。		

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二

第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二
第１５回	地球環境問題と人類	末吉秀二
第１６回	試験	末吉秀二

教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本

第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 文化財修復1年／2013年度 吉備国際大学 文化財学部 アニメ文化1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2013～ 2014年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2013年度 吉備国際大学 社会科学部 ビジコミ1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2014～ 2016年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本

第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護管理論			担当者	竹﨑　和子		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-801		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 看護専門職として質の高い看護を効果的に提供するために必要な看護管理の基本的な知識と理論を学ぶ。 到達目標 １．看護管理に基本概念および基本的理論を理解できるようになる。 ２．看護組織の構造、管理、改革について理解できるようになる。 ３．人材育成、キャリア開発について理解できるようになる。 ４．組織において直面する倫理的課題、対策について理解できるようになる。 ５．医療における安全保障の意義について理解できるようになる。 ６．看護を取り巻く多様な状況から、看護管理の直面する課題とその背景を理解できるようになる。
授業概要	授業の概要 看護を取り巻く社会背景、医療環境の変化、看護管理の概要に関する知識を深め、安全で質の高い医療と看護を提供するためのシステム構築について理解を 深める。看護の対象となる人々に良質な看護を提供するための組織や看護実践にひつようなマネジメントを考える。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験70%　課題レポート20%　授業態度　10%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出された課題についてコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	・医療に関連する様々な社会現象に関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと ・毎回の授業進行に合わせ２時間程度予習してくること ・授業終了後はノート整理等２時間程度復習すること ・指定した教科書、配布資料等は必ず持参すること ・課題レポートは期限厳守で提出すること
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護管理者として実務経験（18年）を持つ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：次回の授業内容に向けて看護管理にかんする教科書・参考書を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける（90分） 復習：授業内容を再確認して理解を深める。 課題レポート：検討課題に関する各自の意見をまとめて論理的に記載する。
オフィスアワー	火曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス　看護管理の概念	竹﨑
第２回	看護ケアのマネジメント	竹﨑

第３回	医療安全のマネジメント	竹﨑
第４回	チーム医療のマネジメント	竹﨑
第５回	看護管理と倫理	竹﨑
第６回	看護業務のマネジメント	竹﨑
第７回	看護職のキャリアマネジメント	竹﨑
第８回	看護サービスのマネジメント	竹﨑
第９回	人材のマネジメント	竹﨑
第１０回	環境・物品・情報のマネジメント	竹﨑
第１１回	組織におけるリスクマネジメント	竹﨑
第１２回	マネジメントに必要な知識と技術	竹﨑
第１３回	組織のマネジメント	竹﨑
第１４回	看護を取り巻く諸制度	竹﨑
第１５回	まとめ	竹﨑
第１６回	定期試験	竹﨑

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践　看護管理	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上泉　和子他	教・ＩＳＢＮ１	9784260031820
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	家族看護学			担当者	安福　真弓、掛谷　益子、岡本　さゆり、中嶋　貴子、竹﨑　和子、福岡　美		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-802		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：家族看護の基礎理論と活用 到達目標：家族とは、システムとしての特徴を有しながら発達している1単位の生命体である。このような1単位の家族を看護の対象として理解するために、家族看護学にはさまざまな理論と技法があることを理解し、家族を一つのユニットとして捉えてアセスメントするための基礎理論を、実際の家族事例について活用できる。
授業概要	人は家族システムのなかに生きており、家族は地域社会システムの下位システムでもある。家族はその社会の文化的背景に大きな影響を受けて時代とともに変容している。看護が個人を対象とする場合も、地域を対象とする場合においても、家族を一つのユニットとして捉え、家族が自らの健康問題を解決できるように支援することが重要である。そこで、本科目では、家族の形態や機能・家族の健康の概念など看護における家族の捉え方及びそれらの歴史的変化について学習する。更に、種々の健康課題の発生やライフイベントから家族成員はどんな影響を受け、ユニットとしての家族はどんな状態におかれるのかを共感的に理解する。また、そのような家族の状態を理解するための基礎理論を学び、ユニットとしての家族をアセスメントする方法を学習する。これらの学習を通し、自己の捉え方の特徴に気付き家族の様々なありようを受け入れる看護職としての態度を培う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク
評価方法と割合	各領域分担教員評価（75%）・試験（25%）で評価する。 各領域教員の授業で出される課題を必ず提出する。課題提出がない場合、その領域が評価でできないことがある。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等については、授業でフィードバック する。
履修条件・注意事項	家族というキーワードの理解を深めるために、今まで学んできた看護過程や各領域での看護を振り返り統合させていくことが必要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床における課題や必要とされる知識について講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	授業は各領域教員によりオムニバスに実施される。それぞれの領域での課題を理解するために、予習および復習では、これまで学習したことと統合できるようしていく。
オフィスアワー	研究室にて平日昼休憩(12:40～13:30)に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	家族看護の定義・看護学における家族の理解	掛谷
第２回	家族に関する理論	掛谷
第３回	成人期の患者と家族	竹﨑
第４回	小児と家族　こどもを取り巻く家族	安福
第５回	高齢者と家族	岡本
第６回	精神科疾患患者と家族	中嶋
第７回	出産と家族	福岡
第８回	家族看護過程の展開／試験	掛谷
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	家族看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	上別府圭子　著者代表	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅰ			担当者	田中　富子、市村　美香、飯田　尚美、一ノ瀬　公美		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-803		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・演習・グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	統合看護演習では、看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることがテーマである。具体的には成人・老年・在宅・地域など領域毎の講義や演習を通して得た看護の基礎的な知識・態度を統合する力を身につけることができる。
授業概要	健康問題解決のために各領域の学びを統合するとともに、多角的な視点から実践的に新たな知見を学ぶ。具体的には、これまでの学習の知識の統合に加え、地域の健康課題に気づき，介護予防事業での在宅高齢者への支援、地域診断や健康教育などによる地域貢献を行い、このことを通して総合的な看護の視野と感性を培う。 この科目は，行政機関で多様な領域や健康レベルの対象者に対する公衆衛生看護実践に長年携わった経験を活かし，地域における健康課題や予防に関係するテーマを中心とした授業・演習を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	授業や演習への取り組み姿勢や予習復習なども含め総合的に判断し評価する。　レポート100 ％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	テーマ毎に作成したレポートを講義でフィードバックし、各自で課題や地域課題を振り返る
履修条件・注意事項	日頃から社会の出来事にも目を向けること。様々な現地での演習・実習に積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：地域住民や地区組織・社会資源と連携し地域をフィールドとした授業内容を実務経験の実績により行う
事前学習・事後学習とその時間	各演習で提示された資料のほか、地域の保健活動や在宅看護，地域包括ケアシステムに関する社会動向などを文献やマスコミ情報などから収集し，問題や課題を明確にするなど、予習・復習を必ずすること
オフィスアワー	個人研究室にて火曜日4次限で行う

	授業計画	担当者
第１回	1:ガイダンス・看護感について	田中富子
第２回	2:地域包括ケアシステム 公助	田中富子・飯田・外部講師
第３回	3:地域包括ケアシステム共助	田中富子・一ノ瀬・外部講師
第４回	4:地域包括ケアシステム自助	田中富子・市村・外部講師
第５回	5:ケアシステムと在宅医療	田中富子・飯田・外部講師

第６回	6:地域介護予防事業現地実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第７回	7:地域介護予防事業学内実習	田中・外部講師・一ノ瀬
第８回	8:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第９回	9:高齢者の体力測定演習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１０回	10:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１１回	11:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１２回	12:介護予防における地域実習	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１３回	13:地域高齢者の生活①	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１４回	14:地域高齢者の生活②	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１５回	15:まとめ・発表	田中・市村・飯田・一ノ瀬
第１６回	16：まとめレポート	田中・市村・飯田・一ノ瀬

教科書			
教・書籍名１	授業ごとに資料を作成	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合実習 （病院施設・地域医療）			担当者	竹﨑　和子、赤澤　真旗子		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-804		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ Ⅰ看護師長・チームリーダーの業務内容を見学して、看護管理の組織的活動という視点から看護チームにおける協働・安全管理・情報管理などについて理解を 　深める。 Ⅱ地域包括医療について学ぶことを通じて、患者・家族の視点に立った地域連携の主体的な実践能力を養う。 到達目標 Ⅰ　①看護管理について理解できる　②看護チームにおけるリーダシップ・メンバーシップを理解できる。 　③複数の患者を受け持ち優先順位・時間管理・安全を考慮した援助について理解できる。　④マネジメントに必要な知識と技術を理解できる。 Ⅱ　①人口の高齢化に伴う2025年問題を踏まえた医療・介護の在り方について理解できる。②地域連携室の機能と役割を理解できる。 　③地域包括医療チームのメンバーシップを理解できる。　④退院後の生活を見据えながら患者・家族の視点に立った援助を理解できる。
授業概要	Ⅰ病棟における看護師長・チームリーダーの業務を見学し、管理の実際を体験する。 　受持ち患者の全体像を理解し、指導看護師と共に多職種カンファレンス等に参加し、継続看護、チーム医療の実際を体験する。 Ⅱ地域連携室のソーシャルワーカーや退院調整看護師、病棟師長等により講義や地域連携関連施設の見学、患者・家族との関わりや病院内外関連機関、関連職種 による支援・連携状況の見学等により、退院後地域で生活する人々の健康の保持・増進のために必要なニーズに応じた多職種連携の在り方を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習
評価方法と割合	実習態度50%　実習記録30%　課題レポート20%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習記録にコメントを返すため今後の実習に役立てること。
履修条件・注意事項	看護学生として、主体的に、礼儀正しく責任ある行動で実習に取り組む。 個人情報の管理は厳重に行う。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、 ・臨床現場で看護管理者としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ・保健・医療・福祉分野で保健師としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習： Ⅰ　実習病院及び病棟概要、看護方針等調べまとめる。 Ⅱ　地域の特性や地域包括医療について事前に調べまとめる。 復習

	Ⅰ・Ⅱともに実習中、疑問に思ったことを調べるとともに指導された内容について調べまとめる。
オフィスアワー	各グループ担当教員が実習巡回時や昼休憩等適宜実施する。

授業計画		担当者
第１回	実習指導要綱に基づき実習展開を行う。 看護管理：5日 地域包括：5日	竹﨑　赤澤　非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①　　医学書院
教・著者名１	上泉和子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03182-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学概論	担当者	市村　美香
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-805

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の目的と特徴が理解できる。 在宅看護の現状を知り、看護師に求められる役割と機能が理解できる。 ・疾病や障害を持ちながら、在宅で療養する人とその家族を理解する。 ・在宅看護の仕組みについて理解する。 ・在宅看護に関連する法制度について理解する。
授業概要	在宅看護の目的や特徴、法令・制度について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験80%、受講態度・提出物20%にて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限 研究室

	授業計画	担当者
第１回	在宅看護の目指すもの	市村美香
第２回	地域包括ケアシステム	市村美香
第３回	在宅看護の対象者	市村美香
第４回	在宅看護の対象者（家族）	市村美香
第５回	訪問看護制度	市村美香
第６回	療養の場の移行に伴う看護	市村美香
第７回	療養を支える在宅ケアチーム	市村美香
第８回	筆記試験、まとめ	市村美香
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅰ			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	HS-NU-4-806		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅看護の現状を知り、在宅における日常生活援助・医療処置援助の技術を理解できる。 また、在宅療養者の特性をふまえた援助について考えることができる。
授業概要	在宅で求められる医療技術について学習し、その具体的方法について考える。それにより、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	これまでに学習してきた医療処置、基礎看護技術について復習しておくこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術（経管栄養法）	市村美香
第３回	在宅医療技術（HPN）	市村美香
第４回	在宅医療技術（排尿援助）	市村美香
第５回	在宅医療技術（呼吸援助）	市村美香
第６回	在宅医療技術（HPPV）	市村美香
第７回	在宅医療技術（HOT）	市村美香
第８回	在宅医療技術（排痰援助）	市村美香
第９回	在宅医療技術（ストーマ管理）	市村美香
第１０回	在宅医療技術（皮膚創傷管理）	市村美香
第１１回	在宅医療技術（外来治療）	市村美香
第１２回	在宅医療技術（がん治療、終末期援助、疼痛緩和）	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	振り返り、フィードバック	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護援助論Ⅱ	担当者	市村　美香
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-807

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源の活用方法について理解できる。 在宅看護の特性をふまえた看護過程の展開方法が理解でき、在宅ケアシステムにおける看護職の役割について理解できる。
授業概要	在宅療養者の特徴、主な健康障害、看護援助の実際、家族支援方法、社会資源の活用方法、他職種との連携と協働について学ぶ。 ペーパーペイシェントでの看護過程の展開を行い、在宅で多くみられるケースについての理解を深める。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度および課題とその参加度で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的態度で授業に臨んでください。 提出物の期限は必ず守ってください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	介護保険制度について復習しておくこと。 新聞や雑誌などで紹介されている、在宅医療、在宅看護、在宅介護などについての情報に関心を持つこと。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	市村美香
第２回	在宅医療技術の振り返り前半	市村美香
第３回	在宅医療技術の振り返り後半	市村美香
第４回	事例展開（ALS）一般論	市村美香
第５回	事例展開（ALS）サービス	市村美香
第６回	事例展開（ALS）看護	市村美香
第７回	事例展開（脳梗塞）一般論	市村美香
第８回	事例展開（脳梗塞）サービス	市村美香
第９回	事例展開（脳梗塞）看護	市村美香
第１０回	事例展開（認知症）一般論	市村美香
第１１回	事例展開（認知症）サービス	市村美香
第１２回	事例展開（認知症）看護	市村美香
第１３回	在宅療養の実際	外部講師、市村美香
第１４回	実習・国家試験に関連した法制度	外部講師、市村美香
第１５回	事例展開（実習）	市村美香
第１６回	まとめ	市村美香

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-

			5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	在宅看護学実習			担当者	市村　美香		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-808		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	90	授業形態	実習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	実習		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	在宅で生活する疾病や障害を持つ人々およびその家族に対して、生活を支える看護活動や社会資源活用の実際について学ぶ。 対象者とその家族が抱えているニーズを理解し、必要な支援について考えることができる。 在宅ケアシステムを理解し、在宅看護における看護師の役割について考えることができる。
授業概要	訪問看護ステーションにおいて、2週間の実習を行う。看護師と同行訪問を行い、在宅看護の実際について学ぶ。受け持ち利用者について、情報収集、アセスメント、関連図作成から対象の全体像を把握し、必要な看護について考え、実施する。併設の施設（居宅介護支援事業所、通所系サービスなど）での実習や、サービス担当者会議等へ参加することもある。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	実習記録、実習態度、課題への取り組み等を、評価基準に基づき総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	実習の学びは実習反省会やまとめの会で共有したりフィードバックしたりする。
履修条件・注意事項	看護学生として責任ある行動をとるよう心がけ、積極的態度で実習に臨んでください。 個人情報については管理を厳重に行ってください。 実習オリエンテーション、現地オリエンテーション、まとめの会には必ず出席してください。評価の対象となります。 実習は「看護学実習手引 在宅看護学実習」に基づいて行う。 他事業所での実習もあるため、事前学習を十分に行って実習に臨む。 実践した看護をグループで共有してください。また、実習終了後のまとめの会を通してさらに学びを深めるてください。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、在宅看護学実習指導の経験のある教員が行う。 また、訪問看護の実務経験のある講師の協力を得て行う。
事前学習・事後学習とその時間	訪問看護活動に関係する制度、これまでに学習した医療処置や基礎看護技術について必ず復習をしてから実習に臨むこと。
オフィスアワー	水曜2限（実習中は事前に連絡をしてください）

授業計画		担当者
第１回	臨地実習（２週間）：在宅看護過程の展開	市村美香、非常勤講師
第２回		
第３回		
第４回		
第５回		
第６回		
第７回		
第８回		
第９回		
第１０回		
第１１回		

第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　在宅看護論	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	河原　加代子	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-260-02762-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	チーム医療			担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美、寺岡　睦		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	HS-NU-4-811		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 学生が、患者を中心とした安全で良質な医療や療養上の課題解決を目標に、チーム医療の構成員として看護の専門性を活かし、チーム力を維持し、発展させるための機能について理解できる。
授業概要	医療体制の歴史的流れについて理解し、現代医療におけるチーム医療の必要性や重要性を理解し、チーム医療を推進する施策や各専門職の役割、活動するための基本的スキル・能力等について学習する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート30%　　グループワークの参加状況・プレゼンテーション20%　定期試験60%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートにコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	秋学期「統合実習」に関連付けて学ぶこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床現場でチーム医療の実務経験を持つ教員が、チーム医療における信念対立解明アプローチの実践等の経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：授業終了後に、授業内容を再確認して理解する。（120分） 3年次の臨地実習体験から、チーム医療に関連した体験を振り返る。
オフィスアワー	木曜日　12：40～13：30　6号館4階　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	チーム医療の概念　　他職種連携教育	竹﨑
第３回	チーム医療における信念対立	寺岡
第４回	チーム医療における信念対立解明アプローチ	寺岡
第５回	チーム医療活動の実践	飯田
第６回	チーム医療における専門性	飯田
第７回	チーム医療におけるコミュニケーション	飯田
第８回	まとめ・定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じて資料を配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護政策論			担当者	高尾　茂子		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-812		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／３．すべての人に健康と福祉を／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	保健医療福祉看護政策への関心を高め、政策決定過程への参加活動の必要性の認識を高めることができる。
授業概要	本授業をとおして、まずは保健医療福祉看護政策に対して関心を高める。看護職として勤務するようになったときに、労働環境・労働条件の改善、医療事故対策、看護職員の配置基準などの看護優先課題が対象者への安心安全な看護を提供するために必要であることが認識できること、またその実現のために看護政策決定への参加活動の必要性が認識できることが求められる。看護の問題を現象のみで捉えるのではなく、社会学的想像力をもって考えることができ、政策的な思考ができる看護職の育成につながる授業である。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	毎回提出レポート（30%）、最終レポート（50%）、授業の態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	配布資料、提示する参考書・文献をとおして理解し、自分の言葉で伝えられること
実務経験のある教員	該当する　／　内容：授業は、病院や看護協会、政策の場等において看護の労働環境改善や医療事故対策など豊富な実務経験を有する教員（講師）が担当し、具体的な実例を交えた講義を行い、イメージをもちながら学ぶことができる。
事前学習・事後学習とその時間	日頃から新聞、テレビ等の保健医療福祉看護に関する情報に関心をもち、授業と関連づけて考える。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	看護政策概説①	学外講師、高尾茂子
第２回	看護政策概説②	学外講師、高尾茂子
第３回	身近な看護政策①	学外講師、高尾茂子
第４回	身近な看護政策②	学外講師、高尾茂子
第５回	看護と政治①	学外講師、高尾茂子
第６回	看護と政治②	学外講師、高尾茂子
第７回	まとめ	学外講師、高尾茂子
第８回	試験	高尾茂子
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際看護			担当者	市村　美香、服部　俊夫		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護4年			ナンバリング	HS-NU-4-813		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義、AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	国際看護では、国外だけでなく日本に在住する外国人等あらゆる人間を対象とする看護について学ぶ。 １．世界に関心を持ち国際的問題に興味を持つことができる。 ２．国際看護を国内・国外の看護活動として捉えることができる。 ３．国際看護活動の支援を必要とする対象を理解することができる。 ４．多文化を理解し、その看護活動を理解することができる。 ５．国際協力における看護職の役割を理解することができる。
授業概要	グローバル社会が進む中、人間の生命や尊厳、健康においてもその影響を受けている。健康関連課題に対し、看護職がどのようにかかわることができるのか考察する。日本人・外国人を問わずあらゆる国で生活する人間が遭遇している健康問題について視野を広め考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	筆記試験70%、課題・授業態度30%で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	世界で起こる問題やニュース等に関心を持ち、国際的な健康上の問題についての演習準備をすること。 予習や復習の自己学修をしっかりして、学びを深めましょう。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、医療従事者としての実務経験のある教員と国際医療の知見を多くもつ教員により指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	課題について調べてきたことに基づき参加型学習法により授業を行う為、必ず課題について自己学修して参加すること。
オフィスアワー	水曜2限　研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、概論	市村
第２回	国際支援活動や国際協力機関の活動	市村
第３回	グローバルヘルス	市村
第４回	各国の現状と看護（情報収集）	市村
第５回	世界の健康問題（感染症）	服部、市村
第６回	各国の現状と看護（まとめる）	市村
第７回	各国の現状と看護（発表）	市村
第８回	筆記試験、まとめ	市村
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		

第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　看護の統合と実践③　災害看護学・国際看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-260-01679-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	災害医療			担当者	澤田　和子		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-814		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	災害現場での医療援助、看護活動および被害者の生活や健康問題への支援、心のケアについて考えていく。効果的な医療援助や看護活動のあり方について自分の考えを表現できることを到達目標とする。
授業概要	大害医療は、大規模災害（地震、火災、津波）等により、対応する側の医療能力を上回るほど多数の医療対象者が発生した時に行われる医療である。災害の及ぼす生命や健康生活への被害を最小限にとどめるために、災害現場での看護活動と災害後の中長期にわたる被災者の生活や健康問題への支援、心のケアについて理解できる。 災害のイメージができるよう視聴覚教材を用いながら進めていく。 災害時の看護活動の理解として、慢性疾患を抱える看護として認定看護師を迎え理解を深めていく。 災害現場においてのトリアージの実際を演習を通じて理解を深めていく。 また、認定看護師・DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、臨床現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	筆記試験（６０％）、提出物（３０％）、授業態度（１０％）を合わせて評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題は、授業にフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	課題提出（期限厳守）を定期試験受験の条件とする。 学習への取り組み状況を重視し、積極的に学びを考えることを期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容：看護師としての実務経験を持つ教員がその経験を活かし、また、認定看護師、DMATとしての実務経験のある外部講師を招き、実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業進行に合わせ予習し、授業ごとにノートをまとめておくこと（予習・復習） なお、予習、復習には各2時間程度を要する。 身の回りにある災害関連について関心を寄せ、常に思考する態度をもつこと。
オフィスアワー	平日12時40分～13時30分（6438研究室）

	授業計画	担当者
第１回	災害看護とは	澤田
第２回	災害医療の基礎知識	澤田
第３回	災害看護の基礎知識	澤田
第４回	災害急性期医療・看護	外部講師
第５回	DMATについて	外部講師
第６回	災害時の看護活動（慢性疾患を抱える患者の看護）	外部講師
第７回	災害サイクルについて	澤田
第８回	災害時の備えについて/単位認定試験	澤田
第９回		

第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　統合分野　災害看護学・国際看護学　看護の統合と実践③	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	竹下　喜久子（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-260-03570-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	救命救急			担当者	飯田　尚美、赤在　あゆみ		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-815		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	1. 救命救急の概念と救急医療ｼｽﾃﾑが理解できる。 2. 救命救急で遭遇する事の多い疾患･外傷などの病態について理解できる。 3. 生命の危機的状況にある人のアセスメントを述べることができる。 4. 生命の危機的状況にある人の対象の特徴と看護について考えることができる。
授業概要	救命救急における看護の役割を理解し、適切な援助が実践できるための基本的な知識・技術を学ぶ。 具体的には、救急患者の主要病態と救急処置を基盤に、生命の危機的状況にある人の看護について学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	筆記試験（70%）、課題提出（レポート）（30%）を合わせて評価する。 評価の詳細については、第１回目の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中評価のために出した課題を授業にフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この科目は統合分野であり、これまで学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術が必要である。 難解な専門用語も多いので、予習・復習を含め相当の自学自習の努力を期待する。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床経験のある医師及び看護師が実務経験に基づく講義を行う。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、1～3年生で学んだ解剖生理学、病理学、病態生理学、基礎看護技術、臨床看護総論、急性期看護の知識・技術を復習しておく。また、必要時、事前にプリントを配布するので熟読し、関連事項について予習する。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日2時限目　：　６号館４階　飯田（6421）研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 救命救急の概念 救命医療システム	飯田
第２回	救命救急処置および緊急検査 全身と外観の観察とアセスメント ALS（気管挿管）	赤在
第３回	救命救急における主要病態の理解：呼吸器系、循環器系	赤在
第４回	救命救急における主要病態の理解：脳・神経系、外傷	赤在
第５回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：A 気道、B 呼吸	飯田
第６回	生命の危機的状況にある人の観察・および対応：C 循環、D 中枢神経系	飯田
第７回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第８回	救急医療システムの実際	外部講師・飯田
第９回	終講試験	赤在・飯田
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		

第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	系統看護学講座　別巻　救急看護学	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学（４）臨床看護総論	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	香春　知永　他	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２	系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論・各論	参・出版社名2	医学書院
参・著者名2	編集：矢永　勝彦、小路　美喜子	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護教育				担当者	竹﨑　和子、飯田　尚美		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年				ナンバリング	HS-NU-4-816		
必修・選択	選択	単位数	1単位		時間数	15	授業形態	講義　グループワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 　学生が、看護教育の歴史的変遷、教育制度、教育課程について学修し、看護職者としての自らのキャリア発達に向けた教育や学習の意義を習得できる。 到達目標 １．看護教育の歴史と制度が理解できるようになる。 ２．大学における看護教育の在り方が理解できるようになる。 ３．進路選択における新人教育の内容が理解できるようになる。 ４．自らのキャリア発達に向けた看護生涯教育や自己評価の意義と方法が理解できるようになる。
授業概要	看護教育の歴史や制度を学び、現状と課題について考察する。看護学教育の特徴を理解して、看護職者としての教育的視点を養うと共に、進路選択に必要な条件や自分自身の方向性を考え、将来のキャリアアップに向けた目標設定をイメージする機会とする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート60％　グループワークの参加状況・プレゼンテーション40％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートはコメントを返すため今後の学習に役立てること。
履修条件・注意事項	①　看護基礎教育における自己の成長が表現できるよう、今までの学生生活の中での振り返りを行う。 ②　卒業後の自分自身のキャリアアップに関して、具体的な方向性を描くことができる。 ①②について、よく考え自分の意見を纏めて授業に臨むこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、臨床で看護管理者としての看護師教育、認定看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、医療現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習：事前に配布する資料を読み、理解できない部分をまとめて授業を受ける。（120分） 復習：毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する（120分） 提示した課題内容について検討し、各自の意見えお纏めて記載する。
オフィスアワー	水曜日　12：40～13：30　6号館　6404研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	竹﨑
第２回	看護教育の歴史	竹﨑
第３回	日本の看護教育制度	竹﨑
第４回	新人教育とキャリアアップ	竹﨑
第５回	看護職の資格認定制度	飯田
第６回	認定看護師の実践活動 ＜摂食嚥下障害看護＞	飯田
第７回	専門職としてのキャリアアップ	竹﨑　飯田

第８回	まとめ 定期試験	竹﨑
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない 必要に応じて資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	統合看護演習Ⅱ	担当者	安福　真弓、佐藤　三矢、京極　真、中嶋　貴子、森下　元賀、市村　美香、高尾　茂子、福岡　美和、寺岡　睦、赤在　あゆみ、長町　榮子
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-NU-4-817

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義、演習、フィールドワーク
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限 金曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	看護の各領域での学びを関連づけて考える力（統合する力）を育て、看護の対象者を尊厳ある地域生活者として捉えることができ、対象者の生活背景を視野に入れた看護の提供ができる看護師の育成をめざす。
授業概要	現代社会の中で生じる健康問題を多（他）職種、多組織との連携のなかで協力して解決していくために、多角的視点から実践的な知識を学び、今までに学んだ各領域の知識を関連付け統合して考える力を養う。 　担当教員は、本学の各領域の専門教員や、統合実習の実習先である臨床現場における指導者・管理者、さらに難病等の専門性の高い当事者等外部講師であり、知識の統括としての講義であり、最終学年として看護の統合的視野と感性が培える講義である。 　この科目は、医療現場において実務経験のある教員が、その経験を活かし、実践に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	演習成果（50%）、最終レポート（30%）、授業態度（20%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題やレポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと
履修条件・注意事項	①初回の授業で授業計画を説明する。 ②最終レポート、演習成果、授業態度が評価の基準となる。
実務経験のある教員	該当する　内容　行政保健師30年
事前学習・事後学習とその時間	配布資料、提示する参考書等を通して理解し、自分の言葉で伝えられること。
オフィスアワー	６号館４階の個人研究室において、毎週水曜日３，4時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	高尾茂子
第２回	ガイダンス	高尾茂子
第３回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第４回	知識の統合「包括ケアシステムで求められる看護」	外部講師、高尾茂子
第５回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第６回	知識の統合　看護師国家試験対策	外部講師　市村美香
第７回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第８回	知識の統合「多職種連携1」	高尾茂子
第９回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１０回	知識の統合「多職種連携2」	森下元賀、福岡美和
第１１回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１２回	知識の統合「多職種連携3」	京極真　中嶋貴子
第１３回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１４回	知識の統合「多職種連携4」	佐藤三矢　安福真弓
第１５回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子

第１６回	知識の統合（テーマの設定）	寺岡睦　長町榮子
第１７回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１８回	知識の統合演習 （事例作成）	高尾茂子
第１９回	知識の統合「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２０回	知識の統合　「多職種連携5」	外部講師　赤在　高尾
第２１回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２２回	知識の統合演習（事例作成…医学モデル）	高尾茂子
第２３回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２４回	知識の統合演習（事例作成…生活モデル）	高尾茂子
第２５回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２６回	知識の統合演習（事例作成…社会モデル）	高尾茂子
第２７回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２８回	知識の統合演習（事例作成…多職種の視点）	高尾茂子
第２９回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３０回	知識の統合演習（ロールプレイ原稿作成）	高尾茂子
第３１回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子
第３２回	知識の統合演習（ロールプレイ演習発表）	高尾茂子

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。必要に応じてプリント等配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	医療安全			担当者	門倉　康恵		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-818		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ 医療安全の基本的な考え方を理解し、リスクに対する感受性と判断力を磨き、看護の質と医療安全の関連について考える。医療安全における基本的な知識および看護職の責務と役割を学び、安全対策の方法について理解を深める。 到達目標 １．医療安全に関する基礎的知識、医療安全に対する考え方や取組みを理解する。 ２．看護業務を行う際の環境の特徴、医療事故の種類や背景、要因について理解する。 ３．医療事故後の対応を理解する。 ４．医療専門職者として、主体的に医療安全に取り組む姿勢を培うことができる。
授業概要	医療安全の基本的な考え方を理解し、事故事例を用いる、自己の傾向を振り返る、ディスカッション等を通して、看護専門職としての責務と役割、医療現場における危険の予知と回避、患者の安全対策、事故防止等について考える。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題レポート70%、グループワーク・発表30%
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の中でフィードバックする
履修条件・注意事項	医療安全は看護の質に深く関連するので、各自が自己の問題としてとらえること。 日ごろから、新聞・ニュース等により、国内外において発生する医療事故に関心をもち、情報を得ておくこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、看護師として実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、看護の現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	テキストを読み、わからない用語等は自己で調べ、その上でわからないことはまとめておき、質問するなど自主的に学んでほしい。
オフィスアワー	研究室（6407号室）にて木曜日　昼休みに実施する

	授業計画	担当者
第１回	医療安全と看護の理念 医療安全への取り組みと医療の質の評価	門倉康恵
第２回	事故のメカニズムとリスクマネジメント	門倉康恵
第３回	看護業務の関連する事故と安全対策	門倉康恵
第４回	在宅看護における医療事故と安全対策	門倉康恵
第５回	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	門倉康恵
第６回	KYT分析　グループワーク	門倉康恵
第７回	KYT分析　GW発表	門倉康恵
第８回	医療安全の学び（まとめ発表）	門倉康恵
第９回		
第１０回		

第１１回			
第１２回			
第１３回			
第１４回			
第１５回			
第１６回			
教科書			
教・書籍名１	ナーシンググラフィカ医療の統合と実践②　医療安全	教・出版社名１	メディカ出版
教・著者名１	松下由美子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-8404-7212-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	看護研究Ⅱ			担当者	竹﨑　和子		
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年			ナンバリング	HS-NU-4-819		
必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ 学生が、看護実践を積み重ねる過程で専門性を深めていくために必要な看護研究の基本的な方法を理解して、実践できる 到達目標 ①看護計画に基づき、研究を実施しデータを収集できる ②研究結果の分析と考察ができる ③研究論文が作成できる ④研究の口頭発表の準備、パワーポイントの作成ができる
授業概要	研究倫理を遵守し、研究計画書に沿って研究を遂行してデータ分析、論文のまとめ方を学び、研究の実践的理解を学習する 研究論文までのプロセスを通して、批判的な思考力、論理的表現力、創造的な問題解決能力を高め、研究の意義や理解を深める
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	研究に臨む姿勢（２０％） 文献検索（３０％） 研究内容（３０％） 論文作成（２０％）
ルーブリック評価	／URL／Kango.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のために課された課題（レポート）等は授業内でフィードバックする
履修条件・注意事項	積極的・自律的に参加する 疑問点を整理し、先行研究を参考にしながら主体的に行動計画を立て、看護研究に取り組む姿勢が求められる 研究発表会には必ず参加し、ほかの学生の発表を聴くこと
実務経験のある教員	該当する　内容　看護師としての臨床経験は４０年であり、認定看護管理者としての資格を有している。 専門分野は人材管理、リハビリテーション看護である
事前学習・事後学習とその時間	予習復習に各2時間程度が必要である。 自らの疑問点を明確にしてゼミに参加することが求められる。また授業内での学びをノート等に自分でまとめておく
オフィスアワー	木曜日　５限　６号館　６４０４研究室

授業計画		担当者
第１回	1.オリエンテーション（AL） 研究倫理教育	1.竹崎
第２回	2.データ収集（AL）	2.竹崎

第３回	3.データ収集・分析（AL）	3.竹崎
第４回	4.データ分析（AL）	4.竹崎
第５回	5.論文作成：緒言（AL）	5.竹崎
第６回	6.論文作成：研究方法（AL）	6.竹崎
第７回	7.論文作成：結果・考察（AL）	7.竹崎
第８回	8.論文作成：考察（AL）	8.竹崎
第９回	9.論文作成：考察（AL）	9.竹崎
第１０回	10.論文作成：結論（AL）	10.竹崎
第１１回	11.研究の限界と今後の課題（AL）	11.竹崎
第１２回	12.論文の発表と議論（AL）	12.竹崎
第１３回	13.論文の発表と議論（AL）	13.竹崎
第１４回	14.論文修正（AL）	14.竹崎
第１５回	15.論文発表（AL）	15.竹崎
第１６回	16.論文提出（AL）	16.竹崎

教科書			
教・書籍名１	基本がわかる　看護研究　ビギナーズNOTE　改訂第２版	教・出版社名１	Gakken
教・著者名１	古橋　洋子	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業衛生管理論	担当者	中瀬　克己、横溝　珠実
配当学科・研究科	2013～ 2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護 4年	ナンバリング	HS-HN-4-107

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	60	授業形態	講義、演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	テーマ：労働の場における健康保持増進活動、産業衛生の基本の理解がテーマである。事業所において，労働衛生管理の中心となる「衛生管理者」は国家資格であるが，保健師の資格があれば，資格試験免除で，上位資格である「第1種衛生管理者免許」が与えられる。 到達目標：この科目で学生は、保健師とともに衛生管理者に求められる労働衛生管理の基本的能力を習得することを目標とする。
授業概要	1年次の公衆衛生学，2年次の疫学・保健統計等を基盤とする。職業性疾患については，臨床医学の知識も必要となるなど，幅広い知識が要求されるが、本科目では実践的な内容を学ぶ。産業保健師として工場等に勤務しなくても，保健師の資格があれば，勤務先の病院等で衛生管理者に選任される可能性もある。産業保健の系統的な考え方やその取り組みは、適応される対象も多く看護師として勤務する場合にも有用である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	学期末の筆記試験（70%）と，実習を含めた取り組み姿勢およびレポート（30%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の保健師国家試験問題等の小テストを行い、グループワークを含めたフィードバックを随時行い実際的な理解を促す。
履修条件・注意事項	産業保健現場での実習は朝から１日間かけて行う。協力先の可能な日に行うが、受講者の他の講義日程となるべく重ならないよう調整する予定である。 保健師課程の必修科目であるが，看護師課程や教職課程でも参考になる。 プリントを配布し、小テストも行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、産業医として実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要とされる知識や能力を含めて講義をするとともに実際の産業現場の実習も行い、学生の理解を実際的なものとし又深める。
事前学習・事後学習とその時間	教科書は図説で分かりやすいが詳細であり、講義やプリントによる概要や要点の把握の上で用いることを推奨する。また、将来産業保健師や衛生管理者となった際に考えの整理に有用である。参考書である「労働衛生のしおり」は毎年更新され、最新の施策や統計を知ることができる、公式資料である。実習前には、課題を示すので実習当日までにしっかりと準備し効果的な実習となるよう自習が必要である。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜日２限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 産業保健と産業看護、関係法令　講義	中瀬
第２回	産業保健と産業看護、関係法令　演習	中瀬
第３回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　講義	中瀬
第４回	安全衛生管理体制と衛生管理者の任務、労働統計　演習	中瀬
第５回	作業環境管理1　その基本　講義	中瀬
第６回	作業環境管理1　その基本　演習	中瀬
第７回	作業管理1　その基本　講義	中瀬
第８回	作業管理1　その基本　演習	中瀬
第９回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　講義	中瀬

第１０回	健康管理1 健康管理と健康診断の意義　演習	中瀬
第１１回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　講義	中瀬
第１２回	健康管理2 一般健康診断と特殊健康診断　演習	中瀬
第１３回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　講義	中瀬
第１４回	健康管理3 健康の保持・増進　メンタルヘルス　演習	中瀬
第１５回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　講義	中瀬
第１６回	職業性健康障害　各論　化学的要因によるもの　演習	中瀬
第１７回	職業性健康障害各論物理的要因　講義	中瀬
第１８回	職業性健康障害各論物理的要因　演習	中瀬
第１９回	地域保健と産業保健の連携　講義	中瀬
第２０回	地域保健と産業保健の連携　演習	中瀬
第２１回	職業性健康障害各論　その他　講義	中瀬
第２２回	職業性健康障害各論　その他　演習	中瀬
第２３回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２４回	作業管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２５回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２６回	作業環境管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２７回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２８回	健康管理 応用 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第２９回	産業現場での総合的健康対策 実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３０回	産業現場での総合的健康対策　実習	中瀬・横溝、産業保健スタッフ
第３１回	筆記試験	中瀬
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	職場の健康がみえる（現行では2019年発行版であるが、新版が出ればそちらとする）	教・出版社名１	メディックメディア
教・著者名１	医療情報科学研究所（編集）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89632-782-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	労働衛生のしおり　令和4年度　最新版とする	参・出版社名１	中央労働災害防止協会編
参・著者名１	中央労働災害防止協会編	参・ＩＳＢＮ１	例年新年度版は８月頃発売される
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児科学特論Ⅰ	担当者	赤在　あゆみ
配当学科・研究科	2014～ 2017年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2013～ 2016年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年／ 2017～ 2022年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年	ナンバリング	

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児科学の基礎、基本についての理解を深める。 小児の正常な成長・発達を十分に理解し、その上に立って小児期に良く見られる疾患の病態生理と発達障害とは何かを理解すると共に小児への関わりや支援をすることが出来る。
授業概要	小児期の特質である発達現象を「生理」と「病理」に分けて系統的に講義する。 前者では臨床的、心理学的および神経生理学的側面から小児の発達の特性を明らかにするとともに、日常での評価基準について述べる。一般小児疾患についても年齢依存性を基礎として概略を講義する。具体的には、成長と発達、小児の栄養、小児保健、アレルギー疾患、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液造血器、代謝・内分泌、腎・泌尿器、神経系の疾患に関する基礎的知識を習得する。 一方、後者については発達障害を中心にして病態、治療、看護の概略を学び、その疫学、社会的対策等についても講義する。これには脳性麻痺、多動性障害、自閉症、学習障害、重症心身障害を含めて概略を講義する。 これらの分野は小児看護学、小児保健学の根幹を成す重要なものであり、派生する諸問題を特論として取り上げ、研究方法の会得もはかる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度、質疑応答、レポートの提出状況などの内容から総合的に評価する。 講義中に出した課題、レポートは授業でフィードバックするので、各期の最終日までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中に出した課題、レポートは授業でフィードバックするので、各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	講義においては、課題について受講生がプレゼンテイションを行い、その内容をもとにディスカッションを行う。
事前学習・事後学習とその時間	学習した内容をその日の内に簡単にまとめる習慣にする。特に、疑問や解らなかった点をチェックして, 調べておくこと。 次回に質問すること。 予習、復習には各2時間を要する。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

授業計画	担当者
１．オリエンテーション	赤在
２．成長と発達総論	赤在
３．成長と発達、評価方法	赤在
４．脳および反射の発達変化と疾患	赤在
５．運動発達と疾患	赤在
６．心理学的発達と疾患	赤在
７．循環器の発達と疾患	赤在
８．呼吸器の発達と疾患	赤在
９．消化器の発達と疾患	赤在
１０．腎・泌尿器の発達と疾患	赤在
１１．先天異常・先天奇形	赤在
１２．新生児の特性と疾患	赤在

１３．乳児の特性と疾患	赤在
１４．乳幼児健康診断と予防注射	赤在
１５．学童・思春期の特性と疾患	赤在
１６．小児科領域におけるトピック	赤在

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。その都度資料を配付する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	主にプリント,スライドを使用する。参考書は適宜指示。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	小児科学特論Ⅱ	担当者	赤在　あゆみ
配当学科・研究科	2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年／ 2017～ 2022年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年	ナンバリング	

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	小児科学の基礎、基本についての理解を深める。 小児の正常な成長・発達を十分に理解し、その上に立って小児期に良く見られる疾患の病態生理と発達障害とは何かを理解すると共に小児への関わりや支援をすることが出来る。
授業概要	小児期の特質である発達現象を「生理」と「病理」に分けて系統的に講義する。 前者では臨床的、心理学的および神経生理学的側面から小児の発達の特性を明らかにするとともに、日常での評価基準について述べる。一般小児疾患についても年齢依存性を基礎として概略を講義する。具体的には、成長と発達、小児の栄養、小児保健、アレルギー疾患、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液造血器、代謝・内分泌、腎・泌尿器、神経系の疾患に関する基礎的知識を習得する。 一方、後者については発達障害を中心にして病態、治療、看護の概略を学び、その疫学、社会的対策等についても講義する。これには脳性麻痺、多動性障害、自閉症、学習障害、重症心身障害を含めて概略を講義する。 これらの分野は小児看護学、小児保健学の根幹を成す重要なものであり、派生する諸問題を特論として取り上げ、研究方法の会得もはかる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度、質疑応答、レポートの提出状況などの内容から総合的に評価する。 講義中に出した課題、レポートは授業でフィードバックするので、各期の最終日までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中に出した課題、レポートは授業でフィードバックするので、各期の最終日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	講義においては、課題について受講生がプレゼンテイションを行い、その内容をもとにディスカッションを行う。
事前学習・事後学習とその時間	学習した内容をその日の内に簡単にまとめる習慣にする。特に、疑問や解らなかった点をチェックして, 調べておくこと。 次回に質問すること。 予習、復習には各2時間を要する。
オフィスアワー	火曜日1限　研究室

授業計画	担当者
１．オリエンテーション	赤在
２．成長と発達総論	赤在
３．成長と発達、評価方法	赤在
４．脳および反射の発達変化と疾患	赤在
５．運動発達と疾患	赤在
６．心理学的発達と疾患	赤在
７．循環器の発達と疾患	赤在
８．呼吸器の発達と疾患	赤在
９．消化器の発達と疾患	赤在
１０．腎・泌尿器の発達と疾患	赤在
１１．先天異常・先天奇形	赤在
１２．新生児の特性と疾患	赤在

１３．乳児の特性と疾患	赤在
１４．乳幼児健康診断と予防注射	赤在
１５．学童・思春期の特性と疾患	赤在
１６．小児科領域におけるトピック	赤在

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。その都度資料を配付する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	主にプリント,スライドを使用する。参考書は適宜指示。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	感染予防特論Ⅰ	担当者	長町　榮子
配当学科・研究科	2016年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／2013～ 2016年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年／ 2017～ 2022年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年	ナンバリング	

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	医療従事者に必要とされている各種感染症における感染予防に関する知識、技術を研究、修得できる。
授業概要	新興感染症の出現、易感染性患者や薬剤耐性菌の増加、各種感経経路の拡大などにより院内感染の危険性は増大しており、医療従事者にとって、感染及び感染予防に関する知識は不可欠である。さらに、院内感染において医療従事者を介する伝播が問題となっていることから、医療従事者は、ウイルス性疾患やMRSAなどの病原体の媒介者とならない注意と、そのための健康管理も重要である。そこで、本特論では、医療従事者に必要とされている各種感染症における感染予防に関する知識、技術を研究、修得させる。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	議論の内容（30%）およびレポート等（70%）により総合的に評価する。 なお、講義中評価のために出した課題は、授業でフィードバックするので各期の最終日までに見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	口頭または書面でフィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的に授業、課題等に取り組むことが重要である。
事前学習・事後学習とその時間	予習として、各授業計画および、前回授業で予告した部分について、事前に参考資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。 また、復習として、毎回の授業の内容を確認し、自分なりにノートにまとめること。 なお、予習、復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	水曜日３限目、６号館４階長町研究室（6425号室）

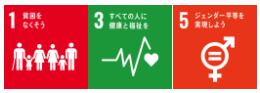
授業計画	担当者
1.初期の隔離法1	長町
2.初期の隔離法2	長町
3.CDC隔離システム1	長町
4.CDC隔離システム2	長町
5.普遍的予防策および標準予防策1	長町
6.普遍的予防策および標準予防策2	長町
7.病院の感染対策の原理1	長町
8.病院の感染対策の原理2	長町
9. 隔離予防策の原理1	長町
10. 隔離予防策の原理2	長町
11.感染経路別予防策1	長町
12.感染経路別予防策2	長町
13.空気、飛沫、接触感染予防策の経験的使用1	長町
14.空気、飛沫、接触感染予防策の経験的使用2	長町
15.管理上の対策	長町

教科書			
教・書籍名１	適宜指定する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	

参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	母性・小児保健看護学特論Ⅰ	担当者	安福　真弓、福岡　美和、赤在　あゆみ
配当学科・研究科	2014～ 2017年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2015～ 2016年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年／ 2017～ 2022年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年	ナンバリング	

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ＳＤＧｓ関連項目	1．貧困をなくそう／3．すべての人に健康と福祉を／5．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	1．母子看護領域における看護の役割が説明できる。 2．母子看護の変遷や母子保健領域の統計や法律について説明できる。 3．女性のライフサイクルにおける体の変化と健康について説明できる。 4．子どもの成長発達について説明できる。
授業概要	人間は、胎生期の成長過程においては母体の心身の健康状態に強い影響を受け、人の基盤形成期である乳幼児期においてはその子どもを取り巻く家族や地域の環境の影響を受けながら、相互作用の中で成長・発達していく。母子を対象とする保健・医療・福祉分野においては、子どもと家族を一体ととらえて、その子の健やかな成長・発達の促進と家族の安心した生活が確保されるようなケアが求められる。そのための基礎を修得する。担当者は医師・看護師・助産師であり、臨床経験が豊富であり、症例の治療、看護を行ってきた経験があるため、多くの知見を得られる講義となる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	レポート（５０％）・プレゼンテーション（３０％）、授業への取組状況（２０％）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義中に提示した課題は、授業にフィードバックするので指定日までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	講義においては、課題について受講生がプレゼンテーションを行い、その内容をもとにディスカッションを行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前に示された資料や文献などを精読し、問題や課題を明確にしながら、自分なりのノートを作成する。なお、予習・復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	赤在：火曜・1限（9：30～11：00）、6420研究室にて対応 福岡：火曜・2限（11：10～12：40）、6423研究室にて対応 安福：火曜・2限（11：10～12：40）、6405研究室にて対応

授業計画	担当者
1．オリエンテーション	赤在、安福、福岡、
2．母子看護の目指すところ（対象・目標・役割）	福岡、安福
3．母子看護の変遷	福岡、安福
4．母子看護に関する諸統計	福岡、安福
5．母子看護に関する法律	福岡、安福

6．母性の健康（1）思春期のからだ	福岡
7．母性の健康（2）妊娠と出産（正常）	福岡
8．母性の健康（2）妊娠と出産（異常）	福岡
9．子どもの成長・発達の原則	赤在、安福
10. 乳児期の子どもの成長・発達	赤在、安福
11. 幼児期の子どもの成長・発達	赤在、安福
12. 学童期の子どもの成長・発達	赤在、安福
13. 思春期の子どもの成長・発達	赤在、安福
14. 発育の評価（1）形態的成長の観察と評価	赤在
15. 発育の評価（2）心理社会的発達	赤在

教科書			
教・書籍名１	随時提示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	広域保健看護学特論Ⅰ	担当者	田中　富子、中嶋　貴子、中瀬　克己
配当学科・研究科	2014～ 2017年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2015～ 2016年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年／ 2017～ 2022年度 吉備国際大学 大学院 保健科学研究科 保健科学1年	ナンバリング	

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	疫学入門：調査研究理論と方法 集団を対象とした保健活動を進めるにあたって、健康問題の把握・実践活動・評価の各段階で、疫学的な検討が欠かせない。一方、疫学はEBMの基礎理論でもあり、応用範囲は広がっている。 この授業により，自ら調査研究を行う場合はもちろん、他の文献を読み、吟味する際にも必要な基礎知識が身につく。
授業概要	受講生の疫学に関する理解度・習熟度は入学までの経歴等によって様々なので、講義内容は受講生によって変わる可能性がある。また、受講者の研究計画なども考慮して、できるだけ柔軟に対応したい。大まかな内容としては、疫学的アプローチの方法、集めたデータの処理法、文献の批判的吟味などを考えている。 以下の授業計画は，保健師課程を履修していない全くの初心者を想定している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	試験（80%）のみでなく、受講態度（10%）、レポートの内容（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題等は、授業でフィードバックするので最終試験（口頭試問）までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	一方通行の講義にならないよう、事前の準備、ディスカッションなどを含め、積極的な学習を望む。
事前学習・事後学習とその時間	疫学初心者にとっては取っつきにくいかも知れないので，予習復習を欠かさず，疑問点を持ち越さないこと。 毎回，予習復習を兼ねた課題を課すので，次回までに必ず仕上げて提出すること。 これらを含め，１回の授業あたり，予習復習には2時間ずつを要する。
オフィスアワー	6号館4階6424研究室（変更があり得る）にて，毎週水曜2限（教授会がある日を除く）または木曜２限を，オフィスアワーとする。。

授業計画	担当者
1.オリエンテーション 疫学とは 2.調査理論　(1)　母集団と標本 3.調査理論（2）　質問紙の作成法 4.疫学調査法(1)　疾病量の把握法 5.疫学調査法(2)　コホート調査と症例対照調査 6.疫学調査法(3)　疫学指標 7.疫学調査法(4)　介入調査 8.疫学調査法(5)　バイアスと交絡因子 9.疫学調査法(6)　因果関係 10.疫学に必要な統計　(1)　既存統計の利用 11.疫学に必 な統（2）　記述統計 12.疫学に必 な統（3）　推定と検定の考え方と方法 13.疫学に必 な統（4）　推定と検定の実際 14.疫学に必 な統（5）　多変量解析入門 15.臨床疫学入門 16試験　口頭試問	中瀬

教科書			
教・書籍名１	特に定めず随時紹介する。	教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版 その他授業時に紹介する。	参・出版社名１	メディカルサイエンスインターナショナル
参・著者名１	木原雅子 (翻訳), 木原正博 (翻訳),Stephen B Hulley , Steven R Cummings MD他著	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 : 4895927830 ISBN-13 : 978-4895927833
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	